上田市文化財調査報告書第４４集

神　林　遺　跡
下　郷　古　墳　群

平成２年度県営ほ場整備事業殿城地区施工に伴う
神林遺跡ほか発掘調査概要報告書

１９９２．３

上田市教育委員会
上小地方事務所

上田市文化財調査報告書第４４集

神　林　遺　跡
下　郷　古　墳　群

平成２年度県営ほ場整備事業殿城地区施工に伴う
神林遺跡ほか発掘調査概要報告書

１９９２．３

上田市教育委員会
上小地方事務所

序

昭和６３年度からはじまった県営ほ場整備事業殿城地区に伴う埋蔵文化財の発掘調査も、本調査をもって一段落しました。

振り返りますれば、昭和６３年度はほ場整備の開始の年であり、林之郷遺跡の第一次調査が行われ、平安時代の集落址が記録されました。続く平成元年度には林之郷遺跡の第二次調査と、八千原遺跡の調査を行いました。林之郷遺跡からは弥生時代末から古墳時代にかけての集落址が良好な状態で検出され、八千原遺跡からは県内でも有数の縄文時代の敷石住居群が検出され、歴史研究に多大な成果を提供することができました。そして平成２年度、神林遺跡と下郷古墳群の調査を行い、ここに御報告する次第です。

３ケ年にわたる調査にあたりましては、長野県教育委員会、上小地方事務所、上田市農政部の関係各課の方々の御指導・御協力をいただき、ことに、殿城地区ほ場整備実行委員会や林之郷・漆戸・下郷各自治会の皆様には、調査が円滑に進捗するよう御尽力いただきました。さらに、調査にあたっていただいた諸先生方・作業員の皆様には、夏の猛暑から烏帽子岳の吹き下ろしの冷たい時期、現場で御苦労頂きました。ここに関係各位に衷心より感謝申し上げます。

１９９８年冬季長野オリンピックの開催決定と同時に、上信越自動車道や北陸新幹線の建設事業が着工に向け急ピッチで進捗し、それとともに各種の開発計画が目白押しの状態となり、埋蔵文化財の保護はいよいよ最大の難関を迎えようとしています。自動車道や新幹線が長野県、上田市にとっても『百年の計』の大事業であることは勿論ですが、遺跡が語る歴史の重みもまた感じつつ、皆様方の御理解・御協力を切にお願いし序といたします。

平成４年３月

上田市教育委員会教育長　内藤　尚

例　　言

1　本書は長野県上田市大字下郷字神林における平成２年度県営ほ場整備事業殿城地区に伴う、神林遺跡ほか発掘調査概要報告書である。

2　平成２年度は、上田市教育委員会が赤羽奈を調査団長として、神林遺跡ほか発掘調査団を組織し、平成３年度は、上田市教育委員会が塩入秀敏を調査団長として、上田市遺跡発掘調査団を組織し、調査を一部委託して実施した。なお、事務局は上田市教育委員会社会教育課が担当した。

3　調査は、１９９０年（平成２年）６月１日から１９９１年３月２５日まで、及び１９９１年５月１日から１９９２年３月２５日までの２ケ年度にわたって実施した。この間の調査は調査団の指導のもと、主に中沢徳士が担当した。なお、下郷第２号古墳の調査については、特に塩入秀敏が主に行い、出土人骨については信州大学医学部の西沢寿晃氏に玉稿をいただいた。

4　遺構の実測は塩入、倉沢正幸、中沢、荒井かぎ子が行い、一部を㈲写真測図研究所及び新日本航業㈱に委託して実施した。

5　遺物の実測・観察は荒井・小野沢恵美子・唐沢裕子・小林明子・大井敬子・市村みつ子が行い、中沢が確認・修正・加筆した後、トレースした。なお、一部小川忠博が撮影した写真をもとに実測をした。

6　文章の文責は文末に記した。

7　図版の版組は荒井が行った。

8　遺構の写真は倉沢・中沢・林正治・井部定夫が撮影し、遺物の写真は中沢が撮影した。

9　遺物の洗浄は現場作業員が、注記・接合・整理は整理作業員が行った。なお、石膏による復元は樋口眞知子が行った。

10　本調査にかかる資料は上田市立信濃国分寺資料館に保管してある。

11　本書の編集発行は事務局が行った。

12　本調査に当たり、次の皆さんに御協力・御助言をいただいた。記して感謝する次第である。
上田市文化財保護審議会、長野県教育委員会文化課、殿城地区ほ場整備実行委員会、下郷自治会、上田市農協そ菜センター、上田市立清明小学校、小川忠博、信州大学医学部西沢寿晃
（順不同・敬称略）

13　平成２年度調査に係る「神林遺跡ほか発掘調査団」の組織は次のとおりである。

顧　問	五十嵐幹雄（日本考古学協会員、上田市文化財保護審議会委員）
〃	岩佐今朝人（日本考古学協会員、上田小県誌考古編編纂副主任）
団　長	赤　羽　奈（平成２年10月10日まで上田市教育委員会教育長）
副団長	小 林 陽 三（上田市教育委員会教育次長）
調査員	塩 入 秀 敏（日本考古学協会員、上田女子短期大学助教授）
〃	猪 熊 啓 司（上小考古学研究会員、長野県長野高等学校教諭）

〃　　川　上　元（日本考古学協会員、社会教育課課長補佐兼文化係長）
〃　　倉 沢 正 幸（長野県考古学会員、上田市立信濃国分寺資料館学芸員）
担当者　中 沢 徳 士（社会教育課学芸員）
調査員　塩 崎 幸 夫（社会教育課主事）
〃　　久保田敦子（社会教育課主事）

14　平成３年度調査に係る「上田市遺跡発掘調査団」の組織は次のとおりである。
顧　問　五十嵐、岩佐（いずれも前出）
団　長　塩 入 秀 敏（日本考古学協会員、上田女子短期大学助教授）
副団長　川　上　元（日本考古学協会員、上田市立博物館長）
調査員　猪熊、倉沢、中沢、尾見智志（平成３年４月１日より社会教育課主事）、塩崎、久保田
監　事　久 保 浩 美（上田市文化財保護審議会委員、元文化課文化財保護係長）、岩佐

15　本調査に係る事務局の体制は次のとおりである。
事務局長　須 藤 清 彬（社会教育課長）
同 次 長　川　上　元（社会教育課文化係長、平成３年３月25日まで）
　　寺 島 隆 史（社会教育課文化係長、平成３年４月１日から）
事務局員　中沢、塩崎、久保田、小林香保利（平成３年３月25日まで）、尾見智志（平成３年４月１日から）（社会教育課文化係）

16　現場作業に参加・協力していただいた方々（順不同、敬称略）
柳沢仁美、井部定雄、林正治、岩下真、柴崎仁志、三井千代子、小林ひさ江、久保寺純子、柴崎和美、荒井かぎ子、逢坂いさむ、小菅洋子、小林てい、清水閲二、宮之上よし子、渡辺袈裟俊、飯塚謙三、佐野とも、佐野もと江、酒井あい子、小林佐代子、小林増右衛門、成沢伯、竹内三郎、西沢勝、小山康直、関茂樹、清水芳敏、宮入義一

17　整理作業に参加・協力していただいた方々（順不同、敬称略）
荒井かぎ子、小野沢恵美子、唐沢裕子、小林明子、大井敬子、市村みつ子、樋口眞知子、樋口若子、田中弥重子、清水閲二、小林由美子、窪田幸子

18　今回の調査により、多くの遺構・遺物が検出された。遺構の完掘状況はすべて掲載したが、出土状況等は除いた。また遺物は、遺構に伴う代表的なものを中心に選択して報告した。

凡　　例

遺　構

1　遺構の略号は、神林遺跡＝ＫＮＢ、下郷古墳＝ＳＭＧ－、竪穴住居址＝ＳＢ－、掘立柱建物址＝ＳＴ－、土壙＝ＳＫ－、ピット＝Ｐ－、溝址＝ＳＤ－、竪穴住居址のピット＝Ｐとし、続く番号は任意で、欠番も生じている。

2　遺構の版組は、国家座標の北を基準に行ったが、紙面の都合により例外もある。

3　遺構実測図は、原則として原図１／２０・１／１０とし、縮尺１／４としたが、紙面の都合により例外もある。

4　遺構が攪乱や切り合いによって破壊を受けている場合は、破線で示した。

5　遺構の主軸方位は、国家座標の北とのなす角度で示し、竈を伴う住居址については、竈を通る中軸線とのなす角度で示した。

6　遺構を示す規模の単位は、原則としてｍで、その他の場合は単位を示した。

7　焼土は網点のスクリーントーンで示した。

8　遺構写真の縮尺は任意であり、写真の横には、遺構番号と撮影の方向を（　）内に東・西・南・北をそれぞれＥ・Ｗ・Ｓ・Ｎと示した。

遺　物

1　遺物実測図は、原則として原図１／１、縮尺１／４としたが、例外もある。

2　土器の実測方法は４分割法を用い、右１／２に断面及び内面を、左１／２に外面を記録した。

3　黒色処理のある遺物は網点のスクリーントーンで示した。

4　箆削りの方向は矢印で示した。

5　遺物観察表の、法量は㎝で、３段構成の上から口径（蓋の場合は抓み径）、器高（完存していない場合は残高）、底径（蓋の場合は裾径）を記し、残存していない場合は「－」とした。器質の「胎」は胎土を、「焼」は焼成を、「色」は色調を表す。また、（外）（内）はそれぞれ外面・内面を示す。

　なお、色調は遺物の基本的な色を、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帖』１９９１年を用いて判別した。

6　遺物写真の縮尺は任意であり、横に記してあるのは、遺構番号と、遺物図版番号である。

目　　次

序

例言

凡例

目次

第一章　序説 …… 1
　第１節　調査の原因と経過 …… 1
　　1　調査に至る経過 …… 1
　　2　調査の経過 …… 2
　第２節　調査の方法 …… 3
　第３節　調査日誌 …… 3

第二章　遺跡の環境 …… 4
　第１節　自然的環境 …… 4
　第２節　歴史的環境 …… 7
　第３節　基本的層序 …… 8
　……

第三章　神林遺跡の調査 …… 9
　第１節　遺構 …… 9
　　1　竪穴住居址 …… 10
　　2　土壙 …… 24
　　3　ピット …… 30
　　4　溝址 …… 36
　　5　遺構一覧表 …… 37
　第２節　遺物 …… 43
　　1　竪穴住居址出土遺物 …… 43
　　2　土壙出土遺物 …… 61
　　3　ピット出土遺物 …… 68
　　4　溝址出土遺物 …… 69
　　5　遺物観察表 …… 74

第四章　下郷古墳群の調査 …… 112
　第１節　遺構 …… 112
　　1　第１号古墳 …… 112
　　2　第３号古墳 …… 113
　　3　第２号古墳 …… 114
　第２節　遺物 …… 120
　　1　第１号古墳出土遺物 …… 120
　　2　第２号古墳出土遺物 …… 120
　　3　第３号古墳出土遺物 …… 127
　　4　第５号古墳出土遺物 …… 127
　　5　遺物観察表 …… 129

写真図版 …… 137

付編　下郷第２号墳出土人骨について …… 173

第 1 図　圃場整備計画図及び調査範囲

第一章　序

第１節　調査の原因と経過

１　調査に至る経過

昭和62年６月23日付け農村発第80号で、上田市農政部農村整備課から「県営ほ場整備事業殿城地区における埋蔵文化財発掘調査について（協議）」として、上田市殿城地区のほ場整備事業を昭和63年度からの事業として計画している旨の協議があり、昭和63年度及び平成元年度の当該事業に係る埋蔵文化財発掘調査については、上田市教育委員会・上小地方事務所発行の『林之郷』（昭和63年度）及び『林之郷・八千原』（平成２年度）に報告したとおりである。

平成２年度のほ場整備施工区に係る埋蔵文化財については、下郷集落から北へ上田市と真田町との境界に至る神川第２段丘をほ場整備するというもので、その施工区域内には周知の埋蔵文化財包蔵地である神林遺跡と下郷古墳群が存在していた。このため、平成元年秋、長野県教育委員会（以下「県教委」という）、上小地方事務所、上田市、上田市教育委員会（以下「市教委」という）の担当課・担当職員の出席により遺跡の保護協議を実施した。この席上、市教委は、遺跡の範囲確認のための試掘を早急に実施するよう、県教委より指導を受け、その結果によって再度協議を実施することとした。市教委ではこの後、試掘調査を実施し、この結果とほ場整備の設計図面との照会を行い、平成２年６月12日再度協議を実施し、下記の計画で調査を実施することとした。

発掘調査計画書

発掘調査地	上田市大字下郷字神林
遺跡名	神林遺跡・下郷古墳群
遺跡の状況	地目（水田・畑）破壊状況（一部破壊）
調査の目的及び概要	開発事業県営ほ場整備事業殿城地区に先立ち 4,000㎡以上を発掘調査して記録保存をはかる。 遺跡における発掘作業は平成２年10月31日までに終了する。 調査報告書は平成３年３月31日までに刊行するものとする。
調査の作業日数	発掘作業 122日、整理作業 122日、合計 244日
調査に要する費用	19,808,000円
調査報告書作製部数	平成３年度
発掘調査の主体者	上田市教育委員会
経費の負担割合	農政部局側負担額（原因者）14,955,000円（75.5%） 文化財保護部局側負担額（農家負担分）4,853,000円（24.5%）
備考	調査の結果、重要な遺構等が検出された時は、その保存について改めて協議するよう配慮する。

一方、平成２年６月１日には、この調査に際し市教委が新たに組織した『神林遺跡ほか発掘調査団』の赤羽奈調査団長と上田市との委託契約が成立し、同日調査準備に着手した。

2　調査の経過

（1）平成２年度の経過

本調査に係る平成２年度の契約、補助金の申請事務等は次に示すとおりである。

国庫補助金関係	県費補助金関係	上小地方事務所	発掘調査団
平成 2年 4月 4日 庁保伝第 7号 補助金の内示	平成 2年 4月 4日 ２教文第 2号 補助金の内示	平成 2年 5月10日 委託契約締結	平成 2年 6月 1日 委託契約締結
平成 2年 4月 5日付 上教社発第 118-1号 補助金交付申請	平成 2年 8月10日付 上教社発第 173号 補助金交付申請	平成 2年 6月 4日 変更委託契約締結 （計画変更による）	
平成 2年 7月24日付 委保第71号 補助金交付決定	平成 2年10月12日付 長野県教育委員会教育 長指令２教文第 2-6号 補助金交付決定		
平成 2年10月 1日付 上教社発第 232号 計画変更承認申請	平成 2年10月 1日付 上教社発第 232号 計画変更承認申請		
平成 3年 2月26日付 委保第71号 補助金変更交付決定	平成 3年 3月15日付 長野県教育委員会教育 長指令２教文第 2-6号 補助金変更交付決定		
平成 3年3 月30日付 上教社発第84-1号 補助事業実績報告	平成 3年 3月30日付 上教社発第84-1号 補助事業実績報告	平成 3年 3月30日 上教社発第84-1号 事業実績報告	平成 3年 3月30日 事業実績報告
平成 3年4 月10日付 長野県教育委員会達 ２教文第1-11号 補助金確定	平成 3年 3月31日付 長野県教育委員会教育 長達２教文第 2-6号 補助金確定		
平成 3年 4月11日付 上教社発第84-1号 補助金交付請求	平成 3年 4月 2日付 上教社発第72-2号 補助金交付請求	平成 3年 3月30日 上教社発第84-2号 委託金交付請求	

（2）平成３年度の経過

平成２年９月７日、平成３年度の遺物整理・報告書刊行に係る遺跡の保護協議を県教委・上小地方事務所・上田市・市教委の担当者により開催し、整理作業 160日、事業費 6,000,000円（農政部局側負担額 4,530,000円＝75.5%、文化財保護部局側負担額 1,470,000円＝24.5%）で、平成３年３月31日までに調査報告書を 300部刊行することとした。

平成３年度調査に係る契約、補助金の申請事務等は次に示すとおりである。

国庫補助金関係	県費補助金関係	上小地方事務所	発掘調査団
平成 3年 9月30日 庁保伝第 7号 補助金の内示	平成 3年11月 1日 ３教文第 2号 補助金の内示	平成 3年 5月 1日 委託契約締結	平成 3年 5月 1日 委託契約締結
平成 3年10月11日付 上教社発第 145号 補助金交付申請	平成 3年11月20日付 上教社発第 274号 補助金交付申請		
平成 2年 7月24日付 委保第71号 補助金交付決定	平成 2年10月12日付 長野県教育委員会教育 長指令２教文第 2-6号 補助金交付決定		

平成４年３月２５日、本報告書を刊行してすべての調査を終了した。なお、平成３年度の事業実績報告・補助金の確定については、本報告書刊行後のため、割愛する。

第２節　調　査　の　方　法

遺跡名は長野県教育委員会作成の遺跡台帳に記載されている名称『神林遺跡』『下郷古墳群』とした。また、記録の便宜を図るため、遺跡記号としてＫＡ－Ｎ－ＢＡＹＡＳＨＩのＫＮＢ、ＳＨＩ－ＭＯ－ＧＯＨのＳＭＧを組み合わせて与えた。各種の記録や遺物の注記等はこの記号を用いている。また、古墳は地表で確認できたものを西から順次番号を、１から５まで与えた。

遺跡の調査地区の設定については、予め試掘ピットを掘り、おおよその範囲は把握してしたものの、ピットの密度が極めて粗かったため、本発掘に際しては改めてトレンチ調査を行い、遺跡の性格と土層の把握をし、併せて面的調査の範囲＝調査区の設定を行った。

面的調査については、表土、耕作土の排除はすべてバックホーを用い、その後の作業は人手によった。なお、面的調査に際しては、グリッドを設定し、遺物の取り上げ、遺構測量に利用した。このグリッド杭の設定については、国家座標のメッシュに従い、遺跡周辺の三角点の座標値から調査区南側に引っ張り、この点を基準点として３×３ｍのグリッドを設定した。

なお、最終的の遺構全体測量、石組遺構等については専門業者に委託して実測を行い、現場作業の迅速化を図っている。

第３節　調　査　日　誌（抄）

平成２年

6/ 4 バックホーによる範囲確認の試掘調査、発掘器材搬入、テント設営

6/ 7 範囲確定の試掘調査終了、バックホーによる表土剥

6/11 表土剥～遺構検出作業

6/15 降雨のため午前で作業中止

6/19 専門業者による基準点測量

6/22 調査区域の桑の伐採

6/27 グリッド杭打ち開始

6/29 桑の抜根をバックホーで行う。

6/30 遺構掘り上げ開始

7/ 2 出土遺物の整理を埋蔵文化財整理室にて開始。

7/ 4 テント移動、SMG-3の周囲にトレンチをいれる。降雨のため午後３時作業終了。

7/10 古墳の掘り方や構造について研修。作業班の編成

7/12 専門業者によるSMG-1~3の現況測量

7/18 SMG-3の側壁が倒れる恐れがあるため、バックホーにより取り除く。グリッド杭打ち

7/21 上田市立第五中学校２年５組の生徒・ＰＴＡ見学に来訪

8/ 2 信濃国分寺資料館考古学教室来訪

8/ 7 SMG-2に積み上げられた石を除去

8/10
～　お盆休み
8/16

8/20 社会教育課事務局及び土木課大塚主査来訪、古墳の移築について検討。
8/22 SMG-2排土のウォーターセパレーション開始。玉類が出土
8/23 SK-18より耳皿出土
8/28 SMG-1の周辺発掘のため、ブルドーザーにより積み上げられた排土を移動。
9/ 4 専門業者によるSMG-2のステレオカメラ測量
9/13 信州大学西沢寿晃氏SMG-2出土の人骨分析のため、来訪。
9/18 上田市文化財保護審議会委員4名視察
9/26 小泉の高田遺跡発掘作業員、応援に参加。
10/ 9 上田市土木課工事係、SMG-1及びSMG-2の側壁倒壊防止のため、材木により補強する。
10/12 調査区内の清掃
10/16 専門業者による空測（バルーン）
11/ 2 発掘器材の撤収、現地調査終了
11/ 3 発掘器材の整理、整備

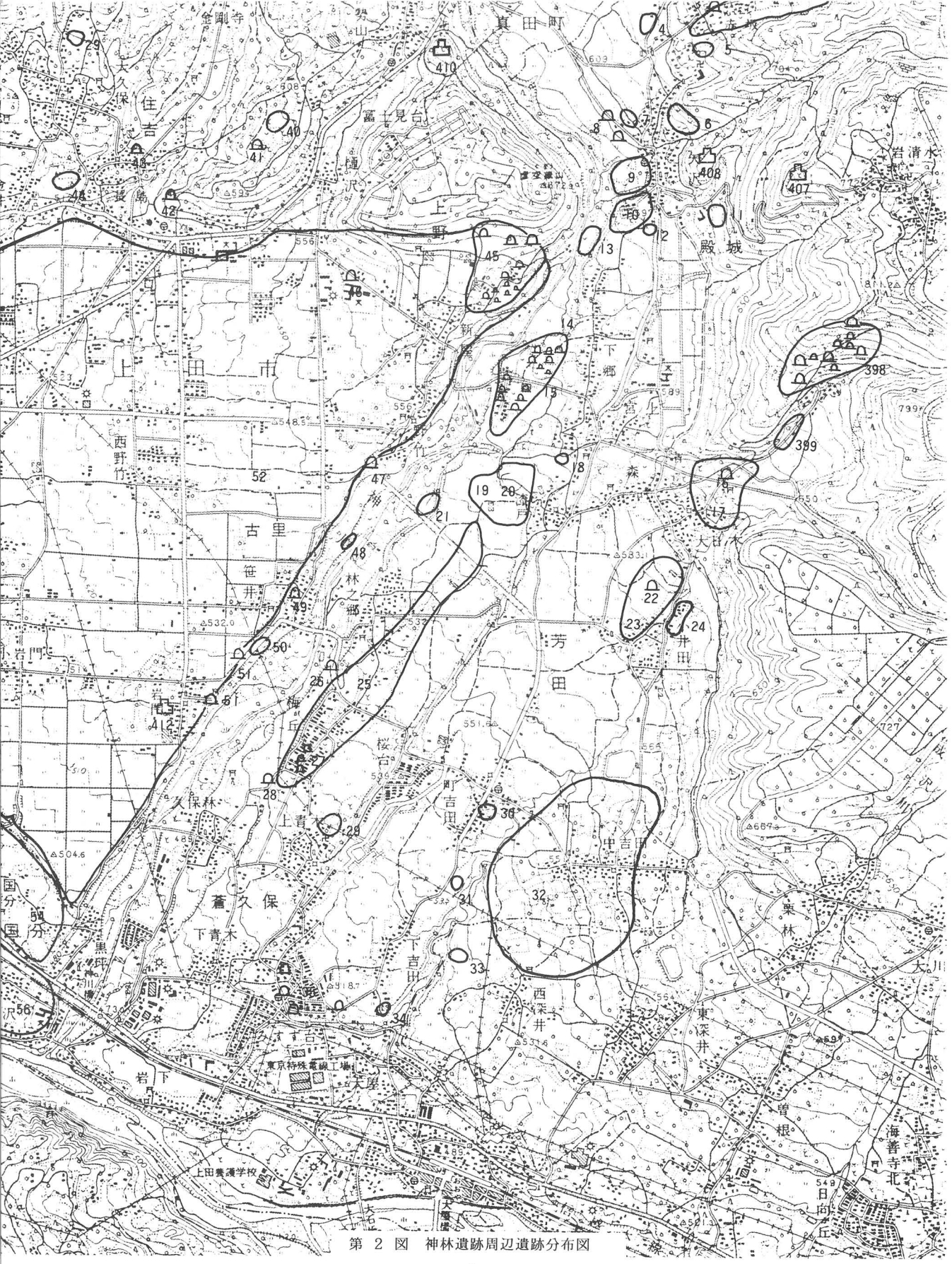
この後、上田市立清明小学校内埋蔵文化財整理室において平成3年度まで整理・報告書作成作業を実施し、平成4年3月25日、調査報告書を刊行してすべての調査を終了した。

第二章　遺跡の環境

第1節　自然的環境

神林遺跡及び下郷古墳群の位置する地域は、地形的に見ると大きくは千曲川右岸に展開する上田盆地の東側にあたる。ここは特に上田盆地の北東部にそびえる四阿山(2,332m)に源をもつ神川によって形成された一大扇状地形を呈した地域である。神川左岸の神川扇状地では、第1段丘面・第2段丘・第3段丘面及び赤坂集落の谷口扇状地などから構成されている。第1段丘面では標高約580mの大日ノ木集落付近を頂点として半径4kmの規模で南に広がり、その先端部は500mの等高線をもって段丘崖として終わっている。またこの押出しが第2段丘にも及び、新しい扇状地をつくっている。現在の神川は回春して下刻し、この面よりかなり低いところを流れているが、長い年月のうちに流路が次第に西に偏したため、このように南北方向に見事な三段の段丘を形成しているといえるのである。

第1段丘面は現河床面より約20～30mの比高をもち、森・大日ノ木・小井田・町吉田などの各集落が立地する広い面で、通称吉田面と呼ばれている。この面の地質は神川の運んだ厚い砂礫層からなり、地表面は1～2mほどの厚さを持つローム層に覆われている。古くから周辺の神明川や瀬沢川から、この面に水を取り入れたり、また吉田堰（童女堰）の開削などによる開拓が行われたため、現在立派な水田地帯となっている。しかし、昭和62年度この面の大字芳田字訳口上に所在する訳口上遺跡の発掘調査を実施した地域では、水便の悪さのため、下流の水田地帯へ田用水を公平に配分する用水堰の分配施設としての『訳口』が字名になったと見られ、水に苦心をし



第 2 図　神林遺跡周辺遺跡分布図

番号	遺跡名	時代	備考	番号	遺跡名	時代	備考
2	石矢遺跡	縄弥平		30	荒神田遺跡	平	
3	赤坂将軍塚古墳	古	市指定史跡	31	訳口上遺跡	奈〜平	1987年度調査
4	托田遺跡	縄・平		32	中吉田遺跡	縄弥平	
5	北屋敷遺跡	縄・平		33	今井遺跡	平	
6	城山遺跡	縄		34	いなご坂遺跡	縄	
7	上組遺跡	平		35	吉田原古墳群	古	
8	矢沢古墳	古		39	中道遺跡	縄・弥	
9	宿組遺跡	平		40	上野東遺跡	縄	
10	平沢遺跡	平		41	陣馬塚古墳	古	
11	下左口遺跡	縄		42	玄馬塚古墳	古	
12	下樋口遺跡	平		43	熱泰寺古墳	古	
13	石坪遺跡	弥		44	熱泰寺遺跡	縄	
14	**神林遺跡**	縄弥平		45	七ツ塚古墳群	古	市指定史跡
15	**下郷古墳群**	古		46	塚田塚古墳	古	
16	大日の木古墳	古		47	野竹塚古墳	古	
17	大日の木遺跡	縄弥平		48	篠井久保遺跡	弥・平	
18	北の平遺跡	平		49	笹井塚古墳	古	
19、20	八千原・堂下遺跡	縄〜平		50	掛の宮遺跡	縄・古	
21	太田遺跡	平		51	掛の宮古墳	古	
22	柴崎古墳	古		52	染屋台条里水田遺跡	弥〜平	'84,'85 調査
23	井戸田遺跡	縄弥平		54	国分遺跡群	弥〜平	
24	尾無遺跡	縄・平		56	国分周辺遺跡群	縄〜平	
25	林之郷遺跡	縄〜平	'88、'89 調査	398	氷沢古墳群	古	
26	日ノ井古墳	古		399	氷沢遺跡	縄・平	
27	高寺古墳群	古		407	矢沢氏支城跡	近	
28	生地場古墳	古		410	伊勢崎城跡	近	
29	中村Ⅱ遺跡	縄		412	岩門城跡	近	

第1表　神林遺跡周辺遺跡一覧表

たかつての歴史を見た。近年この面の段丘崖に沿って、桜台・みすず台などの住宅団地もでき、また浅間山麓広域農道などの開通に伴って、様相が一変しつつある。

第２段丘面は今回調査した神林遺跡や下郷古墳群、昭和６３年度及び平成元年度に発掘調査を実施した林之郷遺跡及び八千原遺跡の位置する面で、第１段丘より約10～12m低く形成されている。この面も比較的広く林之郷や上青木など五つの集落があり、林之郷面と呼ばれている。地質も第１段丘面と比べて、あまりローム質の強くない土層で比較的通水性もよく、またいくつかの用水堰に恵まれているため、現在同様に広い水田地帯になっている。この面もまた宅地化の波が押し寄せてきていることもいなめない。林之郷集落周辺では、住宅のある部分がやや高い微高地となっており、集落東側即ち第１段丘崖下で低くなる。いわゆる後背湿地の様相を呈していることがわかる。遺跡の主体部は、したがってこの若干高い部分の集落の中で、さらに一帯に広がっていることが分布調査で確認されている。また、第３段丘面は全体的には神川氾濫原としての比較的狭い平坦面としてとらえられている。この段丘面に包括されている久保林集落のあるところは、２～３m高い微段丘を形成して安全な平坦地となっている。この面は久保林面と呼ばれているところであるが、やはり近年宅地化が急速に進化しており、かつての景観が変貌している。

一方、神川右岸の染屋面では25m内外の急崖となっており、僅かにベンチ状に第２・第３段丘が形成されているだけである。これは前述の通り、神川の流路が下刻と同時に漸次西偏したため、東側の左岸では見事な段丘となるのに対して、右岸では浸蝕され段丘が形成されにくいといえる。

第２節　歴　史　的　環　境

上田市域の東側にあたる一帯の歴史的環境を見てみると、とくに考古学的遺跡で烏帽子岳西南麓に分布する遺跡として把握され、各段丘からは縄文期から奈良・平安時代に属す、いくつかの遺物・遺構が確認されている。

今回調査を実施した第２段丘面の考古遺跡から概観すると、まず一連の林之郷遺跡群及び、この遺跡群の北側には、漆戸地籍の八千原・堂下・北の平などの遺跡があり、南側では蒼久保地籍の中村Ⅱ遺跡が、西側には太田・法楽寺遺跡が分布調査等によって確認されている。このうち、林之郷遺跡群の茅御堂遺跡及び太田遺跡は、昭和49年広域農道開削に伴う事前の発掘調査が行われ、太田遺跡からは古墳時代鬼高期の住居址４軒、同期の高床状遺構、また平安時代国分期の住居址４軒とこれらに伴う豊富な遺物を検出した。また茅御堂遺跡からも古墳時代五領期・和泉期・鬼高期の各住居址及び集石遺構・竪穴遺構とそれぞれに伴う遺物が検出され、この地域の様相がかなり明かにされたのである。

昭和63年度の林之郷遺跡群の林之郷地区分の調査では、奈良時代から平安時代にかけての集落址を検出し、続く平成元年度の同遺跡の茅御堂地区分では弥生時代終末から古墳時代にかけての集落址が良好な状態で検出されている。また、同年の八千原遺跡の調査では、縄文時代中期から後期にかけての敷石住居址を中心とした大集落が検出され、上田市においては最大規模の縄文の遺跡の調査成果を上げた。

古墳は遺跡群の中の南側、蒼久保字中村に高寺古墳１・２・３・号墳が、およそ30m前後の間隔で南北に並んでいる。いずれもほとんど破壊された古墳で、正確な規模は不明であるが、３号

墳の残存状態等から直径約５ｍ・高さ約１ｍほどの比較的小規模な終末期古墳と見られる。同様な規模の生地場古墳が高寺古墳の僅か西南部の墓地内にある。また、林之郷字塚田の段丘端部にも日ノ井古墳がある。この古墳も墓地内にあり、墳丘が破壊され石室が露出しているが、直径約９ｍほどの円墳とみられる。なお、対岸の第２段丘面にあたる笹井地籍にも、笹井塚古墳・掛ノ宮塚古墳また第１段丘面の社宮寺古墳等の小規模な終末期古墳があり注意される。このうち特に笹井塚古墳からは、かつて直刀２本と刀子などが発見されている。

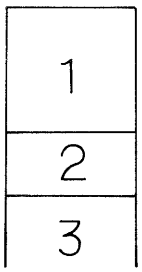
第１段丘面では、小井田集落を中心として縄文中期加曽利Ｅ式土器・石鏃・打製石斧・凹石・砥石、弥生後期箱清水式土器及土師器・須恵器など豊富な遺物を出土する井戸田遺跡、縄文中期土器・土師器などを出土する尾無遺跡、平安期と見られる土師器を出土する戒田遺跡などがある。また中吉田集落一帯に広がる中吉田遺跡群は、この面における最も豊富な資料を提供している遺跡として知られる。この遺跡群の中心は次郎淵と無量寺の両遺跡で、前者からは縄文中期勝坂式土器片、弥生後期箱清水式土器片、土師器・須恵器などが採集され、さらに子持勾玉も検出されており、注意される遺跡である。後者からは縄文中期加曽利Ｅ式土器、弥生後期土器、土師器・須恵器が採集されている。ここからは加曽利Ｅ期に比定される台付有孔鍔付土器も発見されており、本遺跡も特に注意されている。

さらにこの遺跡群の西側に、いずれも後半期の土師器・須恵器を出土する荒神田遺跡、訳口上遺跡、今井遺跡が確認されている。このうち、昭和62年調査を実施した訳口上遺跡からは、奈良時代前半と見られる竈を伴う住居址や溝址・土壙・ピットなどの遺構が検出された。また、この段丘面の古墳分布を見ると、南側段丘崖のみすず台団地のほぼ中央にある下青木吉田原古墳が現存するのみである。この古墳の墳丘は東西15ｍ、南北13ｍ、高さ4ｍの円墳で、石室内部は玄室と羨道の区分が明確ないわゆる両袖式で、石室の総長6.6ｍを計る横穴式石室を持っており、市指定史跡となっている。このほか周辺には、旗鉾塚古墳・寺沢古墳・尾無古墳など、古墳時代後期に属す、いくつかの古墳がかつて存在したが、団地の造成等で破壊されてしまった。このうち、尾無古墳からは直刀・鉄鏃などが出土したという記録がある。

このように、神川扇状地周辺にはいくつかの良好な遺跡が存在していることが知られ、今回調査した神林遺跡及び下郷古墳群もまた、大いなる期待の内に調査が開始されたのである。

第３節　基本的層序

神林遺跡の基本的な土層は第３図に示したとおりである。



1　耕作土
2　褐色土
3　黒褐色土
（遺構確認面）

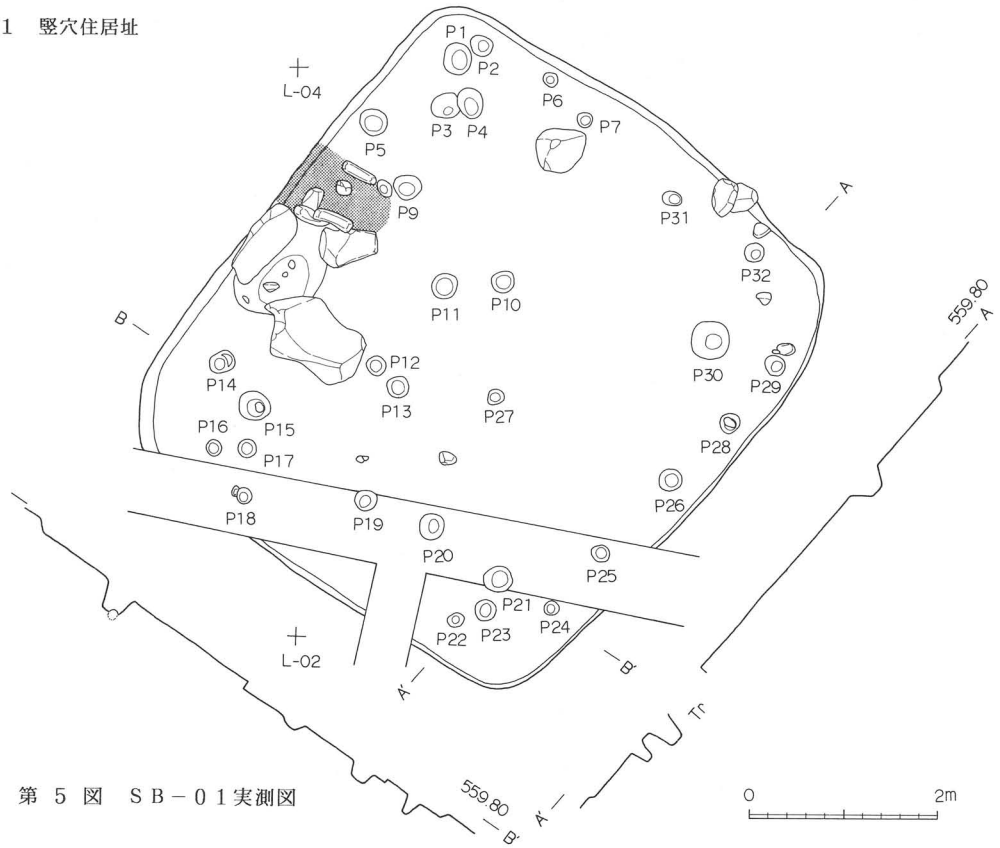
第３図　神林遺跡土層柱図

第三章　神林遺跡の調査

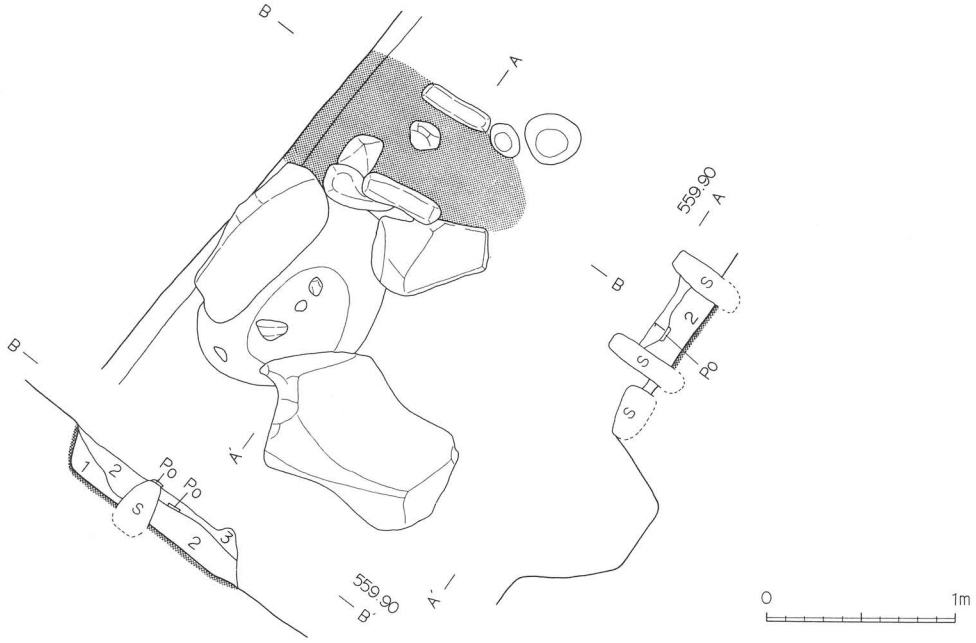
第1節　遺　　構

第 4 図　神林遺跡遺構配置図

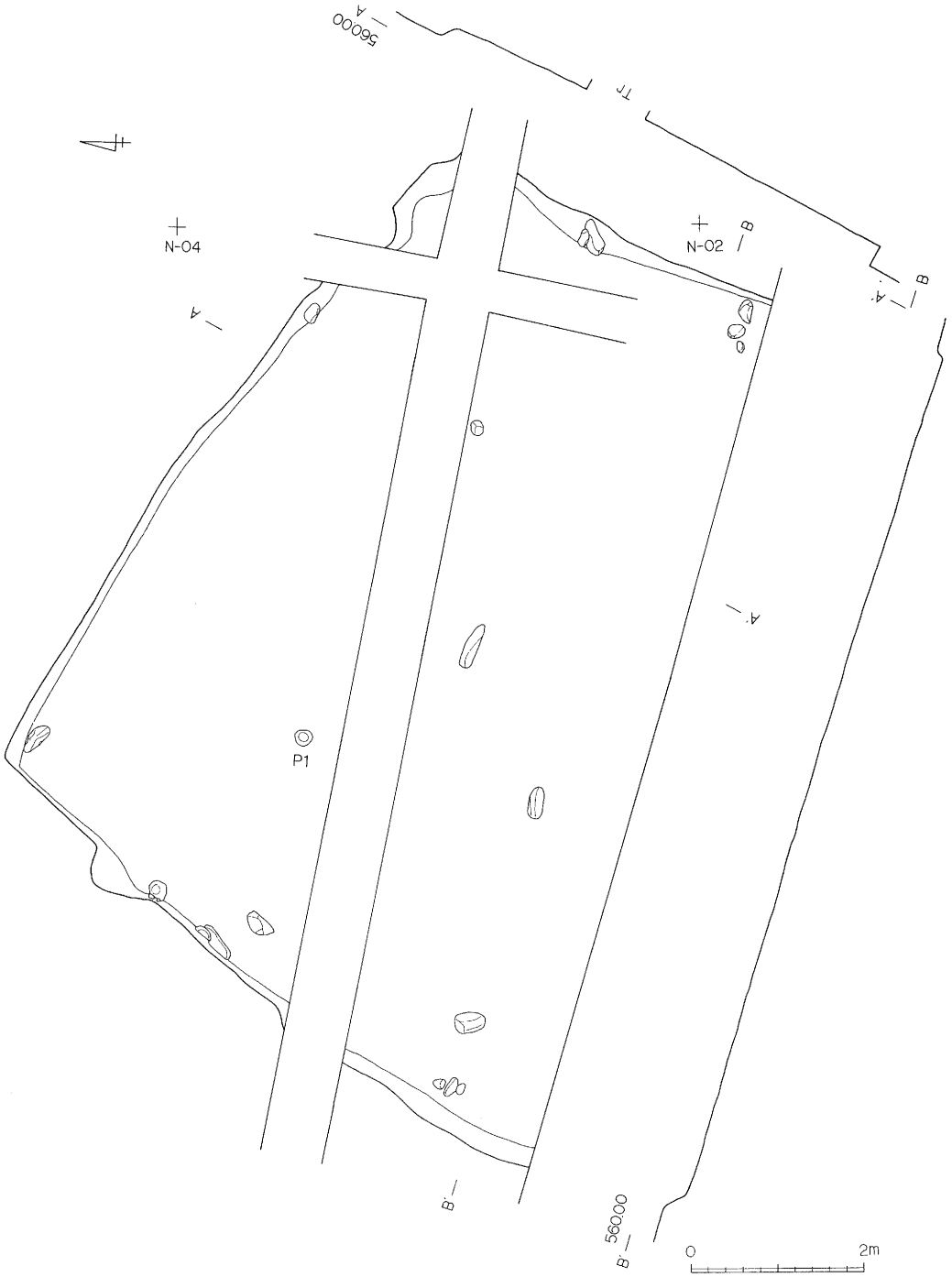
1　竪穴住居址



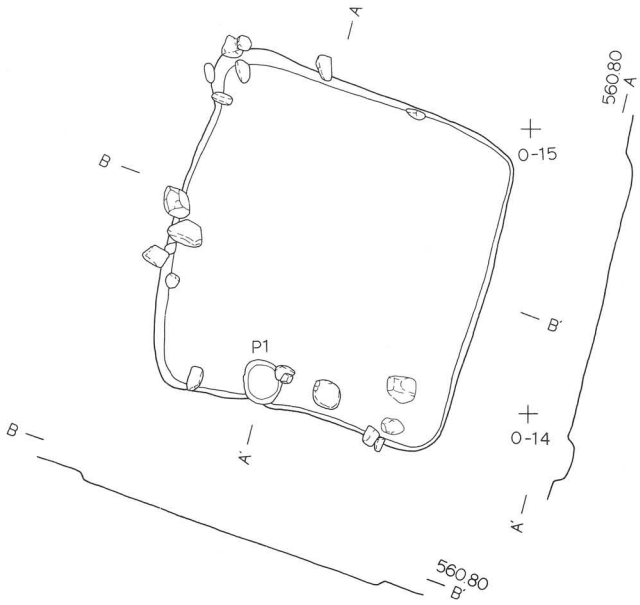
第 5 図　ＳＢ－０１実測図



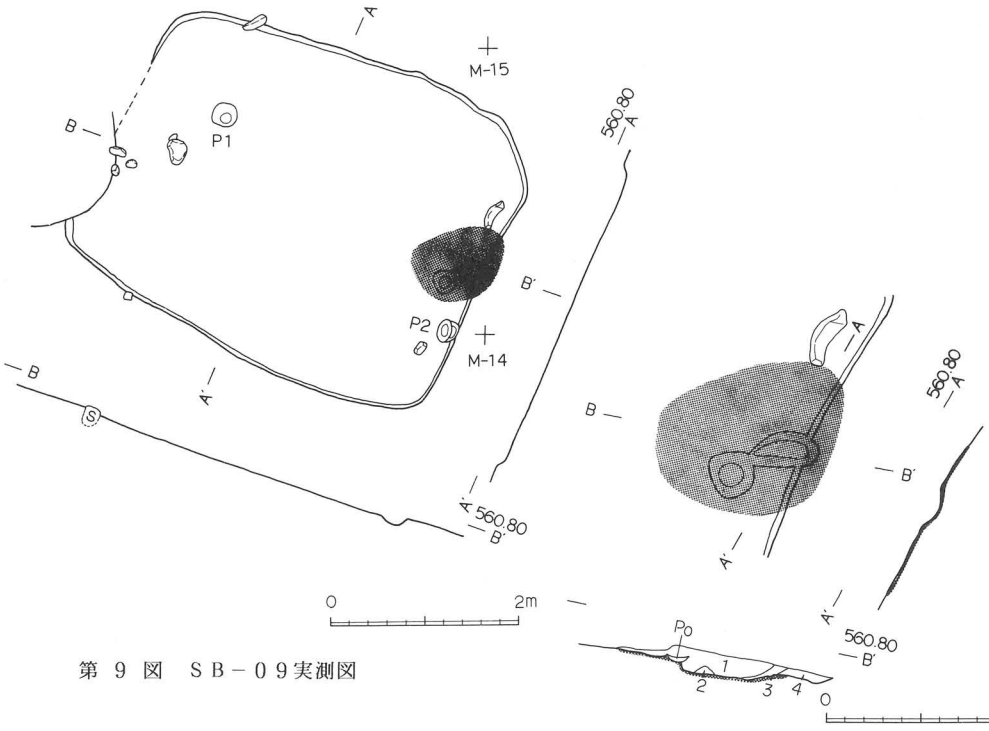
第 6 図　ＳＢ－０１竈実測図



第 7 図　ＳＢ－０３実測図

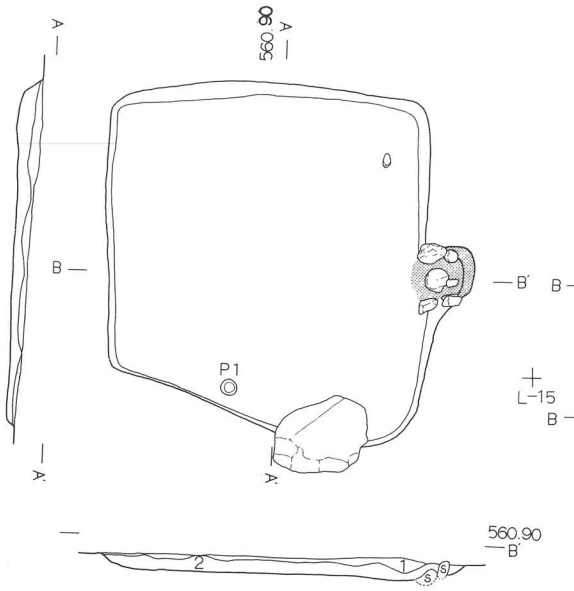


第 8 図　ＳＢ－０８実測図

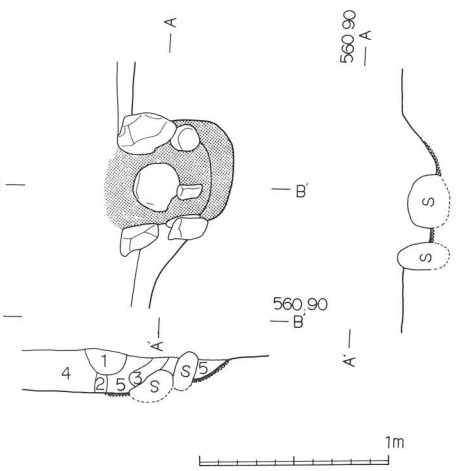


第 9 図　ＳＢ－０９実測図

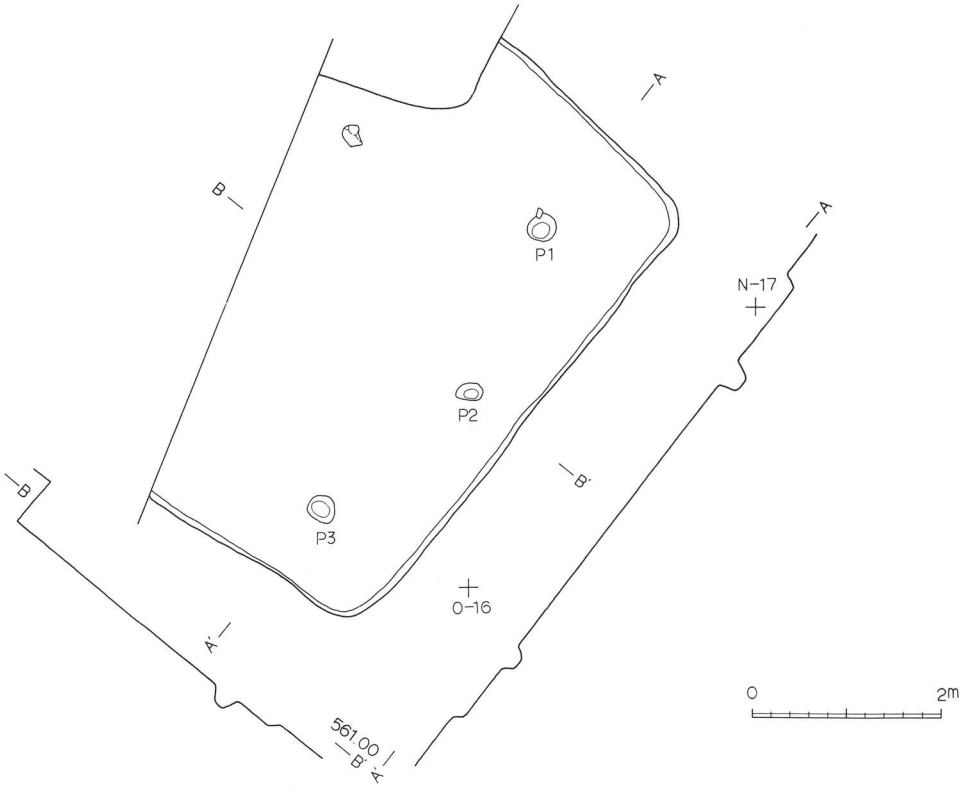
第１０図　ＳＢ－０９竈実測図



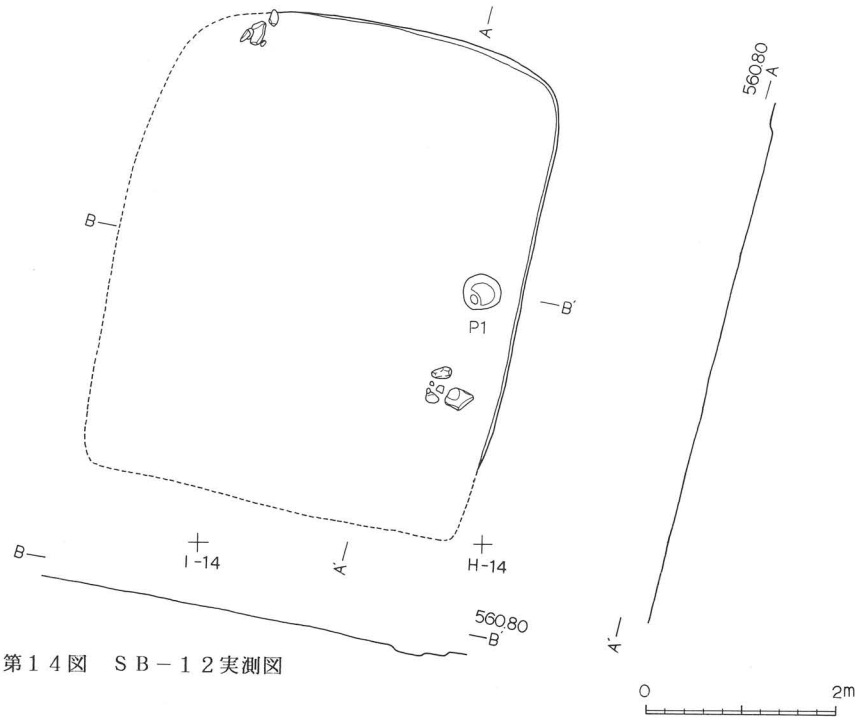
第１１図　ＳＢ－１０実測図



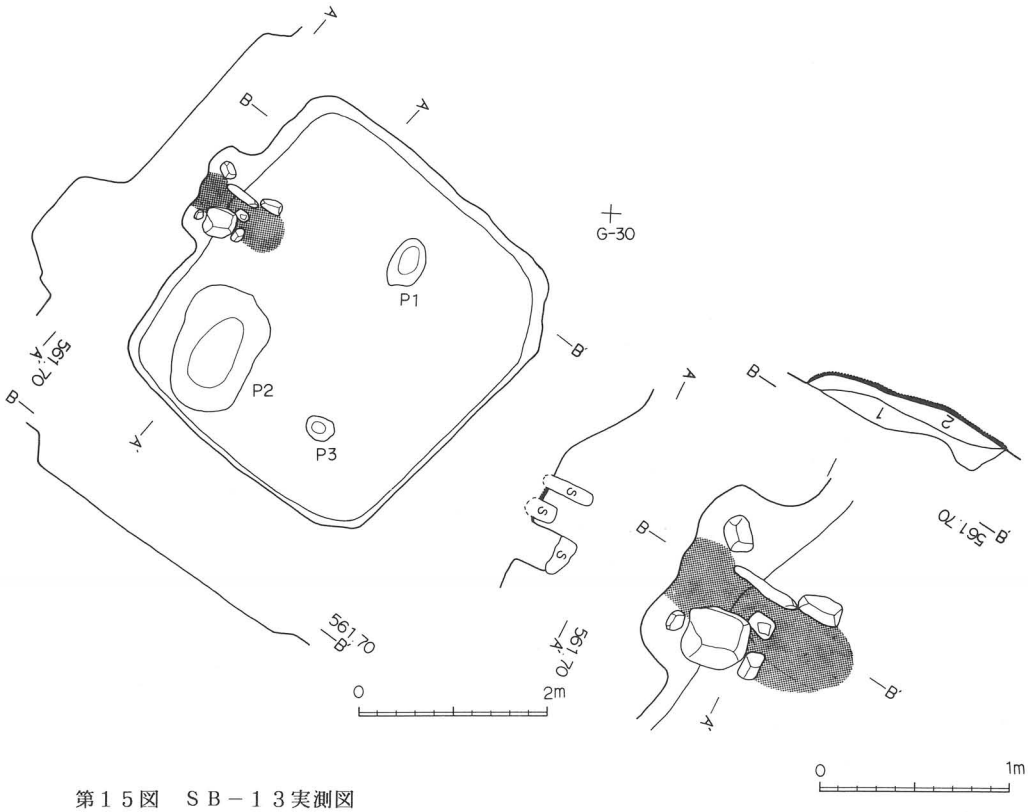
第１２図　ＳＢ－１０竈実測図



第１３図　ＳＢ－１１実測図

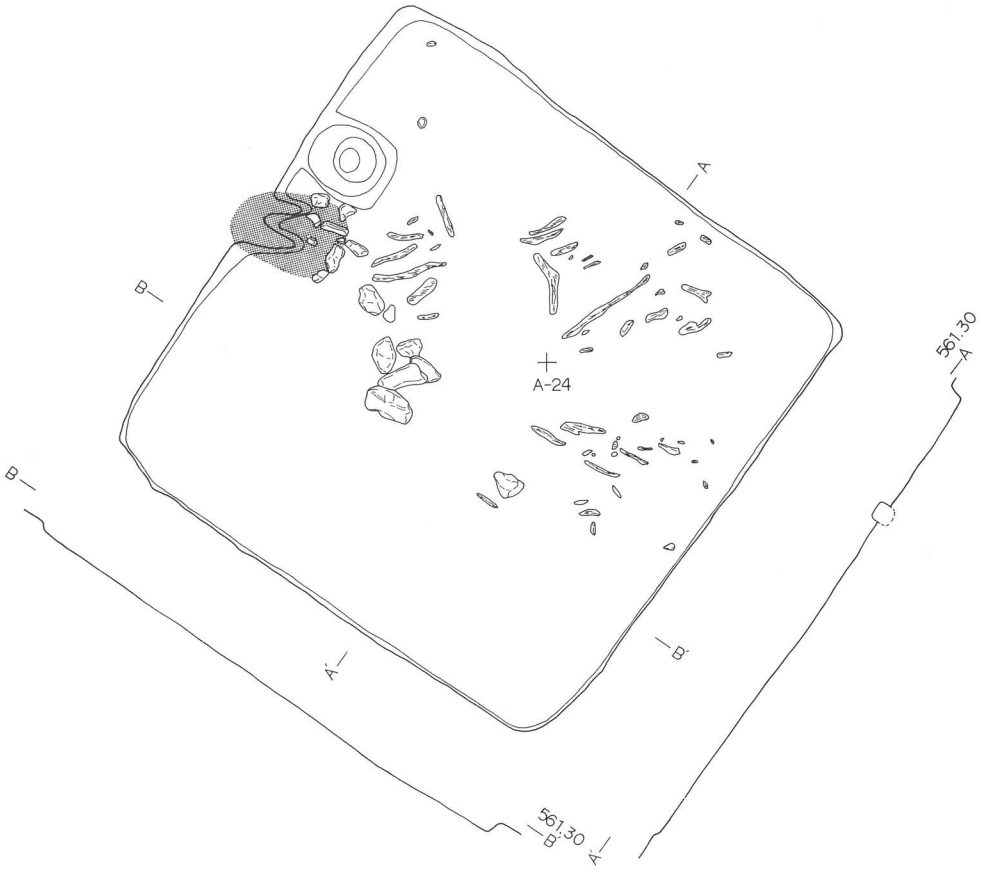


第１４図　ＳＢ－１２実測図



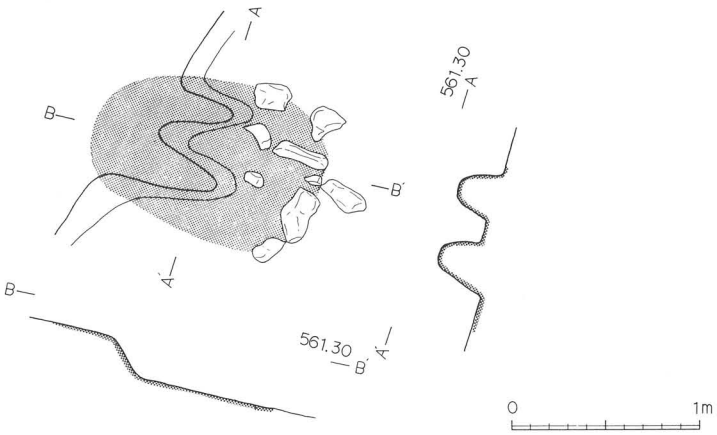
第１５図　ＳＢ－１３実測図

第１６図　ＳＢ－１３竈実測図



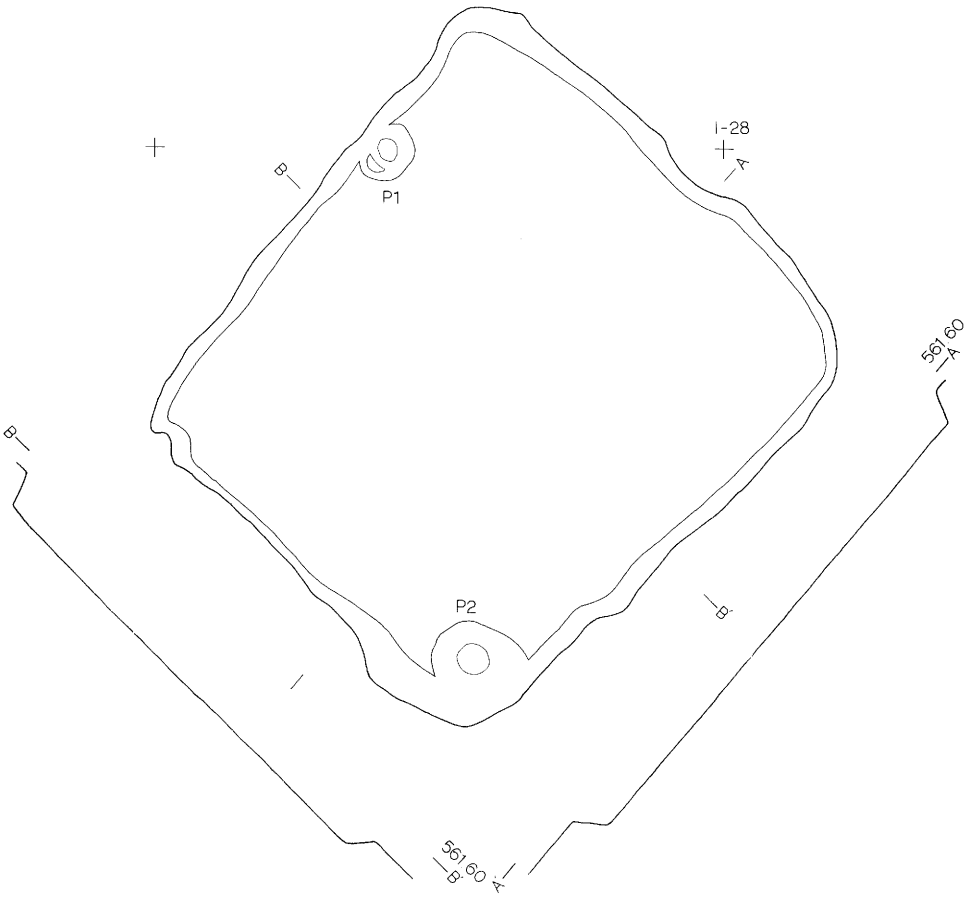
第１７図　ＳＢ－１４実測図

0　2m

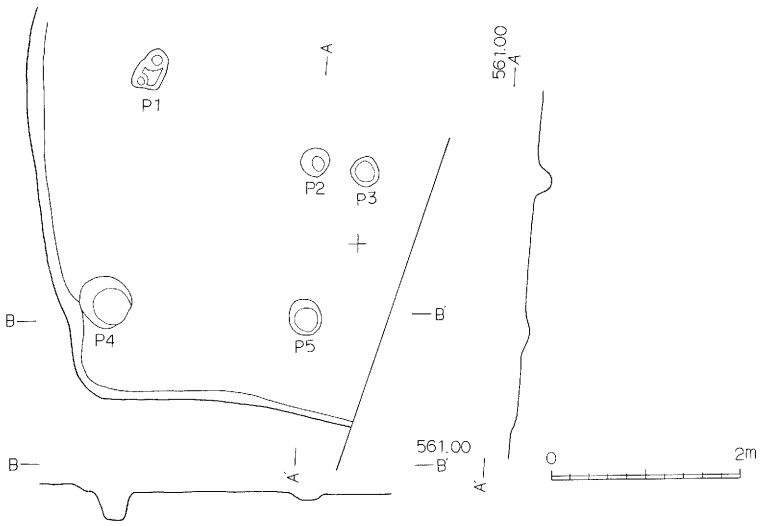


0　1m

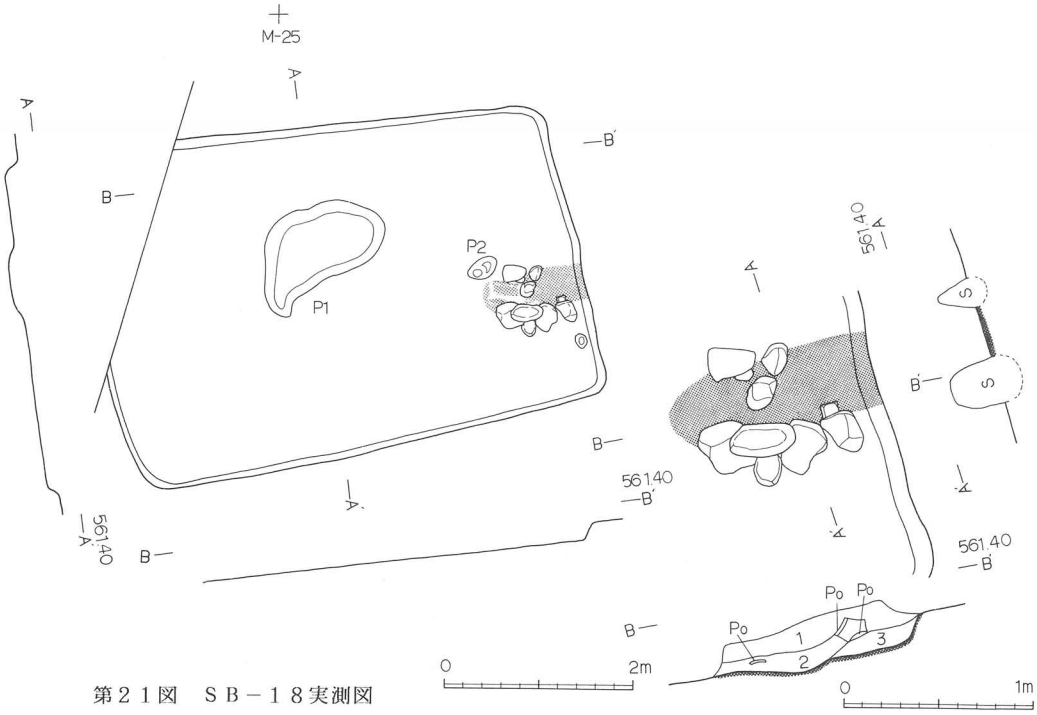
第１８図　ＳＢ－１４竈実測図



第１９図　ＳＢ－１５実測図

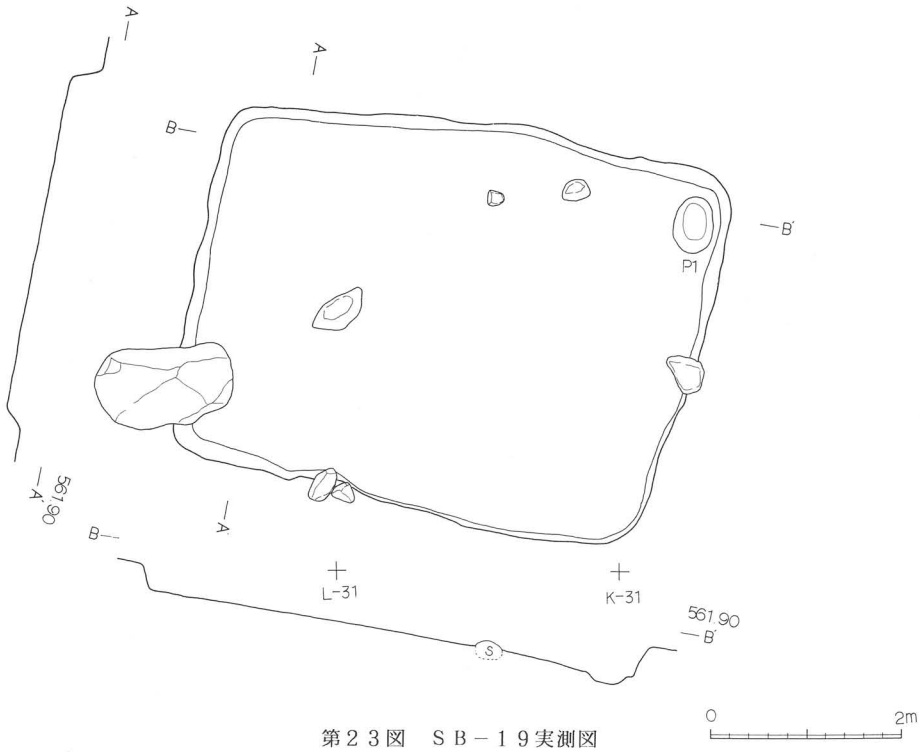


第２０図　ＳＢ－１７実測図

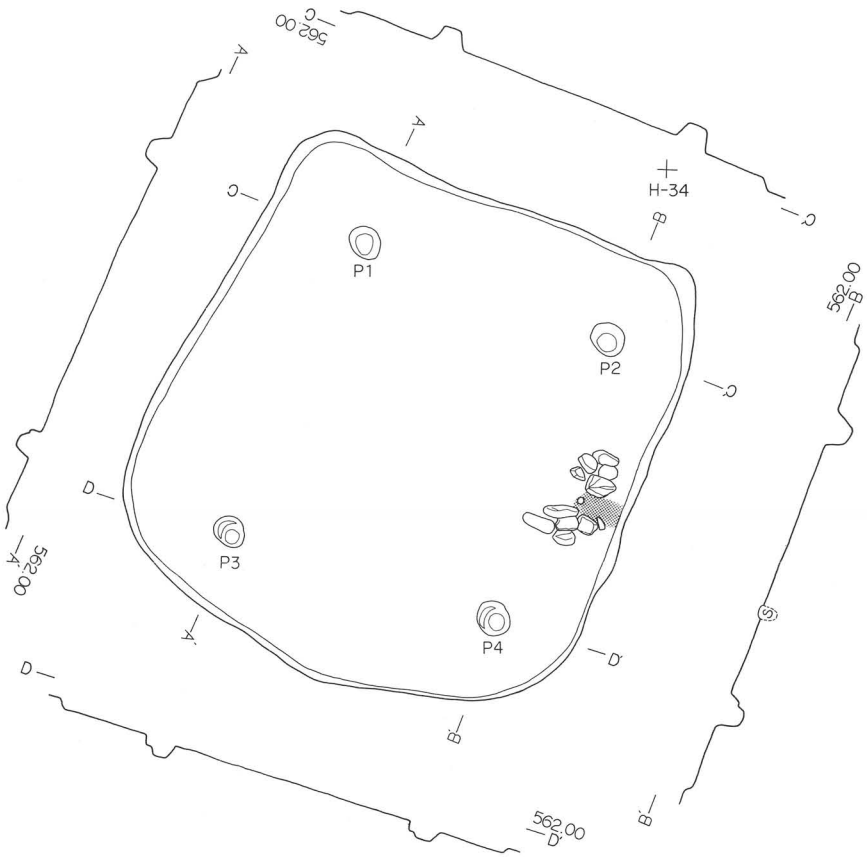


第２１図　ＳＢ－１８実測図

第２２図　ＳＢ－１８竈実測図

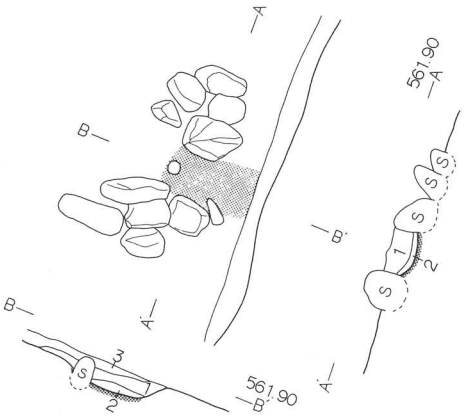


第２３図　ＳＢ－１９実測図



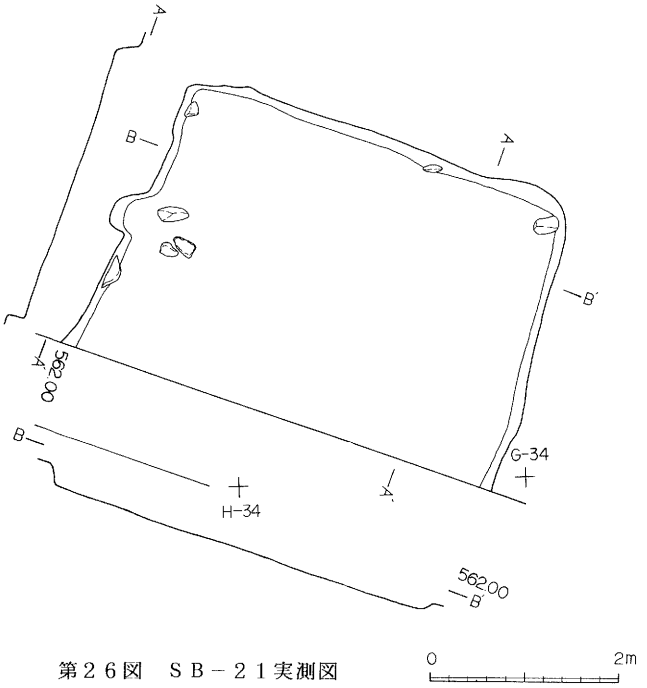
第２４図　ＳＢ－２０実測図

0　2m

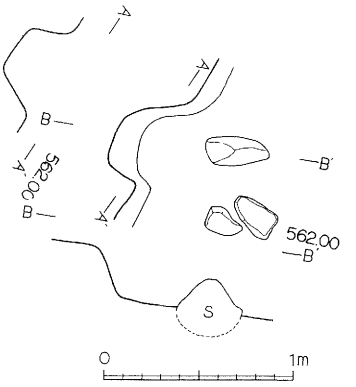


0　1m

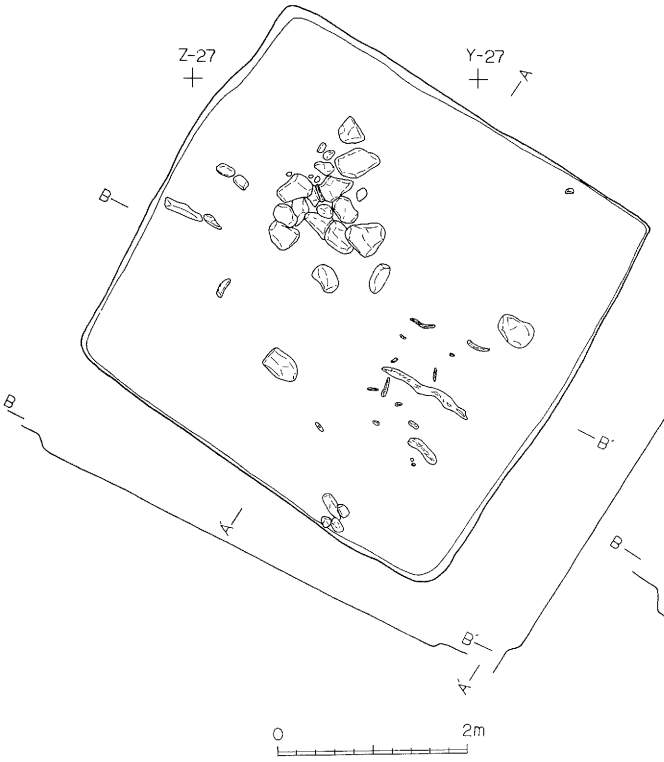
第２５図　ＳＢ－２０竈実測図



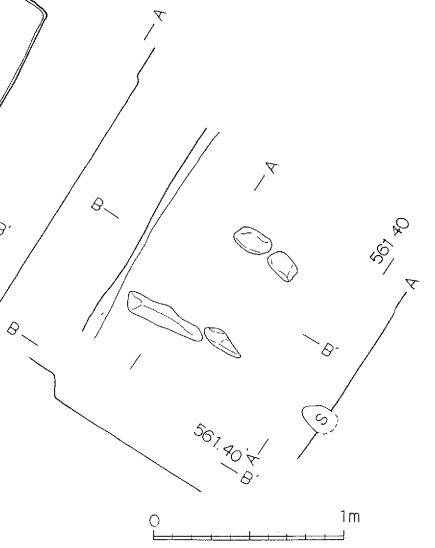
第２６図　ＳＢ－２１実測図



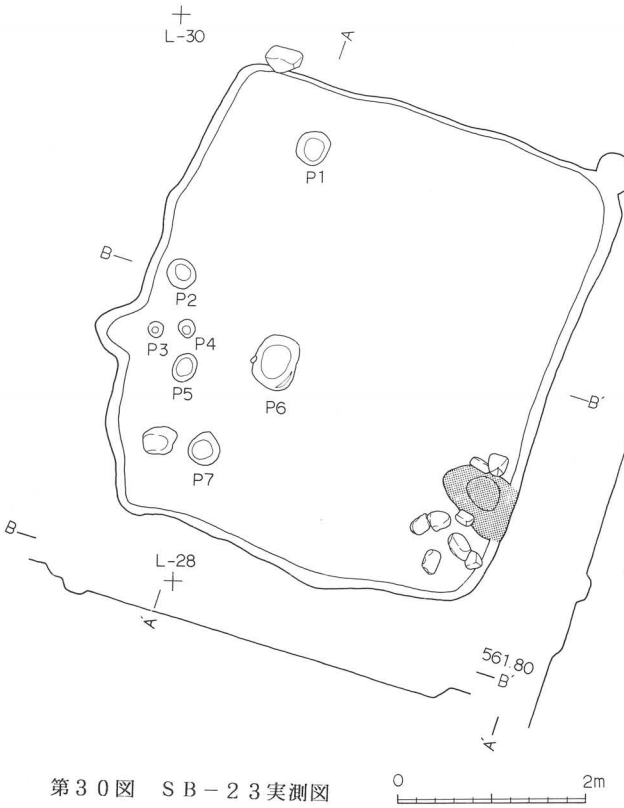
第２７図　ＳＢ－２１竈実測図



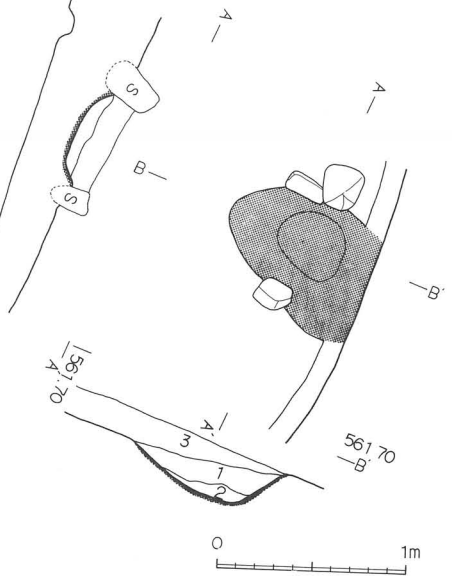
第２８図　ＳＢ－２２実測図



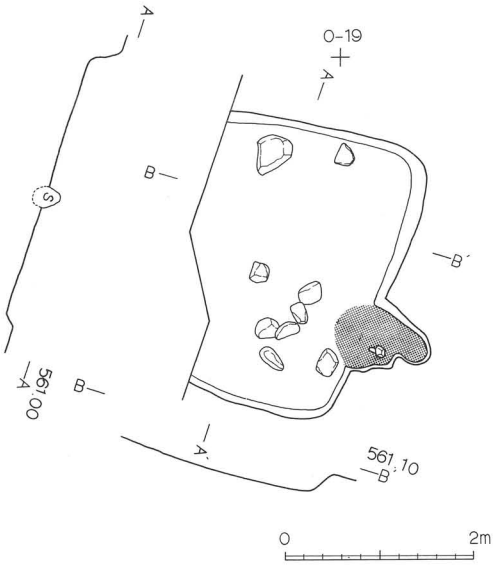
第２９図　ＳＢ－２２竈実測図



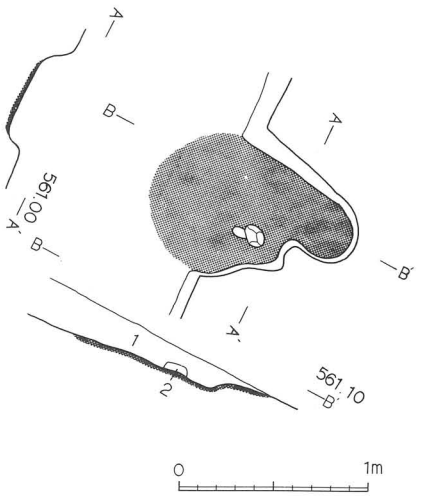
第３０図　ＳＢ－２３実測図



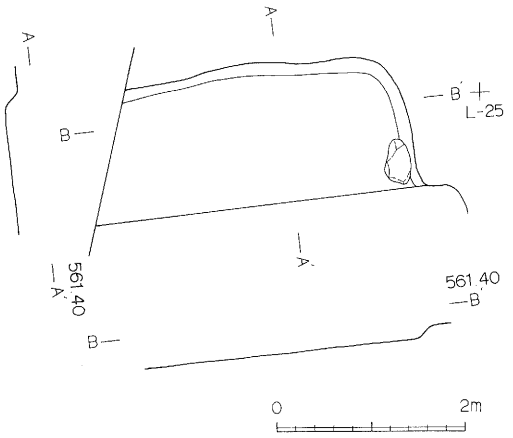
第３１図　ＳＢ－２３竈実測図



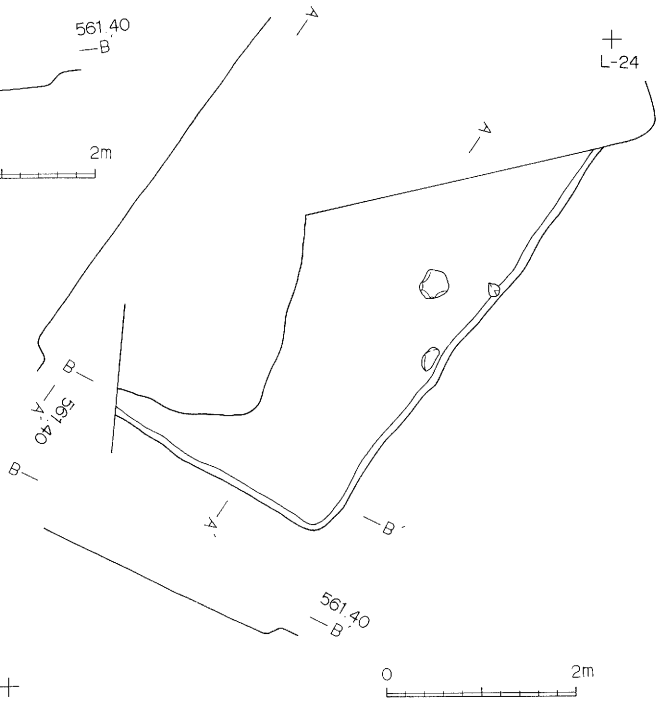
第３２図　ＳＢ－２４実測図



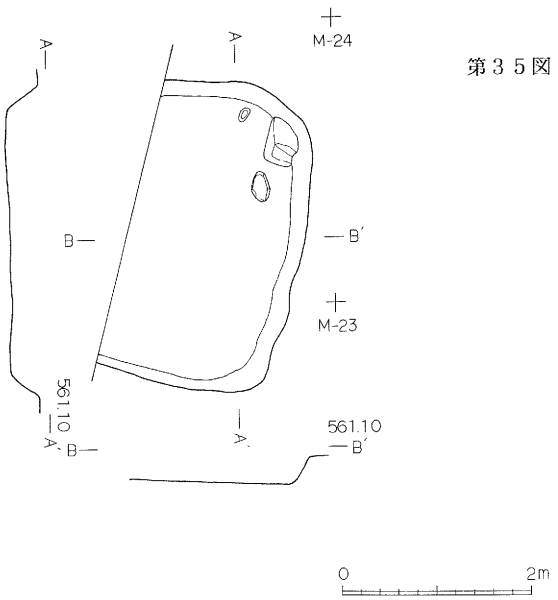
第３３図　ＳＢ－２４竈実測図



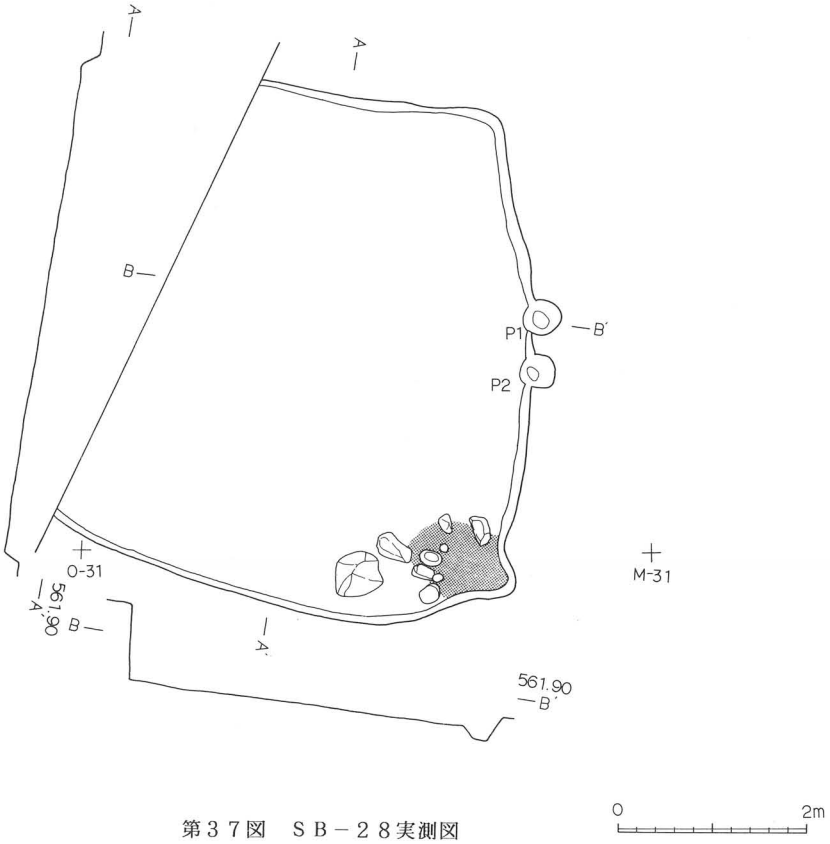
第３４図　ＳＢ－２５実測図



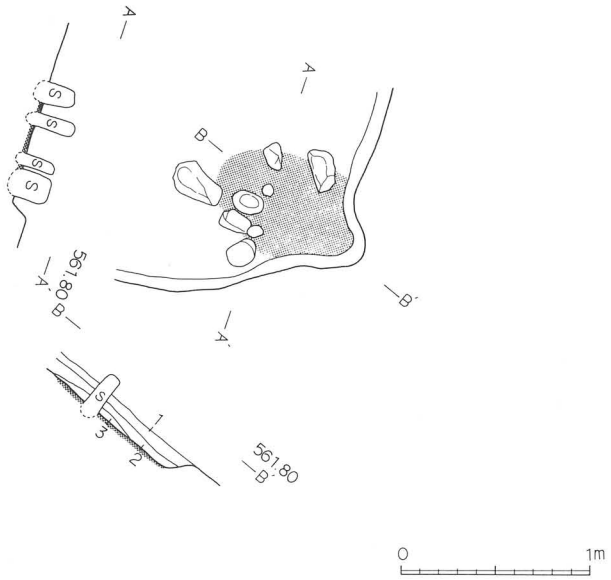
第３５図　ＳＢ－２６実測図



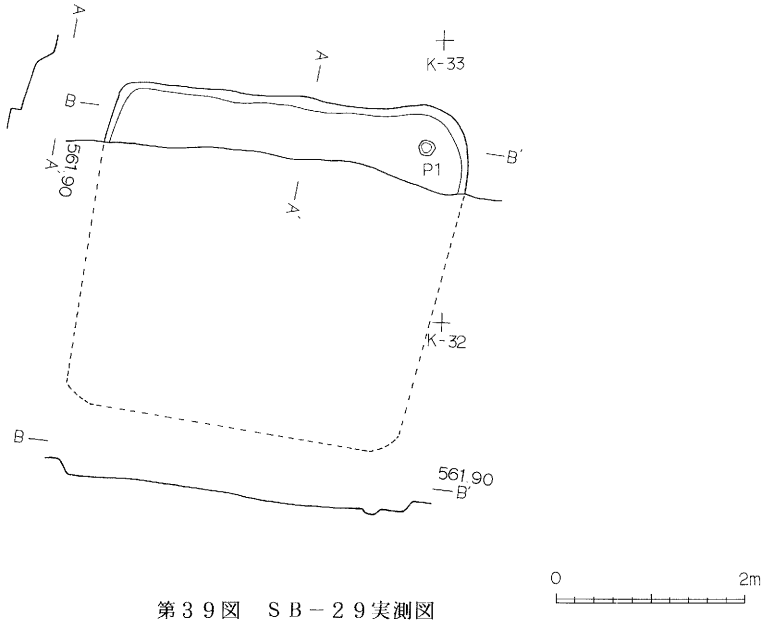
第３６図　ＳＢ－２７実測図



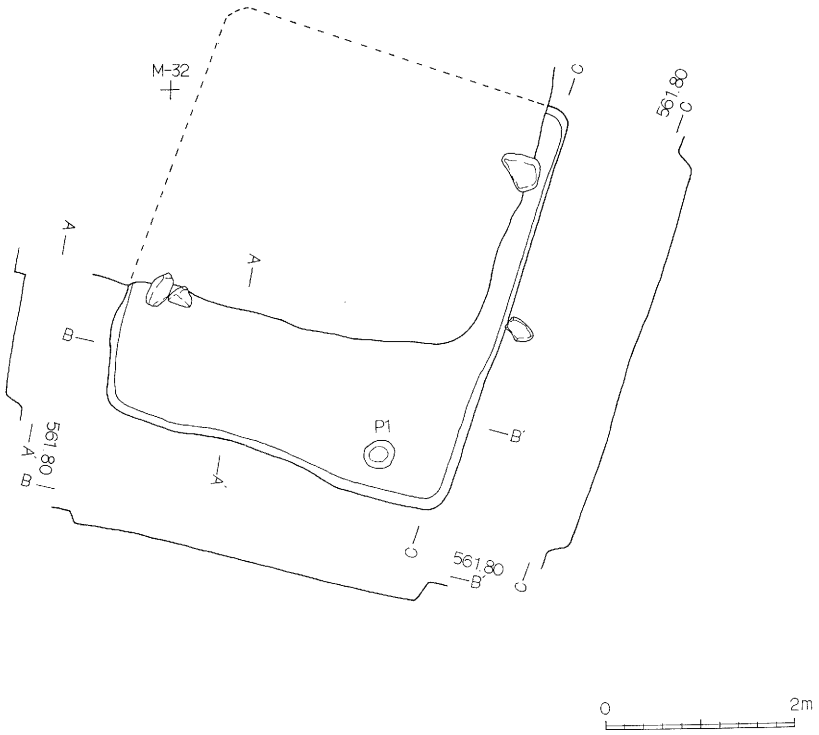
第３７図　ＳＢ－２８実測図



第３８図　ＳＢ－２８竈実測図

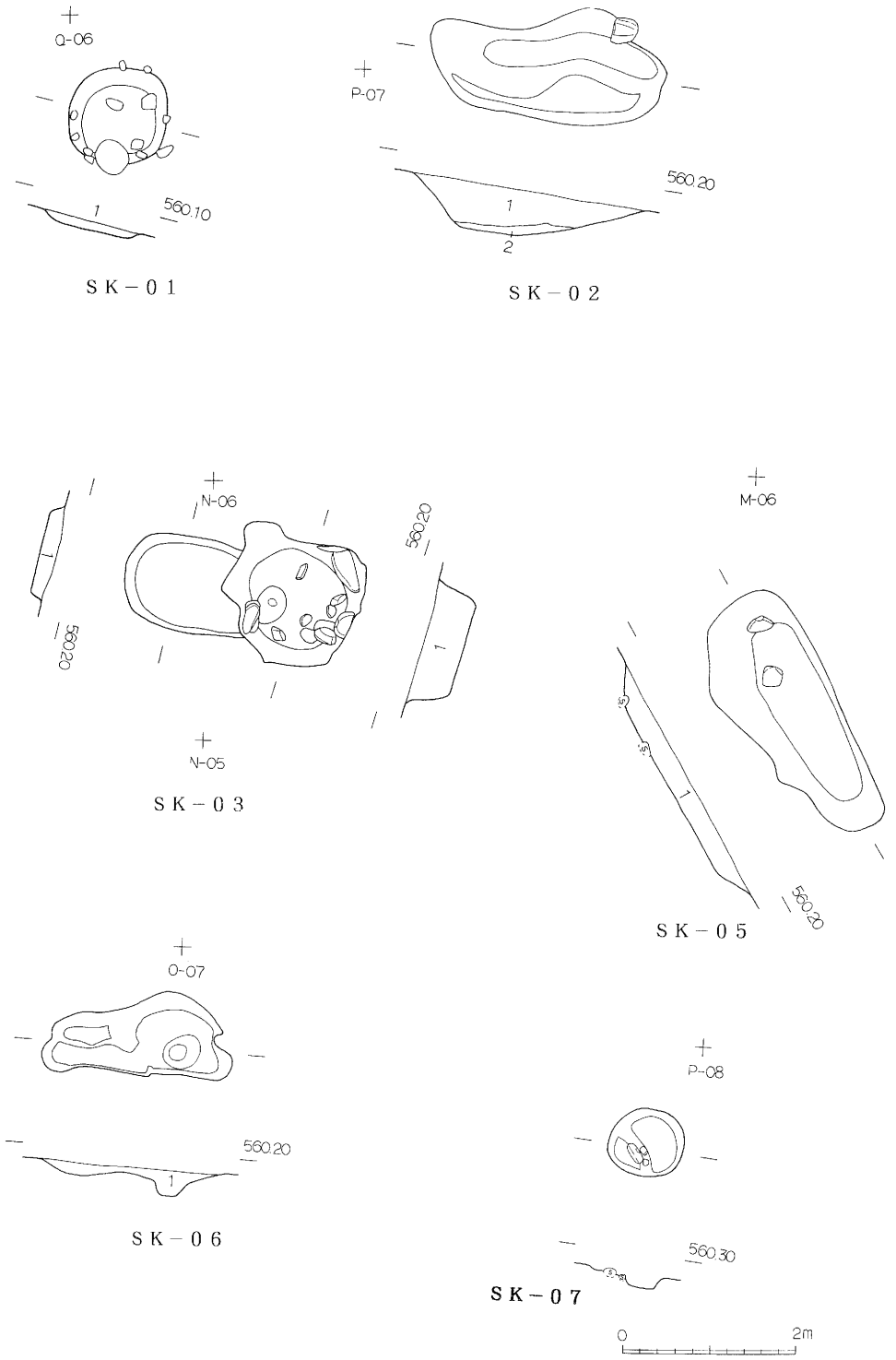


第３９図　ＳＢ－２９実測図

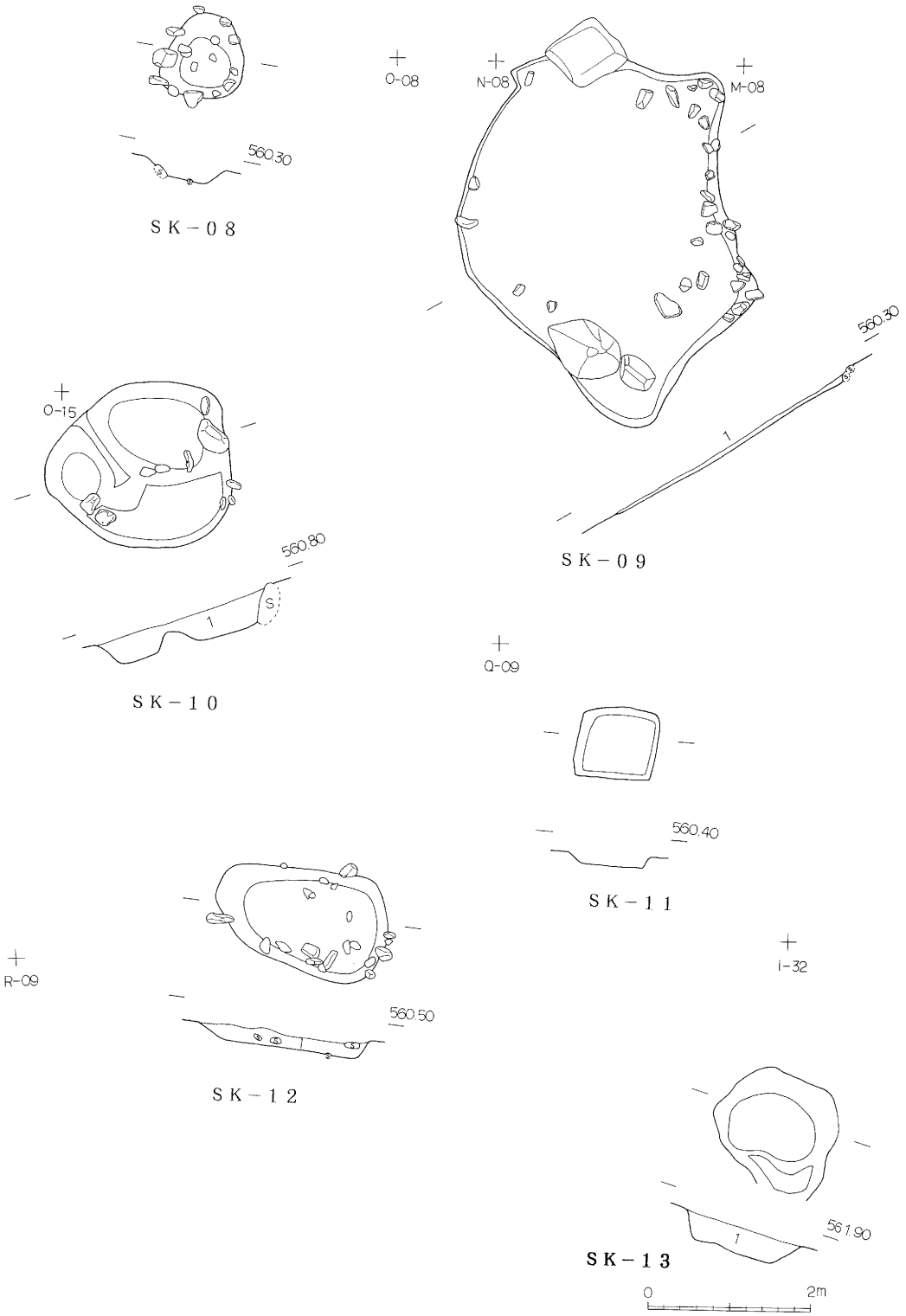


第４０図　ＳＢ－３０実測図

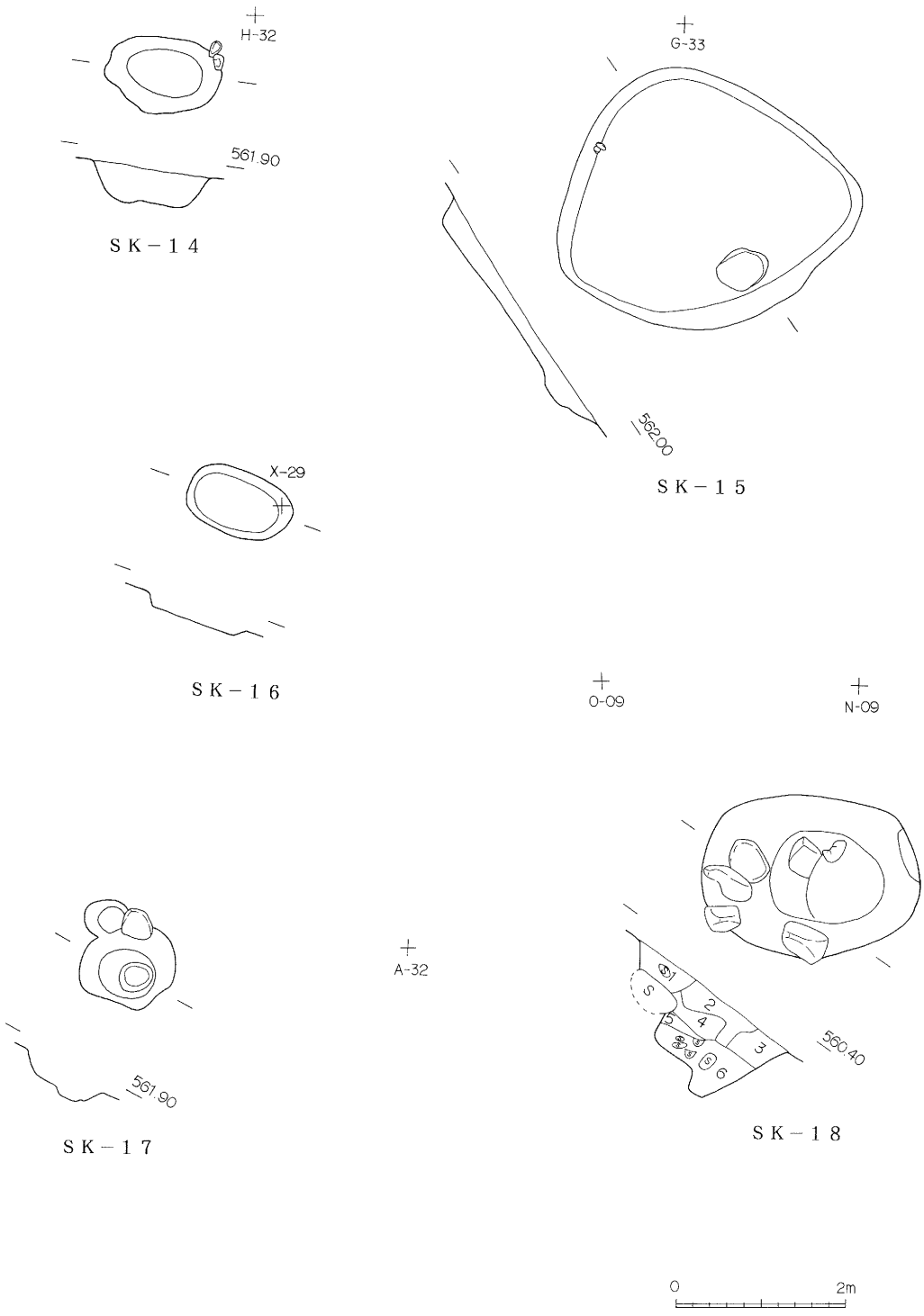
2　土壙



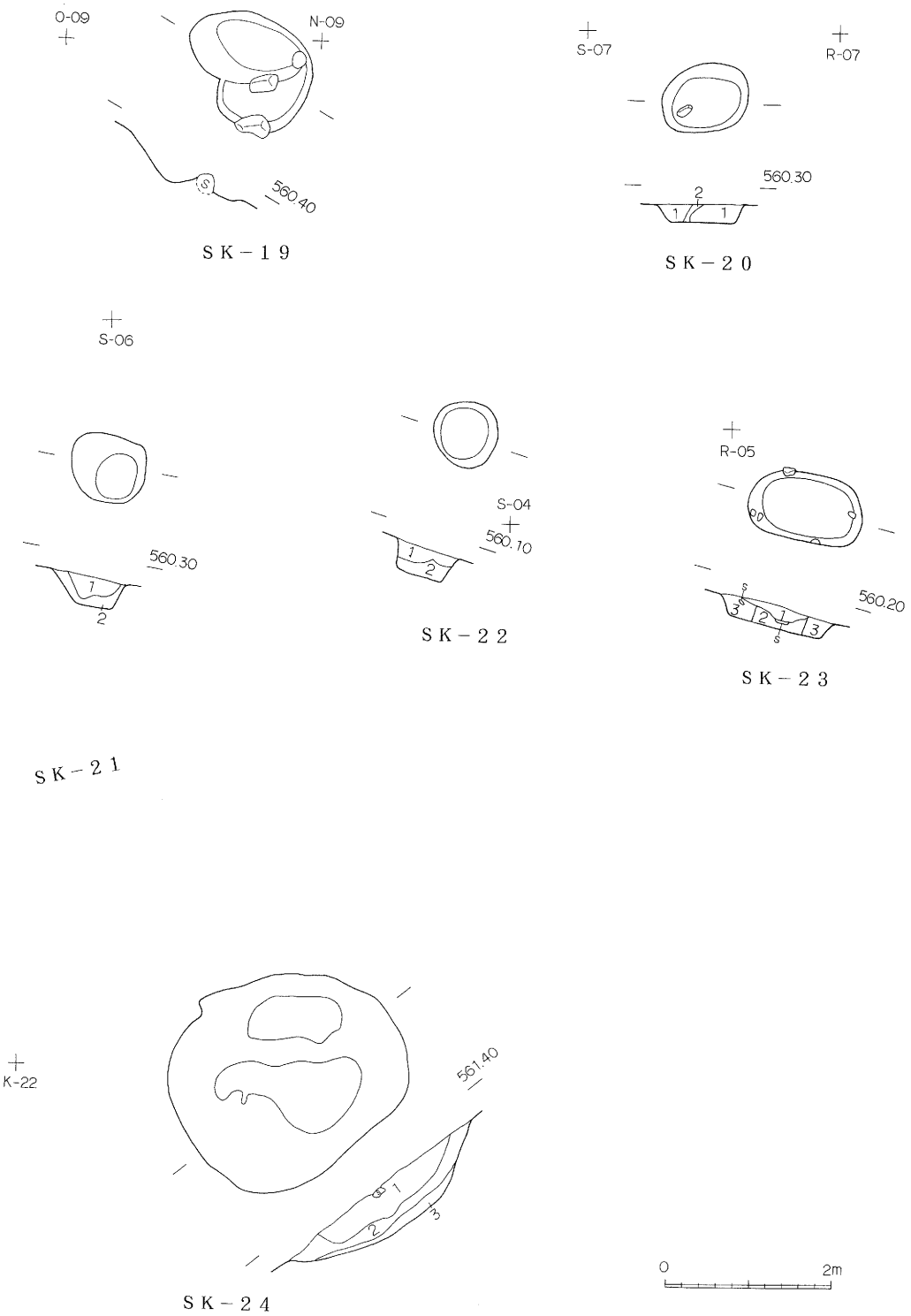
第４１図　土壙実測図（１）


O-08
N-08
M-08
560.30
SK－08
560.30
SK－09
O-15
560.80
SK－10
Q-09
560.40
SK－11
R-09
I-32
560.50
SK－12
561.90
SK－13
0
2m

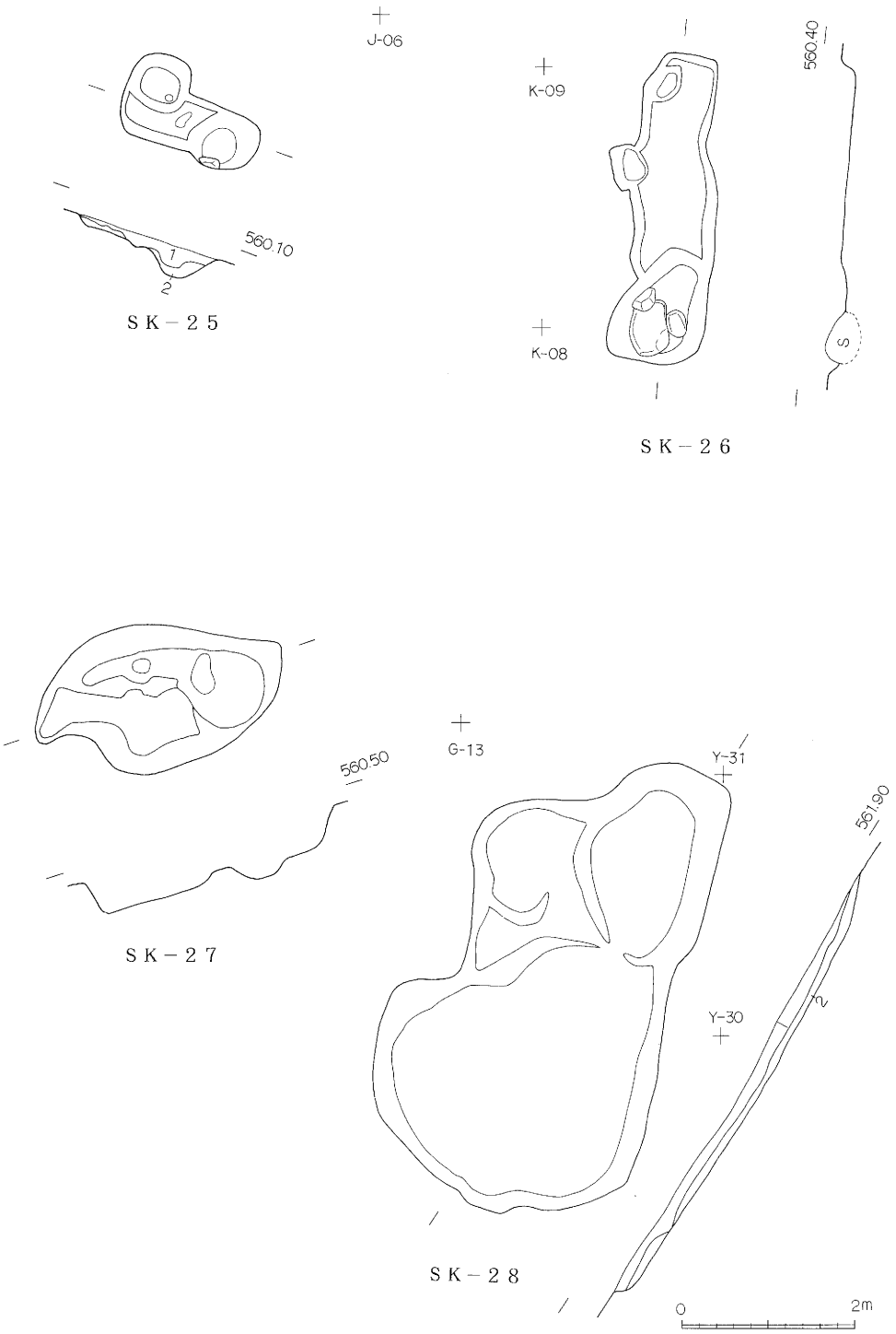
第４２図　土壙実測図（２）


H-32
561.90
SK－14
G-33
562.00
SK－15
X-29
SK－16
O-09
N-09
A-32
561.90
SK－17
S
1
2
4
5
3
6
560.40
SK－18
0
2m

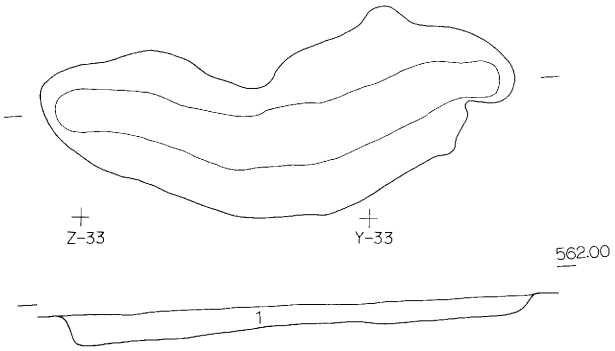
第４３図　土壙実測図（３）


O-09
N-09
560.40
S
SK－19
S-07
R-07
560.30
2
1
1
SK－20
S-06
560.30
1
2
SK－21
S-04
560.10
1
2
SK－22
R-05
560.20
3
2
1
3
S
SK－23
K-22
561.40
1
2
3
SK－24
0
2m

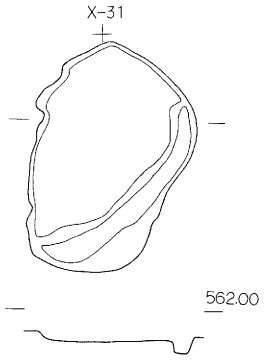
第４４図　土壙実測図（４）


J-06
560.10
1
2
SK－25
K-09
K-08
560.40
S
SK－26
560.50
G-13
SK－27
Y-31
561.90
Y-30
2
SK－28
0
2m

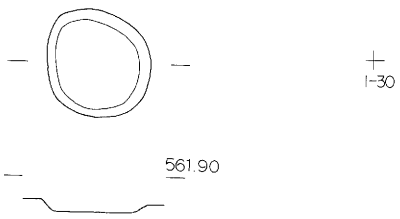
第４５図　土壙実測図（５）



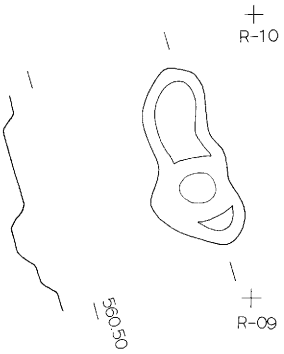
ＳＫ－２９



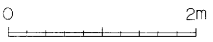
ＳＫ－３０



ＳＫ－３１

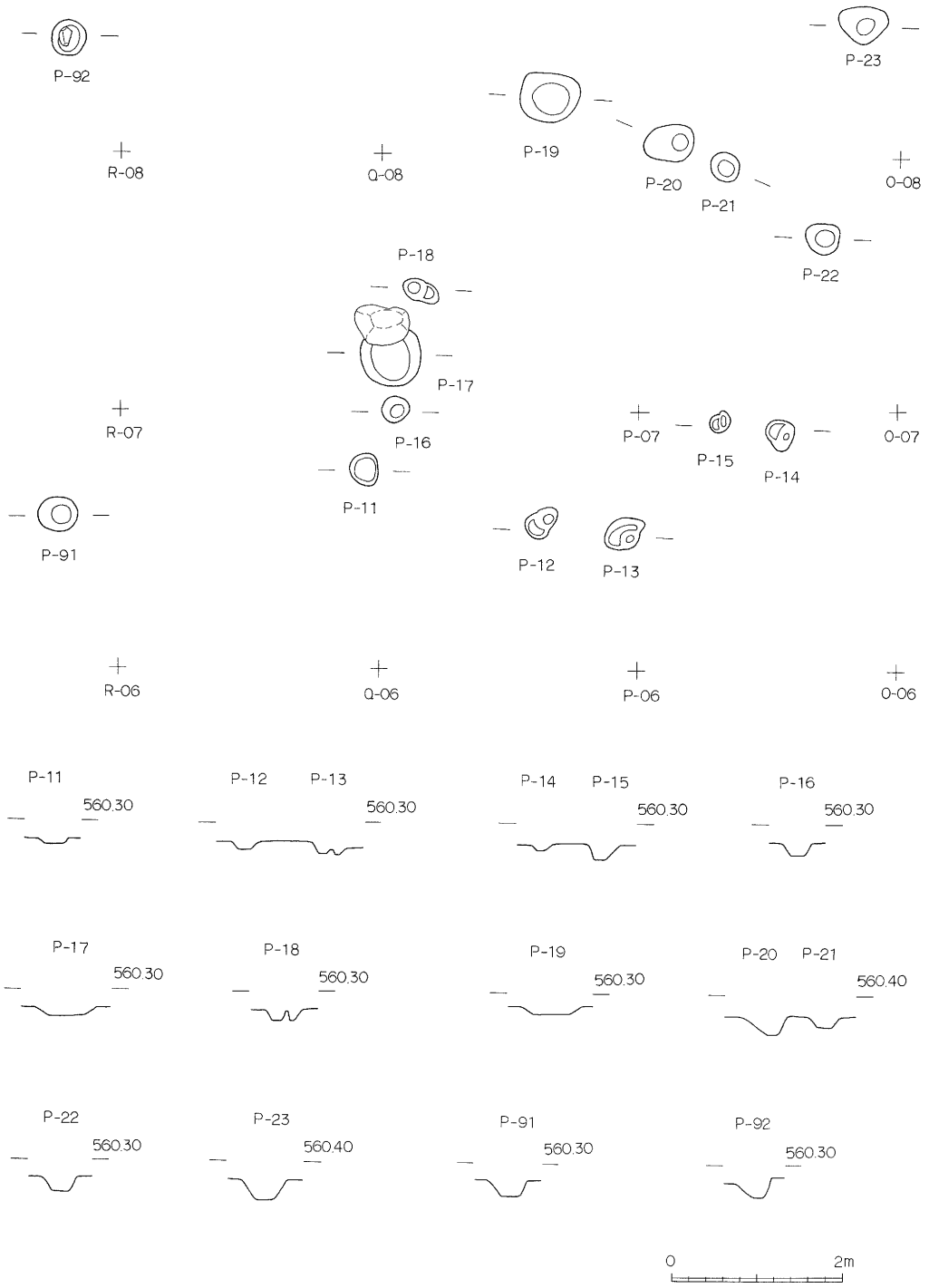


ＳＫ－３２

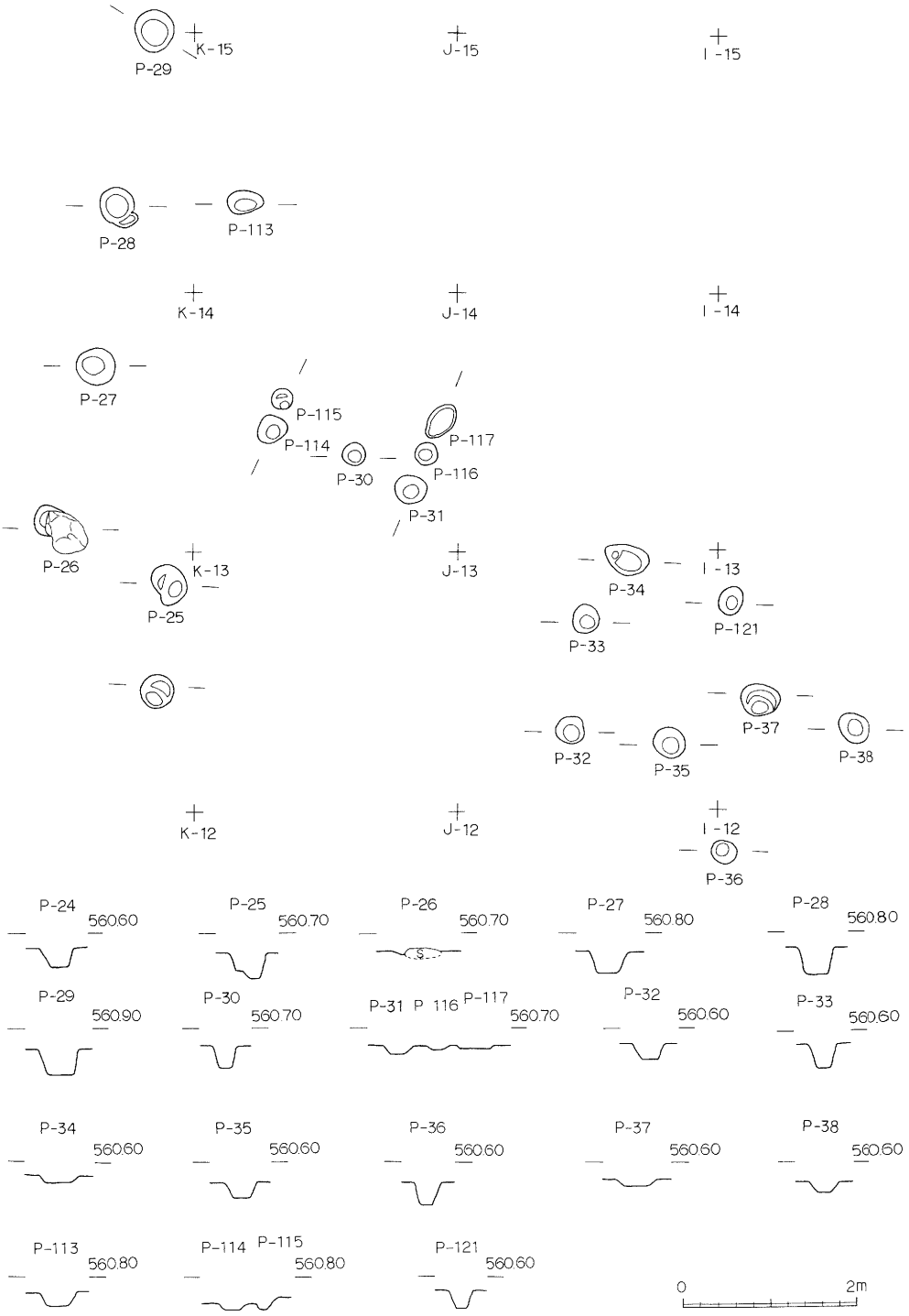


第４６図　土壙実測図（６）

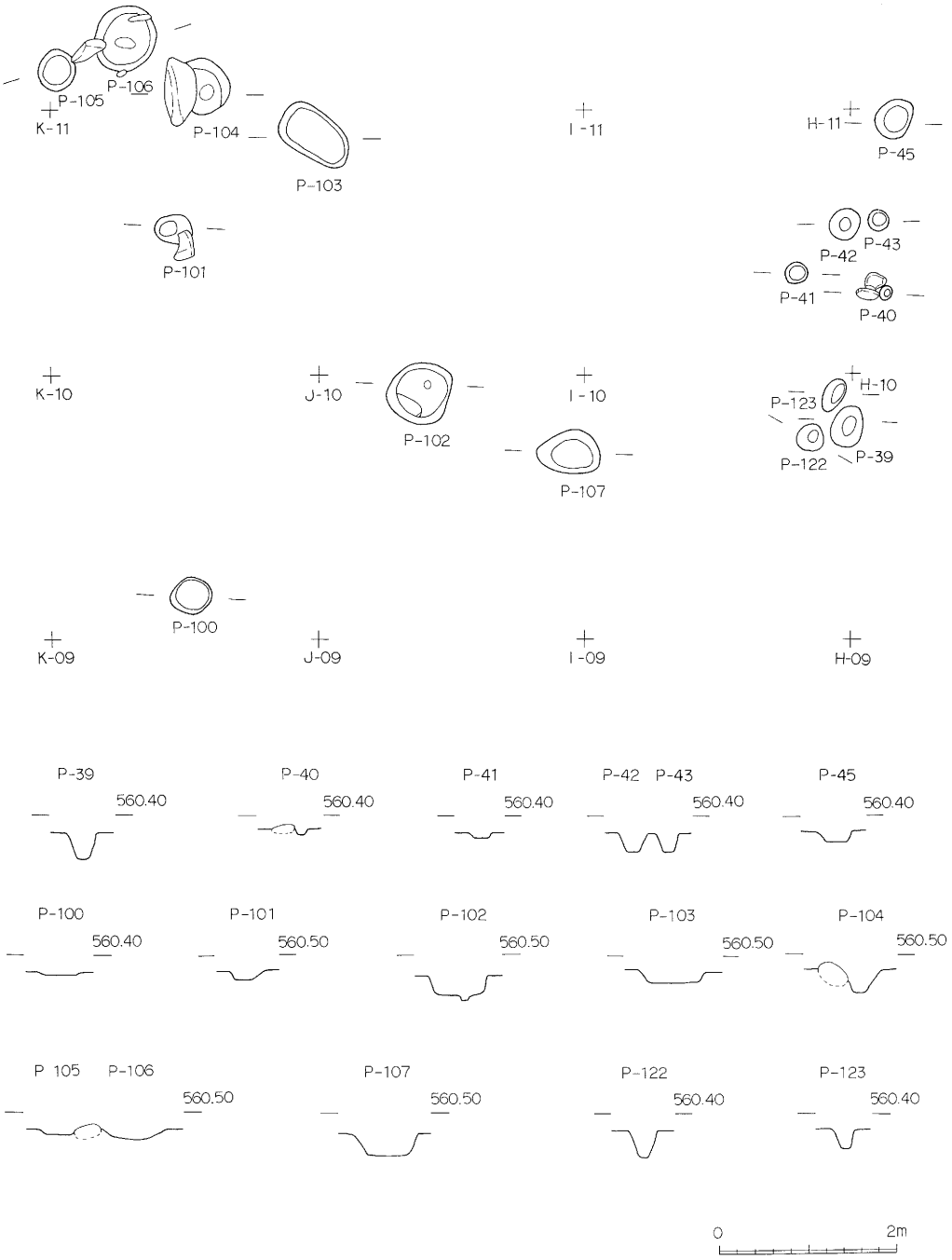
3　ピット



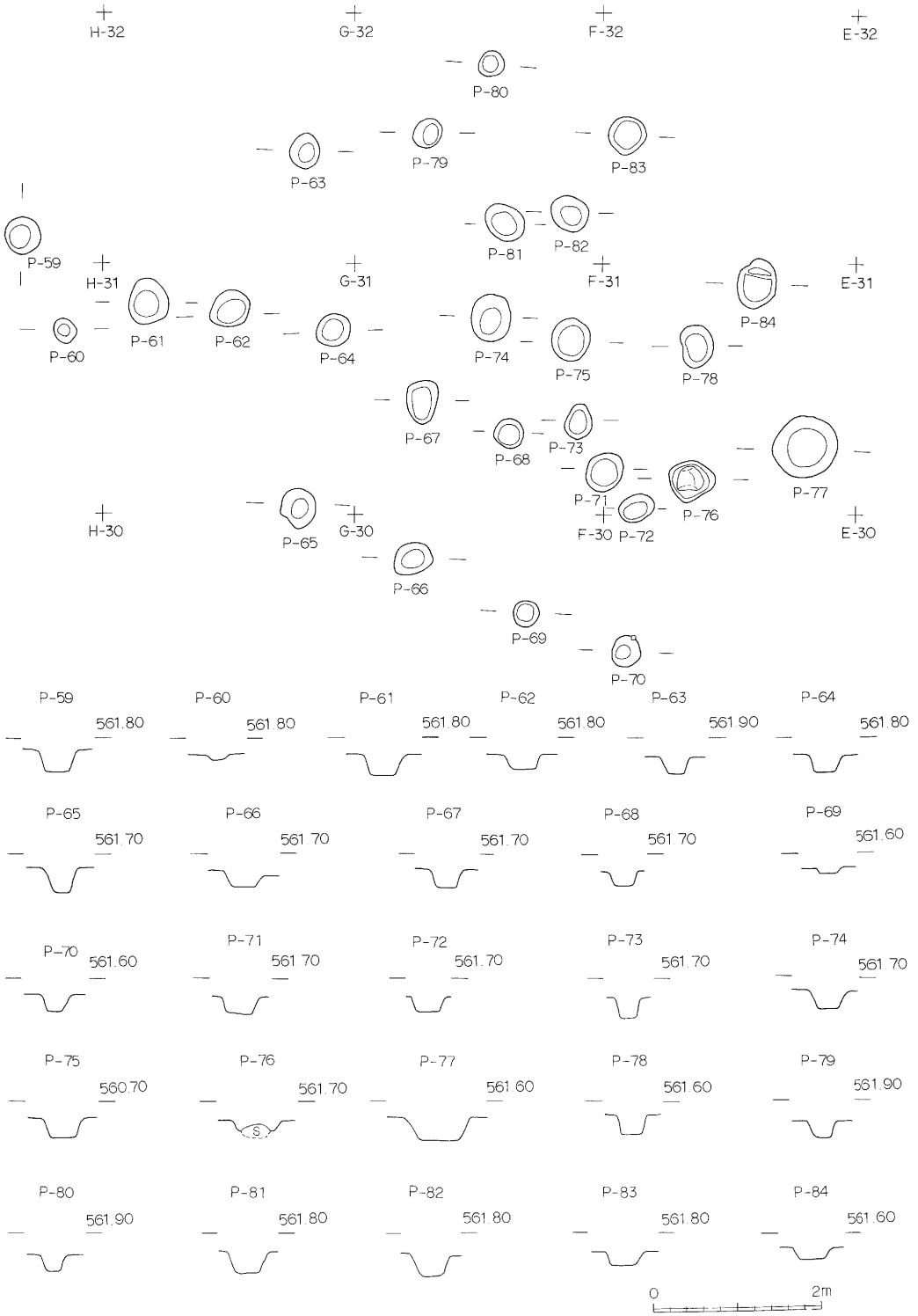
第４７図　ピット実測図（１）



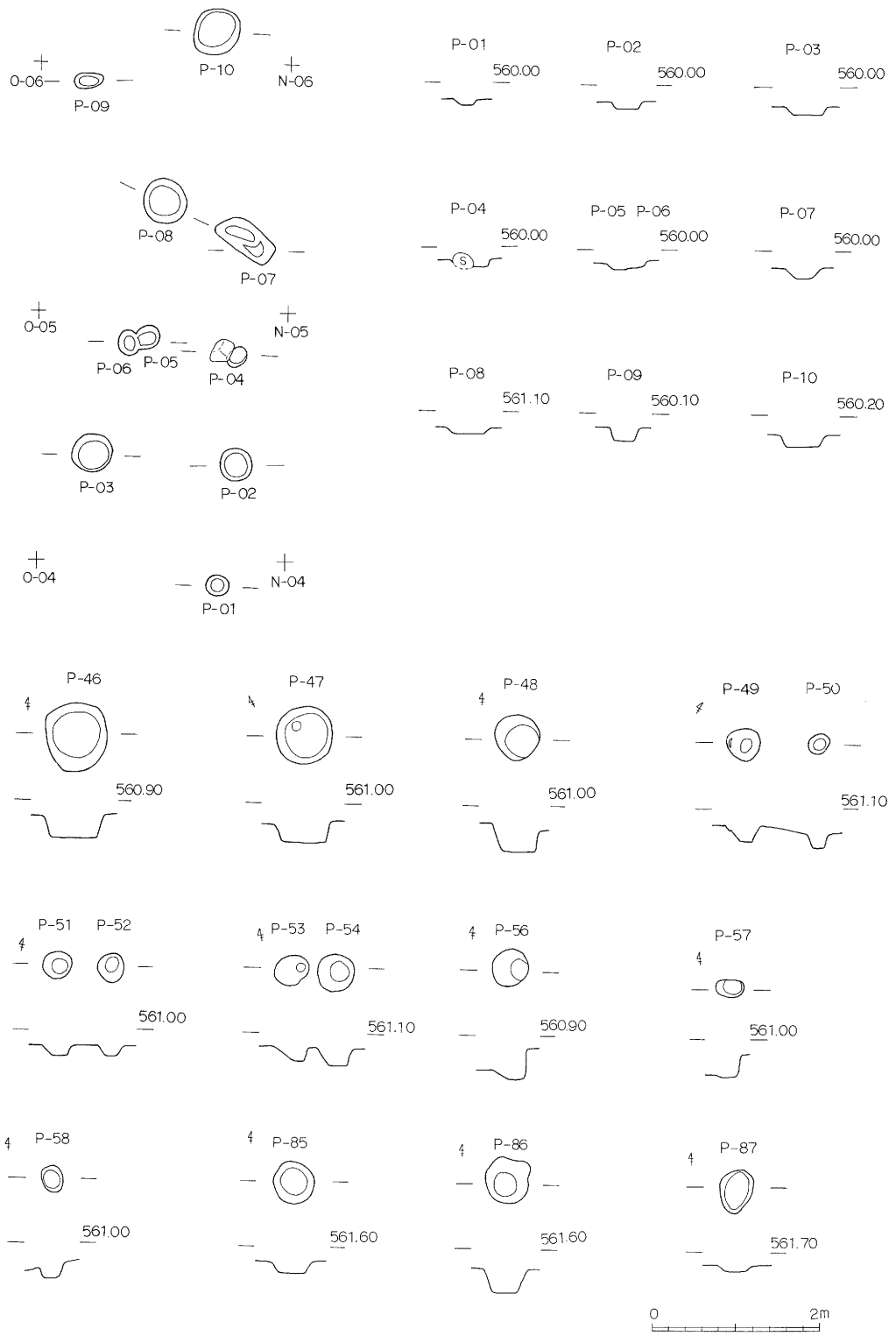
第４８図　ピット実測図（２）



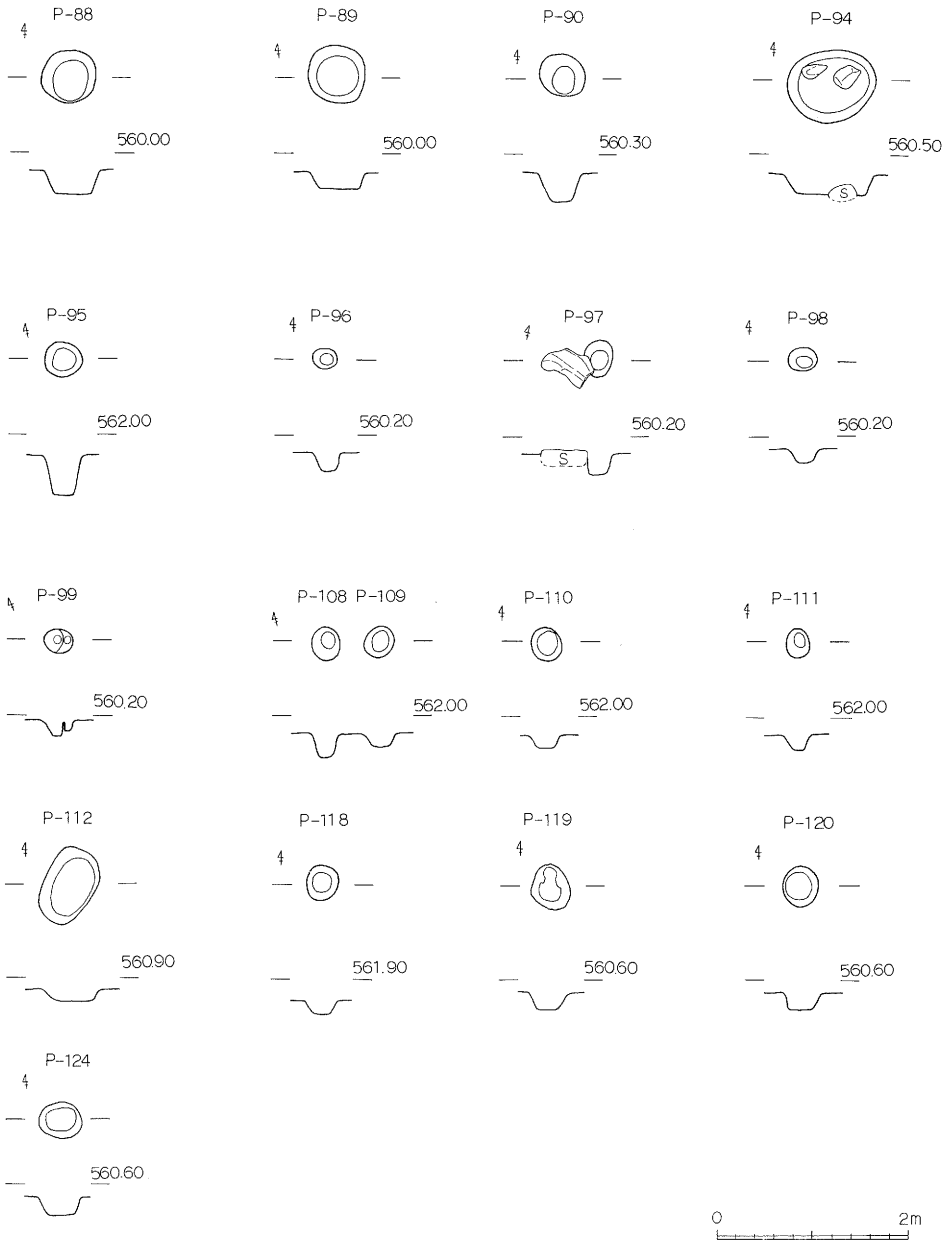
第４９図　ピット実測図（３）



第５０図　ピット実測図（４）

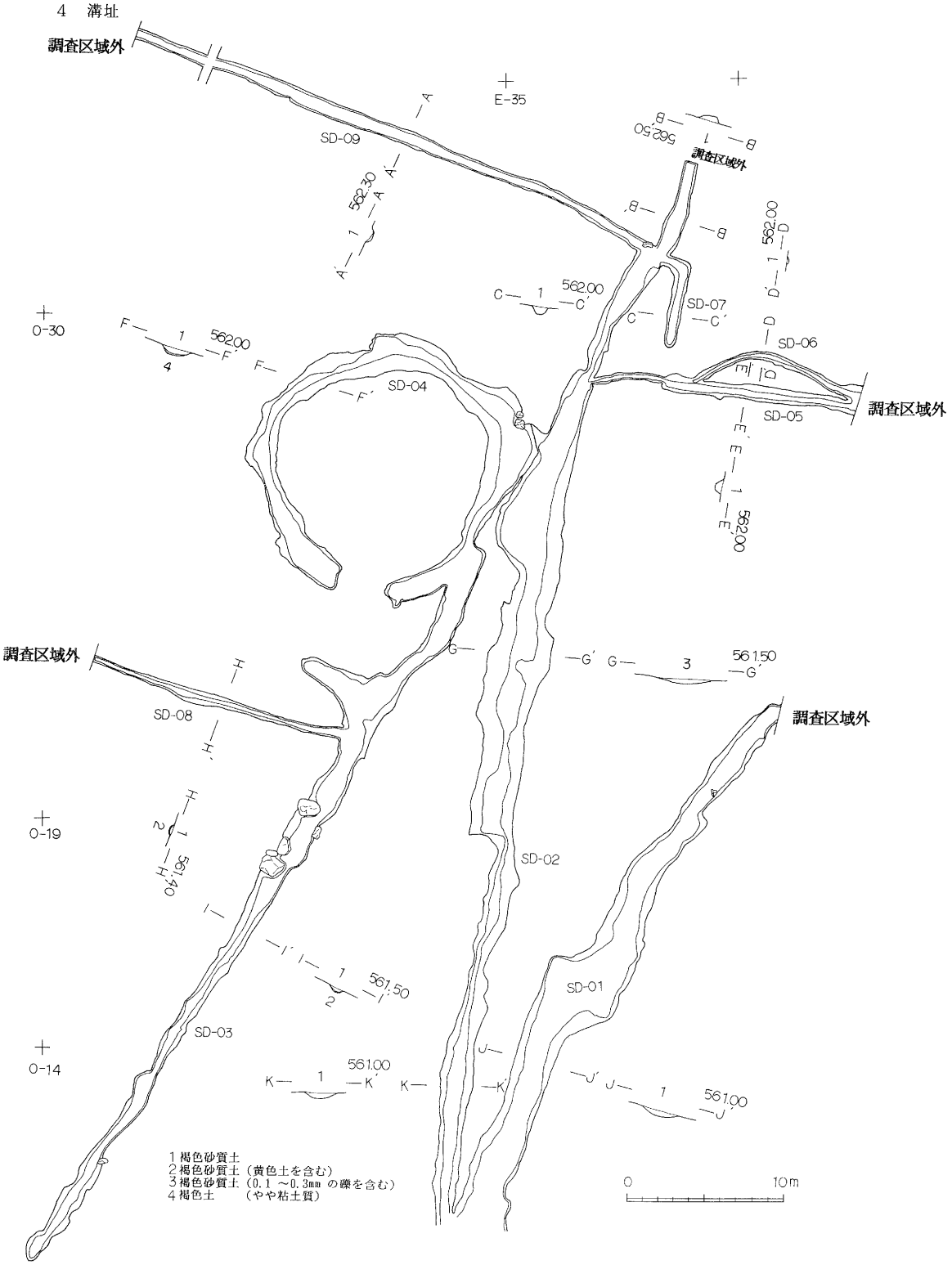


第５１図　ピット実測図（５）



第５２図　ピット実測図（６）

4　溝址



第５３図　溝址実測図

5　遺構一覧表

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱・貯蔵穴（長径×短径×深さ）	竈	位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
ＳＢ－１１ 第　１３　図 第　６４　図	O-15,16,17,18, P-16, N-16,17 隅丸方形 N-47°-W	5.72×(3.44) (N)0.16 ～(E)0.12 560.62～560.72	1 黒褐色土	P1 (0.32×0.30×0.21)　P2 (0.30×0.18×0.10) P3 (0.32×0.26×0.14)	なし	
備　　考						
ＳＢ－１２ 第　１４　図 第６５～６６図	G-14,15 H-13,14,15, I-14,15 隅丸長方形 N-104°-W	(4.90)×(3.86) (N)0.04 ～(E)0.05 560.49～560.66	1 黒褐色土	P1 (0.40×0.38×0.08)	なし	
備　　考						
ＳＢ－１３ 第１５～１６図 第　６７　図	G-29,30 H-29,30 隅丸方形 N-48°-E	3.54×3.30 (N)0.25 ～(S)0.15 561.25～561.37	1 黒褐色土	P1 (0.54×0.38×0.09)　P2 (1.30×0.84×0.43) P3 (0.28×0.26×0.05)	西壁中央・N-48°-W 1.05×0.57 1 黒褐色砂質土（黄色土、砂質土混入） 2 黒褐色砂質土（木炭、焼土、黄土混入）	
備　　考						
ＳＢ－１４ 第１７～１８図 第６８～７１図	A-22,23,24,25 B-23,24 Z-22,23 24 隅丸方形 N-55°-W	5.64×5.64 (N)0.20 ～(S)0.08 560.87～561.00	1 黒褐色土	SK-01(1.00×0.82×0.32)	西壁中央・N-55°-W 1.30×0.95	
備　　考						
ＳＢ－１５ 第　１９　図 第　－　図	H-26,27 I-26,27,28 J-26,27,28 隅丸方形 N-46°-W	5.64×5.02 (W)0.37 ～(E)0.24 561.12～561.18	1 黒褐色土	P1 (0.64×0.60×0.25)　P2 (1.04×0.78×0.50)	なし	
ＳＢ－１７ 第　２０　図 第　－　図	G-16,17,18,19 H-16,17,18 （隅丸方形）？ N-81°-W	(0.40)×(0.38) (W)0.03 ～(S)0.04 560.69～560.76	1 黒褐色土	P1 (0.42×0.30×0.16)　P2 (0.30×0.30×0.16) P3 (0.32×0.30×0.05)　P4 (0.56×0.54×0.28) P5 (0.38×0.34×0.05)	なし	
ＳＢ－１８ 第２１～２２図 第７２～７３図	K-23 L-23,24 M-23,24 隅丸長方形 N-78°-E	5.00×3.28 (S)0.14 ～(W)0.17 561.04～561.08	1 黒褐色土	P1 (1.28×0.42×0.07)	東壁南より・N-78°-W　1.10×0.65 1 黒褐色砂質土 2 黒褐色砂質土（焼土多量混入） 3 黒褐色砂質土（炭化物、焼土少量混入）	
備　　考						
ＳＢ－１９ 第　２３　図 第７４～７５図	K-31,32 L-31,32 隅丸方形 N-78°-W	5.20×4.04 (N)0.24 ～ (W)0.24 561.32～561.43	1 黒褐色土	P1 (0.60×0.42×0.09)	なし	
備　　考						

第３表　住居址一覧表（２）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱・貯蔵穴（長径×短径×深さ）	竈 位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
ＳＢ－０１ 第５～６図 第54～55図	J-02,03 K-01,02,03,04 L-02,03 隅丸方形 N-53°-W	5.82×5.54 (W)0.23～(E)0.07 559.52～559.63	1 黒褐色土	P1 (0.34×0.30×0.12) P2 (0.22×0.22×0.10) P3 (0.28×0.26×0.12) P4 (0.33×0.28×0.20) P5 (0.28×0.28×0.09) P6 (0.15×0.15×0.09) P7 (0.16×0.16×0.04) P8 (0.20×0.14×0.09) P9 (0.30×0.28×0.14) P10(0.22×0.22×0.23) P11(0.30×0.26×0.20) P12(0.20×0.20×0.10) P13(0.22×0.22×0.19) P14(0.28×0.22×0.13) P15(0.34×0.30×0.10) P16(0.16×0.16×0.11) P17(0.20×0.20×0.18) P18(0.22×0.20×0.13) P19(0.22×0.22×0.11) P20(0.28×0.28×0.08) P21(0.30×0.28×0.21) P22(0.18×0.14×0.16) P23(0.22×0.22×0.26) P24(0.14×0.14×0.14) P25(0.20×0.18×0.18) P26(0.24×0.24×0.13) P27(0.18×0.18×0.04) P28(0.22×0.22×0.03) P29(0.24×0.20×0.17) P30(0.40×0.40×0.31) P31(020 ×0.14×0.05) P32(0.20×0.20×0.07) SK-01(1.28×0.58×0.47)	西壁中央・N-53°-W 1.20×0.80 1 黒褐色砂質土（黄色土混入） 2 黒褐色土（焼土多量混入） 3 黒褐色砂質土（耕作土混入）
備考					
ＳＢ－０３ 第７図 第56～58図	M-02,03,04 O-02,03,04 P-02,03,04 Q-02,03 隅丸長方形 N-58°-W	10.60×(8.06) (N)0.52～(E)0.12	1 黒褐色土	P1 (0.20×0.20×0.10)	なし
備考	南壁は調査区外				
ＳＢ－０８ 第８図 第59～60図	O-13,14,15 P-14,15 隅丸方形 N-76°-W	3.30×3.10 (N)0.5～(S)0.8 560.49～560.54	1 黒褐色土	P1 (0.48×0.40×0.07)	なし
備考					
ＳＢ－０９ 第９～10図 第６１図	L-14 M-13,14,15 N-14,15 隅丸長方形 N-115°-E	4.10×3.26 (N)0.06～(S)0.07 560.56～560.59	1 黒褐色土	P1 (0.26×0.22×0.06) P2 (0.24×0.20×0.11)	東壁中央・N-115°-E 0.90×0.88 1 黒褐色砂質土（焼土、耕作土混入） 2 焼土ブロック（強粘土質） 3 焼土（カチカチに堅い） 4 褐色土
備考					
ＳＢ－１０ 第11～12図 第62～63図	L-14,15,16 M-14,15,16 隅丸方形 N-90°-E	3.52×3.20 (N)0.22～(W)0.14 560.49～560.55	1 黒褐色土 2 黒褐色砂質土（黄色土多量混入）	P1 (0.16×0.16×0.05)	東壁中央・N-90°-E 0.70×0.65 1 黒褐色砂質土（耕作土混入） 2 粘土 3 焼土 4 黒褐色砂質土（黄色土混入） 5 黒褐色砂質土（黄色土、焼土混入）
備考					

第２表　住居址一覧表（１）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱・貯蔵穴（長径×短径×深さ）	竈 位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
ＳＢ－２０ 第24～25図 第 76 図	H-32,33 I-32,33,34 隅丸方形 N-110°-E	5.20×4.70 (N)0.10 ～(S)0.08 561.68～561.77	1 黒褐色土	P1 (0.34×0.32×0.18)　P2 (0.34×0.32×0.22) P3 (0.34×0.30×0.18)　P4 (0.36×0.36×0.22)	東壁中央・N-110°-E 0.50×0.62 1 暗灰褐色土（炭化物混入） 2 赤褐色土（炭化物、焼土混入） 3 黒褐色土（2 ～3mm の砂粒混入）
備考					
ＳＢ－２１ 第26～27図 第77～78図	F-34, G-33,34,35 H-34,35 隅丸方形 N-70°-W	4.10×(3.20) (E)0.22 ～(W)0.10 561.64～561.73	1 黒褐色土		西壁中央・N-70°-W (0.60)×0.50 焼土なし
備考	SD-09 に切られる				
ＳＢ－２２ 第28～29図 第 79 図	X-25,26 Y-25,26 Z-25,26 隅丸方形 N-55°-W	4.70×4.44 (N)0.15 ～(S)0.06 561.14～561.24	1 黒褐色土		西壁中央・N-55°-W (0.80)×0.68
備考					
ＳＢ－２３ 第30～31図 第80～81図	J-28,29 K-28,29 L-28,29 隅丸方形 N-115°-E	4.90×4.20 (N)0.13 ～(S)0.08 561.33～561.47	1 黒褐色土	P1 (0.34×0.34×0.11)　P2 (0.30×0.30×0.03) P3 (0.16×0.16×0.04)　P4 (0.20×0.18×0.06) P5 (0.30×0.24×0.11)　P6 (0.60×0.44×0.08) P7 (0.36×0.32×0.09)	東壁南より・N-115°-E 0.82×0.88 1 黒褐色土（炭化物、焼土少量混入） 2 赤褐色土（炭化物、焼土少量混入） 3 灰褐色土（小砂粒混入）
備考					
ＳＢ－２４ 第32～33図 第82～83図	N-17,18 O-17,18 隅丸方形 N-119°-E	2.92×(1.24) (N)0.32 ～(W)0.31 560.48～560.69	1 黒褐色土	なし	東壁南より・N-119°-E 1.00×0.70 1 黒褐色砂質土（炭化物、焼土混入） 2 ロームブロック（焼土混入）
備考					
ＳＢ－２５ 第 34 図 第 － 図	L-24,25 M-24 隅丸方形 N-84°-E	(3.50)×(1.50) (N)0.16 ～(W)0.12 561.01～561.08	1 黒褐色土	なし	なし
備考	SB-18 に切られている				
ＳＢ－２６ 第 35 図 第 84 図	L-22,23 M-22,23 隅丸方形 N-126°-E	(5.16)×(2.10) (S)0.18 ～(W)0.14 560.98～561.04	1 黒褐色土	なし	なし
備考	SB-18,SB-27 に切られている				
ＳＢ－２７ 第 36 図 第85～86図	M-22,23 隅丸方形 N-103°-E	2.90×(1.82) (N)0.30 ～(S)0.26 560.70～560.72	1 黒褐色土	なし	なし
備考					

第４表　住居址一覧表（３）

遺構番号 遺構図版 遺物図版	位置（グリッド） 平面形態 主軸方位	規模 壁高 床高	覆土層	柱・貯蔵穴（長径×短径×深さ）	竈	位置・主軸方位 規模（全長×最大幅） 覆土層
ＳＢ－２８ 第37～38図 第87～88図	M-30,31,32 N-30,31,32 隅丸方形 N-101°-E	5.22×(4.38) (N)0.22 ～(S)0.17 561.46～561.56	1 黒褐色土	P1 (0.40×0.38×0.28)　P2 (0.38×0.36×0.26)	東壁南より・N-113°-E 1.10×0.80 1 黒褐色土 2 茶褐色土（木炭、焼土混入） 3 赤褐色土（木炭、焼土多量混入）	
備考						
ＳＢ－２９ 第 39 図 第 － 図	J-32 K-32 L-32 隅丸方形 N-85°-W	3.64×(3.54) (N)0.13 ～(W)0.14 561.52～561.60	1 黒褐色土	P1 (0.16×0.16×0.04)	なし	
備考	SB-19 に切られている					
ＳＢ－３０ 第 40 図 第 89 図	J-30,31 K-30,31,32 L-30,31 隅丸方形 N-109°-E	4.28×3.72 (S)0.19 ～(W)0.22 561.46～561.51	1 黒褐色土	なし	なし	
備考	SB-19 に切られている					

第５表　住居址一覧表（４）

番号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	覆　土　層
1	114	110	10	1 黒褐色砂質土（ローム混入）
2	272	120	54	1 黒褐色砂質土　2 黒褐色砂質土（黄色土ローム状に混入）
3	140	110	16	1 黒褐色砂質土（黄色土混入）
4	164	112	48	1 黒褐色砂質土（黄色土混入）
5	306	108	24	1 黒褐色砂質土
6	212	80	32	1 黒褐色砂質土
7	90	78	16	
8	110	94	22	
9	472	320	10	1 黒褐色砂質土
10	226	210	40	1 黒褐色砂質土
11	100	88	16	
12	220	124	24	1 黒褐色砂質土（10cm～1cm の石、黄色土混入）
13	172	140	32	1 黒褐色砂質土（黄色土混入）
14	138	90	46	1 黒褐色砂質土
15	360	310	26	1 黒褐色砂質土
16	124	76	20	
17	138	100	28	
18	256	190	116	1 黒褐色砂質土　2 黒褐色砂質土（黄色土少量混入）　3 黒褐色砂質土（黄色土多量混入）　4 黒褐色砂質土（黄色土混入）　5 黄褐色砂質土　6 黒色砂質土
19	160	124	28	
20	108	84	24	1 黒褐色砂質土（黄色土混入）　2 黄色砂質土
21	90	80	36	1 黒褐色砂質土（黄色土少量混入）　2 黒褐色砂質土（黄色土多量混入）
22	80	78	34	1 黒褐色砂質土（黄色土少量混入）2 黒褐色土（小石、黄色土多量混入）
23	140	80	24	1 黒褐色砂質土　2 黒褐色砂質土（小石、黄色土混入） 3 黒褐色砂質土（小石多量混入）
24	280	240	52	1 黒色砂質土　2 黒色砂質土（黄色土混入） 3 黒色砂質土（黄色土ブロック状に混入）
25	166	66	36	1 黒褐色砂質土　2 黒褐色砂質土（黄色土混入）
26	360	100	18	
27	298	170	56	
28	508	242	18	1 黒褐色砂質土　2 黒褐色砂質土（黄色土混入）
29	490	140	22	1 黒褐色砂質土
30	242	168	18	
31	116	110	12	
32	198	62	30	

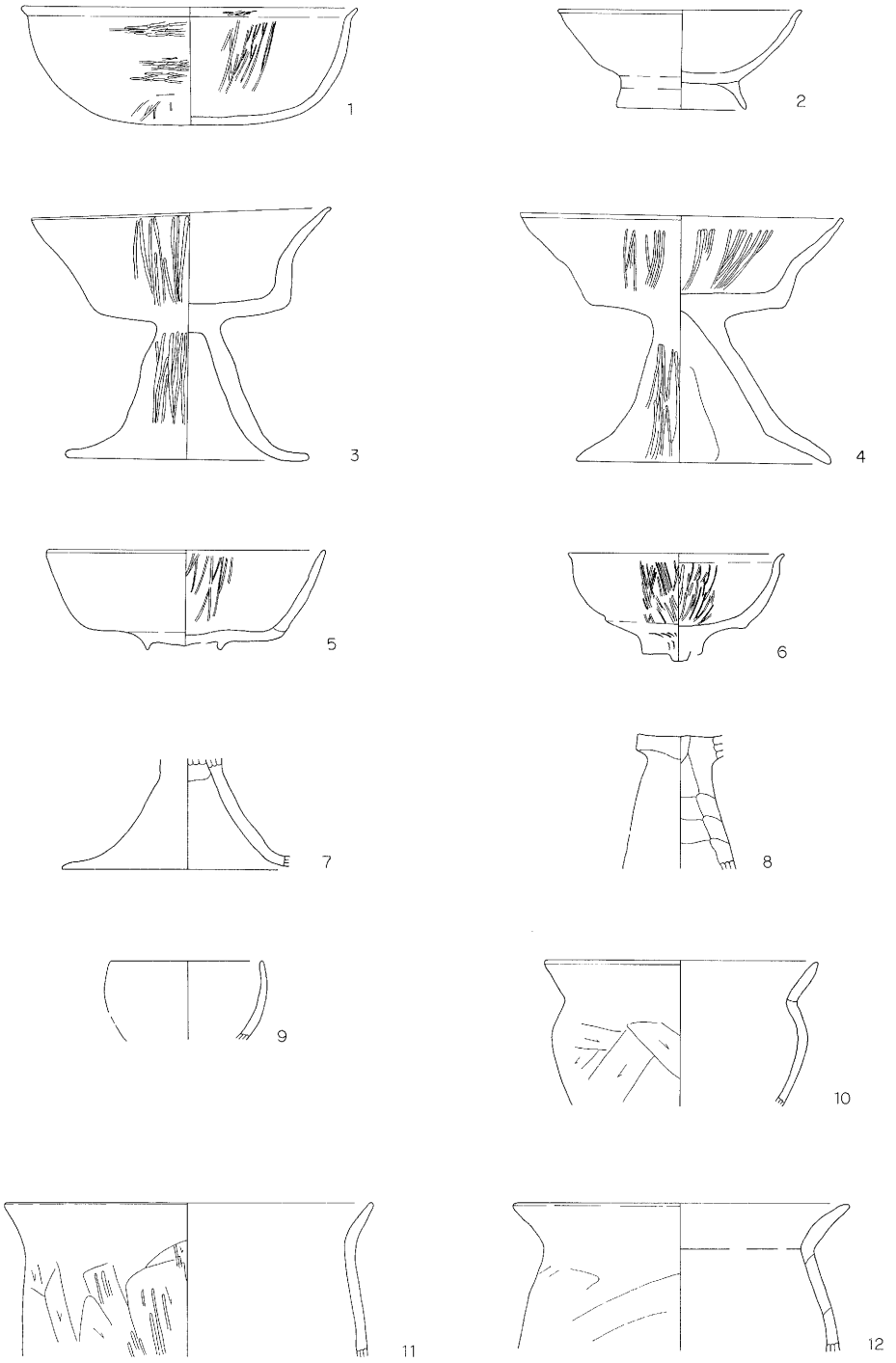
第 6 表　　土 壙 一 覧 表

番　号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	番　号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)	番　号	長径(cm)	短径(cm)	深さ(cm)
1	28	26	8	43	24	22	20	87	52	38	7
2	40	38	10	45	48	40	12	88	60	58	26
3	50	48	10	46	84	73	28	89	30	30	16
4	28	—	10	47	70	66	24	90	48	44	30
5	—	28	10	48	54	52	28	91	48	40	20
6	32	—	8	49	40	40	20	92	42	40	22
7	70	38	14	50	26	22	14	94	92	68	21
8	56	52	8	51	36	32	12	95	40	38	44
9	36	18	18	52	34	32	12	96	26	22	18
10	58	54	16	53	43	32	17	97	40	30	24
11	40	34	8	54	44	43	20	98	30	24	14
12	42	26	10	56	44	44	28	99	32	26	18
13	52	36	12	57	30	20	6	100	48	44	4
14	34	32	8	58	32	22	14	101	42	—	10
15	26	22	18	59	46	44	26	102	70	68	28
16	32	30	16	60	32	26	6	103	90	50	14
17	—	70	12	61	58	48	26	104	64	—	26
18	46	24	14	62	52	44	18	105	48	42	6
19	74	60	10	63	48	36	20	106	76	68	14
20	60	42	24	64	44	40	20	107	72	50	26
21	36	32	14	65	50	40	30	108	34	30	26
22	42	36	18	66	50	38	16	109	32	32	12
23	60	50	24	67	54	36	22	110	36	32	14
24	42	38	22	68	36	34	16	111	30	26	18
25	48	36	30	69	34	30	6	112	82	54	12
26	—	36	10	70	38	34	22	113	42	28	16
27	46	44	24	71	50	44	20	114	36	30	10
28	50	48	32	72	44	32	18	115	24	22	14
29	50	44	30	73	44	32	24	116	28	26	6
30	28	26	26	74	58	48	22	117	48	28	4
31	36	32	10	75	52	48	24	118	38	32	10
32	36	34	18	76	56	46	14	119	48	42	18
33	34	30	28	77	76	72	28	120	44	36	18
34	52	36	10	78	54	36	22	121	34	26	22
35	38	34	18	79	38	32	20	122	32	30	32
36	30	28	26	80	34	30	18	123	40	22	22
37	46	38	8	81	52	40	24	124	45	38	20
38	38	32	14	82	48	40	26				
39	48	34	30	83	48	42	18				
40	18	14	8	84	62	46	14				
41	26	24	6	85	52	50	14				
42	38	32	22	86	52	50	30				

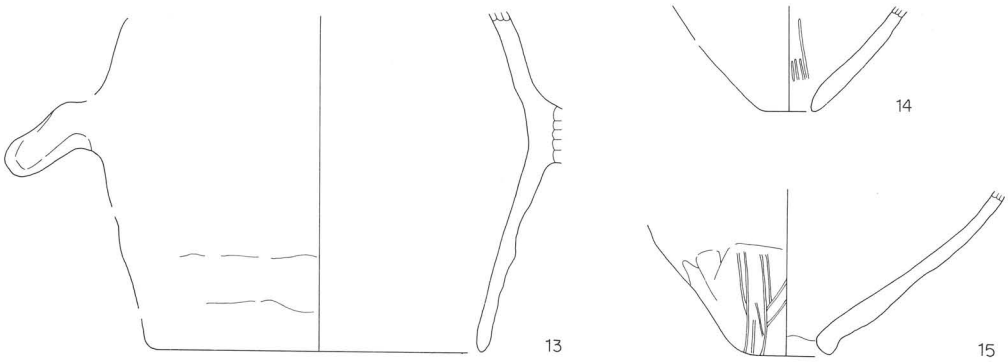
第 7 表　　ピ ッ ト 一 覧 表

第２節　遺　　物

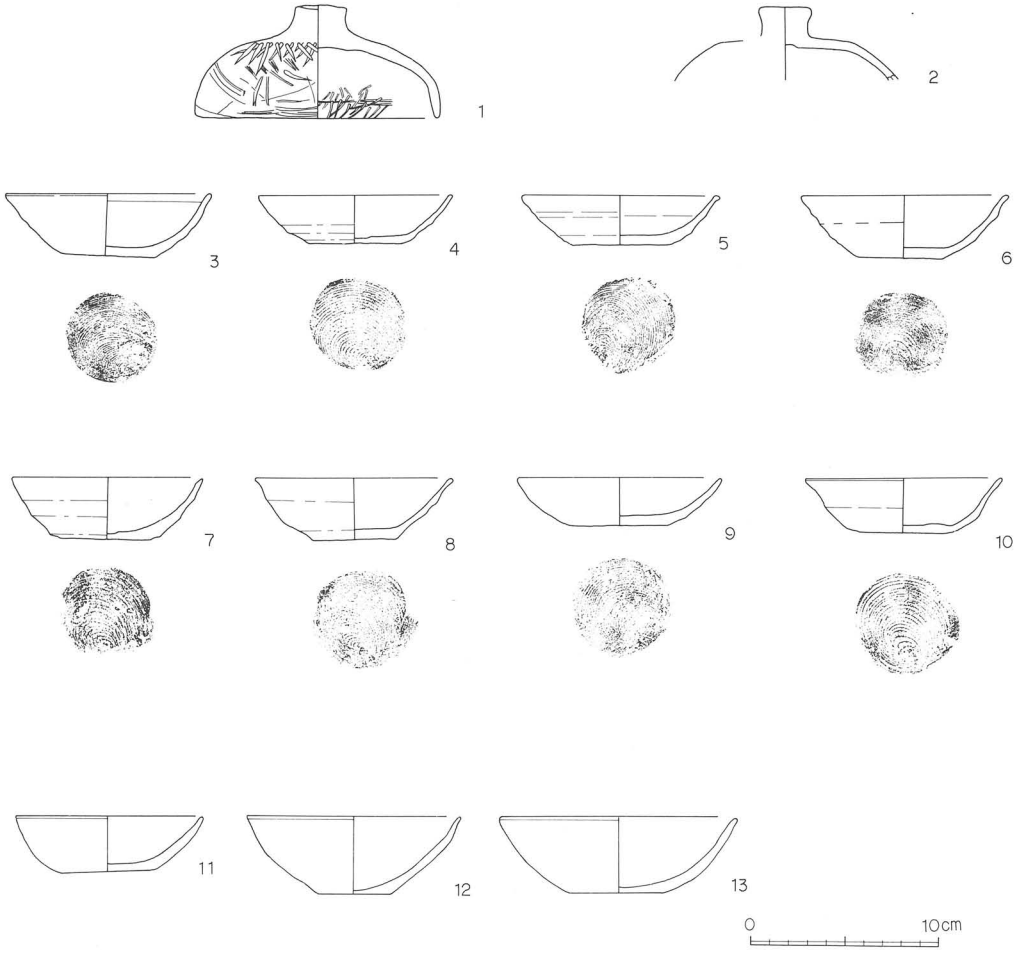
１　竪穴住居址出土遺物



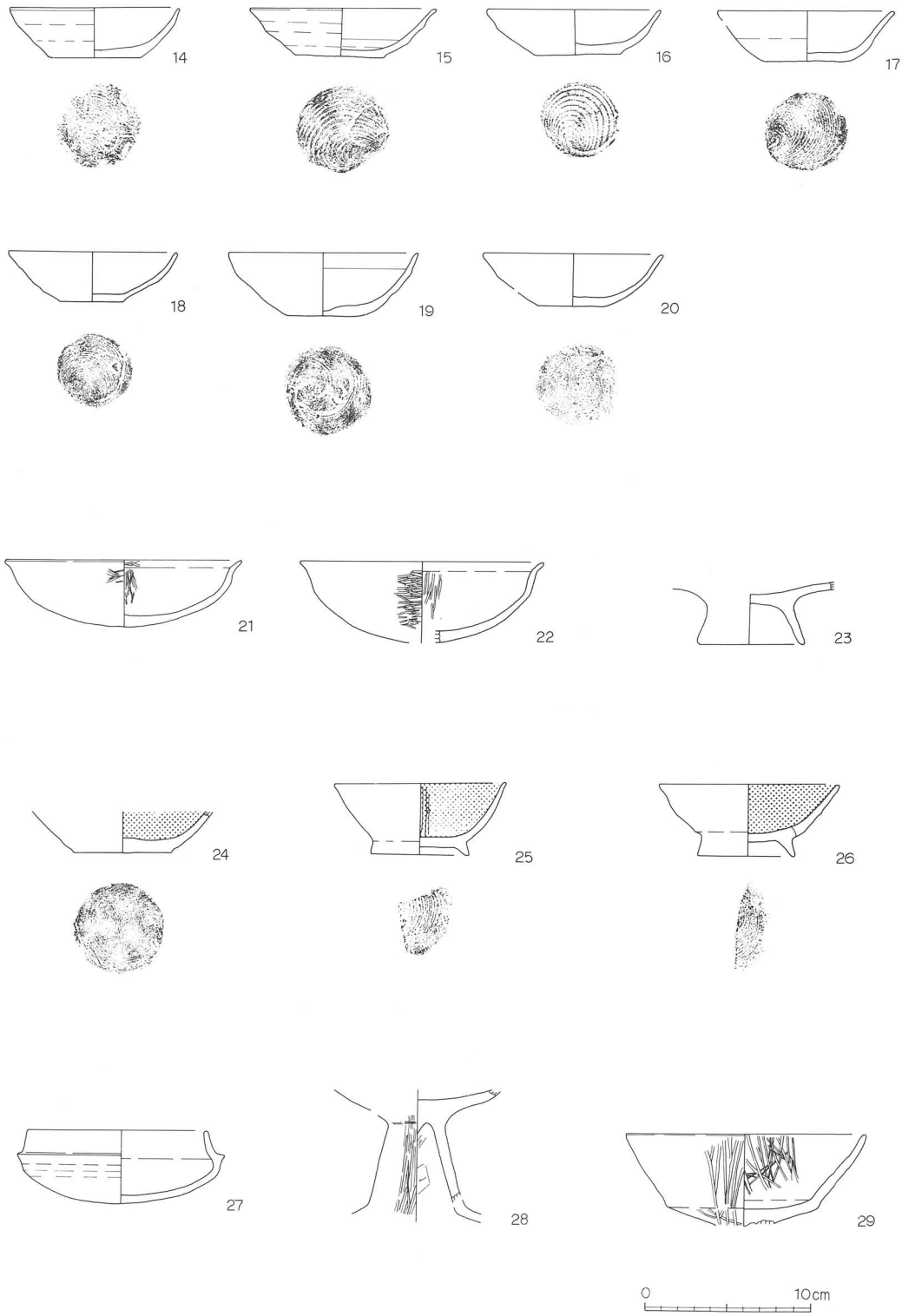
第５４図　ＳＢ－０１出土遺物実測図（１）　0　10cm



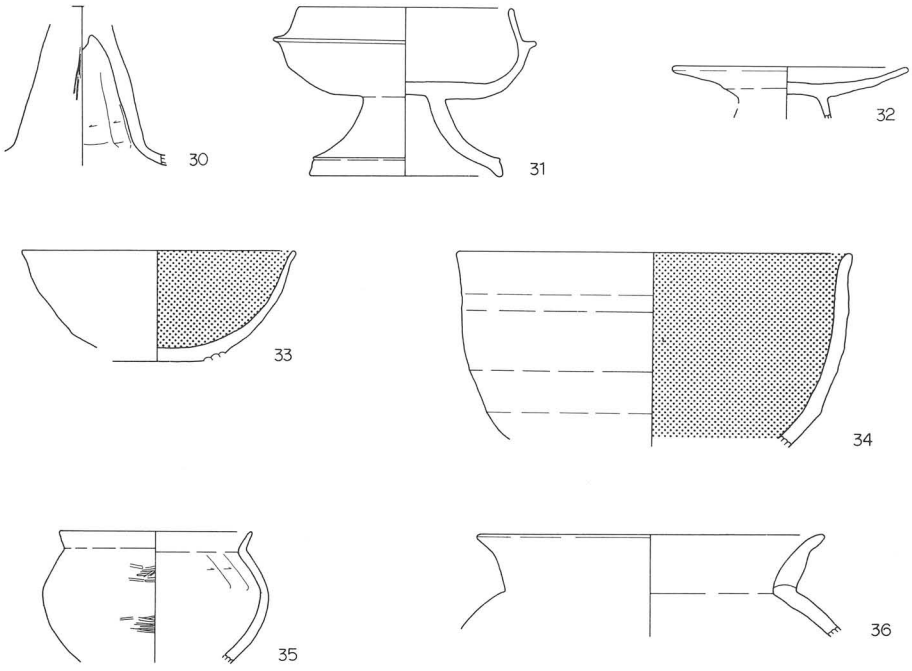
第５５図　ＳＢ－０１出土遺物実測図（２）



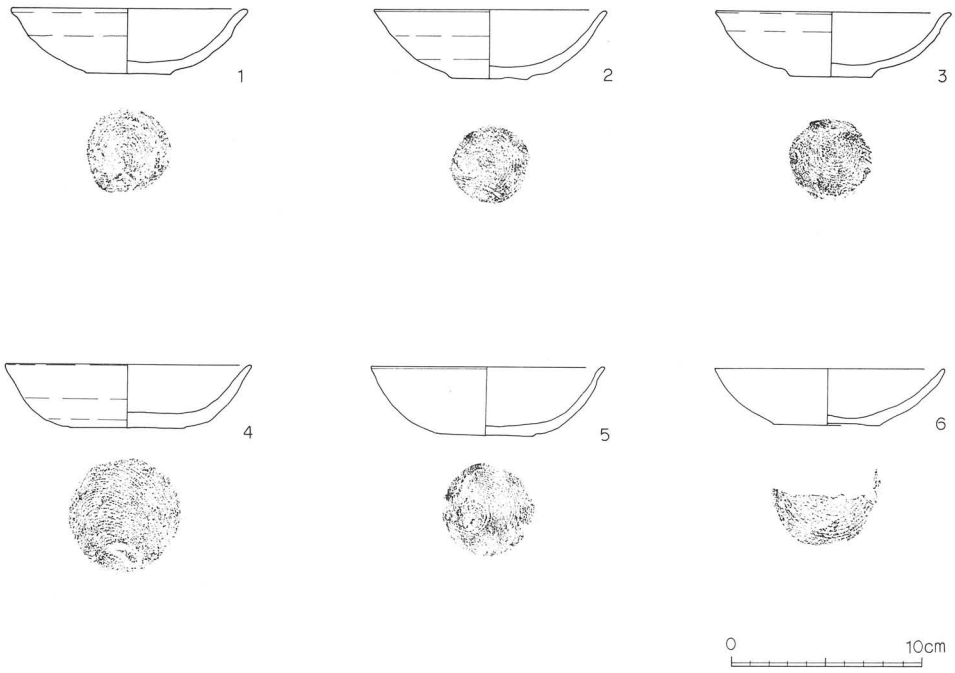
第５６図　ＳＢ－０３出土遺物実測図（１）



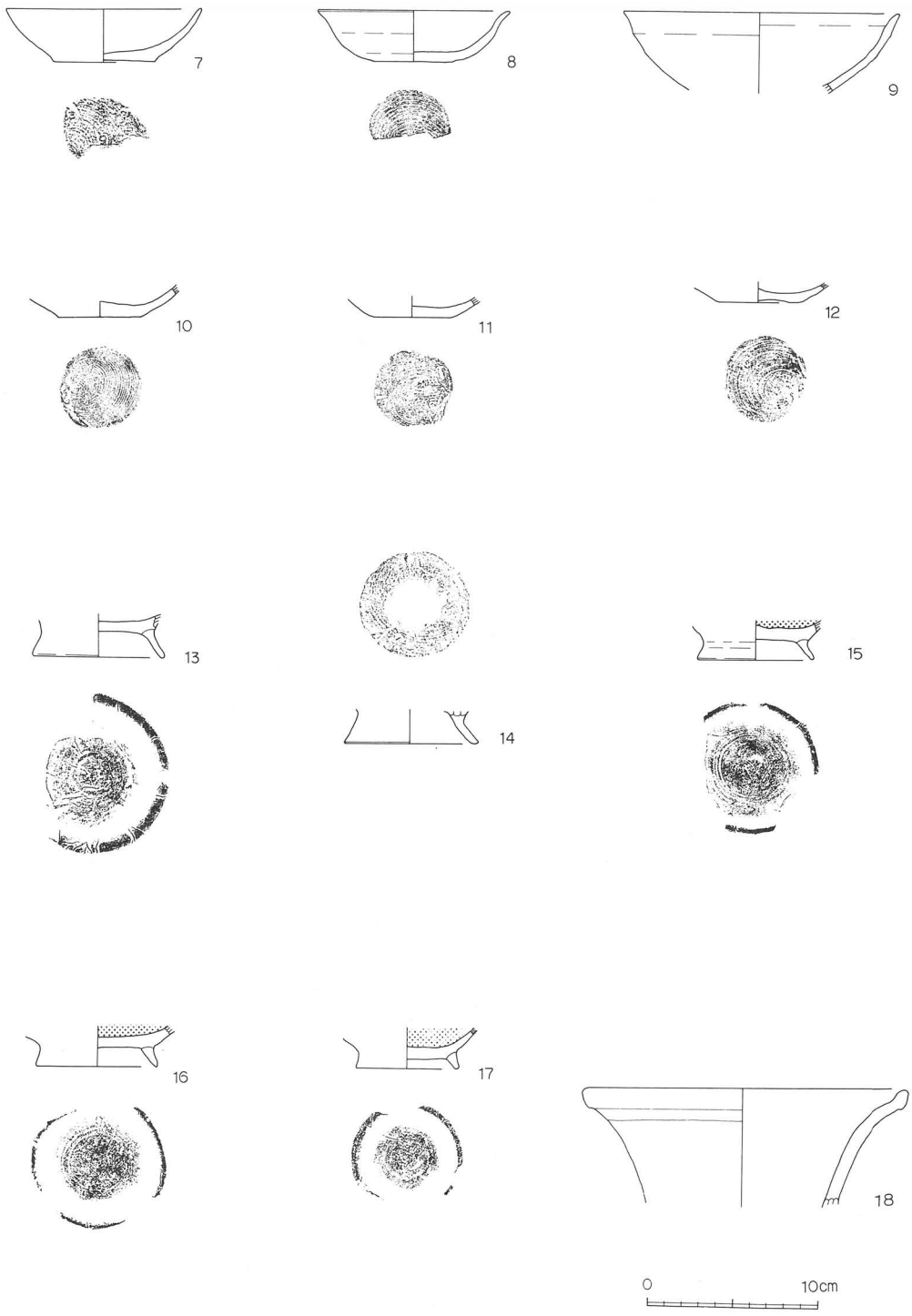
第５７図　ＳＢ－０３出土遺物実測図（２）



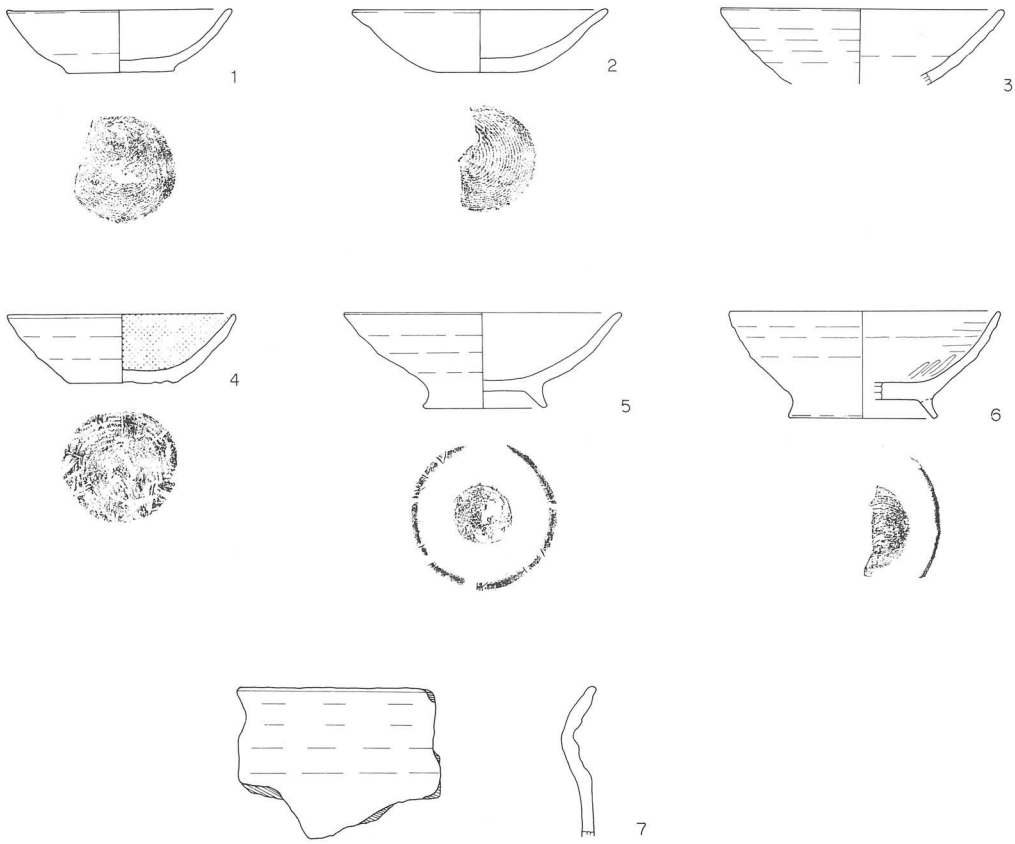
第５８図　ＳＢ－０３出土遺物実測図（３）



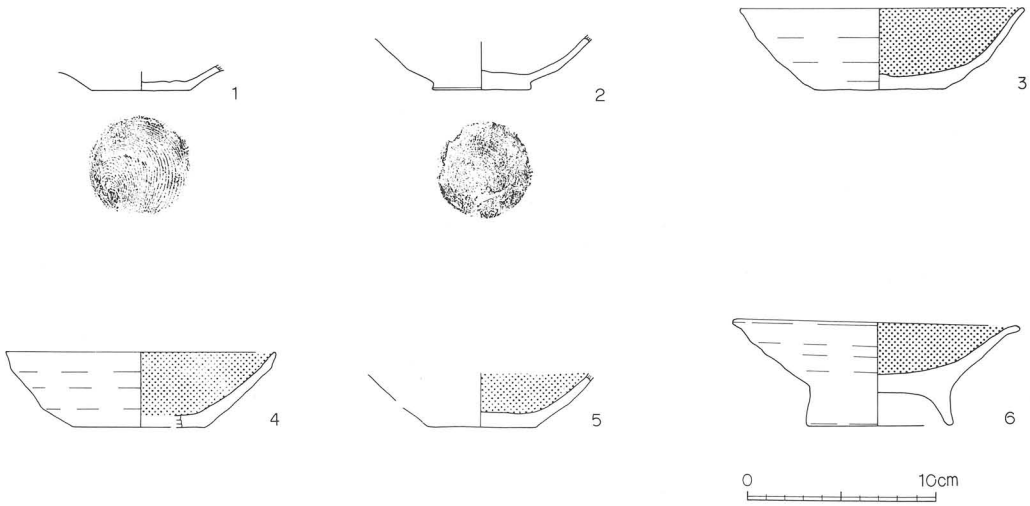
第５９図　ＳＢ－０８出土遺物実測図（１）



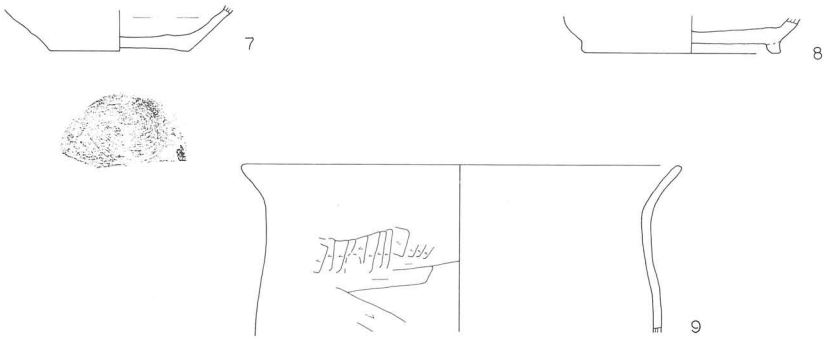
第６０図　ＳＢ－０８出土遺物実測図（２）



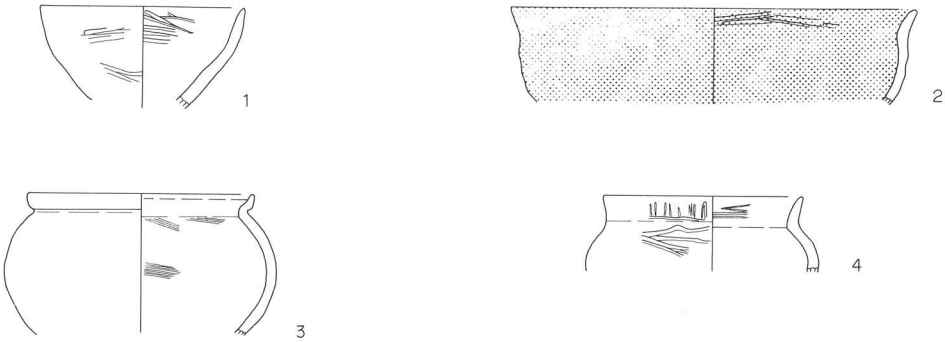
第６１図　ＳＢ－０９出土遺物実測図



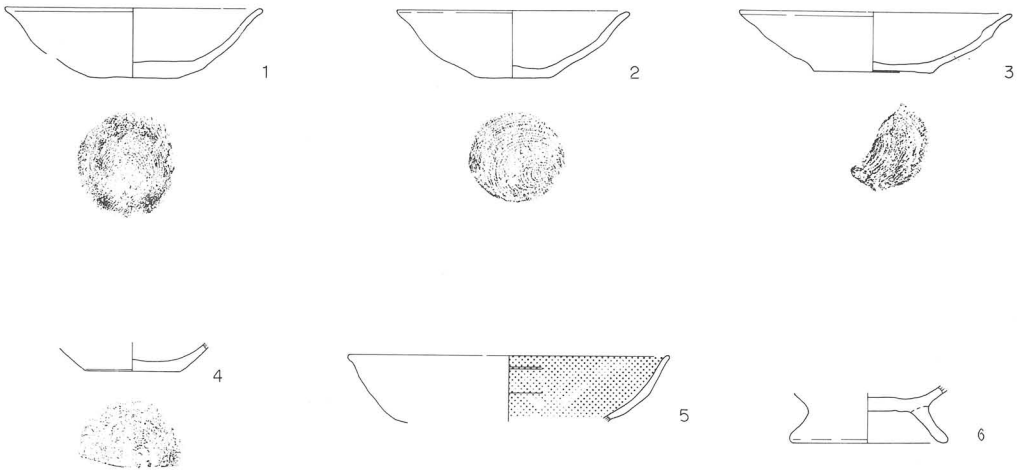
第６２図　ＳＢ－１０出土遺物実測図（１）



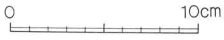
第６３図　ＳＢ－１０出土遺物実測図（２）



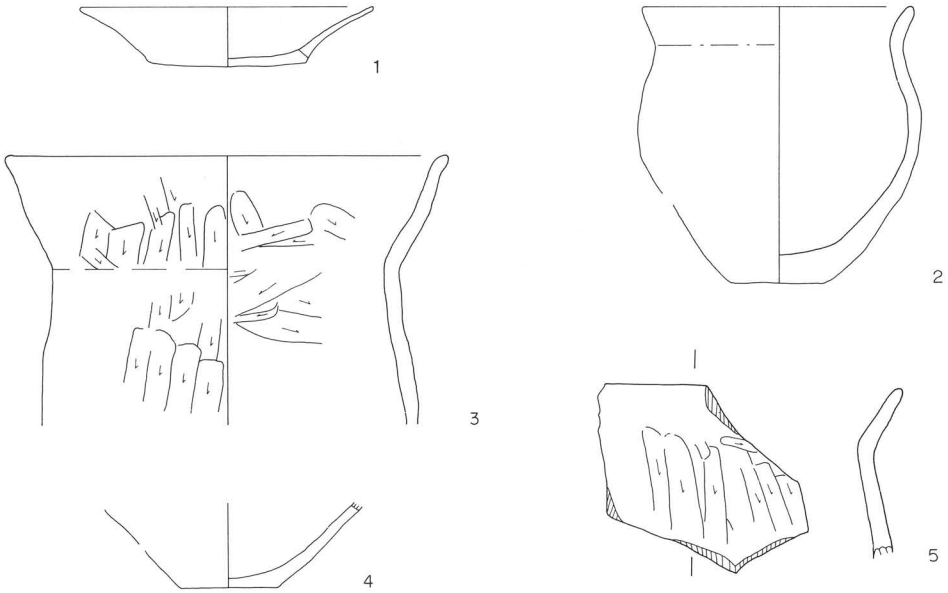
第６４図　ＳＢ－１１出土遺物実測図



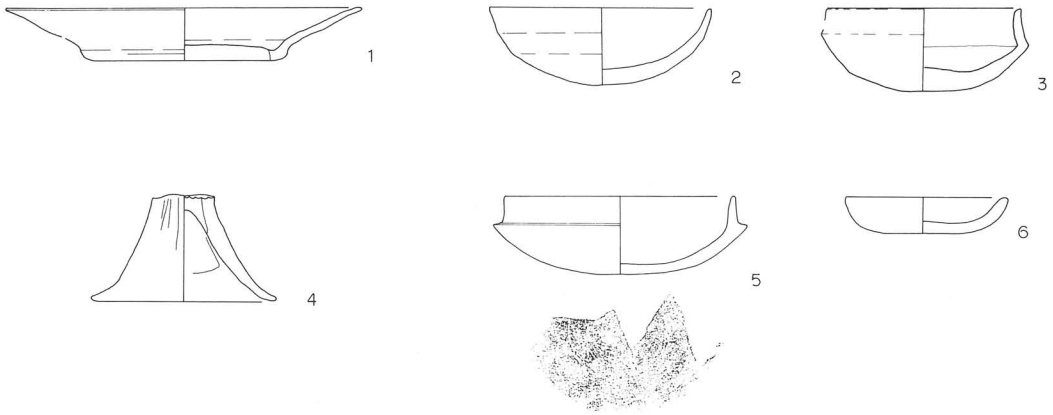
第６５図　ＳＢ－１２出土遺物実測図（１）



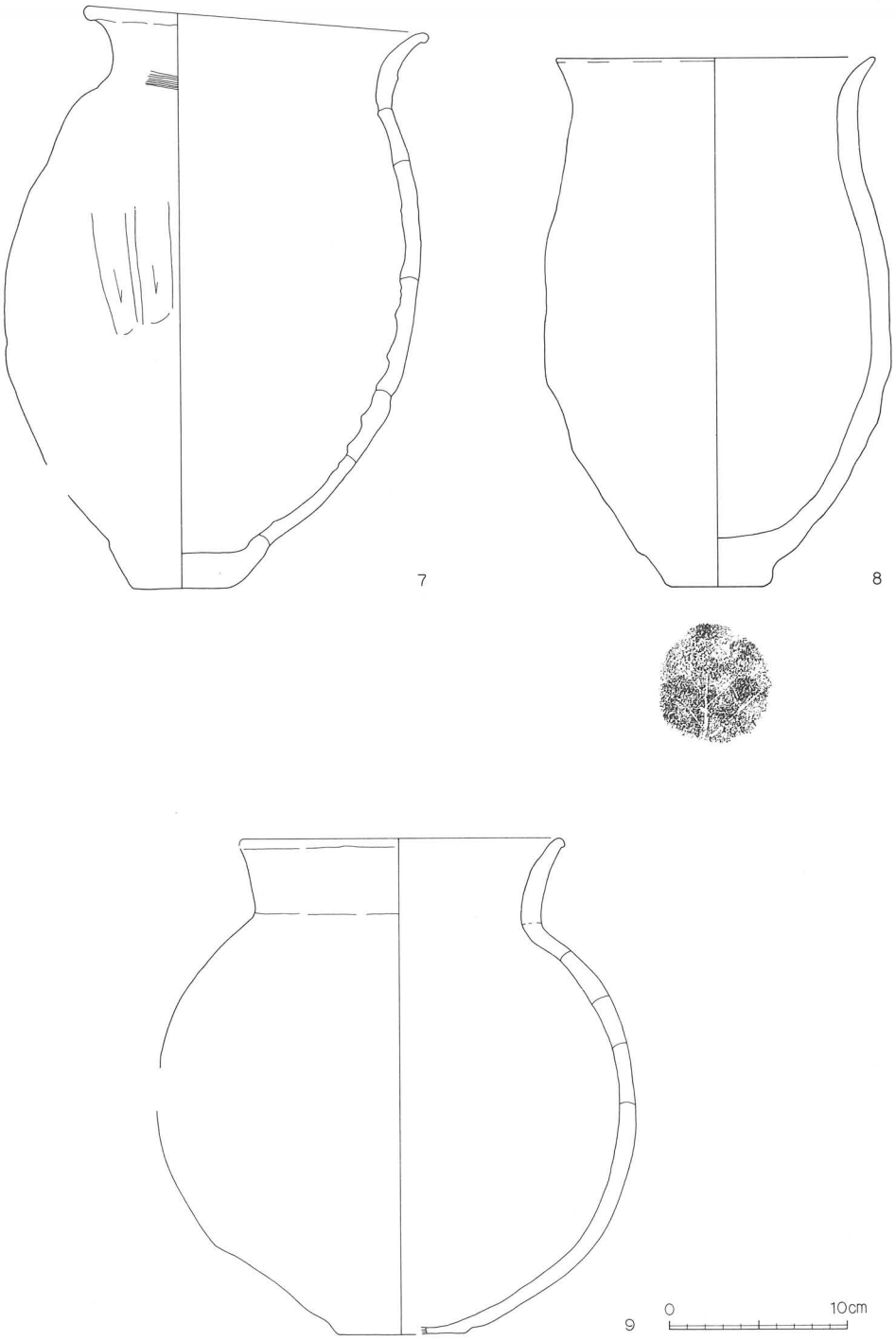
第６６図　ＳＢ－１２出土遺物実測図（２）



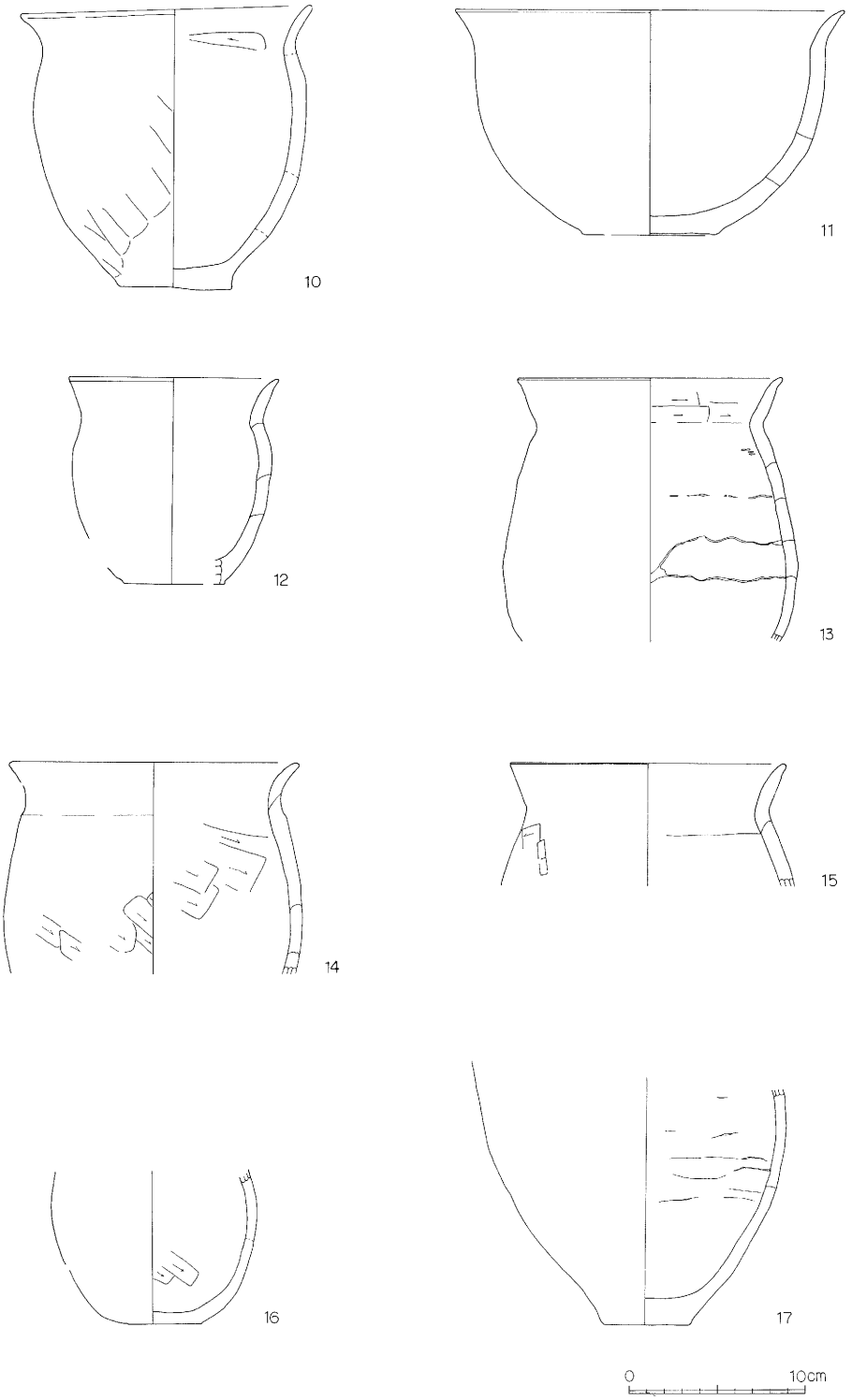
第６７図　ＳＢ－１３出土遺物実測図



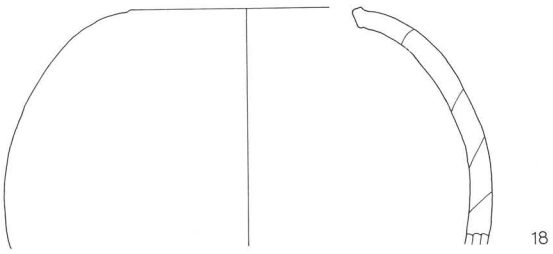
第６８図　ＳＢ－１４出土遺物実測図（１）　0　10cm



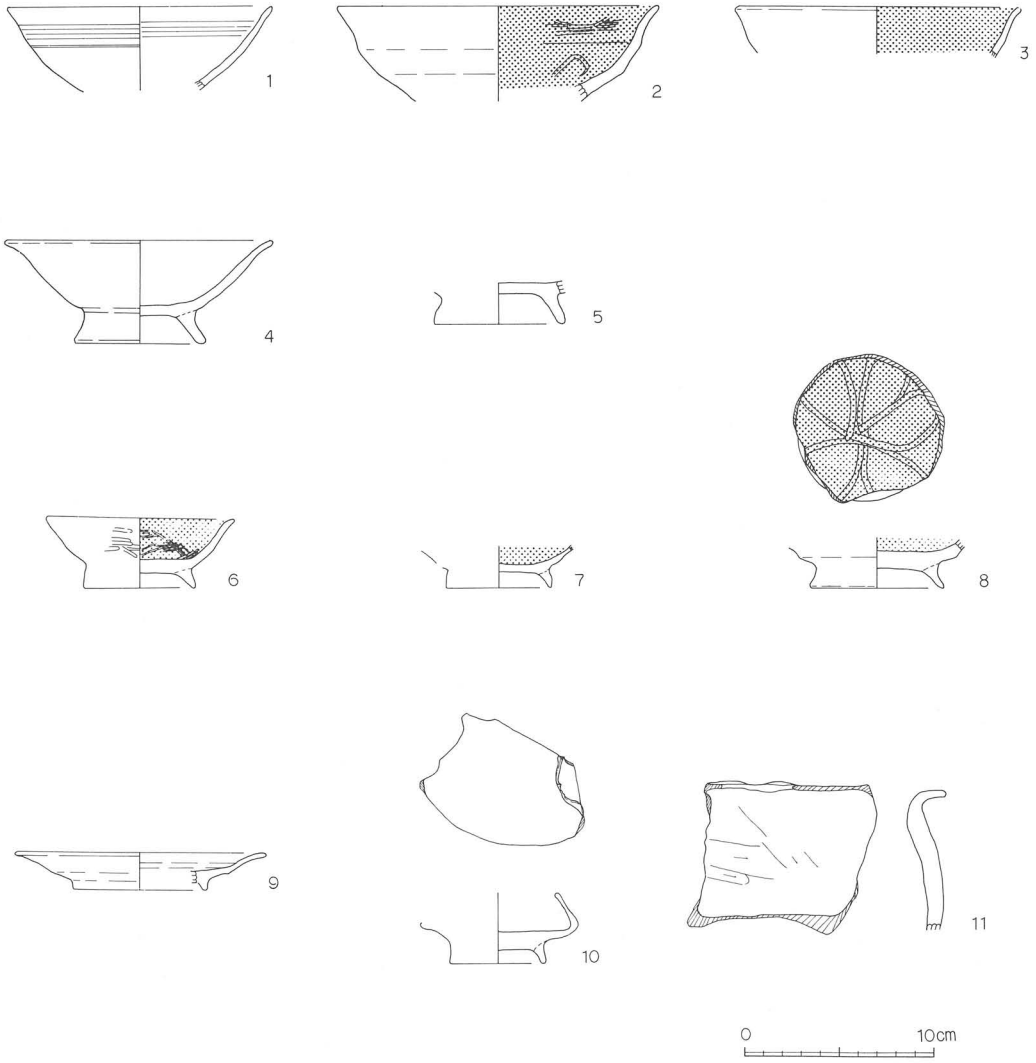
第６９図　ＳＢ－１４出土遺物実測図（２）



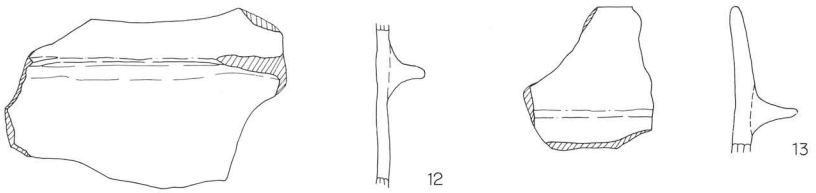
第７０図　ＳＢ－１４出土遺物実測図（３）



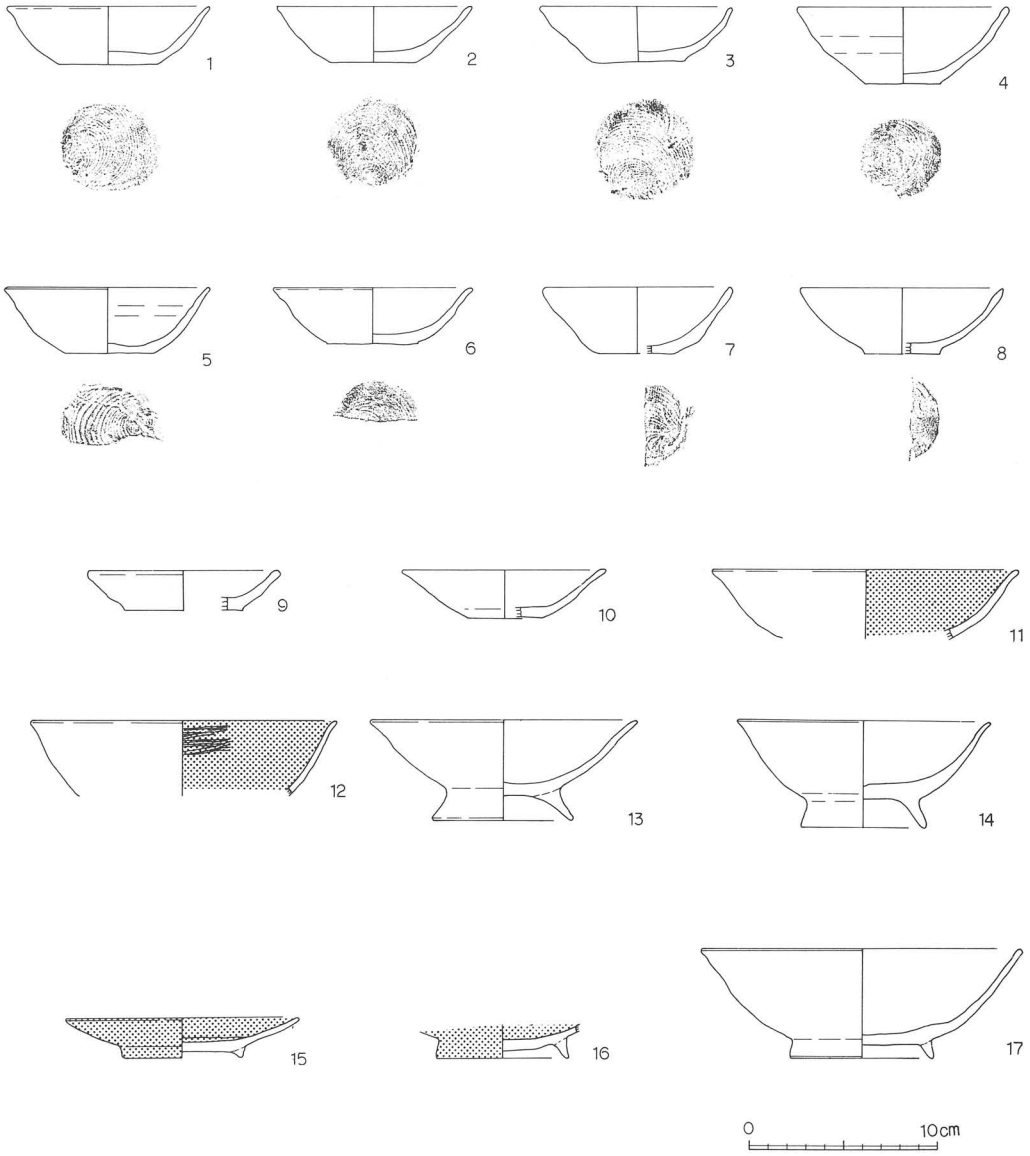
第７１図　ＳＢ－１４出土遺物実測図（４）



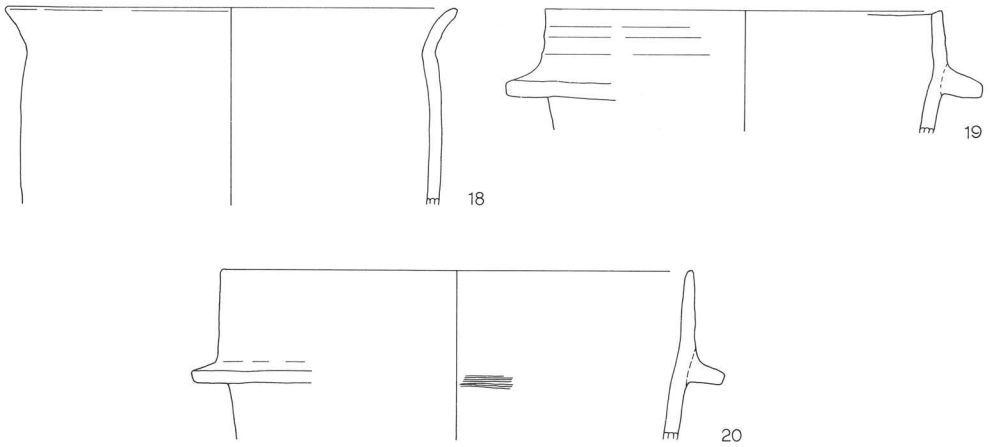
第７２図　ＳＢ－１８出土遺物実測図（１）



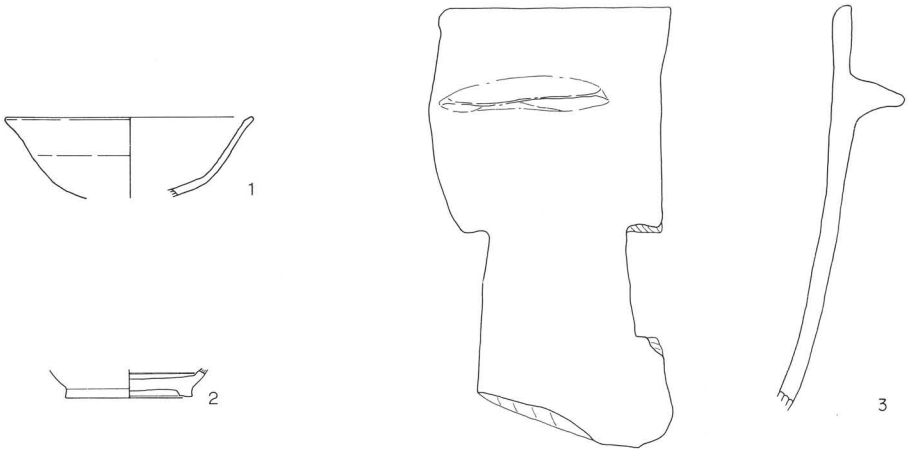
第７３図　ＳＢ－１８出土遺物実測図（２）



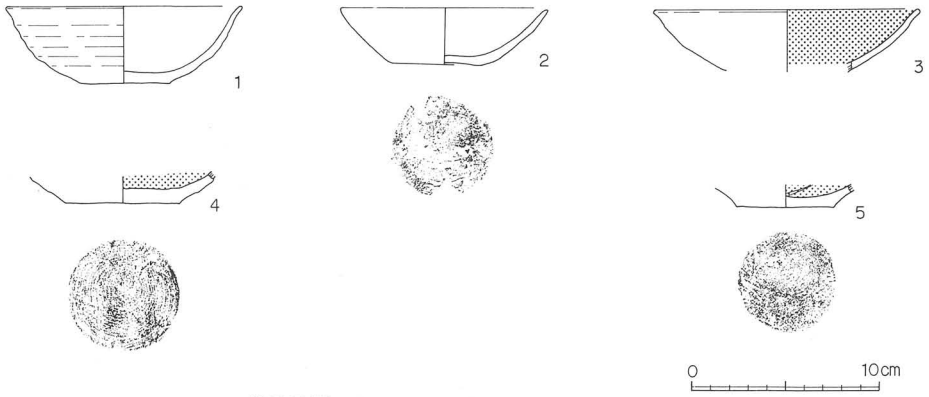
第７４図　ＳＢ－１９出土遺物実測図（１）



第７５図　ＳＢ－１９出土遺物実測図（２）

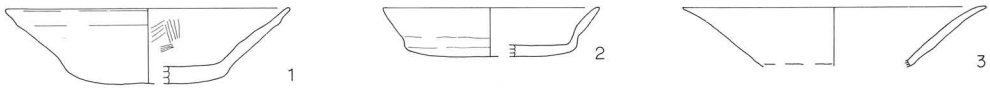


第７６図　ＳＢ－２０出土遺物実測図

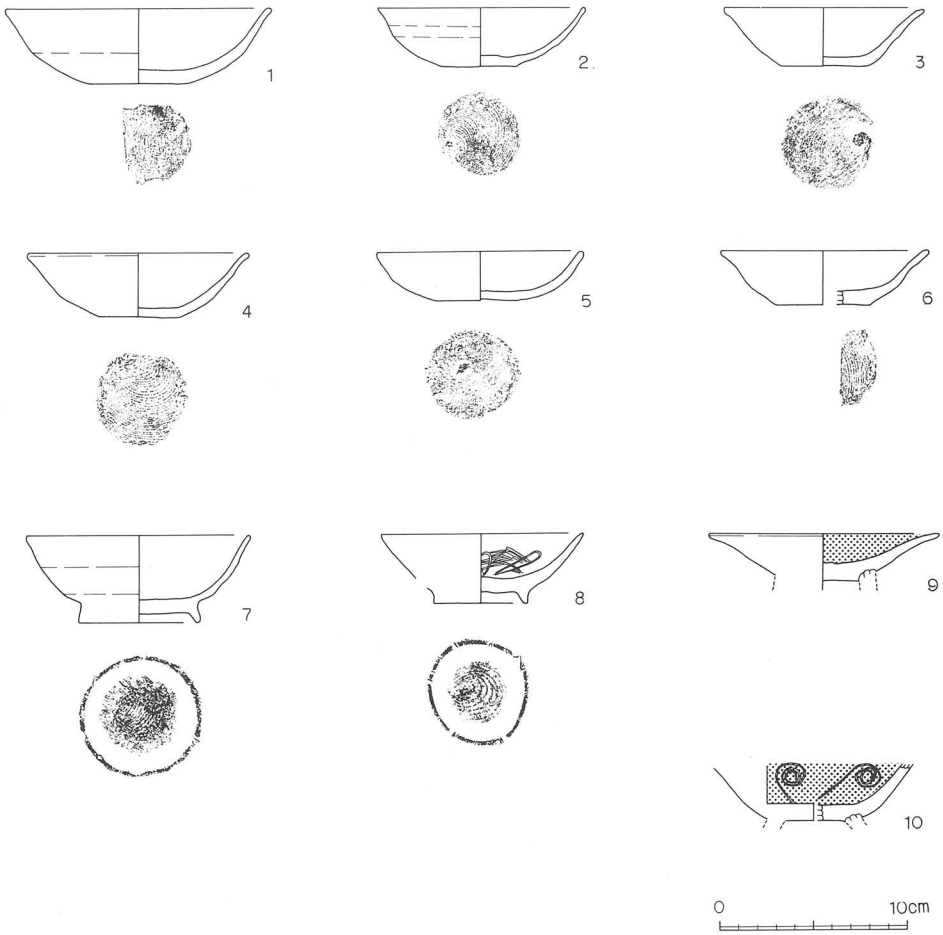


第７７図　ＳＢ－２１出土遺物実測図（１）

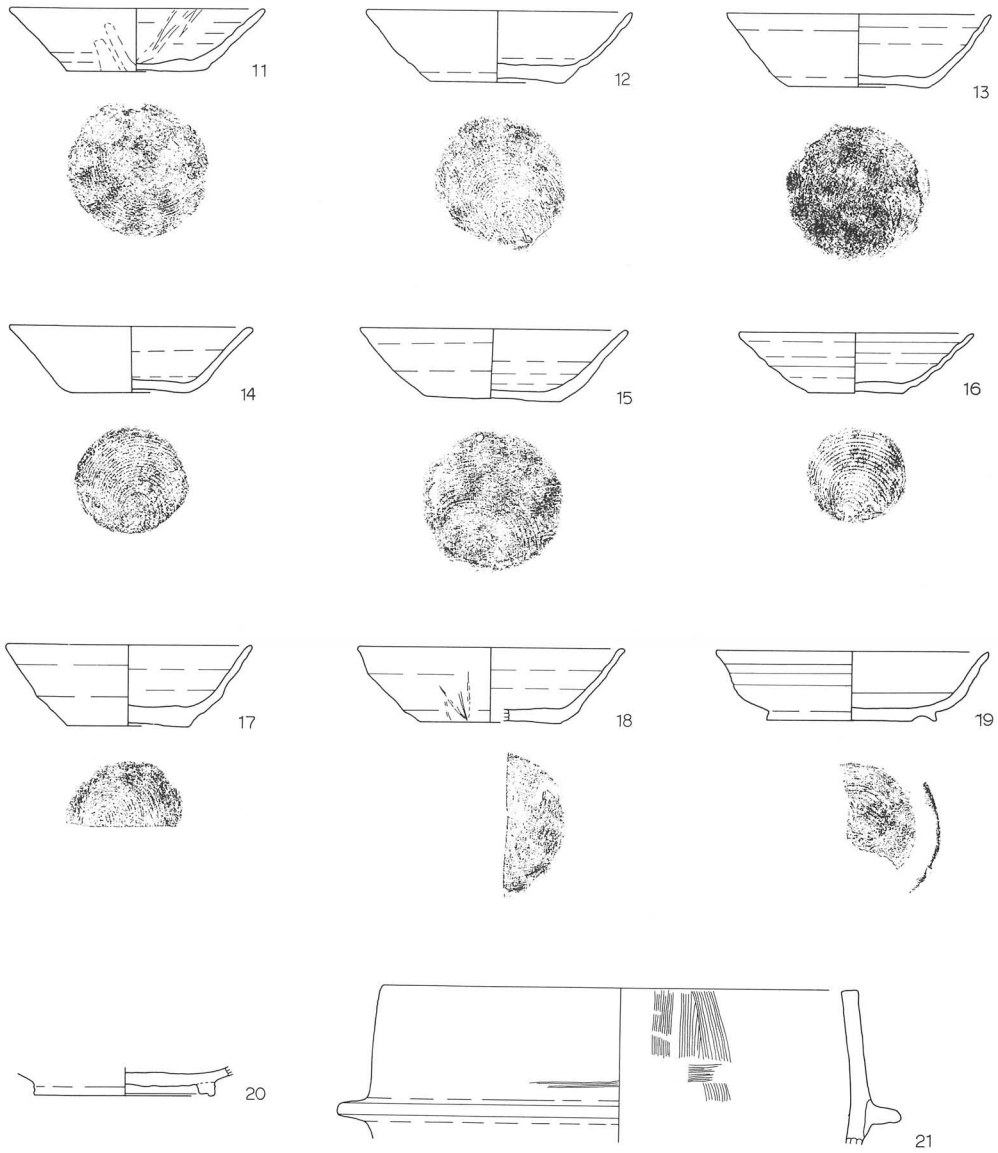
第７８図　ＳＢ－２１出土遺物実測図（２）



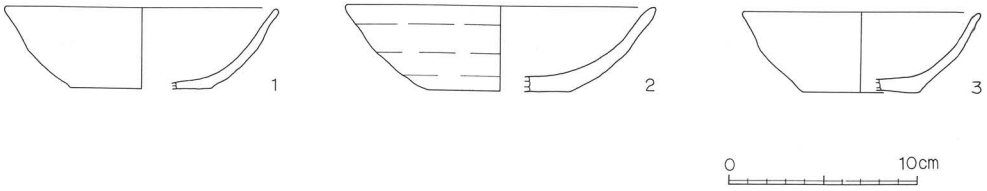
第７９図　ＳＢ－２２出土遺物実測図



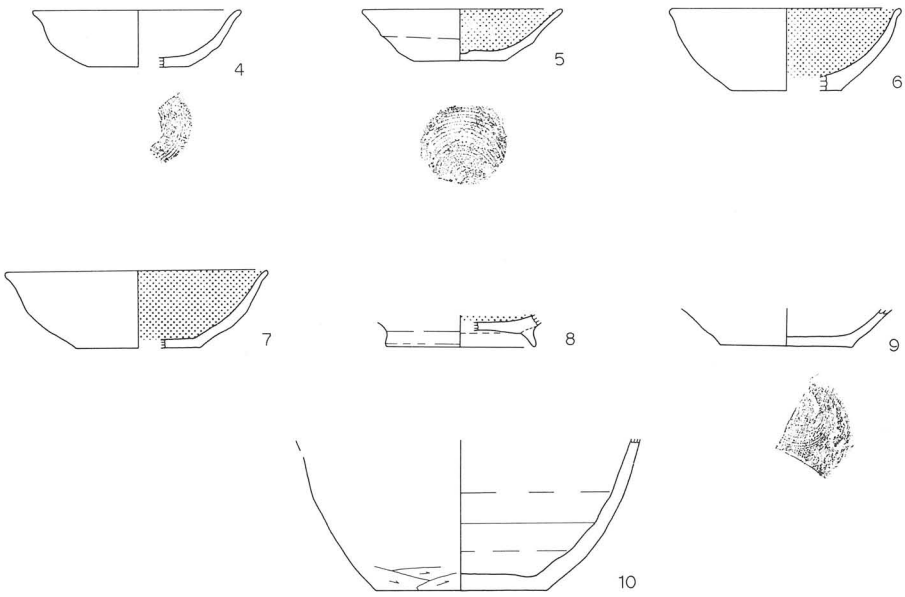
第８０図　ＳＢ－２３出土遺物実測図（１）



第８１図　ＳＢ－２３出土遺物実測図（２）

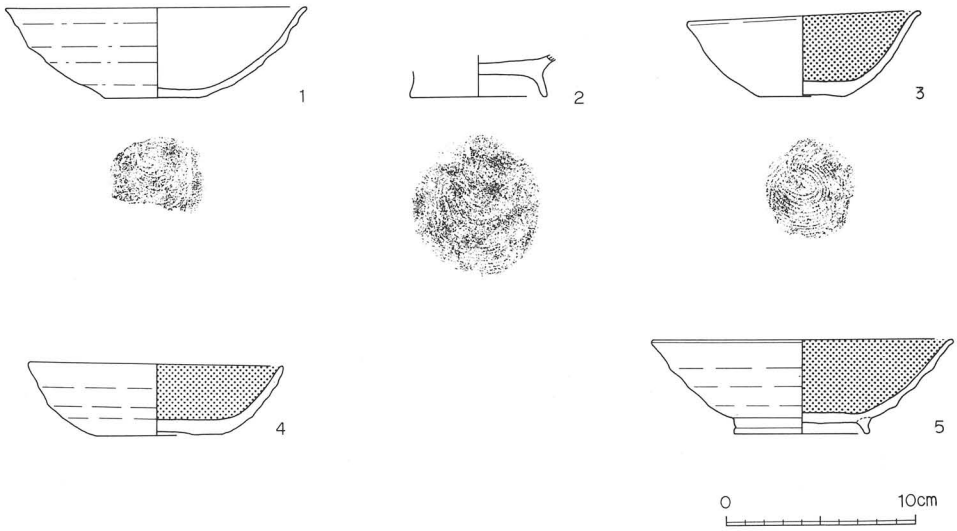


第８２図　ＳＢ－２４出土遺物実測図（１）

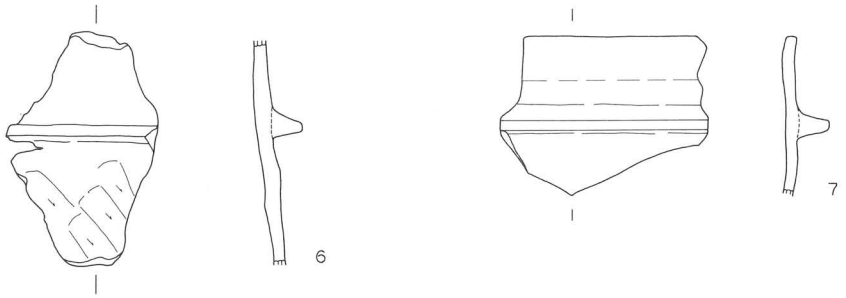


第８３図　ＳＢ－２４出土遺物実測図（２）

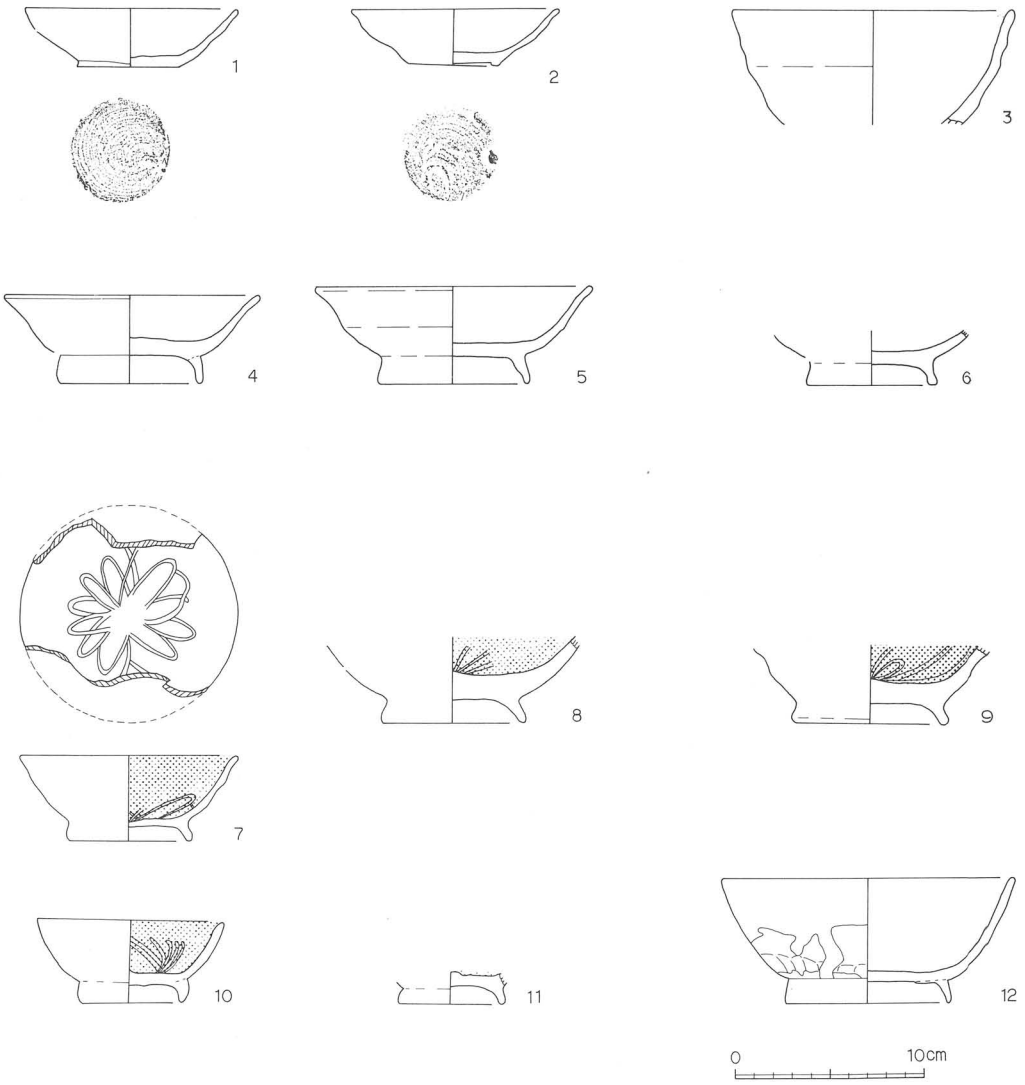
第８４図　ＳＢ－２６出土遺物実測図



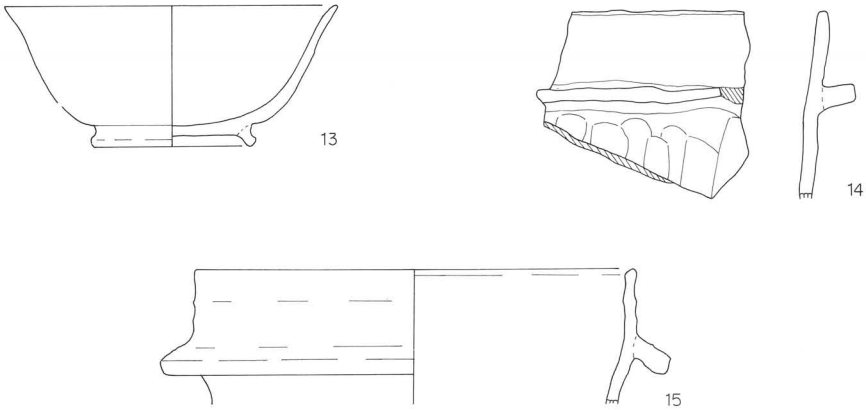
第８５図　ＳＢ－２７出土遺物実測図（１）



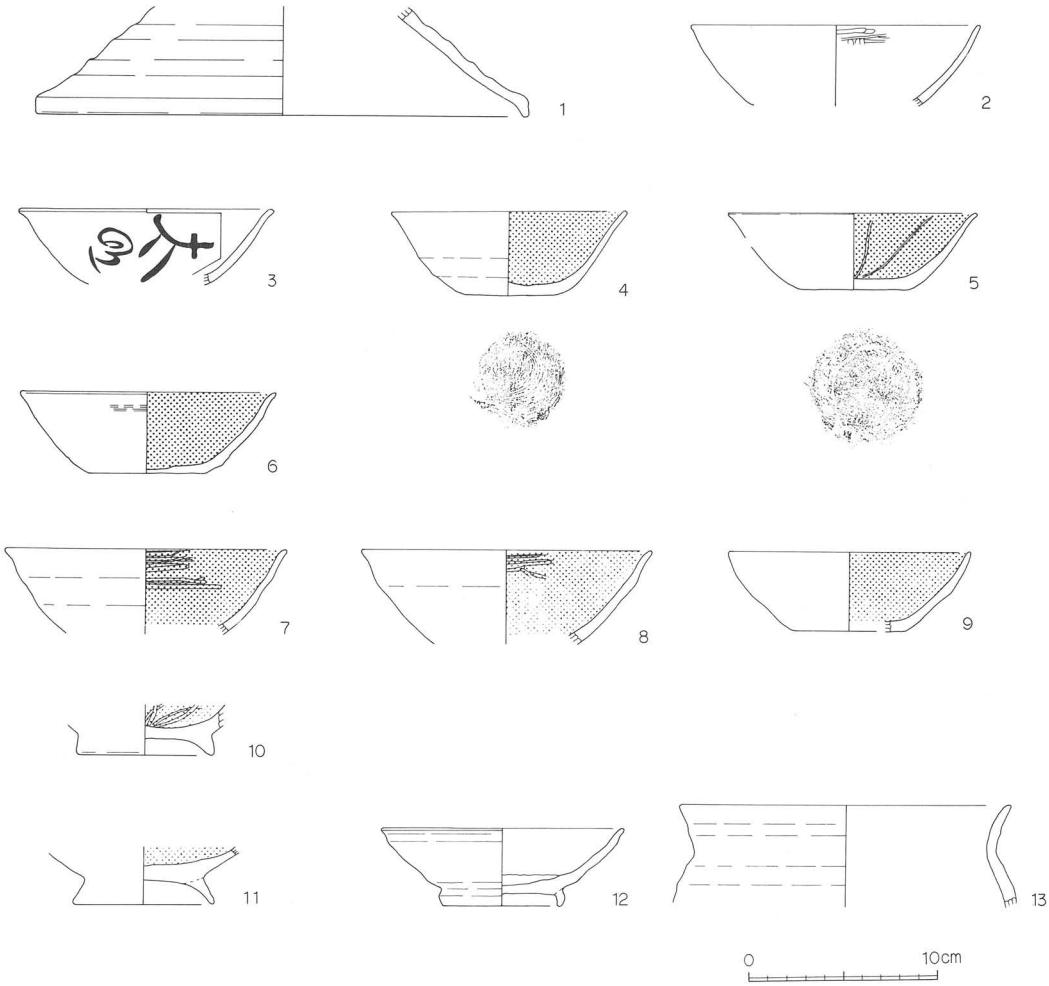
第８６図　ＳＢ－２７出土遺物実測図（２）



第８７図　ＳＢ－２８出土遺物実測図（１）



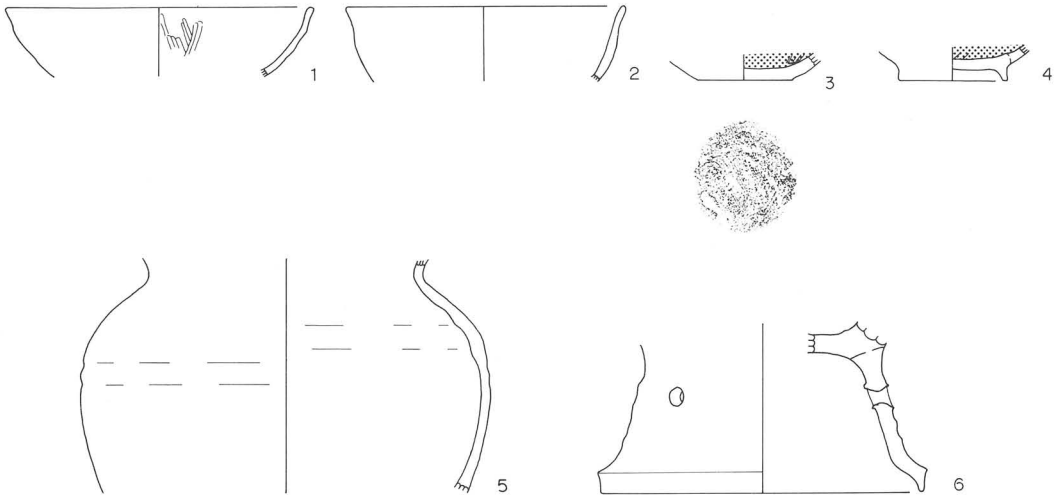
第８８図　ＳＢ－２８出土遺物実測図（２）



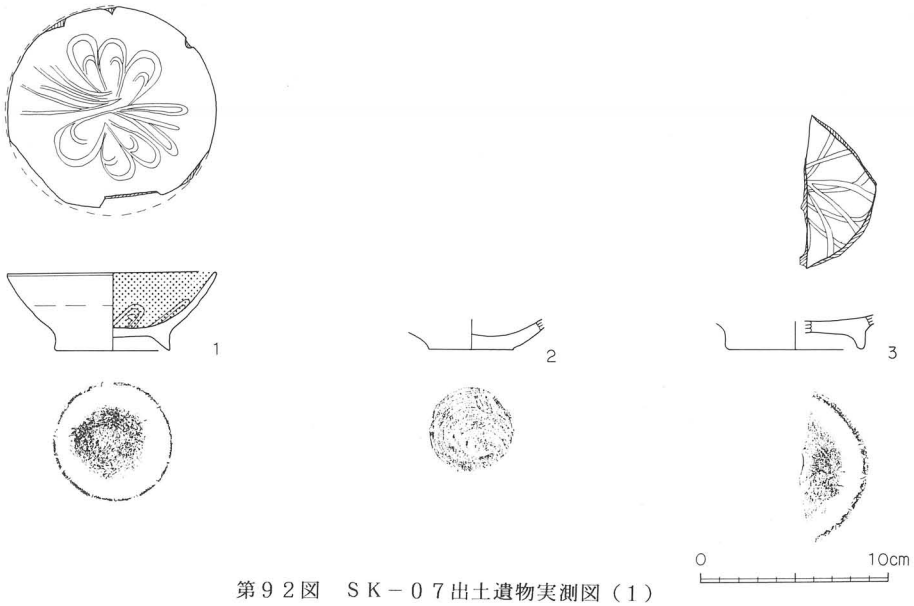
第８９図　ＳＢ－３０出土遺物実測図

2　土壙出土遺物

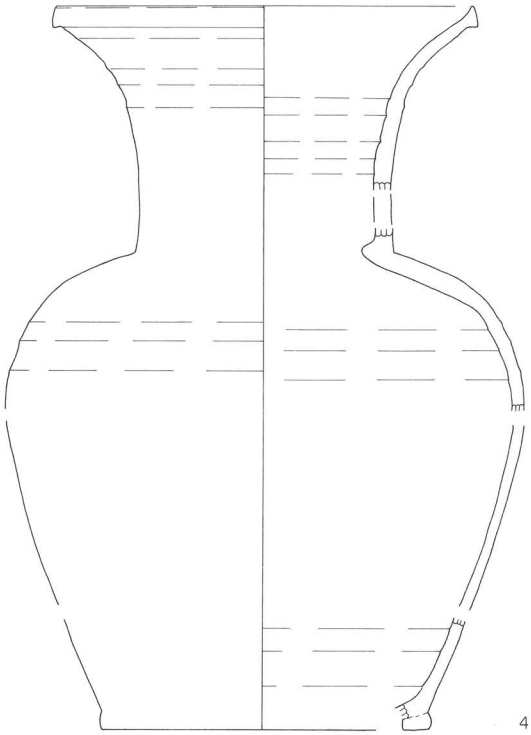
第９０図　ＳＫ－０２出土遺物実測図



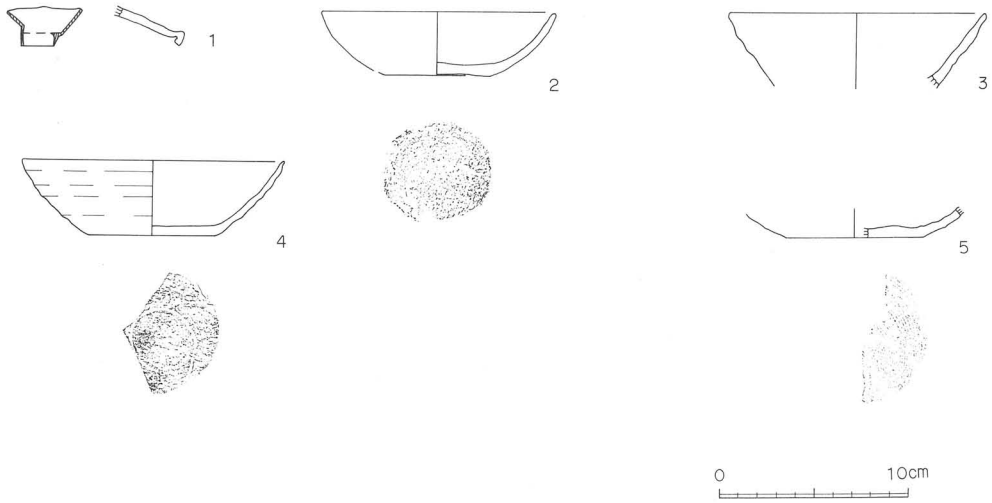
第９１図　ＳＫ－０５出土遺物実測図



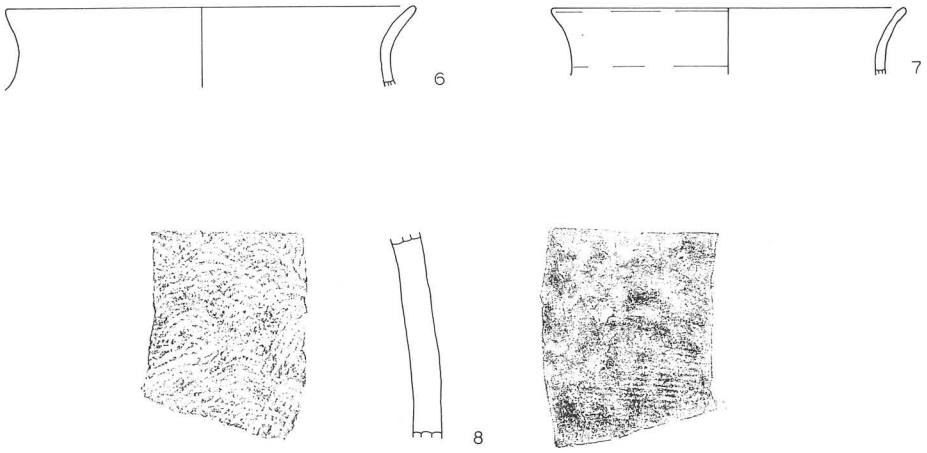
第９２図　ＳＫ－０７出土遺物実測図（１）



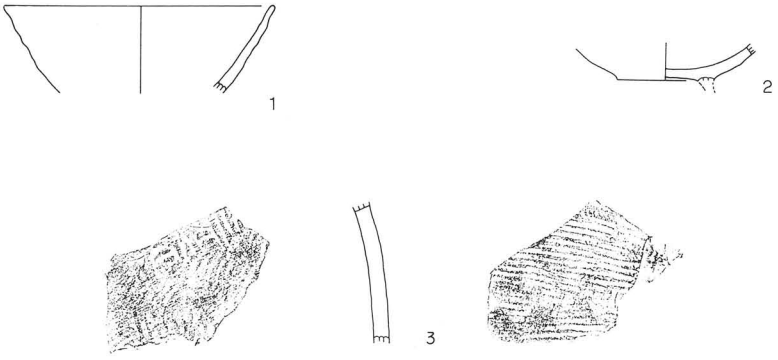
第９３図　ＳＫ－０７出土遺物実測図（２）



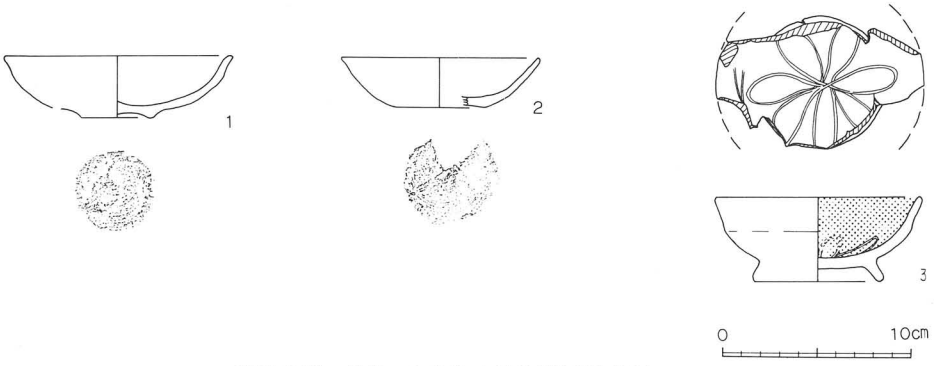
第９４図　ＳＫ－０９出土遺物実測図（１）



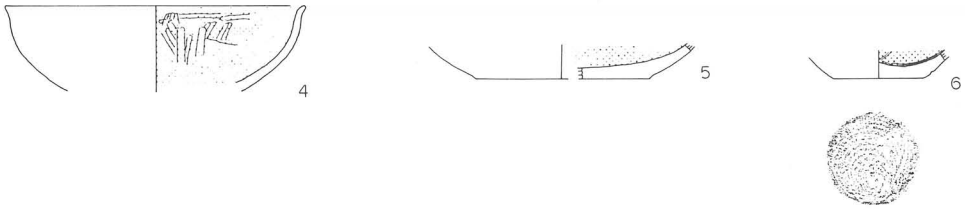
第９５図　ＳＫ－０９出土遺物実測図（２）



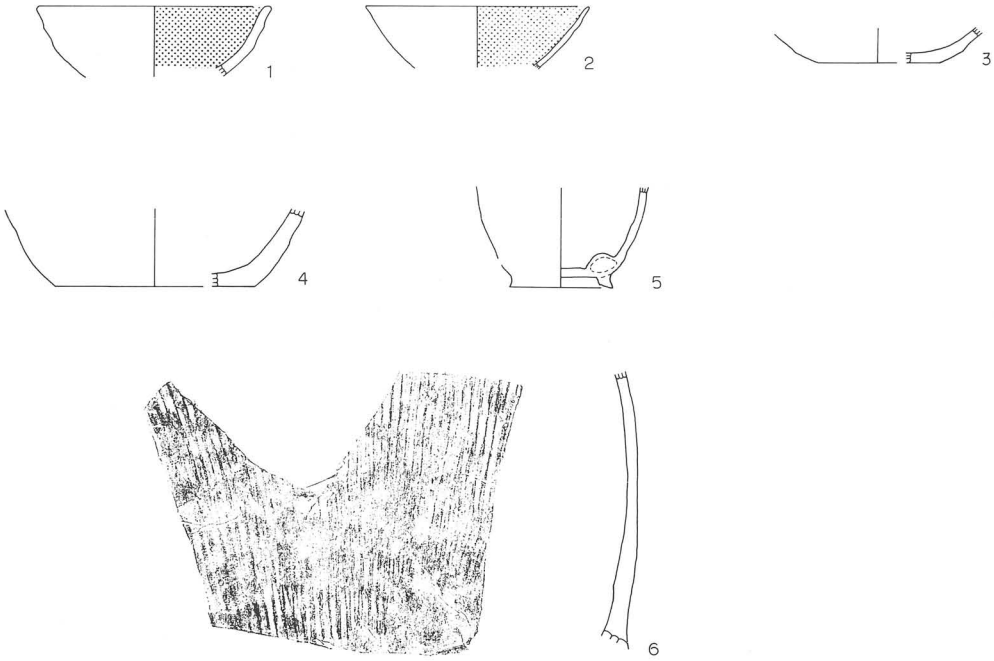
第９６図　ＳＫ－１１出土遺物実測図



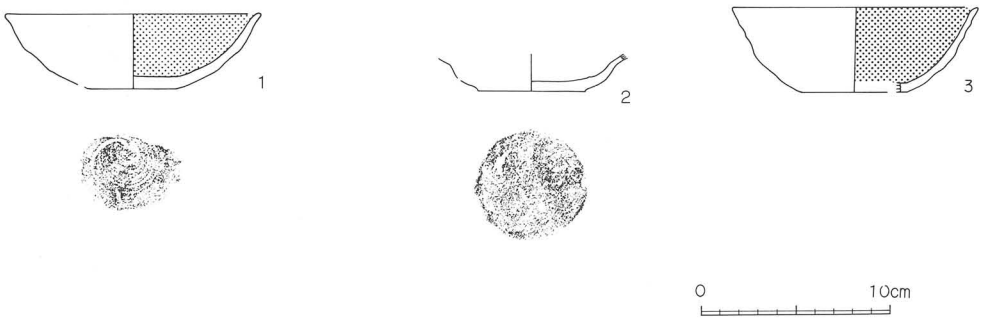
第９７図　ＳＫ－１２出土遺物実測図（１）



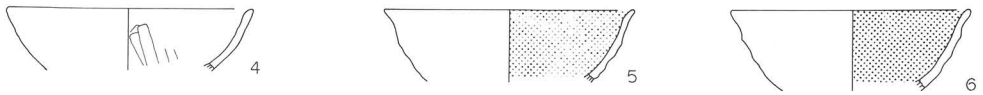
第９８図　ＳＫ－１２出土遺物実測図（２）



第９９図　ＳＫ－１４出土遺物実測図

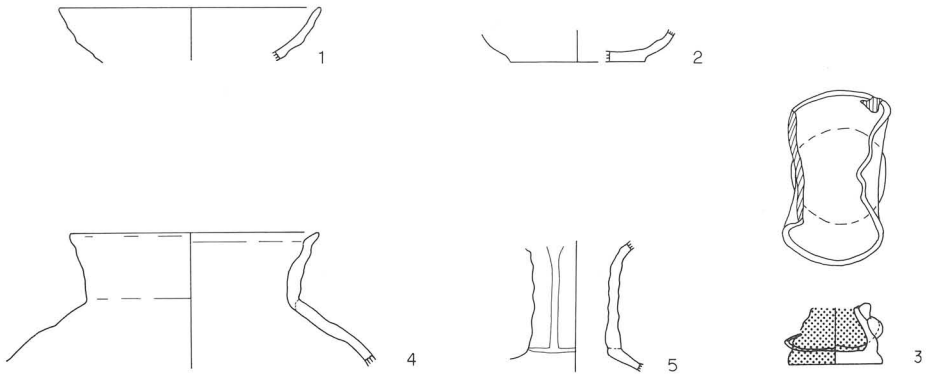


第１００図　ＳＫ－１５出土遺物実測図（１）

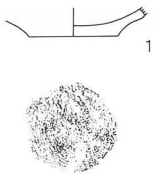


第１０１図　ＳＫ－１５出土遺物実測図（２）

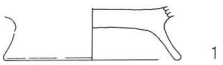
第１０２図　ＳＫ－１７出土遺物実測図



第１０３図　ＳＫ－１８出土遺物実測図



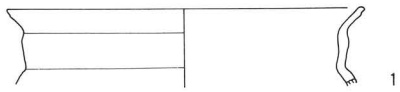
第１０４図　ＳＫ－２１出土遺物実測図



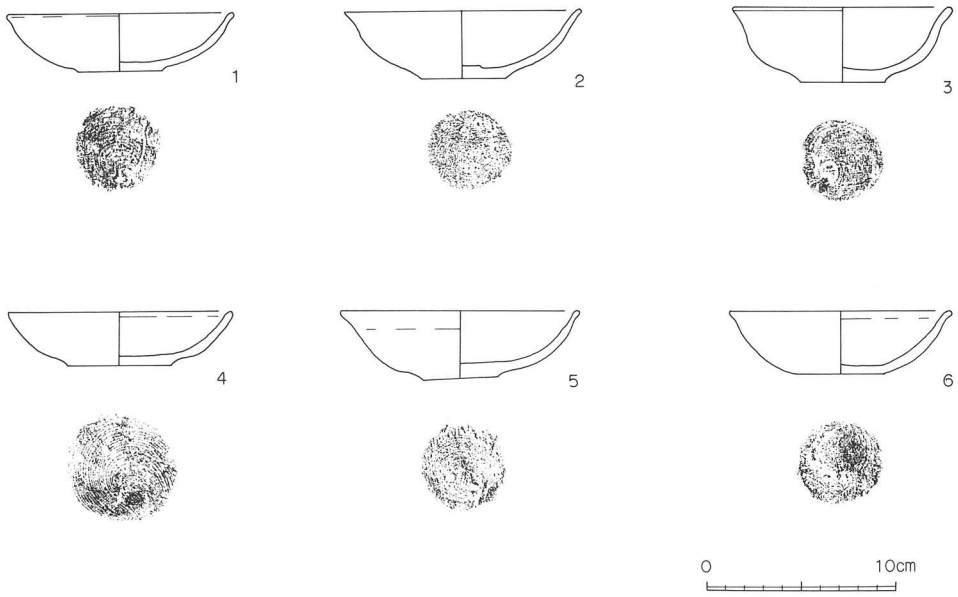
第１０５図　ＳＫ－２２出土遺物実測図

第１０６図　ＳＫ－２４出土遺物実測図

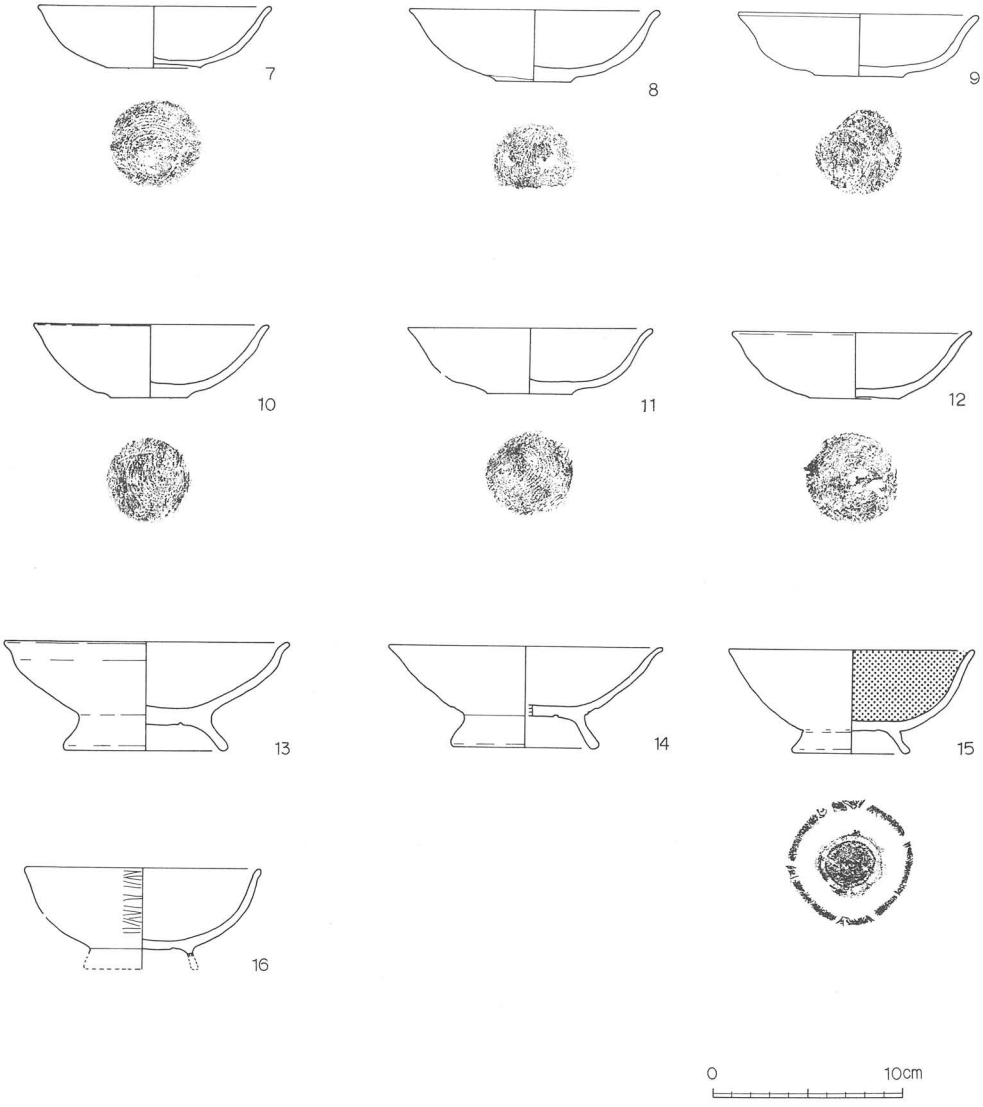
第１０７図　ＳＫ－２８出土遺物実測図



第１０８図　ＳＫ－３０出土遺物実測図

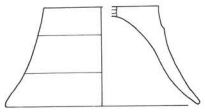


第１０９図　ＳＫ－３２出土遺物実測図（１）



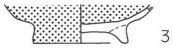
第１１０図　ＳＫ－３２出土遺物実測図（２）

3　ピット出土遺物

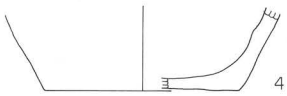


P-03

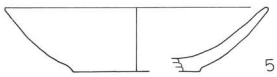
P-05



P-07



P-07

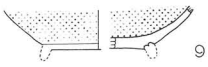


P-08

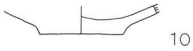
P-08

P-08

P-23



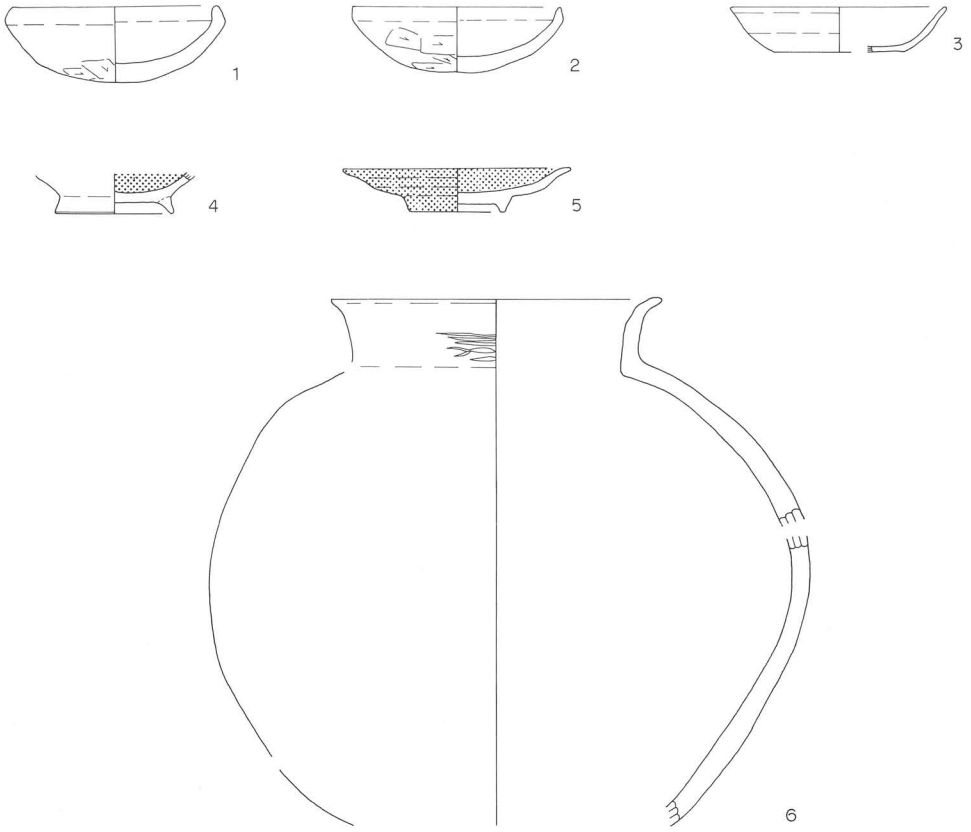
P-90



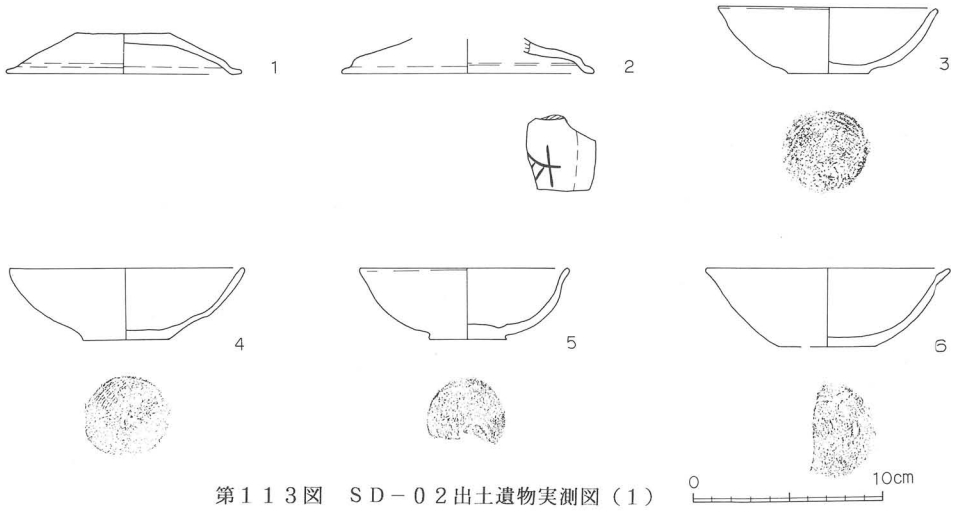
P-94

第１１１図　ピット出土遺物実測図

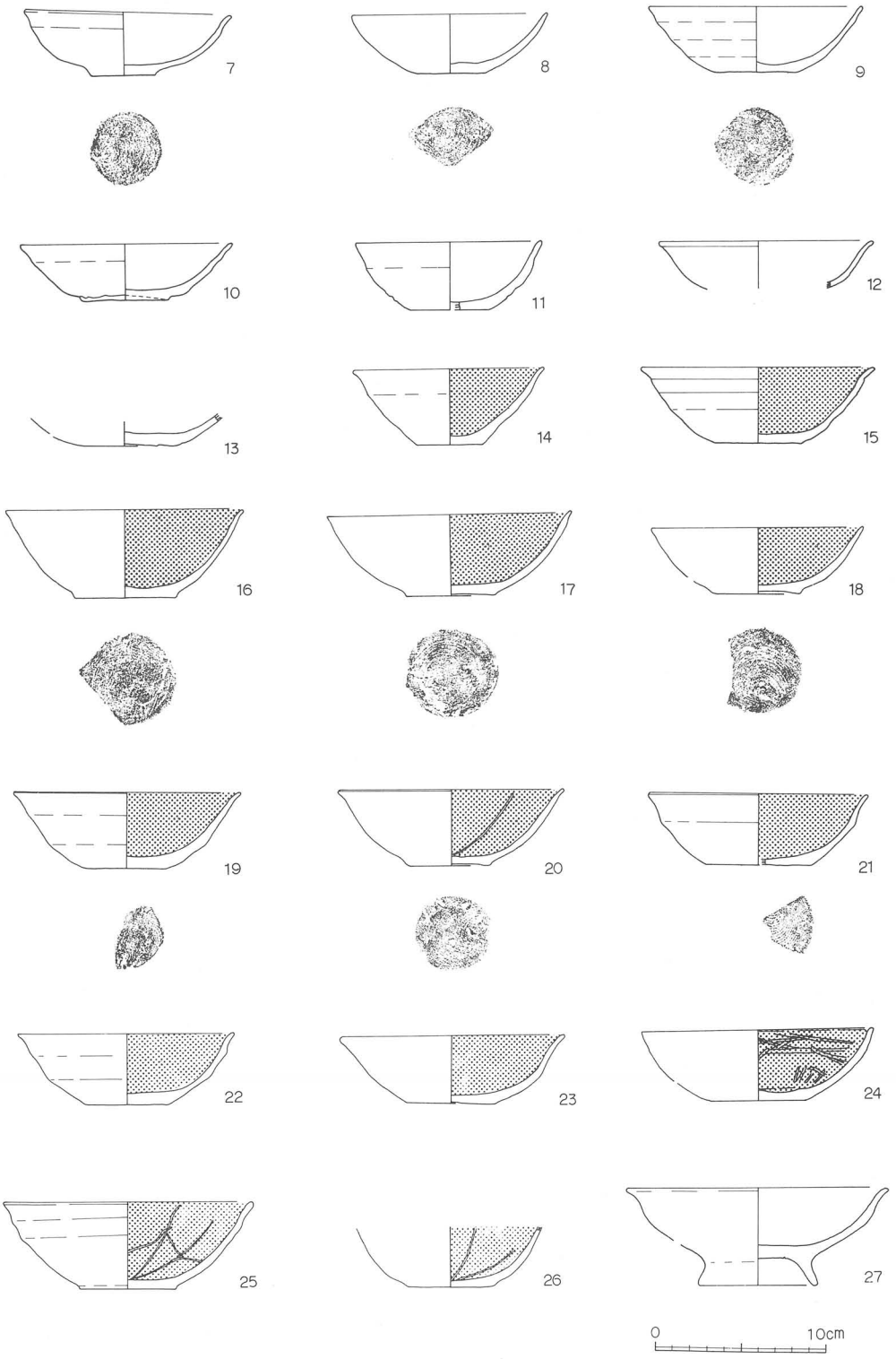
4　溝址出土遺物



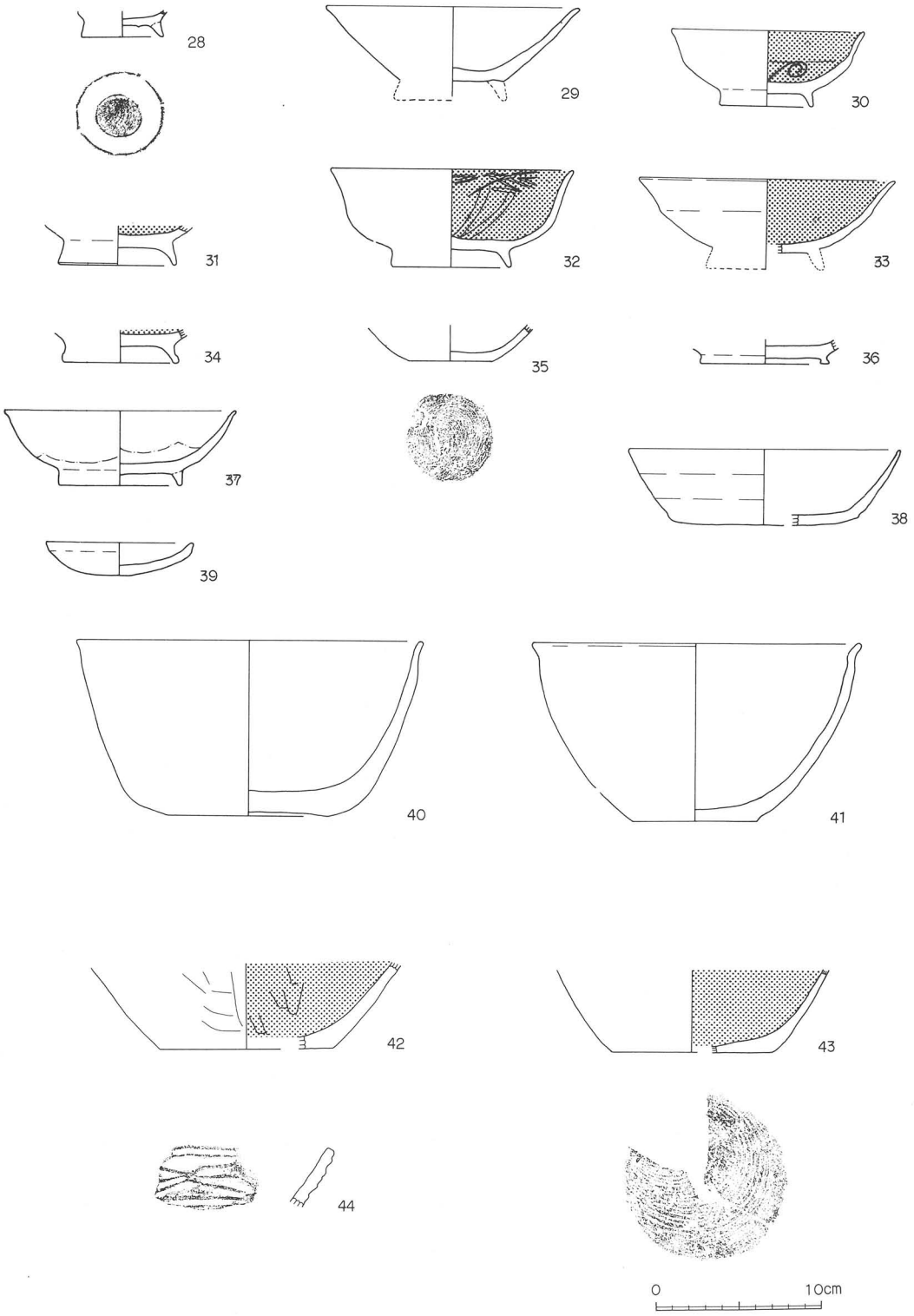
第１１２図　ＳＤ－０１出土遺物実測図



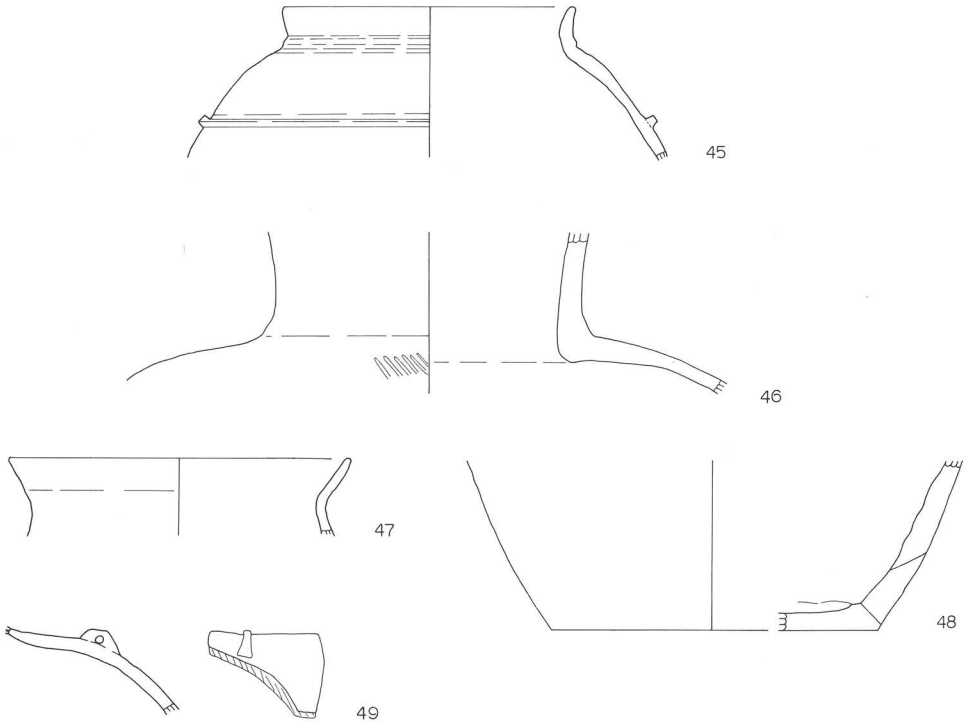
第１１３図　ＳＤ－０２出土遺物実測図（１）



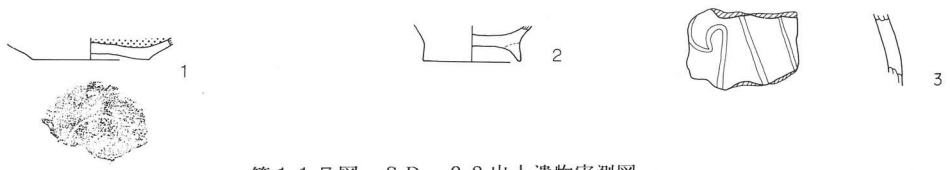
第１１４図　ＳＤ－０２出土遺物実測図（２）



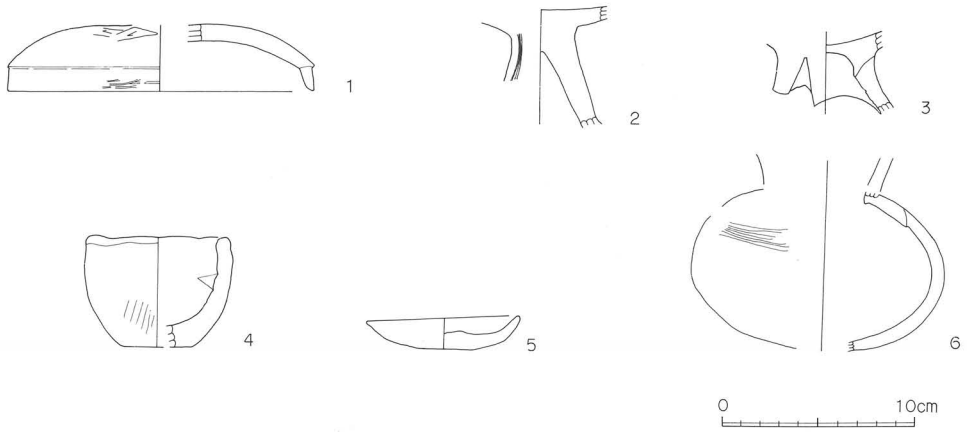
第１１５図　ＳＤ－０２出土遺物実測図（３）



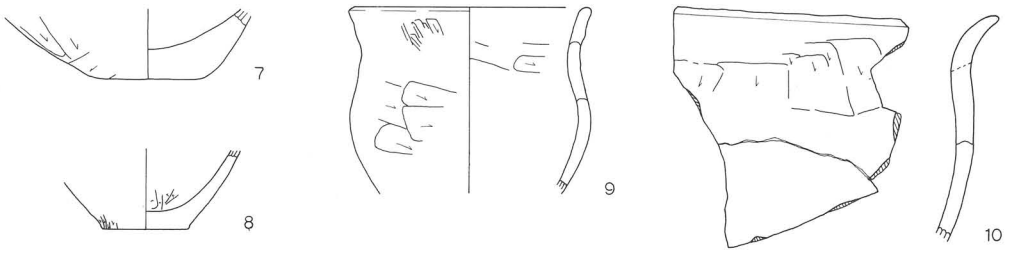
第１１６図　ＳＤ－０２出土遺物実測図（４）



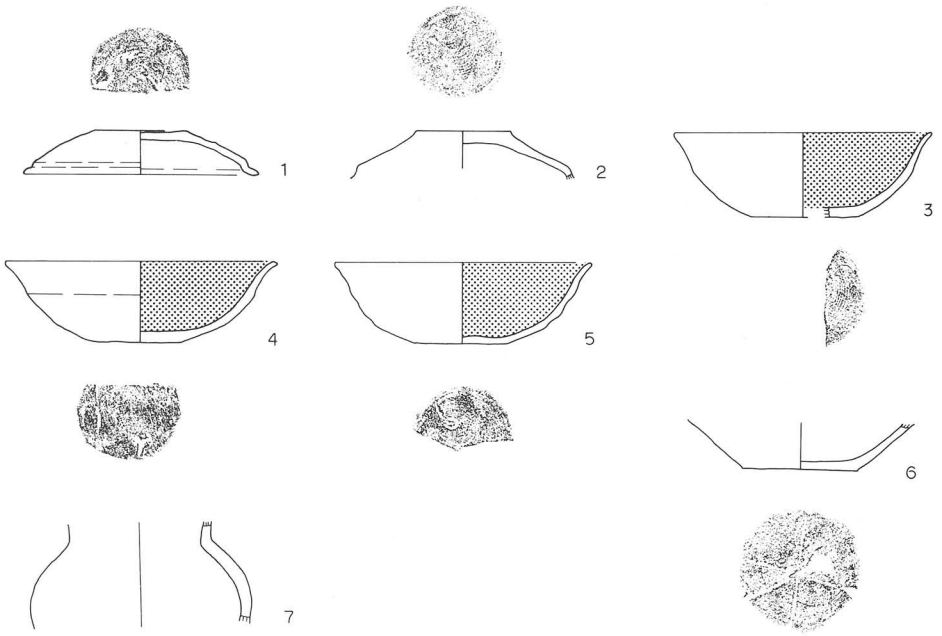
第１１７図　ＳＤ－０３出土遺物実測図



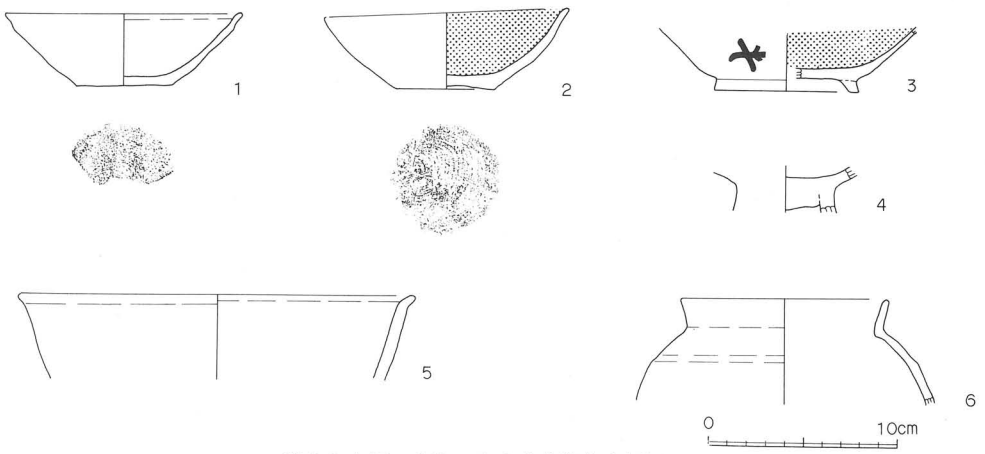
第１１８図　ＳＤ－０４出土遺物実測図（１）



第１１９図　ＳＤ－０４出土遺物実測図（２）



第１２０図　ＳＤ－０７出土遺物実測図



第１２１図　ＳＤ－０９出土遺物実測図

5　遺物観察表

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成　形　・　形　態	整　形　技　法　ほ　か
SB-01 54- 1	坏 土師	18.5 6.5 — 4/5	胎；0.25の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	丸底から緩く内弯しながら立ち上がり、口縁部で短く外反する	(外)下位縦位の篦磨き、上位横位の篦磨き (内)口唇部横位の篦磨き、体部縦位の篦磨き
SB-01 54- 2	坏 土師	13.4 5.6 7.1 ほぼ完存	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/3淡橙色 (内)5YR8/3淡橙色	付高台の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-01 54- 3	高坏 土師	16.4 14.0 13.4 坏5/6 脚2/3	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/4にぶい橙色 (内)7.5YR5/4にぶい橙色	坏部下位に稜を有し、外反して口縁に立ち上がる　脚部は外傾して開き、裾部で外反する 粘土帯積み上げ	(外)縦位の篦磨き (内)坏部は精緻な篦磨き、口縁・裾部は横位の撫で、脚部横位の篦削り
SB-01 54- 4	高坏 土師	17.8 13.6 14.0 坏完存 脚一部欠	胎；0.4 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色	脚底部で屈曲して、外反・外傾する体部に立ち上がり、口縁で若干内弯する　脚部は裾で屈曲外反する	(外)縦位の篦磨き (内)坏部縦位の篦磨き、脚裾部・口縁部は横位の撫で、脚部は横位の篦削り
SB-01 54- 5	高坏 土師	15.3 5.5 — 坏3/5	胎；0.3 の礫、黒雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR5/3にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	体部は僅かに内弯して開く	(外)撫で (内)撫での後縦位の篦磨き
SB-01 54- 6	高坏 土師	11.8 5.5 — 坏部完存	胎；精良 焼；良好 色；(外)2.5YR7/3浅黄色 (内)2.5YR7/3浅黄色	体部は内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外)縦位の丁寧な篦磨き (内)縦位の丁寧な篦磨き
SB-01 54- 7	高坏 土師	— 6.0 — 裾1/3	胎；雲母、細砂粒、白色粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい褐色 (内)7.5YR6/4にぶい褐色	ラッパ状に広がる	(外)脚部縦位の篦削りの後撫で裾部横位の撫で (内)脚部横位の篦削りの後撫で裾部横位の撫で
SB-01 54- 8	高坏 土師	— 7.4 — 脚部のみ	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR6/4にぶい赤褐色	粘土帯積み上げ	(外)縦位の精緻な篦磨き (内)横位の篦削り
SB-01 54- 9	壺 土師	8.3 4.3 — 口縁 7/8	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/3褐色～6/3にぶい褐色 (内)7.5YR6/3にぶい褐色		(外)撫で (内)撫で
SB-01 54-10	甕 土師	15.0 8.0 — 口縁～胴 1/5	胎；黒雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/8赤褐色 (内)5YR4/8赤褐色	頸部は「くの字」状に外反する 粘土帯積み上げ	(外)口縁部横位の撫で、体部不定方向の篦削り (内)口縁部横位の撫で、体部篦状工具による撫で
SB-01 54-11	甕 土師	20.3 8.4 — 口縁～胴 1/5	胎；0.3 の礫、石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR3/2黒褐色	頸部は緩く外反する	(外)口縁部横位の撫で、胴部斜位の篦削り (内)口縁部横位の撫で、胴部木口状工具による撫で

第 8 表　住居址出土遺物観察表（1）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-01 54-12	甕 土師	18.6 8.2 — 口1/4 胴部一部	胎；黒雲母、雲母、石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	口縁部は「くの字」状に外反する 粘土帯積み上げ	(外)口縁部撫で、胴部篦撫で (内)口縁部・体部篦撫で
SB-01 55-13	甑 土師	— 17.9 17.6 胴部 2/3	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	孔部より緩やかに立ち上がり胴部中位から内傾する 粘土帯積み上げ	(外)孔部は横位の撫で、胴部縦位の篦削りの後撫で (内)孔部は横位の撫で、胴部横位の篦削りの後撫で
SB-01 55-14	甑 土師	— 5.5 3.0 底部 3/4	胎；石英、粗砂粒を僅か含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい赤褐色　(内)7.5YR6/3にぶい赤褐色	底部より緩やかに外傾し口縁部に至る	(外)篦磨き (内)篦磨き
SB-01 55-15	甑 土師	— 8.5 5.5 口縁部 欠損	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	孔部より緩やかに立ち上がる 粘土帯積み上げ	(外)胴部縦位の刷毛撫での後篦磨き (内)孔部撫で、胴部縦位の篦磨き
SB-03 56-1	蓋 土師	12.7 5.8 — 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR6/6橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	抓み部中央にへこみを有す	(外)精緻な篦磨き (内)精緻な篦磨き
SB-03 56-2	蓋 土師	— 残3.9 — 抓部完存 体一部	胎；精良 焼；良好 色；(外)10YR7/3 にぶい黄橙色　(内)10YR7/3 にぶい黄橙色		(外)精緻な篦磨き　抓み部は縦位の篦削りの後撫で (内)精緻な篦磨き
SB-03 56-3	坏 土師	10.7 3.5 4.9 完存	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/3浅黄橙色 (内)7.5YR8/3浅黄橙色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 56-4	坏 土師	10.0 2.6 4.9 完存	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 56-5	坏 土師	10.1 2.7 5.0 完存	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 56-6	坏 土師	17.0 3.4 4.7 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/3淡橙色 (内)5YR8/3淡橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 56-7	坏 土師	10.0 3.2 4.8 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/4浅黄橙色 (内)7.5YR8/4浅黄橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転

第 9 表　住居址出土遺物観察表（2）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-03 56- 8	坏 土師	10.3 3.4 4.4 口一部欠 ほぼ完存	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 56- 9	坏 土師	10.6 2.5 5.0 口縁部 一部欠	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)7.5YR7/6橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 56-10	坏 土師	10.0 3.0 4.5 口2/3 底部完	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 56-11	坏 土師	10.0 3.0 — 口縁部 2/5	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 56-12	坏 土師	11.4 4.1 — 口1/5 底1/4	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)2.5YR4/6赤褐色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部静止箆切り (内)轆轤による撫で
SB-03 56-13	坏 土師	12.6 4.0 — 口1/5 底1/2	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開き口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による横撫での後箆調整 (内)轆轤による撫で
SB-03 57-14	坏 土師	10.4 3.0 5.6 口1/6 欠 底完	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)10YR7/3 にぶい黄橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 57-15	坏 土師	10.9 3.1 5.3 口1/6 欠 底完	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/4浅黄橙色 (内)7.5YR8/4浅黄橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開き口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 57-16	坏 土師	10.3 2.6 5.2 口3/2 底部完存	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)9YR6/6橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 57-17	坏 土師	10.4 3.1 4.9 口2/5 底部完存	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開き口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 57-18	坏 土師	10.2 3.0 3.9 口1/2 底一部欠	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転

第10表　住居址出土遺物観察表（3）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-03 57-19	坏 土師	10.6 3.9 4.5 口1/2 底部完存	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 57-20	坏 土師	10.6 3.2 4.3 口1/3 底部完存	胎；金雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-03 57-21	坏 土師	14.2 4.1 — 口一部 体1/5	胎；精良　細砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	丸底の底部から体部は内弯して開き口縁部で短く外反する	(外)篦磨き (内)篦磨き
SB-03 57-22	坏？ 土師	14.4 5.0 — 1/4	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/6橙色	丸底から緩く内弯しながら立ち上がり口縁部で屈曲外反する	(外)篦磨き (内)放射状篦磨き
SB-03 57-23	坏 土師	— 4.1 6.4 高台部 1/3	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色		(外)高台坏部轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-03 57-24	坏 土師	— 2.5 6.0 体一部 底部完存	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)精緻な篦磨き 轆轤右回転
SB-03 57-25	坏 土師	10.2 4.5 5.8 口4/5 底部完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/2明褐灰色 (内)黒色	高台付き底部から内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫での後、底部中央から4条の放射状の篦磨き　黒色処理
SB-03 57-26	坏 土師	10.6 4.5 5.7 1/3 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/2 にぶい黄橙色　(内)黒色	高台付き底部から内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)精緻な磨き
SB-03 57-27	坏 須恵	11.0 4.5 — 口1/5 体3/4	胎；白色粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR3/1 オリーブ黒 (内)10YR3/1 オリーブ黒	丸底の底部から内弯して立ち上がり、口縁部との間に最大径を稜に持ち、口縁は内傾する	(外)裾・口縁部轆轤による撫で天井部轆轤による篦削り (内)轆轤による撫で
SB-03 57-28	高坏 土師	— 8.2 — 体一部 脚部	胎；精良　粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/4 にぶい黄橙色　(内)10YR7/4 にぶい黄橙色		(外)篦磨き (内)坏部篦磨き、脚部横位の篦削り
SB-03 57-29	高坏 土師	14.3 5.6 — 2/5 脚部欠	胎；比較的精良　粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/8明褐色(赤色塗彩) (内)7.5YR5/8明褐色(赤色塗彩)	脚部との接合部より直線的に広がり、屈曲して一旦僅かに外反し、口縁部にかけて内弯する	(外)轆轤による木口状工具の撫での後篦磨き (内)轆轤による撫での後篦磨き

第11表　住居址出土遺物観察表(4)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成　形　・　形　態	整　形　技　法　ほ　か
SB-03 58-30	高坏 土師	— 8.5 — 脚部の裾一部	胎；精良　粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5Y7/4 浅黄色 (内)2.5Y7/4 浅黄色		(外)脚部精緻な篦磨き (内)横位の篦削り
SB-03 58-31	高坏 須恵	11.0 9.0 9.8 脚部完口体3/4	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10Y3/1オリーブ黒色 (内)10Y3/1オリーブ黒色	脚裾部で大きく広がり稜を有し、口縁は内傾する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-03 58-32	皿 土師	11.8 2.7 4.0 皿完高台一部	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/2明褐灰色 (内)7.5YR7/2明褐灰色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-03 58-33	椀 土師	14.2 5.9 — 口2/3 体3/4	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	付高台 体部内弯し口縁部やや外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫での後放射状の篦磨き
SB-03 58-34	鉢 土師	20.5 10.5 — 口1/2 体1/3	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	体部は内弯し、口縁部でやや外反する	(外)口縁部～体部轆轤による横撫での後篦撫で (内)轆轤による横撫での後篦撫で
SB-03 58-35	甕 土師	10.0 7.0 — 口縁部体部1/4	胎；精良 焼；良好 色；(外)10YR3/3 暗褐色 (内)7.5YR6/6橙色	口縁「くの字」状に外反する	(外)精緻な横位の篦磨き (内)篦削りの後、精緻な横位の篦磨き
SB-03 58-36	甕 土師	18.2 5.4 — 口1/3 体－部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR4/6赤褐色 (内)5YR4/4にぶい赤褐色	口縁部は外反する	(外)口縁木口状工具による横撫で、体部篦撫で (内)木口状工具による横撫で
SB-08 59- 1	坏 土師	12.2 3.5 4.4 ほぼ完存	胎；金雲母、石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色	平底より内弯して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-08 59- 2	坏 土師	12.2 3.7 4.2 2/3	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR3/2黒褐色 (内)7.5YR5/3にぶい褐色	平底から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-08 59- 3	坏 土師	12.2 3.4 4.4 1/2	胎；金雲母、石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	平底より立ち上がり、体部は内弯し口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-08 59- 4	坏 土師	13.0 3.4 6.0 1/3	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底の底部より体部は内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転

第１２表　住居址出土遺物観察表（５）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-08 59- 5	坏 土師	12.2 3.6 5.0 完存	胎；石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-08 59- 6	坏 土師	12.0 3.0 5.4 口3/5 底1/2	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/3にぶい赤褐色 (内)5YR6/4にぶい橙色	僅かに上げ底の底部より体部は内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-08 60- 7	坏 土師	11.2 3.1 5.8 1/6 底1/4	胎；礫、石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/4にぶい赤褐色　(内)2.5YR6/6橙色	平底より立ち上がり内弯して口縁に至る	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-08 60- 8	坏 土師	11.0 3.0 4.4 体1/3 底1/2	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい褐色 (内)7.5YR6/3にぶい褐色	平底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁部は僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で、篦磨き？
SB-08 60- 9	坏 土師	15.8 4.7 — 口縁部 1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)7.5YR8/3浅黄橙色	内弯した体部	(外)轆轤による撫で (内)精緻な磨き
SB-08 60-10	坏 土師	— 1.5 4.8 底部 完存	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部	(外)底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-08 60-11	坏 土師	— — 4.6 底部 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部	(外)底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-08 60-12	坏 土師	— 1.2 5.0 底部 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色	僅かに上げ底の底部	(外)底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-08 60-13	坏 土師	— 2.5 7.6 高2/3 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/3にぶい褐色 (内)7.5YR5/3にぶい褐色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-08 60-14	坏 土師	— 1.9 7.6 高台 のみ	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-08 60-15	坏 土師	— 2.3 6.6 体部完存 高1/2	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で　黒色処理

第１３表　住居址出土遺物観察表（６）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-08 60-16	坏 土師	－ 2.4 7.0 高3/4 底部完存	胎；石英、細砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい褐色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-08 60-17	坏 土師	－ 2.4 6.0 高1/2 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/3にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)黒色処理
SB-08 60-18	壺 須恵	18.4 6.9 － 口縁部 1/6	胎；礫を僅か、石英を多く含む　軟質 焼；良好 色；(外)10YR4/1 褐灰色 (内)10YR5/1 褐灰色	頸部を持ち口縁は外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-09 61-1	坏 土師	12.0 3.3 7.6 1/3	胎；石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色	平底より内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り＋撫で (内)轆轤による撫で
SB-09 61-2	坏 土師	13.2 3.3 5.6 1/2弱	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)7.5YR6/6橙色	平底より内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り＋撫で (内)轆轤による撫で
SB-09 61-3	坏 土師	14.8 4.0 － 口縁部体部1/2	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	体部は内弯しながら立ち上がる 轆轤成形	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-09 61-4	坏 土師	12.0 3.7 5.6 ほぼ完存	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR6/3 にぶい黄橙色　(内)10YR6/3 にぶい黄橙色～5/1 褐灰色	僅かに上げ底の底部より、体部は内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り～篦調整 (内)体部轆轤による撫で＋篦磨き？　黒色処理
SB-09 61-5	坏 土師	14.5 5.2 6.6 1/4 高台ほぼ完	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい褐色 (内)黒色	高台付の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り～撫で (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-09 61-6	坏 土師	14.0 5.7 7.4 2/5	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	高台付の底部から、体部は内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で (内)黒色処理＋篦磨き
SB-09 61-7	甕 土師	－ 8.0 － 口縁部 1/8	胎；金雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/3にぶい橙色	頸部から口縁部で「くの字」状に屈曲する 粘土帯積み上げ？	(外)胴部、口縁部横撫で (内)胴部、口縁部横撫で
SB-10 62-1	坏 土師	－ 1.3 5.2 体－部 底－部欠	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR4/2暗灰黄色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	平底	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転

第14表　住居址出土遺物観察表（7）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成　形　・　形　態	整　形　技　法　ほ　か
SB-10 62- 2	坏 土師	— 2.8 5.2 体－部 底部完存	胎；0.3 の礫，金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内弯して広がる	(外)轆轤による篦撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-10 62- 3	坏 土師	14.6 4.3 6.3 底完口～ 体2/5	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底手持ちの篦切り (内)底部放射状の、体部横位の精緻な篦磨き
SB-10 62- 4	坏 土師	14.0 4.0 7.0 口1/4 体底一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい褐色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯しながら広がる	(外)轆轤による撫で (内)精緻な篦磨き　黒色処理
SB-10 62- 5	坏 土師	— 2.9 5.7 体－部 底部完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR3/4暗褐色～7.5YR1.7/1黒色 (内)黒色	平底より体部は内弯しながら立ち上がる	(外)轆轤による篦撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による篦撫で　黒色処理 轆轤右回転
SB-10 62- 6	坏 土師	14.5 5.8 7.5 完存	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	底部から体部は内弯しながら広がり、口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-10 63- 7	坏 土師	— 2.3 7.2 体－部 底3/5	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR5/1 灰色 (内)10YR5/1 灰色	僅かに上げ底の底部	(外)轆轤による撫で，底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-10 63- 8	皿？ 須恵	— 2.0 10.2 底部 1/3次	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR5/2 灰黄褐色 (内)10YR5/2 灰黄褐色	付高台	(外)轆轤による撫で、底部回転篦削り (内)轆轤による撫で
SB-10 63- 9	甕 土師	22.5 8.7 — 口1/4 体－部	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色	口縁部は外反する	(外)口縁部横位の撫で、頸部横位の篦撫で、胴部横位の篦削り (内)横位の撫で
SB-11 64- 1	椀？ 土師	10.7 5.4 — 口縁 1／4	胎；0.4 の礫、粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	体部で内弯し口縁に至る	(外)横位、斜位の篦磨き (内)横位、斜位の篦磨き
SB-11 64- 2	椀 土師	21.2 5.0 — 口縁 1／8	胎；0.4 の礫、金雲母を含む 焼；良好 色；(外)黒色 (内)黒色	口縁外反	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫での後、口縁部横位の篦磨き
SB-11 64- 3	壺 土師	11.8 7.5 — 口1/8 体部一部	胎；精良 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	体部は球状を呈し、口縁部で強く屈曲する	(外)精緻な篦磨き (内)精緻な篦磨き

第１５表　住居址出土遺物観察表（８）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成　形　・　形　態	整　形　技　法　ほ　か
SB-11 64- 4	甕 土師	10.4 4.0 — 口縁 1/7	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR2/3極暗赤褐色 (内)5YR3/3ダークレディッシュブラウン	口縁で緩い「くの字」状に外反する	(外)口縁部縦位の篦磨き、体部横位の篦磨き (内)口縁部横位の篦磨き
SB-12 65- 1	坏 土師	13.3 3.7 4.8 1/5 底部完存	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で短く外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-12 65- 2	坏 土師	11.8 3.1 4.0 1/2	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で短く外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-12 65- 3	坏 土師	14.1 3.2 6.2 口1/8 底1/2	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	小ぶりの平底から内弯して大きく広がり、口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-12 65- 4	坏 土師	— 1.5 5.0 体部一部 底部完存	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB -12 65- 5	坏 土師	16.6 3.3 — 口縁部 1/6	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-12 65- 6	坏 土師	— 3.0 7.8 高2/3 底部完存	胎；金・白・黒雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	付高台	(外)高台部横位の撫で (内)高台部横位の撫で
SB-12 66- 7	甕 土師	19.7 6.8 — 口1/4 体部一部	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	頸部外反し、口縁部外面に稜を有し、内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-12 66- 8	甕 土師	12.8 5.9 — 口1/7 体部一部	胎；0.4 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR3/2暗赤褐色	頸部「くの字」状に外反し、口縁部は内弯する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-13 67- 1	坏 土師	15.2 3.2 8.2 1/5	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	体部で屈曲し、口縁部は大きく外反する	(外)篦磨き (内)篦磨き
SB-13 67- 2	甕 土師	14.1 14.6 4.8 底部完口 体1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR3/2暗赤褐色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、頸部で緩やかに「くの字」状に外反する	(外)口縁横撫で、胴部～底部篦削りの後篦撫で (内)口縁横撫で、胴部篦削り

第１６表　住居址出土遺物観察表（９）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-13 67- 3	甕 土師	21.3 15.0 — 口1/5 体部一部	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色～2/2 黒褐色	口縁部緩い「くの字」状に外反する	(外)口縁横撫で＋縦位の篦削り胴部縦位の篦削り (内)口縁横位の撫で＋篦撫で、体部篦撫で
SB-13 67- 4	甕 土師	— 4.5 5.2 体部一部 底4/5	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色		(外)篦削りの後、篦撫で (内)篦削りの後、篦撫で
SB-13 67- 5	甕 土師	— 9.5 — 口～体部 一部	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR3/2明赤褐色 (内)5YR3/2明赤褐色	口縁部「くの字」状に外反する	(外)口縁横撫で、体部工具による撫で (内)口縁横撫で、体部篦撫で
SB-14 68- 1	坏 土師	18.8 2.8 10.5 口縁部体部1/3	胎；極く細かい雲母を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	底板と口縁の２枚になる　平底より丸みを帯びた稜を経て長く外傾する	(外)横撫で～篦磨き (内)篦撫で？
SB-14 68- 2	坏 土師	11.6 4.2 — ほぼ 完存	胎；0.3 の礫、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)10YR6/2 灰黄褐色	丸底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で僅かに内弯する	(外)体部底部横撫で (内)体部横撫で篦磨き？
SB-14 68- 3	坏 土師	8.9 4.4 — 体部 3/4	胎；金雲母、雲母、石英を多く、粗砂粒を少量含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/3にぶい褐色 (内)7.5YR2/1黒色	丸底より体部は緩やかに立ち上がり、内傾外反する口縁に至る	(外)口縁部横撫で、体部篦削り (内)口縁部篦削り～横撫で、体部篦磨き
SB-14 68- 4	高坏 土師	— 脚5.7 9.8 脚部 のみ	胎；雲母を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色	接合部より緩やかに広がる	(外)上～下への篦削りの後脚部上位縦の篦磨き、裾部にかけ横撫で (内)横位～斜位の篦削り、裾部は横撫で
SB-14 68- 5	坏 須恵	12.0 4.2 — 口縁体部 1/2	胎；粗砂粒を僅か、細砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR5/1灰色 (内)5YR5/1灰色	丸底より立ち上がり、最大径が稜にあり口縁は内傾している	(外)体部轆轤による篦削り、口縁轆轤による撫で (内)体部轆轤による撫で、口縁轆轤による撫で 轆轤左回転
SB-14 68- 6	皿 土師	14.0 1.9 3.8 口～体部 7/8	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)10YR8/2 灰白色 (内)10YR8/3 浅黄橙色	最大径が口縁にある、小型で平底の皿 不出来	(外)横撫で (内)横撫で
SB-14 69- 7	甕 土師	18.9 27.3 5.4 2/3 底部完存	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/8明赤褐色 (内)5YR4/6赤褐色	平底の底部より緩やかに胴部に立ち上がり、口縁部は「くの字」状に外反する	(外)口縁部横撫で、胴部縦位の篦削り (内)口縁部横撫で、胴部篦による圧の強い横位の撫で
SB-14 69- 8	甕 土師	18.0 29.8 6.0 口縁 1/3	胎；0.3 の礫、黒雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/1褐灰色～5/2灰褐色 (内)5YR2/1黒褐色	底部平底、口縁部は「くの字」状に外反する 粘土帯積み上げ？	(外)口縁部横撫で、胴部篦削りの後撫で (内)口縁部横撫で、胴部篦撫で 底部に木葉文

第１７表　住居址出土遺物観察表（１０）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-14 69- 9	甕 土師	18.1 27.8 7.8 胴一 部欠	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR4/4にぶい橙色 (内)5YR7/3にぶい橙色	平底から球形の胴部に立ち上がり、頸部は緩やかに外反する	(外)縦位の篦削りの後撫で (内)胴部篦削りの後撫で、口縁部横撫で
SB-14 70-10	甕 土師	16.3 15.7 6.4 口1/5 欠損	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR4/4にぶい赤褐色　(内)2.5YR2/2極暗赤褐色	平底の底部から内弯して立ち上がり、口縁部で外反する 粘土帯積み上げ	(外)口縁部横撫で、胴部斜位の篦削り (内)口縁部横撫で、胴部篦削りの後篦撫で
SB-14 70-11	甕 土師	22.0 12.8 7.6 口1/3 底2/3	胎；0.3 の礫を僅か、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR6/4にぶい橙色 (内)2.5YR6/4にぶい橙色	僅かな上げ底より内弯して立ち上がり、胴部から緩やかに頸部に移行し、口縁は外反している	(外)口縁部横撫で、胴部（篦削り）撫で (内)口縁部横撫で、胴部（篦削り）撫で
SB-14 70-12	甕 土師	11.8 11.7 5.7 底胴口 1/3	胎；雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/4にぶい赤褐色　(内)5YR3/1黒褐色	平底より緩やかに立ち上がり、口縁部は外反する 粘土帯積み上げ	(外)口縁部横撫で、頸部に刷毛目が僅かに残る、胴部篦削りの後撫で (内)口縁部横撫で、胴部篦削りの後撫で
SB-14 70-13	甕 土師	14.8 15.0 — 口胴 1/4	胎；0.3 の礫を僅か、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/4にぶい赤褐色　(内)10YR5/4 赤褐色	胴部は緩やかに立ち上がり、口縁部は「くの字」状に外反する 粘土帯積み上げ	(外)口縁部篦撫で、胴部横撫で (内)口縁部横位の篦削り、胴部（篦削り）横撫で　内面に積み上げ痕が明瞭に残る
SB-14 70-14	甕 土師	16.0 12.0 — 口～胴 1/3	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR4/2灰褐色	胴部は緩やかに立ち上がり、頸部との境に極く僅かな稜を持ち、口縁は外反する 粘土帯積み上げ	(外)口縁部横撫で、胴部斜位の篦削り (内)口縁部横撫で、胴部斜位の篦削り
SB-14 70-15	甕 土師	15.6 7.6 — 口縁 1/5	胎；雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/4にぶい褐色 (内)5YR3/3暗赤褐色	口辺は「くの字」状に外反する 粘土帯積み上げ	(外)口縁部横撫で、体部篦削り (内)横撫で
SB-14 70-16	甕 土師	— 8.7 3.8 胴1/3 底部完存	胎；0.4 の礫を僅か、白色砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)2.5YR4/4にぶい赤褐色 (内)2.5YR4/3にぶい赤褐色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる 粘土帯積み上げ	(外)縦位の篦削りの後撫で (内)斜位の篦削り
SB-14 70-17	甕 土師	— 13.5 5.0 胴1/4 底部完存	胎；0.3 の礫を僅か、雲母、石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/3にぶい赤褐色	平底の底部から緩やかに胴部に立ち上がる 粘土帯積み上げ	(外)胴部篦削りの後撫で (内)胴部篦削りの後撫で
SB-14 71-18	甕 土師	11.5 12.6 — 口～体 1/6	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)2.5YR4/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	体部は球形を呈する 粘土帯積み上げ	(外)篦削りの後撫で (内)篦削りの後撫で
SB-18 72- 1	坏 土師	13.8 4.4 — 口1/7 体1/6	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/3にぶい橙色 (内)5YR5/3にぶい赤褐色	体部は内弯し口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)精緻な篦磨き

第18表　住居址出土遺物観察表（11）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-18 72- 2	坏 土師	16.7 5.1 — 口縁部 1/6	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	体部は屈曲内弯する	(外)轆轤による撫で (内)口縁部横位の磨き　黒色処理
SB-18 72- 3	坏 土師	14.6 2.6 — 口縁部 1/5	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)黒色～5YR7/2明褐灰色 (内)黒色	口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で (内)篦磨き？　黒色処理
SB-18 72- 4	坏 土師	14.1 5.5 6.6 口-部底 高1/2	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	付高台の底部から、体部は内弯しながら開き口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-18 72- 5	坏 土師	— 2.3 6.7 高台部 3/4	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-18 72- 6	坏 土師	9.7 3.8 5.6 口縁部 一部欠	胎；細砂粒を含む 焼；良好 色；(外)黒色～7.5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	付高台の底部より体部は緩やかに広がり、立ち上がる 歪みが大きい	(外)篦磨き (内)篦磨き　黒色処理
SB-18 72- 7	坏 土師	— 2.2 5.3 底部 完存	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で＋放射状磨き　黒色処理
SB-18 72- 8	坏 土師	— 2.4 6.8 高台 完存	胎；0.3 ～0.6 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)篦磨き　黒色処理
SB-18 72- 9	皿 灰釉陶器	13.3 2.1 7.0 口縁体部 1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/1 灰白色 (内)10YR7/1 灰白色	底部より大きく開き、体部で段を有して外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-18 72-10	耳皿 灰釉陶器	— 3.7 4.8 口縁一部 底部完	胎；？ 焼；良好 色；(外)10YR7/1 灰白色（灰釉）　(内)10YR7/1 灰白色（灰釉）	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-18 72-11	甕 土師	— 7.4 — 口縁 一部	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR3/3暗赤褐色 (内)5YR3/3暗赤褐色	口縁が直角に外反する	(外)斜位の篦削り (内)撫で
SB-18 73-12	羽釜 土師	— 9.0 — 羽部 一部	胎；0.5 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	付鍔	(外)口縁部撫で、胴部縦位の篦削り (内)指による押圧の後撫で

第１９表　住居址出土遺物観察表（１２）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-18 73-13	羽釜 土師	－ 7.5 － 羽部一部 口縁一部	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/3にぶい橙色 (内)5YR6/3にぶい橙色	付鍔	(外)横撫で (内)横撫で
SB-19 74- 1	坏 土師	10.6 3.1 5.2 口1/7 底部完	胎；0.9 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部は僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74- 2	坏 土師	10.2 3.0 4.5 口一部欠 底部完	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/3にぶい橙色 (内)7.5YR7/3にぶい橙色	平底から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74- 3	坏 土師	10.0 3.1 4.9 口2/3 底部完	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底から体部は内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74- 4	坏 土師	10.7 4.1 4.0 口1/4 底一部欠	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部から、体部は内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74- 5	坏 土師	10.6 3.5 4.8 口1/6 底2/3	胎；金雲母を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色～6/3にぶい橙色 (内)5YR6/6橙色～5/3 にぶい赤褐色	平底の底部から、体部は内弯しながら開き、口縁部は僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74- 6	坏 土師	10.3 3.0 4.8 口1/5 底部一部	胎；0.3 ～0.6 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底より内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切りの後、一部刷毛調整 (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74- 7	坏 土師	9.8 3.5 4.3 口1/9 底部一部	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部より内弯する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74- 8	坏 土師	10.4 3.5 4.0 口1/2 底1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底から体部は内弯しながら開き、口縁部でやや肥厚する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74- 9	坏 土師	9.8 2.1 6.2 口1/2 底1/3	胎；0.3 ～0.6 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR3/2暗赤褐色 (内)5YR3/2暗赤褐色	平底の底部より広がり口縁に至る	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74-10	坏 土師	10.8 2.6 4.0 口1/7 底部一部	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/3にぶい橙色	平底より体部は外傾して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転

第２０表　住居址出土遺物観察表（１３）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-19 74-11	坏 土師	15.9 3.7 — 口縁部 1/6	胎；0.3 の礫を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/3にぶい赤褐色 (内)黒色	口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-19 74-12	坏 土師	15.9 3.7 — 口縁 1/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	体部は内弯し口縁で僅かに外反する	(外)口縁部横位の磨き (内)口縁部横位の磨き　黒色処理
SB-19 74-13	坏 土師	14.0 5.3 7.3 口体一部 高台完	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	付高台 体部で内弯し口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-19 74-14	坏 土師	13.0 5.6 6.5 口1/7 高2/3	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR6/2灰褐色～5/2 灰褐色 (内)5YR5/3にぶい赤褐色	付高台 体部は内弯しながら開き、口縁部でやや外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-19 74-15	坏 灰釉	12.2 2.1 6.2 口1/3 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5Y7/1 灰白色 (内)7.5Y7/1 灰白色～5Y 7/2 灰白色	付高台 体部より口縁部は大きく広がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-19 74-16	坏 土師	— 1.7 6.8 高台部 一部欠	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)黒色 (内)黒色	付高台	(外)底部撫で、高台～体部精緻な篦磨き (内)精緻な篦磨き
SB-19 74-17	椀 灰釉	16.9 5.8 7.4 口1/3 底1/2	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/1 灰白色 (内)10YR7/1 灰白色	付高台 底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で、口縁部灰釉がかかる、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で、口縁部灰釉がかかる 轆轤右回転
SB-19 75-18	甕 土師	23.5 10.5 — 口縁部 1/7	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色～黒色	口縁部「くの字」状に外反する	(外)口縁部横位の撫で、胴部縦位の篦削りの後篦撫で (内)口縁部横位の撫で、胴部横位の篦撫で
SB-19 75-19	羽釜 土師	20.9 6.5 — 口縁部 1/9	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/4にぶい赤褐色 (内)5YR6/4にぶい橙色	付鍔 口唇部に面取り	(外)撫で (内)撫で
SB-19 75-20	羽釜 土師	24.4 8.8 — 口縁部 1/8	胎；0.3 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR4/3にぶい赤褐色	付鍔	(外)口縁～鍔部横位の撫で，胴部横位の篦削り (内)横位の篦撫で
SB-20 76-1	坏 土師	12.7 4.3 — 口1/8 体部一部	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	体部は内弯し口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)撫で　黒色処理

第21表　住居址出土遺物観察表（14）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-20 76- 2	坏 須恵	— 1.5 6.7 高台残	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR2/2黒褐色 (内)7.5YR2/2黒褐色～2/1 黒色		(外)底部轆轤篦切り、高台・体部轆轤による撫で　火襷 (内)轆轤による撫で　火襷
SB-20 76- 3	羽釜 土師	— 23.3 — 口縁体部羽部一部	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色	三ケ月型の鍔	(外)篦撫で (内)篦撫で
SB-21 77- 1	坏 土師	12.3 4.1 4.8 底部完口体1/4	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色～5YR6/6橙色 (内)黒色	平底より体部は内弯しながら広がり外面に螺旋状の稜を有す　口縁は僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-21 77- 2	坏 土師	10.7 3.1 4.8 底部完口体2/5	胎；0.3 ～0.5 の礫、金雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底より内弯しながら口縁に至る	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-21 77- 3	坏 土師	13.7 3.2 — 口縁 1/8	胎；0.4 の礫、金雲母、雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-21 77- 4	坏 土師	— 1.7 6.0 底部 完存	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR4/3褐色 (内)黒色	平底の底部より広がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)精緻な篦磨き 轆轤右回転
SB-21 77- 5	坏 土師	— 1.2 5.3 底部 完存	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底から体部は外反して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後放射状の篦磨き　黒色処理 轆轤右回転
SB-21 78- 6	坏 土師	— 1.3 4.5 底部 完存	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底から体部は外反して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)放射状の５条の篦磨き　黒色処理 轆轤右回転
SB-21 78- 7	坏 灰釉	11.7 3.3 — 口縁 1/8	胎；細砂粒、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5GY7/1明緑灰色～5GY 7/1 明オリーブ灰色　(内)5GY7/1 明オリーブ灰色	口縁で外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-22 79- 1	坏 土師	14.8 4.1 — 口1/8 底一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR6/6橙色	底部より屈曲して外反する体部へ立ち上がる	(外)撫で？ (内)丁寧な磨き（撫で）？
SB-22 79- 2	坏 土師	11.1 2.6 — 口1/8 底一部	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/2灰褐色 (内)5YR7/4にぶい橙色	丸底から体部で屈曲して外傾する口縁に立ち上がる	(外)口縁横撫で、底部篦削り (内)（布）による篦磨き

第２２表　住居址出土遺物観察表（１５）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-22 79- 3	坏 土師	16.0 3.2 — 口縁 1/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	口縁部は外反して立ち上がる	(外)撫で？ (内)横位の篦磨き
SB-23 80- 1	坏 土師	13.7 4.0 5.0 口縁底部 1/6	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	平底より内弯しながら立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-23 80- 2	坏 土師	10.6 3.1 4.0 完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底から体部は内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-23 80- 3	坏 土師	10.4 3.1 4.6 口縁 1/4次	胎；0.4 の礫、粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR6/8橙色～7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から内弯しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-23 80- 4	坏 土師	11.3 3.4 4.3 口1/4 底部完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-23 80- 5	坏 土師	10.6 2.6 4.3 口1/9 底部完存	胎；0.3 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	僅かな上げ底から内弯しながら立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-23 80- 6	坏 土師	10.7 2.9 5.0 口～底 1/8	胎；0.3 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/2にぶい橙色 (内)5YR7/3にぶい橙色	平底より内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-23 80- 7	坏 土師	11.6 4.6 6.3 底部完存 口1/5	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	高台部より体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部は僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で　黒色処理 器面が荒れている 轆轤右回転
SB-23 80- 8	坏 土師	10.5 3.7 4.7 体1/4 高台完	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)黒色 (内)黒色	付高台の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外)体部精緻な横位の磨き、底部回転糸切り　黒色処理 (内)4枚花びら形の暗文、横位の磨き　黒色処理
SB-23 80- 9	坏 土師	12.0 2.5 4.5 高台部 欠損	胎；0.3 ～0.5 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台 小さめの底部より体部は外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)口縁篦磨き、轆轤による撫で　黒色処理
SB-23 80-10	坏 土師	— 2.9 5.0 体部一部 底1/3	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)わらび手状の篦磨き　黒色処理

第２３表　住居址出土遺物観察表（１６）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-23 81-11	坏 須恵	13.2 3.4 7.3 口縁部 1/5欠	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/2灰オリーブ色　(内)7.5YR5/2灰オリーブ色	平底より体部は直線的に外傾する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転　火襷（2.5GY3/1暗オリーブ灰色）
SB-23 81-12	坏 須恵	13.7 3.8 7.0 口縁部 1/5欠	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい褐色 (内)7.5YR6/3にぶい褐色	平底より内弯しながら立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転　火襷（10YR5/1 褐灰色）
SB-23 81-13	坏 須恵	13.8 3.9 7.4 底部完口 体2/3	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；やや不良 色；(外)7.5YR5/3にぶい褐色 (内)7.5YR5/3にぶい褐色	平底より体部は外傾する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 火襷（6/6 橙色）不完全な還元焔焼成
SB-23 81-14	坏 須恵	12.6 3.7 6.2 底部完口 体2/3	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)10YR7/1 灰白色 (内)10YR7/1 灰白色	平底の底部より内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-23 81-15	坏 須恵	13.7 3.9 7.0 完存	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/1灰色 (内)7.5YR7/1灰色	平底より内弯して立ち上がり、体部は外傾する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転　火襷
SB-23 81-16	坏 須恵	12.2 3.2 5.0 口3/8 底部完	胎；0.3 の礫、粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)10YR5/1 褐灰色 (内)10YR5/1 褐灰色	平底より体部は外傾して立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SB-23 81-17	坏 須恵	12.6 4.3 6.4 口3/8 底1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5Y5/2 灰オリーブ色 (内)5Y5/2 灰オリーブ色	平底の底部より内弯しながら立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転　火襷
SB-23 81-18	坏 須恵	13.5 4.0 7.3 口1/9 底2/5	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5Y5/1 灰色 (内)7.5Y5/1 灰色	平底の底部より内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転　火襷
SB-23 81-19	坏 須恵	14.2 3.7 8.9 口1/4 底1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5Y3/1 オリーブ黒色 (内)5Y4/1 灰色	体部は屈曲して立ち上がり、口縁部で外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切りの後篦撫で (内)体部轆轤による撫で
SB-23 81-20	坏 須恵	— 1.5 9.4 高台部 1/2	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR5/1 褐灰色 (内)10YR5/2 灰黄褐色	付高台	(外)轆轤による撫で、底部回転篦削り　火襷 (内)轆轤による撫で
SB-23 81-21	羽釜 土師	25.0 8.1 — 口縁～鍔部1/4	胎；金雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR3/1黒褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	鍔部は胴部成形後に付ける　口唇部は面取りを施す	(外)撫で、口唇・鍔端部篦削り (内)口縁部刷毛状工具による縦位の撫で、胴部篦撫で

第２４表　住居址出土遺物観察表（１７）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-24 82- 1	坏 土師	14.2 4.3 7.4 口縁一部 底部一部	胎；0.4 の礫、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/4にぶい赤褐色 (内)2.5YR5/4にぶい赤褐色	底部より内弯して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部篦調整 (内)轆轤による撫で
SB-24 82- 2	坏 土師	16.1 4.5 7.4 口1/4 底部一部	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	平底の底部より内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)精緻な篦磨き
SB-24 82- 3	坏 土師	12.4 4.2 6.1 口縁部 1/8欠	胎；0.3 ～0.6 の礫、粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	底部より内弯しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-24 83- 4	坏 土師	10.7 3.0 4.3 口1/4 底部一部	胎；0.3 ～0.6 の礫、金雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部より内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-24 83- 5	坏 土師	10.2 2.7 4.7 口1/3 底部完存	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部より内弯して立ち上がる　楕円に歪む	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-24 83- 6	坏 土師	11.9 4.4 5.8 口1/5 底部一部	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)黒色	平底の底部より内弯して立ち上がり、口唇部を丸める	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-24 83- 7	坏 土師	13.5 4.1 6.4 口1/6 底部一部	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部より内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で、底部篦切り (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-24 83- 8	坏 土師	— 1.7 7.7 高台 1/5	胎；0.3 ～0.6 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)篦磨き 轆轤右回転
SB-24 83- 9	坏 須恵	— 2.0 7.0 底部 1/4	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR4/2 灰黄褐色 (内)10YR5/2 灰黄褐色	平底	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転　火襷
SB-24 83-10	甕 須恵	— 8.0 9.0 体一部 底一部欠	胎；0.3 ～0.7 の礫を多く含む 焼；良好 色；(外)10YR4/2灰黄褐色 ～2/2黒褐色　(内)4/2 灰黄褐色	平底より体部内弯して立ち上がる 歪み大	(外)轆轤による撫で、胴部下位篦削り　自然釉 (内)轆轤による撫で
SB-26 84- 1	高坏 土師	16.8 3.5 — 口縁部 1/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	口縁部僅かに外反する	(外)撫で (内)撫で

第２５表　住居址出土遺物観察表（１８）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-26 84- 2	甕 土師	— 3.5 3.3 底部 完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/4にぶい赤褐色 (内)5YR4/6赤褐色	丸底	(外)篦削り (内)篦削り
SB-26 84- 3	手捏 土師		色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)7.5YR7/6橙色	手捏ね成形	
SB-27 85- 1	坏 土師	15.4 5.0 5.3 口1/8 底1/3	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部から体部は稜を有し、内弯しながら立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)黒色処理 轆轤右回転
SB-27 85- 2	坏 土師	— 2.2 6.8 底部 2/3	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SB-27 85- 3	坏 土師	11.9 4.5 4.8 底ほぼ完存 口一部欠	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する歪みがある	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で　黒色処理 轆轤右回転
SB-27 85- 4	坏 土師	13.2 4.0 6.6 口3/4 体4/5	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切りの後一部篦削り (内)篦磨き 轆轤右回転
SB-27 85- 5	坏 土師	15.6 5.0 7.2 底2/3 口2/5	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 ～5/6 明赤褐色　(内)黒色 ～5/4 にぶい赤褐色	付高台の底部から体部は緩やかに外反し、口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)放射状の篦磨き　黒色処理
SB-27 86- 6	羽釜 ?	— 11.4 — 口縁～鍔部の一部	胎；金雲母、石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/3にぶい橙色		(外)口縁～鍔部横位の撫で、胴部斜位の篦削り (内)撫で
SB-27 86- 7	羽釜 土師	— 8.5 — 口縁部～鍔部一部	胎；金雲母、石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色		(外)口縁部～鍔部横撫で
SB-28 87- 1	坏 土師	11.0 3.1 5.3 口縁部 1/3欠	胎；金雲母、微砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯して外反する	(外)口縁部轆轤による撫での後横位の撫で、底部回転糸切り (内)口縁部轆轤による撫での後横位の撫で、体部轆轤による掻き目
SB-28 87- 2	坏 土師	10.9 2.9 5.0 底完 口 体2/3	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯して、口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で 轆轤右回転

第26表　住居址出土遺物観察表（19）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-28 87- 3	坏 土師	14.6 6.0 — 1/4残 底部無し	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)黒色	体部は稜を有し内弯して、口縁部へ至る	(外)横位の撫で (内)体部の上部から口縁部に、横位の篦磨き
SB-28 87- 4	坏 土師	13.4 4.7 7.3 2/3次 高一部欠	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/4 にぶい黄橙色 (内)10YR7/6 明黄褐色	付高台の底部から体部は内弯し、口辺部で外反する	(外)体部轆轤による撫で (内)撫で
SB-28 87- 5	坏 土師	14.4 5.1 7.7 3/8次 高台完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/4にぶい褐色 (内)7.5YR5/4にぶい褐色	体部は内弯し口唇部でやや外反する 底部には高台が貼り付けられている	(外)轆轤による撫で (内)撫で
SB-28 87- 6	坏 土師	— 2.9 6.6 高台一部 欠損	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)黒色～2.5YR5/8明赤褐色	高台付	(外)轆轤横位の撫で (内)篦磨き？
SB-28 87- 7	坏 土師	11.0 4.7 6.3 口一部欠 高台完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/3 にぶい黄橙色 (内)黒色	高台付き底部から内弯して体部へ立ち上がり口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で (内)口縁部・体部・底部中心に向かって篦磨き　黒色処理
SB-28 87- 8	坏 土師	— 4.6 7.5 体1/2 高台完存	胎；礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	高台付きの底部から、外傾しながら丸みをおびる体部	(外)横位の撫で (内)放射状の篦磨き　黒色処理
SB-28 87- 9	坏 土師	— 4.2 8.0 底3/4 高一部欠	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台の底部から、体部は内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)放射状の篦磨き　黒色処理
SB-28 87-10	坏 土師	9.2 4.8 5.2 1/2次 高台完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/2灰白色 (内)黒色	体部は内弯して立ち上がり、口縁部に至る 底部には高台が貼りつけられている	(外)横撫で (内)斜位の磨き　黒色処理
SB-28 87-11	坏 土師	— 1.7 5.5 高台底部 のみ	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR8/3 浅黄橙色 (内)黒色	高台底部	(内)放射状の篦磨き
SB-28 87-12	坏 土師	15.2 6.6 8.6 1/4次 高台完存	胎；精良 焼；良好 色；(外)7.5Y7/1 灰白色 (内)7.5Y7/1 灰白色	付高台の底部から内弯して立ち上がり、口縁部に至る　高台を貼り付けてある	(外)体部下位篦削り、体部上位轆轤による撫で (内)轆轤による撫で 釉は漬け掛け
SB-28 88-13	坏 灰釉陶器	17.5 7.5 8.1 口体一部 高台完存	胎；精良 焼；良好 色；(外)2.5GY8/1灰白色 (内)7.5GY8/1明緑灰色	付高台の底部から丸みを帯びて体部へ、やや外反しながら口縁部へ至る	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で

第２７表　住居址出土遺物観察表（２０）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-28 88-14	羽釜 土師	— 9.9 — —	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/6明赤褐色 (内)2.5YR5/3にぶい赤褐色	鍔接合 粘土帯積み上げ	(外)口縁部横撫で、体部篦削り 鍔を貼り付け手による横撫で (内)横位の撫で
SB-28 88-15	羽釜 土師	23.2 7.2 — —	胎；金雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR5/3にぶい赤褐色	鍔接合 粘土帯積み上げ	(外)口縁部横位の撫で (内)横位の撫で
SB-30 89-1	蓋 土師	25.5 5.7 — 口縁 1/8	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR3/3明赤褐色～5/3 にぶい赤褐色	稜を有する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で 軟質である
SB-30 89-2	坏 土師	16.0 4.2 — 口縁 1/6	胎；金雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	体部で内弯しながら口縁に至る	(外)轆轤による撫で (内)口縁部横位の磨き
SB-30 89-3	坏 土師	13.0 4.0 — 口縁 3/4	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	体部で内弯し、口縁で外反する	(外)体部轆轤による撫で (内)篦磨き　黒色処理 墨書「太口」
SB-30 89-4	坏 土師	12.2 4.6 4.8 口2/3 底一部欠	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	平底から体部は内弯しながら開く	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で　黒色処理
SB-30 89-5	坏 土師	12.7 3.1 5.6 口1/2 底部完	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色～5YR3/3暗赤褐色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部で外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後、放射状に6条の篦磨き　黒色処理
SB-30 89-6	坏 土師	13.1 4.3 6.0 口2/5 底1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底より体部は内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-30 89-7	坏 土師	14.5 4.5 — 口縁 1/3	胎；金雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	体部は内弯し、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)口縁部横位の磨き　黒色処理
SB-30 89-8	坏 土師	14.8 5.0 — 口縁体部 1/4	胎；金雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	体部は内弯し、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)口縁部横位の磨き　黒色処理
SB-30 89-9	坏 土師	12.5 4.2 5.5 口1/2 底部一部	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色		(外)轆轤による撫で (内)精緻な篦磨き　黒色処理

第28表　住居址出土遺物観察表（21）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SB-30 89-10	坏 土師	— 2.5 6.9 高台 2/3	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色		(外)底部回転糸切り (内)花弁状暗文
SB-30 89-11	坏 土師	— 3.0 7.2 高台 完存	胎；金雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による箆撫で (内)轆轤による撫で
SB-30 89-12	坏 灰釉陶器	12.6 4.1 6.3 口1/8 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5Y7/1 灰白色 (内)7.5Y7/1 灰白色	付高台	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SB-30 89-13	甕 土師	17.0 5.3 — 口縁部 1/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/3にぶい橙色	口縁部、稜を有し「くの字」状に外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で

第２９表　住居址出土遺物観察表（２２）

付記

ＳＢ－０１は古墳時代後期前半の住居址と考えられ、須恵器は見られない。第54-2は覆土からの出土で、平安時代の遺物が混在したものと思われる。ＳＢ－０３も古墳時代後期の住址と思われるが、やはり遺物は混在している。1,27,28,29,30,31,35 が当住居址に伴う遺物あろうが、あるいは当住居址の覆土内に平安時代の住居址が存在していた可能性も考えられが、検出が不可能であったため、一括図示した点、御了承頂きたい。

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SK-02 90- 1	蓋 土師	— 1.9 — 抓部 のみ	胎；細砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/8黄橙色 (内)7.5YR8/3浅黄橙色		(外)篦削り (内)篦磨き
SK-02 90- 2	坏 土師	— — 7.2 体部底部 の一部	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/4にぶい褐色 (内)7.5YR6/6橙色	平底の底部より内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部篦切り (内)轆轤による撫で
SK-05 91- 1	坏 土師	16.0 3.7 — 口縁体部 1/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/8橙色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	体部は内弯して立ち上がり、口縁部で極く僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で、縦位の篦磨き
SK-05 91- 2	坏 土師	14.5 3.0 — 口縁体部 1/6	胎；金雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR6/6橙色	体部外面に緩い段を有し、内弯して立ち上がり口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SK-05 91- 3	坏 土師	— 1.3 5.0 底部 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)篦磨き　黒色処理 轆轤右回転
SK-05 91- 4	坏 土師	— 1.8 5.5 高台 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/4浅黄橙色 (内)黒色	付高台の底部から内面に僅かな段を有して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)4条の放射状の篦磨き　黒色処理
SK-05 91- 5	壺 須恵器	— 12.4 — 体部 一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5BG2/1青黒色 (内)10BG6/1 青灰色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で 外面に釉薬
SK-05 91- 6	盤 土師	— 9.0 16.8 脚部 1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)5YR6/6橙色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SK-07 92- 1	坏 土師	11.1 4.2 6.0 口縁部 1/3次	胎；礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台の底部から体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で (内)底部篦磨き、口縁部篦による横位の磨き　黒色処理
SK-07 92- 2	坏 土師	— 1.6 4.4 底部 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底の底部	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SK-07 92- 3	坏 土師	— 1.8 7.4 底部 1/2弱	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で、底部篦磨き　黒色処理

第30表　土壙出土遺物観察表（1）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SK-07 93- 4	壺 灰釉陶器	20.2 38.4 17.4 口1/2 体1/5	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10Y6/2オリーブ灰色 (内)10Y6/2オリーブ灰色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SK-09 94- 1	蓋 須恵	— 2.1 — 一部 のみ	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10BG4/1 暗青灰色 (内)10BG4/1 暗青灰色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SK-09 94- 2	坏 土師	12.2 3.3 5.4 体1/3 底部完存	胎；0.3 の礫、金雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/8橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より体部は内弯する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SK-09 94- 3	坏 土師	13.6 4.0 — 口縁部体部1/4	胎；金雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)10YR6/4 にぶい黄橙色　(内)黒色	体部は外傾する	(外)轆轤による撫で (内)黒色処理
SK-09 94- 4	坏 須恵	13.7 4.0 6.6 底1/2 体1/3	胎；微砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10BG6/1 青灰色 (内)10BG6/1 青灰色	平底の底部から体部は稜を有して外傾し口縁部に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SK-09 94- 5	坏 須恵	— — 7.2 底部 1/2	胎；微砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5BG6/1青灰色 (内)5BG6/1青灰色	平底の底部	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SK-09 95- 6	甕 土師	21.3 — — 口縁部 1/8	胎；金雲母、粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)5YR7/6橙色	口縁部外反する	(外)口縁部横位の撫で (内)口縁部横位の撫で
SK-09 95- 7	甕 土師	18.6 3.6 — 口縁部 1/6	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR5/6明赤褐色	口縁部外反する	(外)口縁部横位の撫で (内)口縁部横位の撫で
SK-09 95- 8	甕 須恵	— — — 胴部 一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5BG2/1青黒色 (内)10BG5/1 青灰色		(外)掻き目の撫で？、平行文の叩き (内)同心円文の叩き＝青海波文の叩き
SK-11 96- 1	坏 土師	14.1 4.7 — 口縁部 1/6	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR5/8明赤褐色	口縁部は僅かに外反する　体部は外面に低い稜を有し、僅かに内弯する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SK-11 96- 2	坏 土師	— 1.9 5.0 底部 1/3	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR6/6橙色	高台がとれた底部	(外)轆轤による撫で (内)箆磨き

第３１表　土壙出土遺物観察表（２）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SK-11 96- 3	甕 須恵	— — — 胴部 一部のみ	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5GY4/1暗緑灰色 (内)5BG7/1明青灰色		(外)叩き（格子風叩目文）？ (内)叩き（同心円文）？
SK-12 97- 1	坏 土師	11.8 3.3 3.7 体1/3 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	上げ底の底部から体部は内弯して口縁に至る	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SK-12 97- 2	坏 土師	10.5 2.6 4.5 1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/8橙色 (内)5YR6/3にぶい橙色	僅かに上げ底の底部から、体部は内弯しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-12 97- 3	坏 土師	10.7 4.5 6.6 体1/4 高台完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	付高台の底部から体部は内弯して立ち上がり稜を有して口縁部は外反する	(外)高台部横位の撫で、体部轆轤による撫で (内)七弁蓮葉文の篦磨き　黒色処理
SK-12 98- 4	坏 土師	15.5 4.5 — 口縁体部 1/8	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)黒色	体部は内弯して口縁部で短く強く外反する	(外)轆轤による撫で (内)篦磨き　黒色処理
SK-12 98- 5	坏 土師	— 1.7 9.0 底部 1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/3にぶい赤褐色 (内)黒色	平底の底部	(外)横位の撫で、底部篦削り (内)底部中心に篦磨き、体部篦の横磨き　黒色処理
SK-12 98- 6	坏 土師	— 1.5 4.6 体部一部 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)黒色	平底の底部	(外)横位の撫で、底部回転糸切り (内)中心から放射状に５条篦磨き　黒色処理
SK-14 99- 1	坏 土師	12.0 3.7 — 口縁部体部一部	胎；褐色礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で　黒色処理
SK-14 99- 2	坏 土師	11.8 3.3 — 口縁部体部一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)黒色		(外)轆轤による撫で、一部篦撫で (内)黒色処理
SK-14 99- 3	坏 土師	— 1.8 6.4 体部底部 一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/4淡橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SK-14 99- 4	鉢 土師	— 3.1 10.4 体部底部 一部	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/4にぶい赤褐色 (内)5YR6/4にぶい橙色		(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転

第３２表　土壙出土遺物観察表（３）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SK-14 99- 5	壺 灰釉陶器	— 5.3 5.4 体部一部 高台完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)N6/ 灰色 (内)N7/ 灰白色	付高台の底部、体部はやや丸みを帯びて立ち上がる　気泡が入る	(外)轆轤による篦撫で (内)轆轤による撫で
SK-14 99- 6	甕 須恵	— — — 胴部 一部	胎；砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10BG4/1 暗青灰色 (内)10BG5/1 青灰色		(外)格子風叩目文 (内)撫で調整
SK-15 100- 1	坏 土師	13.4 4.0 4.4 1/4	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)篦磨き？　黒色処理 轆轤右回転
SK-15 100- 2	坏 土師	— 1.9 5.6 底部 完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/8明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色	平底の底部から、体部は外反しながら開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後篦磨き？ 轆轤右回転
SK-15 100- 3	坏 土師	13.0 4.5 — 1/2 底部一部	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	底部内弯して、口縁部やや外反する	(外)轆轤による撫で (内)黒色処理
SK-15 101- 4	坏 土師	12.8 3.3 — 口体 1/4	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	体部は内弯して口縁部に至る	(外)轆轤による撫で (内)斜位の篦磨き　黒色処理
SK-15 101- 5	坏 土師	13.2 3.8 — 口体 1/4	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	体部外面に緩い稜を有し、口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で (内)篦磨き？　黒色処理
SK-15 101- 6	坏 土師	12.5 4.3 — 1/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR3/3暗褐色 (内)黒色	体部外面に強い稜を有し、口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で (内)黒色処理
SK-17 102- 1	坏 土師	— 2.2 4.5 体部一部 底1/2	胎；礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部から、体部は僅かに内弯して開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)撫で　黒色処理 轆轤右回転
SK-17 102- 2	坏 土師	— 1.6 4.8 底部 完存	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/4浅黄橙色 (内)黒色～5YR6/8橙色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)底部轆轤による篦撫で 轆轤右回転
SK-18 103- 1	坏 土師	13.6 2.8 — 口体 一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/3にぶい橙色	口縁部外反	(外)轆轤による撫で (内)丁寧な篦磨き

第３３表　土壙出土遺物観察表（４）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SK-18 103- 2	坏 須恵	— 1.7 7.0 底部 1/5	胎；砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5B6/1 青灰色 (内)5B6/1 青灰色	平底の底部から体部は開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 火襷有り
SK-18 103- 3	耳皿 土師	— 3.0 5.0	胎；粗砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)黒色 (内)黒色		(外)黒色処理＋丁寧な篦磨き (内)黒色処理＋丁寧な篦磨き
SK-18 103- 4	壺 須恵	13.0 7.2 — 口胴上位 1/4	胎；0.3 の礫、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)10BG4/1 暗青灰色 (内)10BG5/1 青灰色	頸部は屈曲外傾し、口縁部は外反する 粘土帯積み上げ	(外)轆轤による撫で調整 (内)撫で調整
SK-18 103- 5	壺 灰釉陶器	— 6.8 — 頸部	胎；砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5GY8/1明緑灰色 (内)N8/ 灰白色	頸部は口縁部に向かって大きく外反する	(外)全体に回転撫で調整、自然釉がかかる　(轆轤による引上げ) (内)全体に回転撫で調整　(轆轤による引上げ)
SK-21 104- 1	坏 土師	— 1.5 4.6 底部 完存	胎；黒色礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/3浅黄橙色 (内)7.5YR8/4浅黄橙色	平底の底部より体部は開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-22 105- 1	坏 土師	— 2.8 9.1 底部 1/2	胎；雲母、微砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/2灰褐色 (内)5YR2/4極暗赤褐色	底部から立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SK-24 106- 1	甕 縄文	— 10.0 —	焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/6橙色		(外)篦状工具による撫で、区画線内に縄文 (内)篦状工具による撫で
SK-24 106- 2	壺 須恵	— 10.8 — 体部上位 頸部	胎；砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10BG6/1 青灰色 (内)5BG6/1青灰色	頸部直線気味に立ち上がり、口縁部に向かってラッパ状に開く	(外)轆轤による撫で、胴部の稜の下は篦削り (内)頸部横位の篦削り、体部轆轤による撫で
SK-28 107- 1	坏 土師	12.8 4.1 — 口縁体部 1/8	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/3 にぶい黄橙色 (内)黒色	体部は内弯して、口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で (内)黒色処理
SK-28 107- 2	壺 須恵	— 10.3 — 胴部上位 頸部	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5BG5/1青灰色 (内)10BG6/1 青灰色	口頸は外反しながら口縁部に立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)撫で
SK-30 108- 1	甕 土師	18.6 4.2 — 口縁部 1/9	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)5YR6/6橙色	口辺部は「コの字」状に外反する	(外)横位の撫で (内)横位の撫で

第34表　土壙出土遺物観察表(5)

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SK-32 109- 1	坏 土師	12.4 3.6 4.5 完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)5YR8/3淡橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部はやや外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-32 109- 2	坏 土師	11.6 3.1 4.4 口-部欠	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/8橙色 (内)5YR7/8橙色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部でやや外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-32 109- 3	坏 土師	11.5 4.0 4.4 口-部欠	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR8/4浅黄橙色 (内)7.5YR8/3浅黄橙色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-32 109- 4	坏 土師	11.6 2.8 5.5 口-部欠	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/3淡橙色～5YR 7/3 橙色 (内)5YR8/4淡橙色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-32 109- 5	坏 土師	12.5 3.5 4.0 口3/4 底部完存	胎；0.5 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/6橙色	平底の底部から体部は内弯し、口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-32 109- 6	坏 土師	11.7 3.3 4.6 1/3 底部完存	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/8橙色 (内)5YR7/6橙色	平底の底部から体部は内弯し、口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-32 110- 7	坏 土師	12.1 3.3 4.4 体3/4 底部完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-32 110- 8	坏 土師	13.0 3.8 4.0 3/5	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯して、口縁部でやや外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SK-32 110- 9	坏 土師	12.5 3.3 4.2 1/2	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がり、口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)撫で 轆轤右回転
SB-32 110-10	坏 土師	12.2 3.9 3.9 体1/2 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/3にぶい橙色 (内)5YR7/3にぶい橙色	平底の底部から体部はやや内弯して立ち上がり、口縁部へ至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)撫で 轆轤右回転
SK-32 110-11	坏 土師	12.8 3.5 4.2 3/5欠 底部完存	胎；金雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)7.5YR7/6橙色	平底の底部から内弯して立ち上がり、口縁部へ至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)撫で 轆轤右回転

第35表　土壙出土遺物観察表（6）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SK-32 110-12	坏 土師	12.6 3.5 4.8 底完口体 5/6	胎；金雲母、雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR3/6にぶい褐色 (内)7.5YR3/6にぶい褐色	上げ底ぎみの底部より内弯しながら立ち上がり、口縁部は僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SK-32 110-13	坏 土師	14.7 5.8 8.0 1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/6 明黄褐色 (内)10YR7/4 にぶい黄橙色	付高台の底部から外反しながら体部へ、体部は緩く内弯し、口縁部で屈曲外反する	(外)轆轤による撫で、口縁部は指頭で撫でている (内)撫で
SK-32 110-14	坏 土師	14.4 5.4 7.5 1/2 高台完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6明黄褐色 (内)5YR7/4にぶい橙色	付高台の底部から体部は緩く外反して立ち上がり、口縁部は外反する　底部に胎土の収縮による亀裂がある	(外)轆轤による撫で (内)撫で
SK-32 110-15	坏 土師	12.7 5.5 5.8 1/4欠 高台完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台の底部から体部は内弯して立ち上がり口縁部で緩く外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)丁寧な磨き　黒色処理 轆轤右回転
SK-32 110-16	坏 土師	12.2 5.4 5.5 1/2 高台欠	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)黒色 (内)黒色	底部から体部は内弯して口縁部に至る	(外)篦撫で (内)篦撫で

第36表　土壙出土遺物観察表（7）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
P－03 111－1	高坏 土師	9.8 5.3 6.0 脚部 1/3	胎；0.4 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色		(外)轆轤による撫で、回転糸切り (内)轆轤による撫で
P－05 111－2	壺？ 須恵	— 2.2 7.1 体部一部 高1/4	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/2灰褐色 (内)7.5YR5/2灰褐色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
P－07 111－3	坏 土師	— 2.1 5.0 高台一部 欠体一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)黒色 (内)黒色	付高台	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
P－07 111－4	甕 土師	— 4.4 10.2 体部一部 底1/6	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5Y4/1 褐灰色～黒色 (内)10YR5/1 褐灰色	平底	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で 自然釉がかかる
P－08 111－5	坏 土師	13.8 3.4 6.6 口1/7 底部一部	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内弯しながら口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
P－08 111－6	坏 土師	— 1.9 6.4 高台 1/2	胎；0.3 ～0.6 の礫、金雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後花弁文の磨き　黒色処理
P－08 111－7	坏 須恵	14.0 3.8 — 口縁 1/6	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/1褐灰色 (内)7.5YR7/1明褐灰色	体部で内弯し口縁に至る	

第37表　ピット出土遺物観察表

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SD-01 112- 1	坏 土師	10.6 4.0 — 口縁 一部欠	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	丸底から内弯して立ち上がり、口縁部は内傾する	(外)口縁横撫で、体部篦削りの後撫で、底部篦削り (内)横撫で
SD-01 112- 2	坏 土師	10.8 3.5 — 口1/4 体1/2	胎；0.4 の礫を多く、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	丸底 口縁直立する	(外)口縁横撫で、体部篦削りの後撫で、底部篦削り (内)横撫で
SD-01 112- 3	坏 土師	11.1 2.4 6.7 口1/8 底1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/4淡橙色 (内)5YR8/4淡橙色～7/4にぶい橙色	平底の底部より広がり口縁に至る	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SD-01 112- 4	坏 土師	— 2.0 6.0 高3/4 底部完存	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)黒色処理
SD-01 112- 5	皿 土師	11.8 2.3 5.0 口2/3 高台一部	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)黒色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で　黒色処理 (内)轆轤による撫で　黒色処理
SD-01 112- 6	壺 土師	17.5 28.0 16.8 口1/3 胴1/4	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR4/7にぶい橙色 (内)7.5YR4/7にぶい橙色	体部は球形を呈し口縁は外反する	(外)縦位の篦削りの後撫で (内)口縁部横撫で、体部篦削りの後撫で
SD-02 113- 1	蓋 土師	12.0 2.2 4.8 口1/5 底1/2	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/4にぶい褐色 (内)5YR7/4にぶい橙色	天井部は平面、裾部は屈曲して広がる	(外)轆轤による撫で、天井部回転糸切り (内)轆轤による撫で -2と同一個体か
SD-02 113- 2	蓋 土師	13.2 1.8 — 口縁 一部	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)5YR7/6橙色	裾部屈曲外反する	(内)「太」の刻書 -1と同一個体か
SD-02 113- 3	坏 土師	11.3 3.5 4.2 完存	胎；金雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/8橙色 (内)2.5YR4/8赤褐色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部で緩やかに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 113- 4	坏 土師	12.3 3.4 5.0 完存	胎；0.3 の礫、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR8/4淡橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部から体部は内弯しながら立ち上がり口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 113- 5	坏 土師	11.1 3.8 4.0 1/6 欠損	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/6橙色	平底の底部から体部は丸みをおび、口縁は外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転

第38表　溝址出土遺物観察表（1）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SD-02 113- 6	坏 土師	12.5 4.1 4.9 1/4	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)10YR8/4 浅黄橙色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯して、口縁部はやや外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)黒色処理 轆轤右回転
SD-02 114- 7	坏 土師	12.0 4.0 4.3 口1/2 底部完存	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底より外反して立ち上がり体部は内弯し、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 114- 8	坏 土師	11.4 3.5 4.0 口1/6 底2/3	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/3にぶい橙色 (内)5YR7/3にぶい橙色	平底の底部より内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 114- 9	坏 土師	12.2 3.9 4.8 口1/4 底一部欠	胎；0.6 の礫を僅か、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底より内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で
SD-02 114-10	坏 土師	12.4 3.3 5.0 口1/4 底2/3	胎；0.3 ～0.6 の礫、金雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	底部より外傾して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部下手な回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 114-11	坏 土師	10.9 4.0 4.6 1/2	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)7.5YR6/8橙色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SD-02 114-12	坏 土師	12.6 3.8 — 口縁 1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	口縁で僅かに外反	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SD-02 114-13	坏 土師	— 1.9 5.7 高台とれた底のみ	胎；石英、褐色粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/2 にぶい黄橙色　(内)10YR6/3 にぶい黄橙色	高台のとれた底部から内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で 高台部がきれいにとれている
SD-02 114-14	坏 土師	11.1 4.5 4.0 口1/6 底1/3	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)黒色	小さな平底より体部は内弯して口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SD-02 114-15	坏 土師	13.3 4.5 5.0 口1/4 底1/3	胎；0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色～口縁部黒色 (内)黒色	平底より稜を有して内弯しながら立ち上がり口縁で外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で　黒色処理 轆轤右回転
SD-02 114-16	坏 土師	13.7 5.2 6.0 口1/7 底5/6	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底より内弯して立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で　黒色処理 轆轤右回転

第39表　溝址出土遺物観察表（2）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SD-02 114-17	坏 土師	14.2 4.8 5.4 口1/4 底部完存	胎；0.3 ～0.5 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)黒色	平底より内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 114-18	坏 土師	12.1 3.9 5.0 口一部 底一部欠	胎；0.3 ～0.6 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/3にぶい赤褐色 (内)黒色	平底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁に至る	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)箆磨き　黒色処理 轆轤右回転
SD-02 114-19	坏 土師	13.0 4.5 4.9 口1/8 底1/5	胎；0.3 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 114-20	坏 土師	13.2 4.5 4.5 口1/4 底部完存	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/3にぶい橙色 (内)黒色	平底より内弯して立ち上がり口縁で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後口縁横位の箆磨き、5条の放射状箆磨き　黒色処理　轆轤右回転
SD-02 114-21	坏 土師	12.5 4.2 6.2 口1/8 底1/6	胎；0.5 の礫を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で　黒色処理
SD-02 114-22	坏 土師	12.6 4.2 5.0 口1/5 底1/2	胎；0.3 の礫を多く、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	平底の底部より内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 114-23	坏 土師	13.0 4.2 5.2 口1/3 底一部欠	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4～6/4 にぶい橙色 (内)黒色	平底より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 114-24	坏 土師	13.5 4.2 5.6 底完 体 口1/2	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)黒色	平底の底部から内弯して体部に立ち上がり、口縁部に至る	(外)横位の撫で、底部回転糸切り (内)丁寧な箆磨き　黒色処理
SD-02 114-25	坏 土師	14.5 5.1 5.5 口1/2 底1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部より内弯しながら稜を有して立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫での後8条の放射状及び意味不明の箆磨き　黒色処理
SD-02 114-26	坏 土師	— 3.5 4.8 体部一部 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色～7/6 橙色 (内)黒色	平底より内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後5条の放射状箆磨き 轆轤右回転
SD-02 114-27	坏 土師	15.1 5.8 6.7 体1/4 底部完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)5YR7/6橙色	底部から体部は内弯して口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で

第40表　溝址出土遺物観察表（3）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SD-02 115-28	坏 土師	— 1.5 5.0 高台 完存	胎；粗砂粒を含み堅微 焼；良好 色；(外)2.5YR5/6明赤褐色 (内)2.5YR5/6明赤褐色	付高台	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SD-02 115-29	坏 土師	15.1 4.5 6.3 口1/7 高台欠	胎；0.3 ～0.5 の礫を多く、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	底部より僅かに内弯して口縁部で外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SD-02 115-30	坏 土師	11.4 4.6 5.5 口1/6 底一部欠	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/3淡橙色 (内)黒色	付高台の底部から体部は内弯しながら立ち上がり、口縁部は外反する	(外)轆轤による撫で (内)口縁部精緻な篦磨き、体部～底部十文字の磨きとわらび手状の篦磨き　黒色処理
SD-02 115-31	坏 土師	— 2.4 7.0 高台 2/3	胎；0.4 の礫を多く、金雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)高台～体部轆轤による撫で底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-02 115-32	坏 土師	14.5 6.0 7.0 1/2 高台一部	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR8/4 浅黄橙色 (内)黒色	付高台の底部から体部は内弯して、僅かに外反する口縁に至る	(外)轆轤による撫で (内)丁寧な篦磨き　黒色処理
SD-02 115-33	坏 土師	15.3 4.5 — 口1/5 底1/3	胎；0.3 ～0.5 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台 体部で中位に稜を有し内弯しながら口縁に至る	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後篦磨き？　黒色処理
SD-02 115-34	坏 土師	— 2.0 6.9 高台部 完存	胎；金雲母、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)10YR6/6 明黄褐色 (内)黒色		(外)底部回転糸切り (内)黒色処理
SD-02 115-35	坏 須恵	— 2.2 5.0 体部一部 底部完存	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5BG6/1青灰色 (内)5BG7/1明青灰色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転　軟質須恵器
SD-02 115-36	坏 須恵	— 1.4 7.7 底部 1/2	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5Y4/1 灰色～5/1 灰色　(内)7.5Y5/1 灰色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SD-02 115-37	坏 灰釉	14.0 4.6 7.4 口縁一部 高1/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5GY7/1明オリーブ灰色　(内)2.5GY7/1明オリーブ灰色	付高台 底部より内弯しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SD-02 115-38	高坏 土師	16.1 4.4 — 口縁部 2/3	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	体部下位で屈曲して、僅かに内弯して立ち上がる	(外)撫で (内)篦磨き？

第41表　溝址出土遺物観察表（4）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SD-02 115-39	皿 土師	8.8 2.0 — 底部口縁部1/2	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/3淡橙色 (内)5YR8/3淡橙色		(外)横位の撫で (内)横位の撫で
SD-02 115-40	椀 土師	20.7 10.7 9.5 体2/3 底一部欠	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫での後篦磨き？
SD-02 115-41	鉢 土師	19.7 10.8 7.3 底完体～口1/7	胎；粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)黒色	平底の底部から体部は緩く内弯しながら立ち上がり、口縁部は外反する	(外)撫で？ (内)黒色処理
SD-02 115-42	鉢 土師	— 5.0 10.5 体部一部 底部一部	胎；0.3 ～0.5 の礫を多く、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部より内弯して立ち上がる	(外)篦削り (内)篦削り
SD-02 115-43	鉢 土師	— 5.0 9.6 体部一部 底3/4	胎；0.3 ～0.5 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底の底部より内弯しながら立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で　黒色処理 轆轤右回転
SD-02 115-44	鉢 縄文	— 3.2 — 口縁一部	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/3にぶい橙色 (内)7.5YR7/3にぶい橙色		
SD-02 116-45	壺 土師	15.0 8.0 — 口1/9 体部一部	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)5YR7/6橙色	体部上部で四角形の帯を有し、口縁で大きく「くの字」状に外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SD-02 116-46	壺 須恵	— 8.5 — 頸部 1/4	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR5/1 褐灰色 (内)10YR5/1褐灰色～6/1褐灰色	頸部で直に立ち上がる	(外)轆轤による撫での後体部を平行文の叩き (内)轆轤による撫で
SD-02 116-47	甕 土師	17.7 4.0 — 口縁 1/5	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色		(外)横位の撫で (内)横位の撫で
SD-02 116-48	甕 須恵	— 9.0 17.1 胴部一部 底部一部	胎；礫を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5B5/1 青灰色 (内)5B6/1 青灰色	粘土帯積み上げ	(外)轆轤による篦撫で (内)轆轤による撫で
SD-02 116-49	甕 須恵	— 4.4 — 体部一部 耳2個	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR4/1 褐灰色 (内)10YR4/1 褐灰色	肩部に板状の円孔を穿った耳がつく	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で

第42表　溝址出土遺物観察表（5）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SD-03 117- 1	坏 土師	－ 1.1 6.2 底部 1/2	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)黒色	平底	(外)体部撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後磨き
SD-03 117- 2	坏 土師	－ 1.9 5.0 高台 一部欠	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)横位の撫で (内)木口状工具による撫で
SD-03 117- 3	鉢 縄文	－ － － 体部 一部	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色		
SD-04 118- 1	蓋 土師	16.4 3.5 － 1/3	胎；0.3 の礫、細かい石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR4/3褐色 (内)7.5YR4/2灰褐色	天井は丸みを持ち、屈曲してやや外傾する口縁に至る	(外)篦削りの後天井部下位は精緻な篦磨き、裾部横位の篦磨き (内)天井部撫で、裾部横位の篦磨き
SD-04 118- 2	高坏 土師	－ 6.2 － 脚上部 のみ	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/4 にぶい黄褐色 (内)7.5YR6/6橙色		(外)縦方向の篦削りの後精緻な縦位の篦磨き
SD-04 118- 3	高坏 土師	－ 3.1 － 脚上部 のみ	胎；白色砂粒、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	脚部に3箇所三角形の窓がある	(外)篦磨き (内)篦磨き　黒色処理
SD-04 118- 4	手捏 土師	7.0 5.8 3.8 1/4	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	手捏ね成形	(外)体部指による押捺 (内)体部指による撫で
SD-04 118- 5	皿 土師	7.9 1.8 2.6 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)7.5YR7/6橙色	最大径が口縁にある小型で平底の皿 轆轤成形、器形が歪み手捏ねなみの仕上がり	(外)撫で (内)横撫で
SD-04 118- 6	壺 土師	－ 8.4 － 体部～底部1/2	胎；白色砂粒、石英を僅かに含む 焼；良好 色；(外)10YR7/4 にぶい黄橙色　(内)10YR8/4 浅黄橙色	丸底より偏平な球形の体部に立ち上がる 粘土帯積み上げ	(外)篦刷りの後横位の篦磨き (内)撫で 頸部との接合部から剥離する
SD-04 119- 7	甕 土師	－ 3.7 5.6 胴1/5 底5/6	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)2.5YR5/4にぶい赤褐色	平底の底部より体部は内弯しながら立ち上がる　胴部の張り出しに歪みがある	(外)底部・胴部篦削り (内)胴部篦削り、篦撫で
SD-04 119- 8	甕 土師	－ 4.2 4.6 底部完胴下1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色	平底の底部より体部は僅かに内弯しながら立ち上がる	(外)底部～胴部篦削り (内)胴部篦削り

第43表　溝址出土遺物観察表（6）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SD-04 119- 9	甕 土師	12.4 9.9 － 口縁～胴部1/3	胎；石英、白色砂粒、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)7.5YR7/6橙色	丸みを帯びた胴部より僅かに外傾する口縁に至る 粘土帯積み上げ	(外)口縁部斜位の篦削り、胴部横位の篦削り (内)横位の刷毛目
SD-04 119-10	甕 土師	－ 12.0 － 口縁部	胎；0.3の礫、雲母、石英を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR6/4にぶい橙色	口縁部は緩やかに外反する 粘土帯積み上げ	(外)口縁部横撫で、縦方向の篦削りの後、精緻な縦位の篦磨き　(内)口縁部横撫で、縦方向の篦削りの後、精緻な縦位の篦磨き
SD-07 120- 1	蓋 土師	12.3 2.3 5.0 口1/4 体3/5	胎；0.3～0.5の礫、雲母を僅か、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)7.5YR7/6橙色	天井上部は平面で、裾部は屈曲する	(外)轆轤による撫で、天井部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SD-07 120- 2	皿 土師	－ 2.5 5.0 底一部欠	胎；0.3の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	天井上部は平面で、裾部は屈曲する	(外)轆轤による撫で、天井部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-07 120- 3	坏 土師	13.4 4.5 5.6 口1/5 底1/3	胎；0.3の礫を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色～口縁部黒色 (内)黒色	平底より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-07 120- 4	坏 土師	14.1 4.3 4.4 口1/6 底5/6	胎；0.4の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色～口縁部黒色 (内)黒色	平底の底部より内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-07 120- 5	坏 土師	13.4 4.3 4.6 口縁一部 底1/2	胎；0.3～0.6の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/2灰褐色 (内)黒色	平底より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)体部轆轤による撫で 轆轤右回転
SD-07 120- 6	甕 土師	－ 2.5 6.0 底一部欠	胎；0.3の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色～5/4にぶい赤褐色　(内)黒色	平底の底部から内弯して立ち上がる	(外)胴部撫で、底部篦切り底に×印の篦記号
SD-07 120- 7	甕 須恵	－ 5.5 － 頸部1/3弱	胎；0.4の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR4/2灰褐色 (内)7.5YR4/2灰褐色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SD-09 121- 1	坏 土師	12.4 3.8 5.0 口1/8 底1/3	胎；0.3～0.6の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色　(内)5YR6/6橙色~2.5YR5/3黄橙色	平底の底部より内弯する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SD-09 121- 2	坏 土師	12.3 4.3 5.2 口2/3 体底完存	胎；0.4の礫を多く、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色～口縁部黒色　(内)黒色	平底より体部は内弯して口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で

第44表　溝址出土遺物観察表（7）

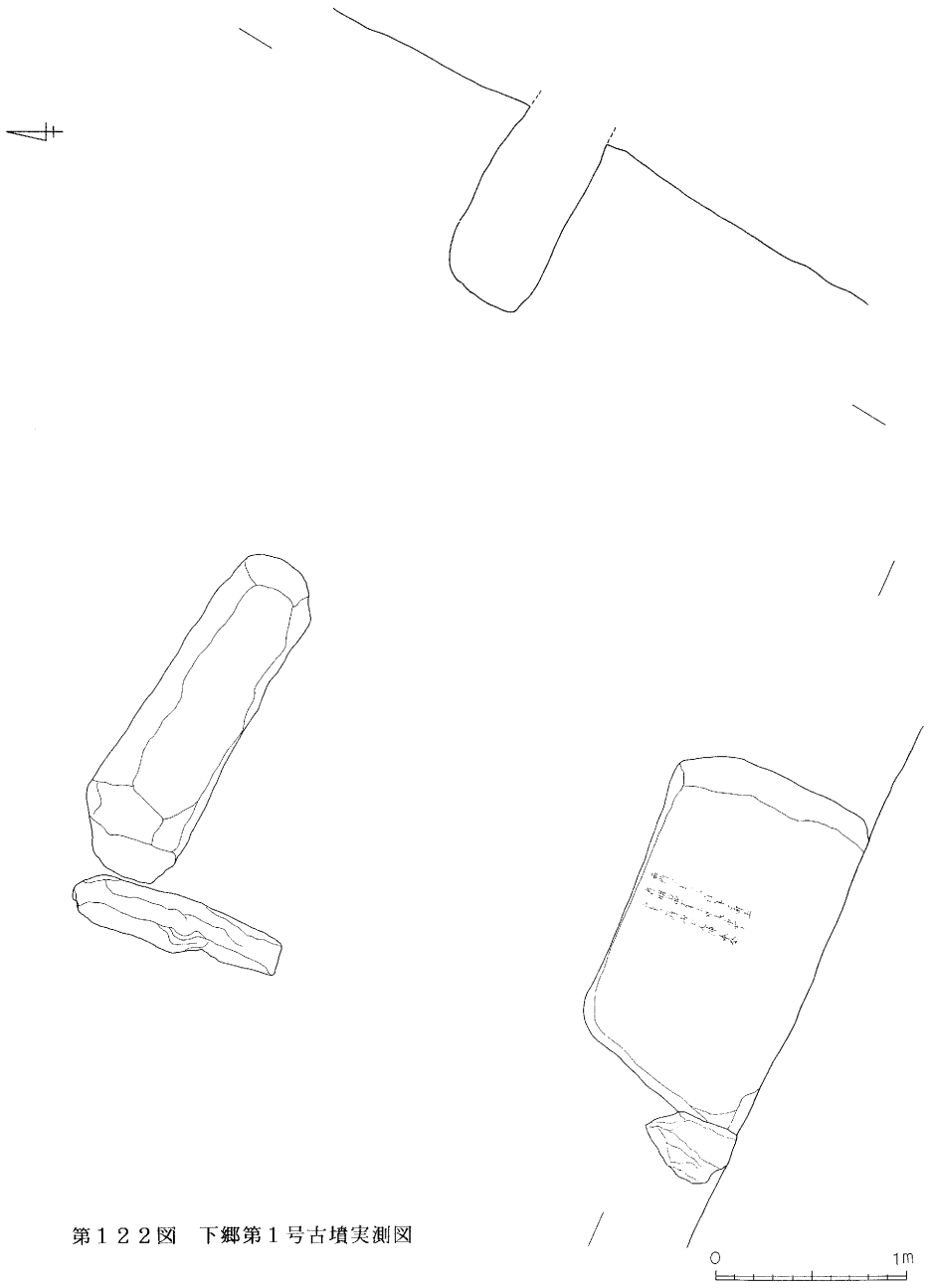
遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SD-09 121- 3	坏 土師	— 3.4 7.6 底1/3	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR6/8橙色 (内)黒色	付高台 底部より内弯しながら立ち上がる	(外)轆轤による撫で　墨書か？ (内)丁寧な篦磨き　黒色処理
SD-09 121- 4	坏 弥生	— 2.3 — 脚部 一部	胎；0.3 の礫、雲母を含む 焼；良好 色；(外)10R4/8赤色（赤色塗彩）　(内)10R4/8赤色（赤色塗彩）		？
SD-09 121- 5	鉢 土師	20.7 4.5 — 口縁 一部	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)2.5YR5/8明赤褐色(赤色塗彩?)		(外)轆轤による撫で？器面荒れる (内)丁寧な篦磨き
SD-09 121- 6	壺 土師	10.7 5.4 — 口縁 一部	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色＋汚れ多い (内)黒色	口縁部で「くの字」状に外反する	(外)木口状工具による轆轤撫で (内)轆轤による撫で

第45表　溝址出土遺物観察表（8）

第四章　下郷古墳群の調査

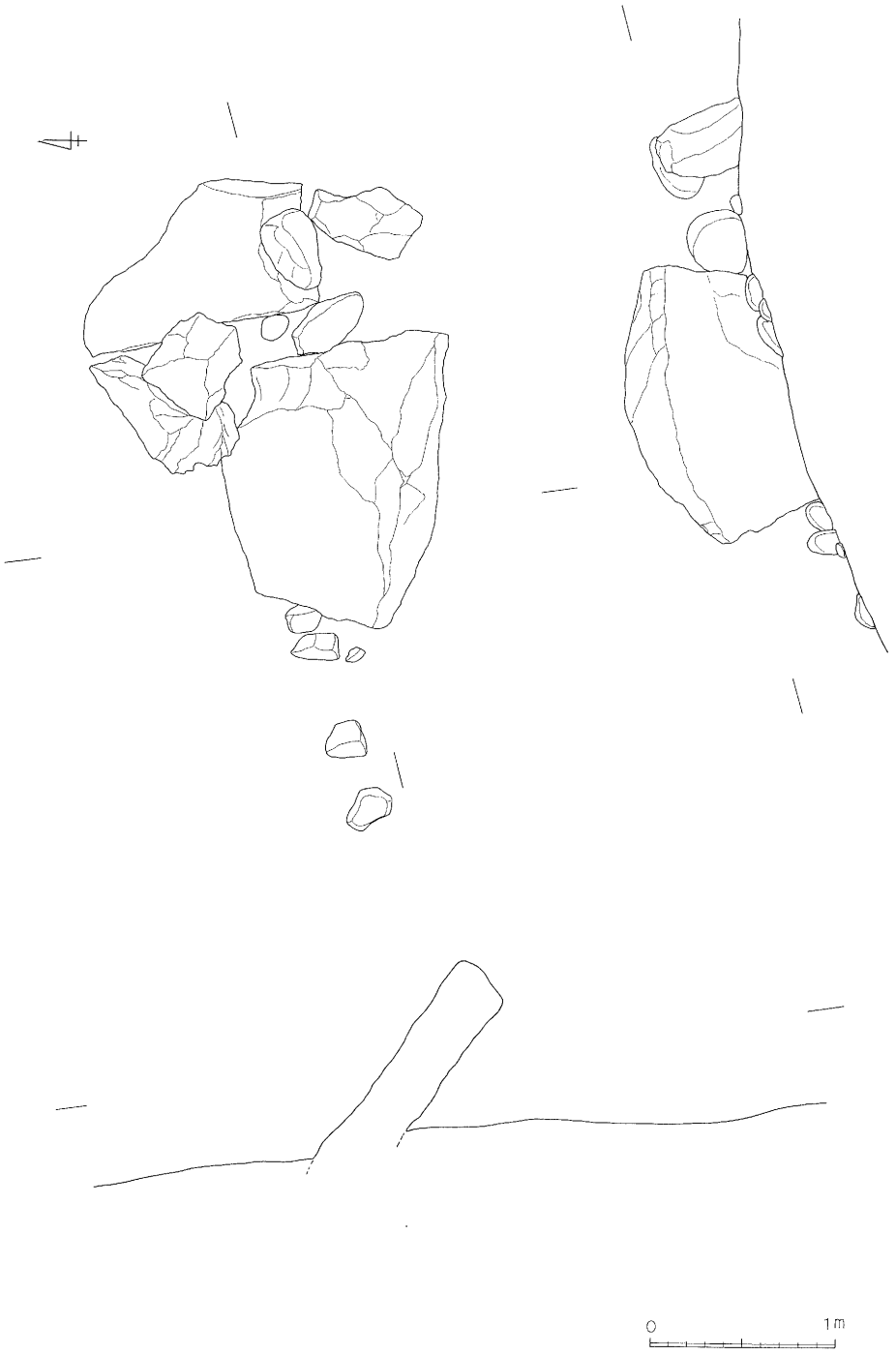
第１節　遺　　構

１　第１号古墳



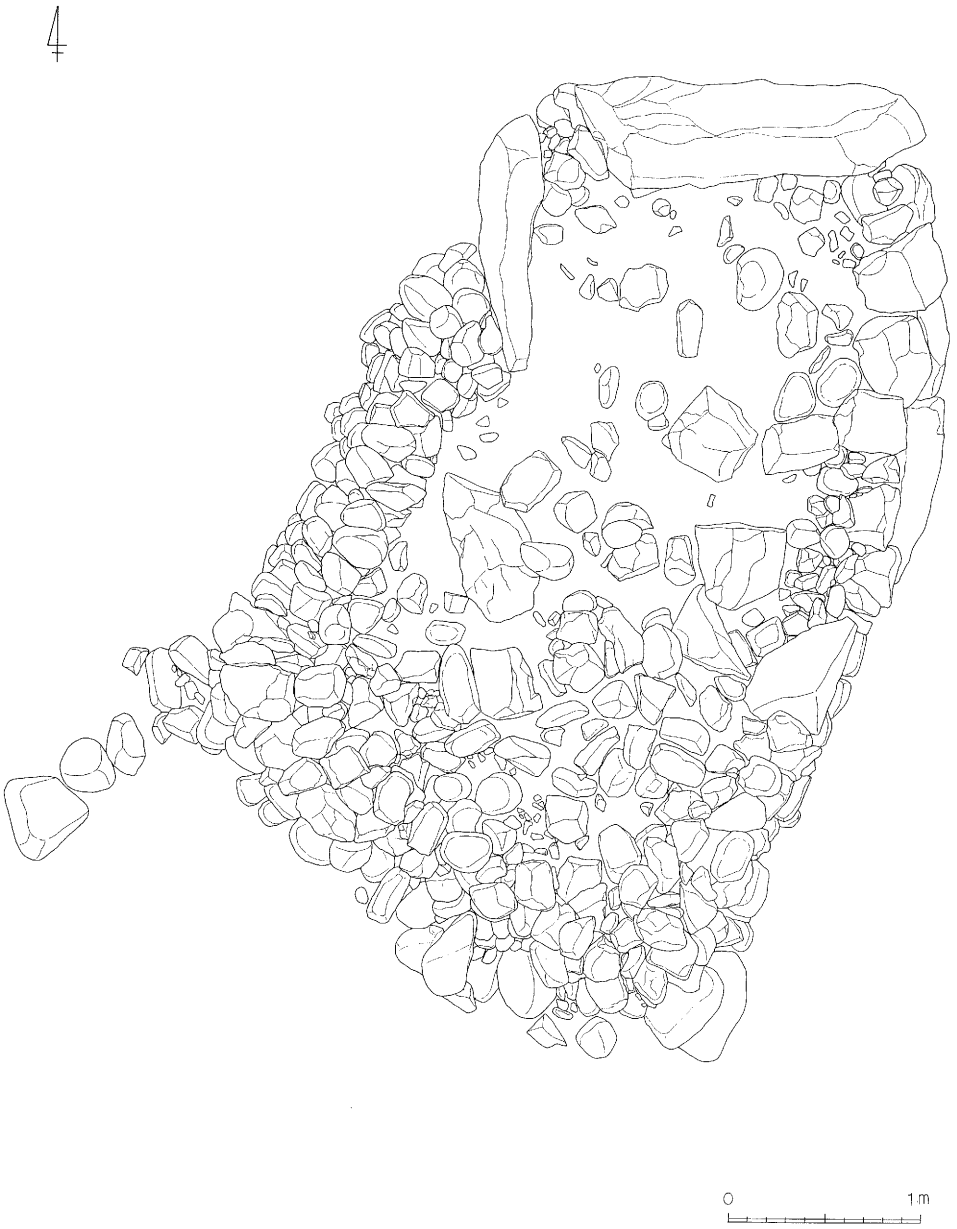
第１２２図　下郷第１号古墳実測図

2　第３号古墳



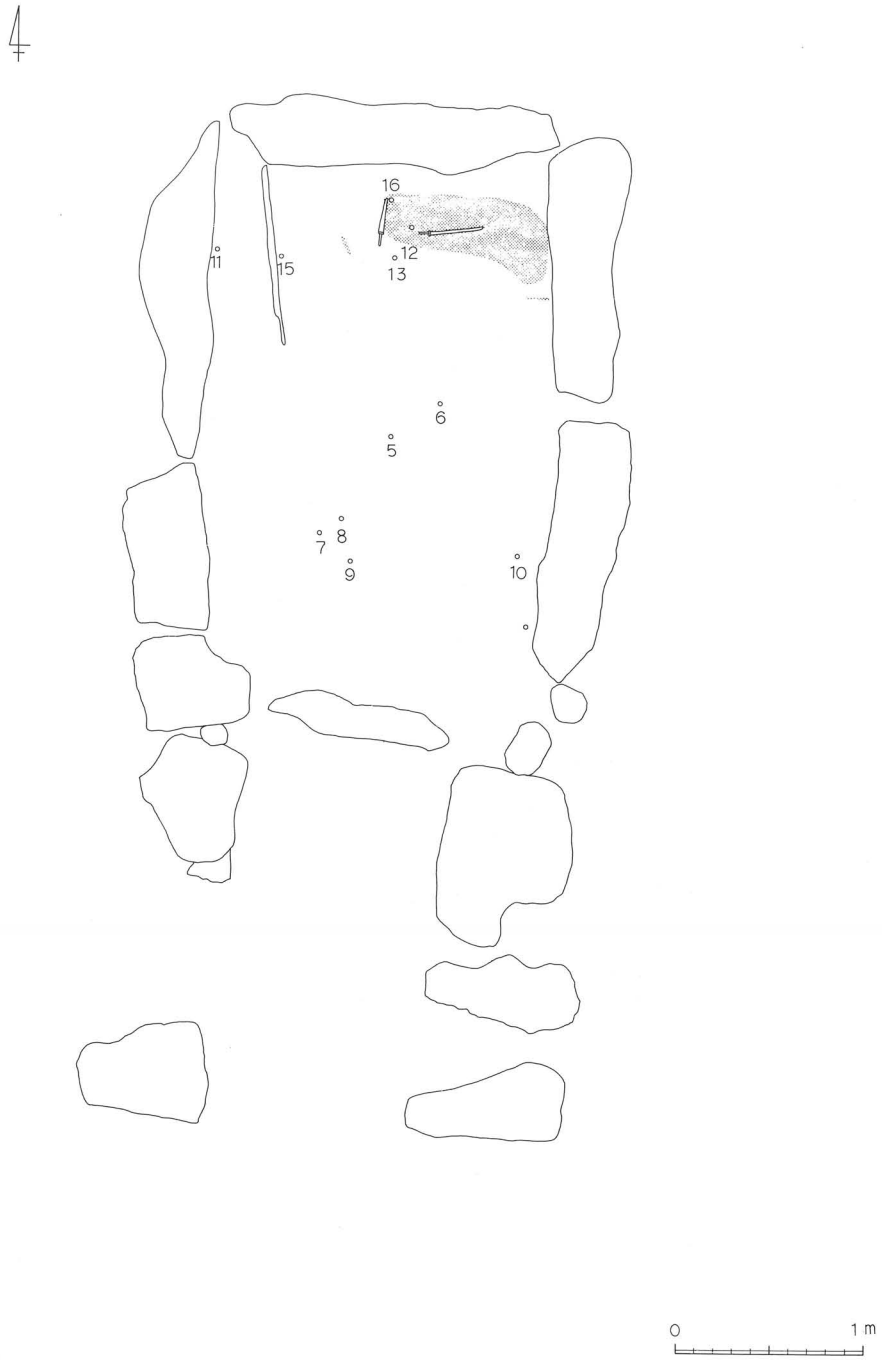
第１２３図　下郷第３号古墳実測図

3　第２号古墳

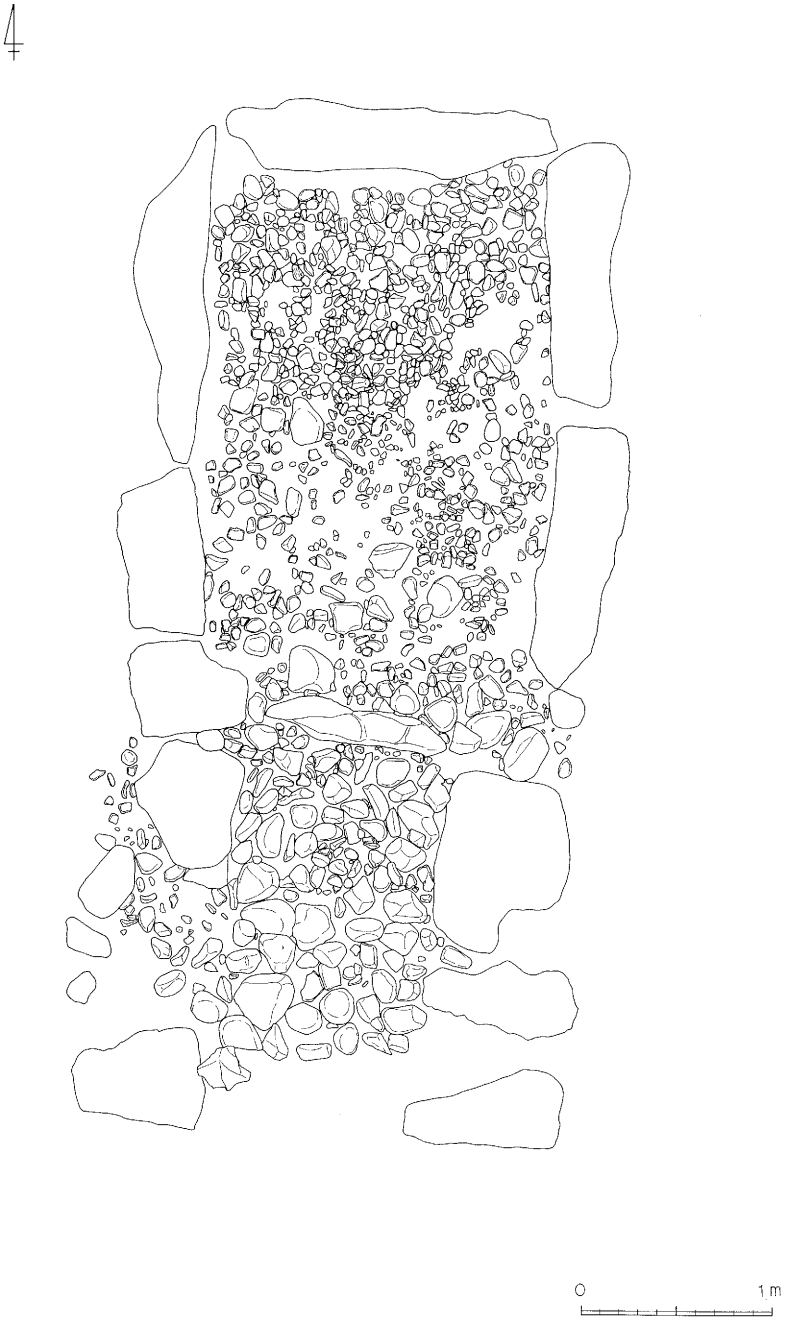


第１２４図　下郷第２号古墳調査前実測図

第１２５図　下郷第２号古墳石積除去後実測図



第１２６図　下郷第２号古墳直刀・人骨・金環出土状況実測図



第１２７図　下郷第２号古墳覆土除去後実測図

第１２８図　下郷第２号古墳小礫除去後実測図

第１２９図　下郷第２古墳周溝実測図

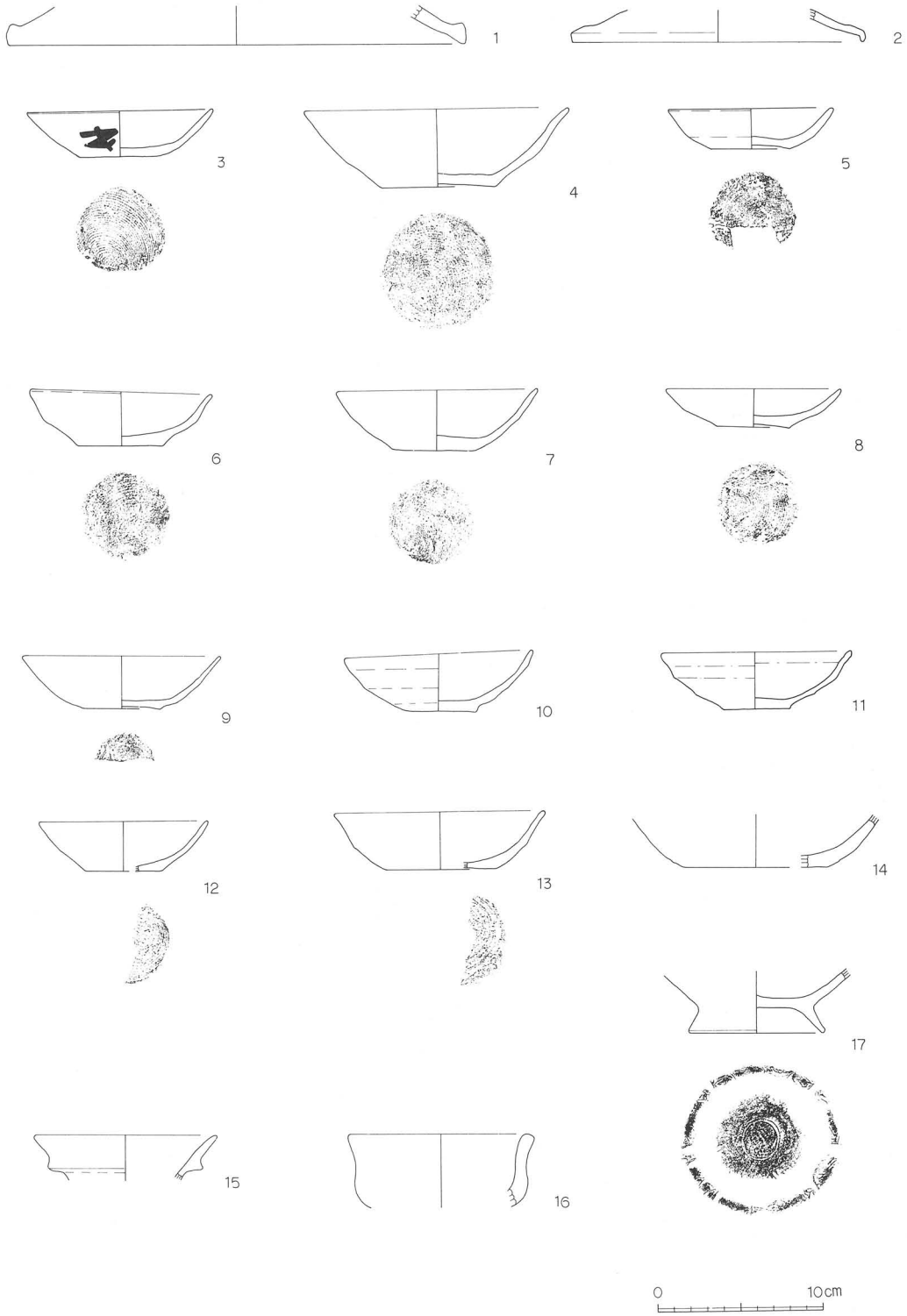
第２節　遺　　物

１　第１号古墳出土遺物

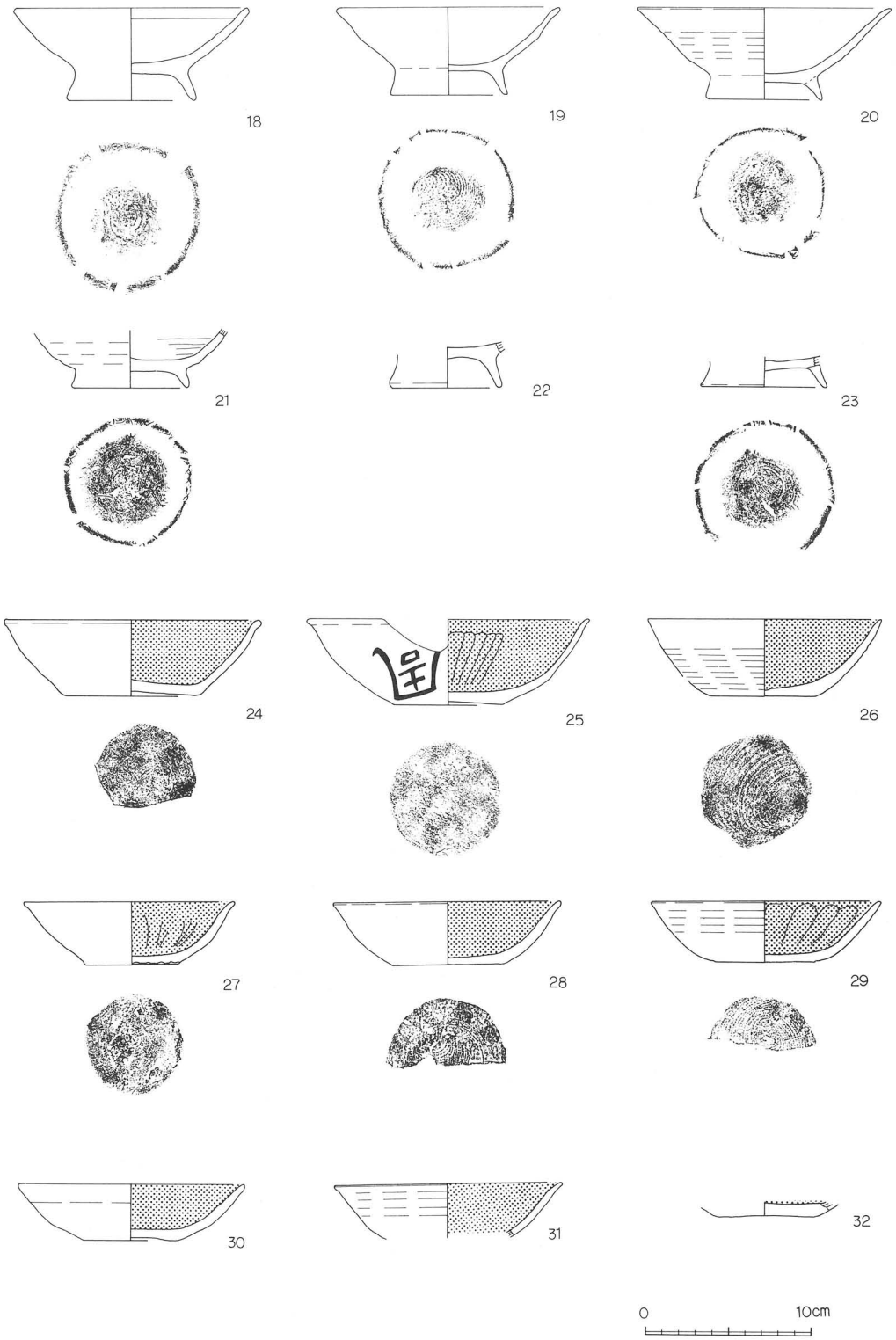
第１３０図　下郷第１号古墳出土遺物実測図

２　第２号古墳出土遺物

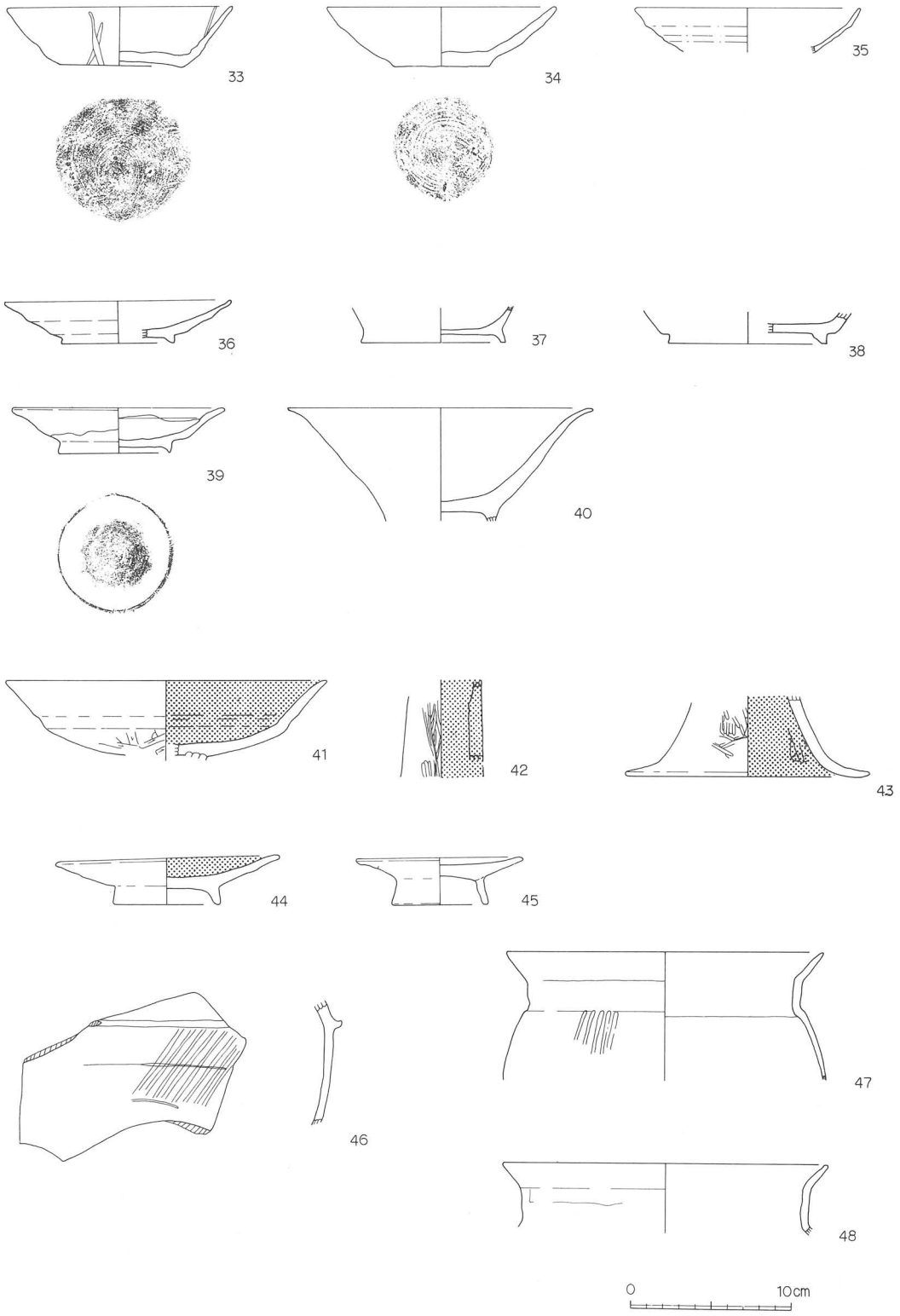
第１３１図　下郷第２号古墳石室内出土遺物実測図



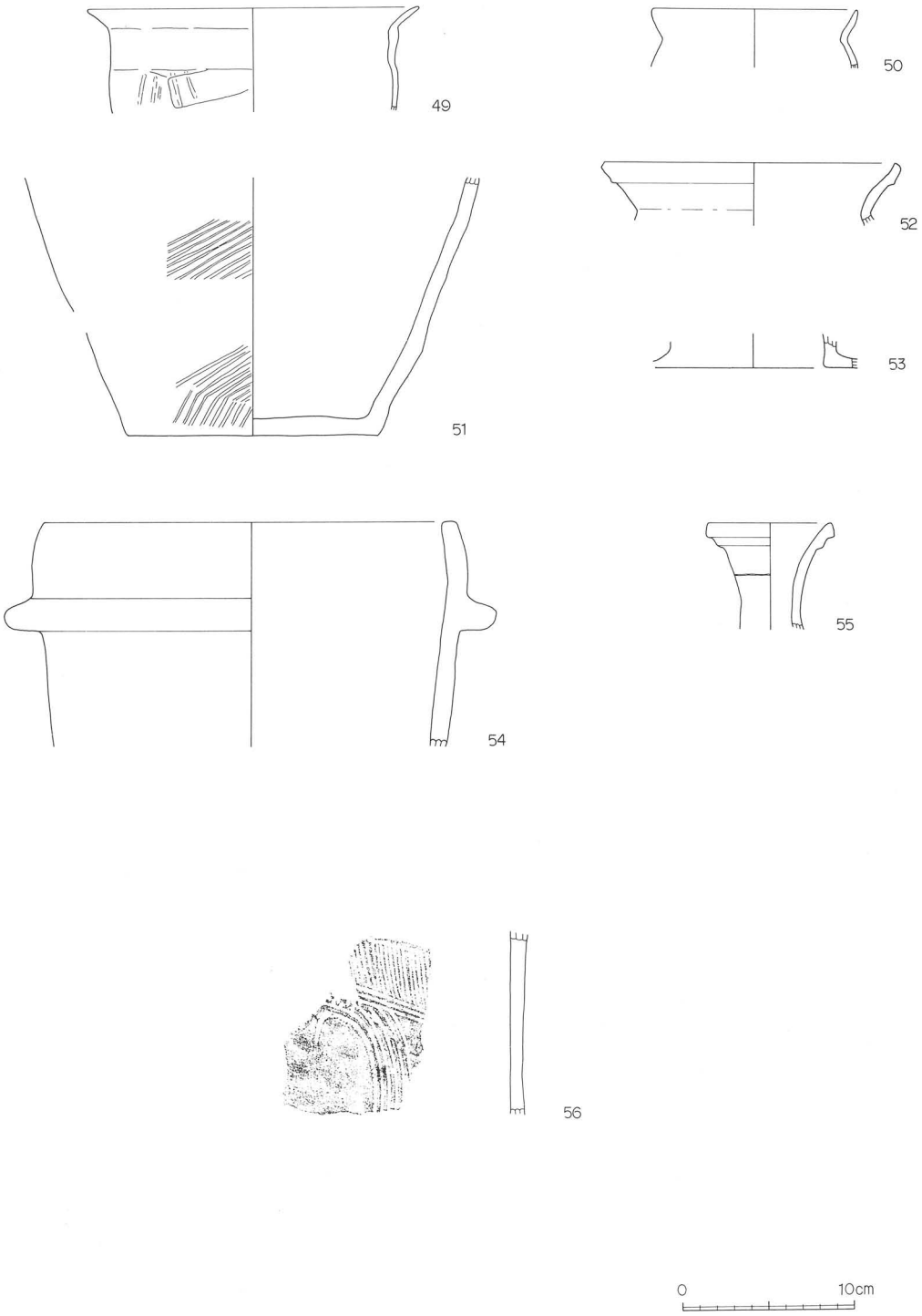
第１３２図　下郷第２号古墳石室外出土遺物実測図（１）



第１３３図　下郷第２号古墳石室外出土遺物実測図（２）

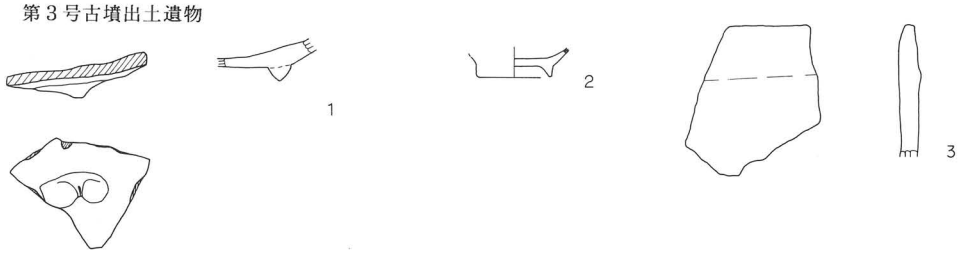


第１３４図　下郷第２号古墳石室外出土遺物実測図（３）



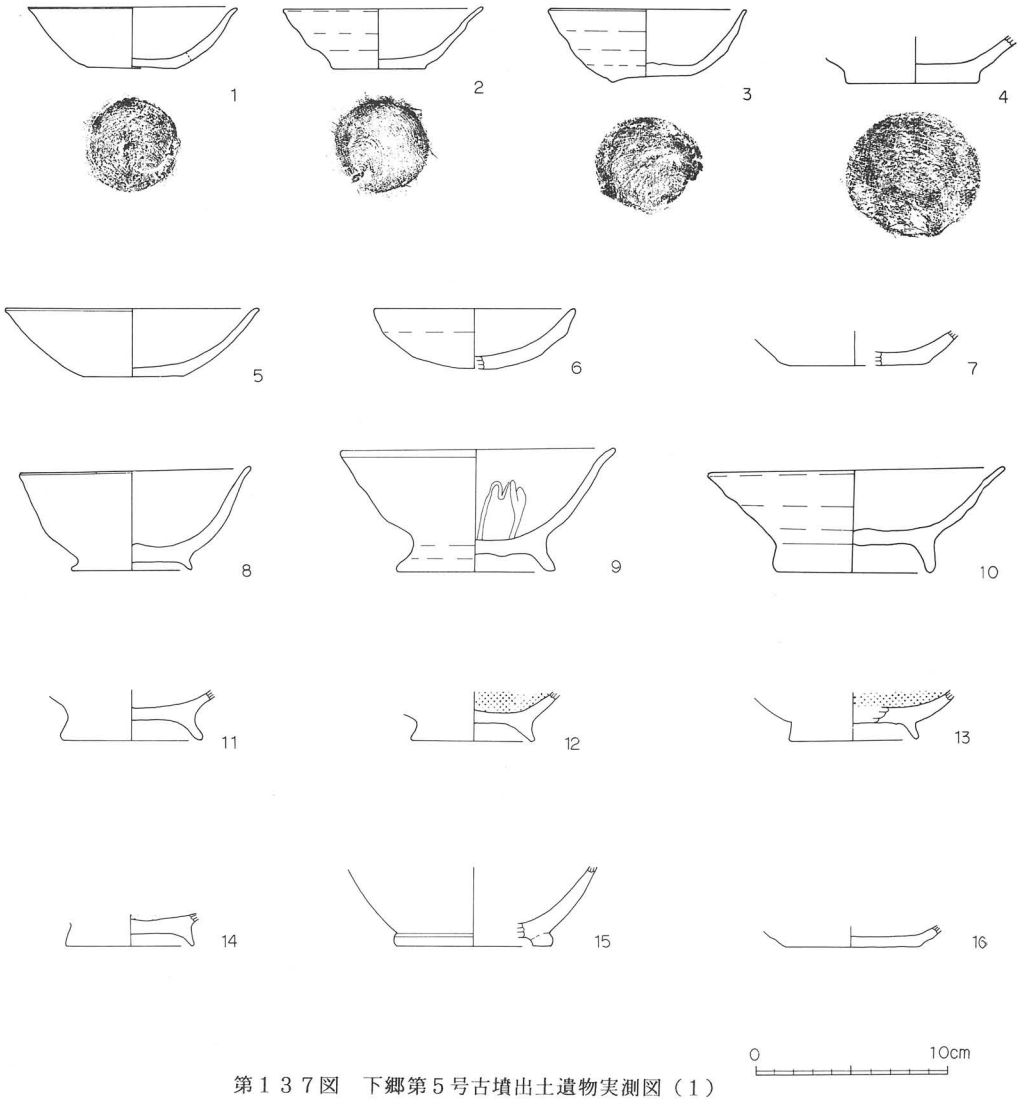
第１３５図　下郷第２号古墳石室外出土遺物実測図（４）

3　第３号古墳出土遺物

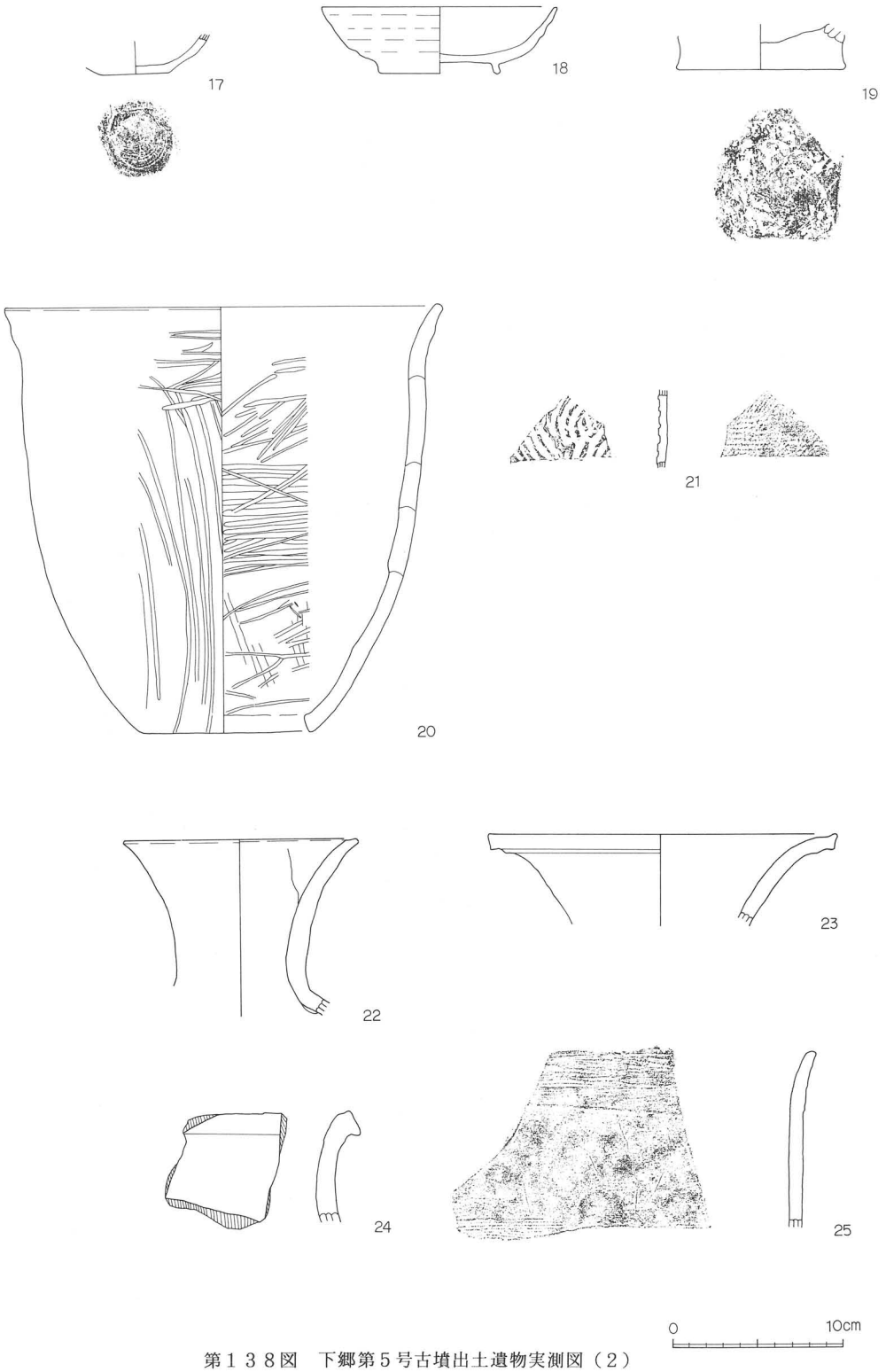


第１３６図　下郷第３号古墳出土遺物実測図

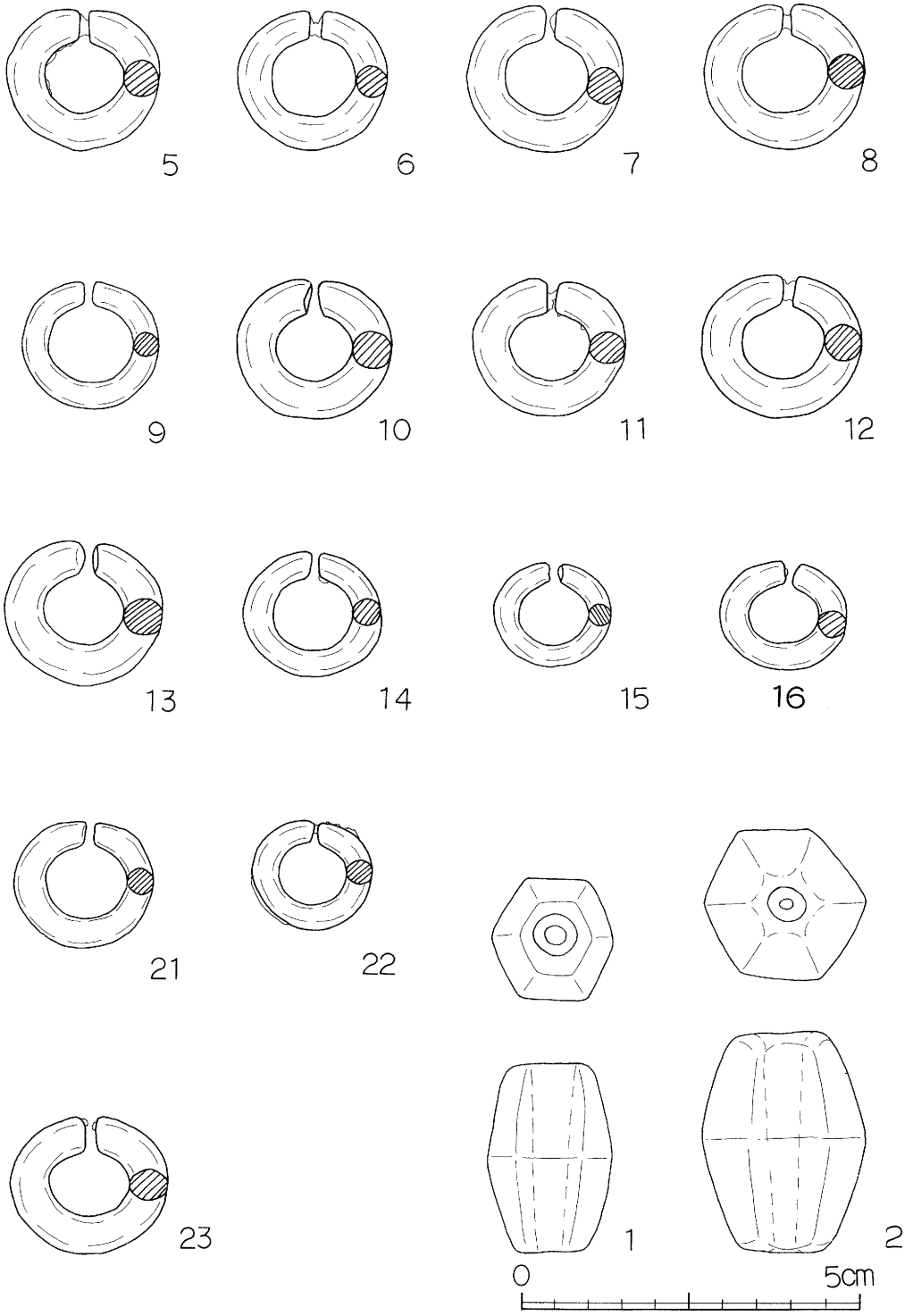
4　第５号古墳出土遺物



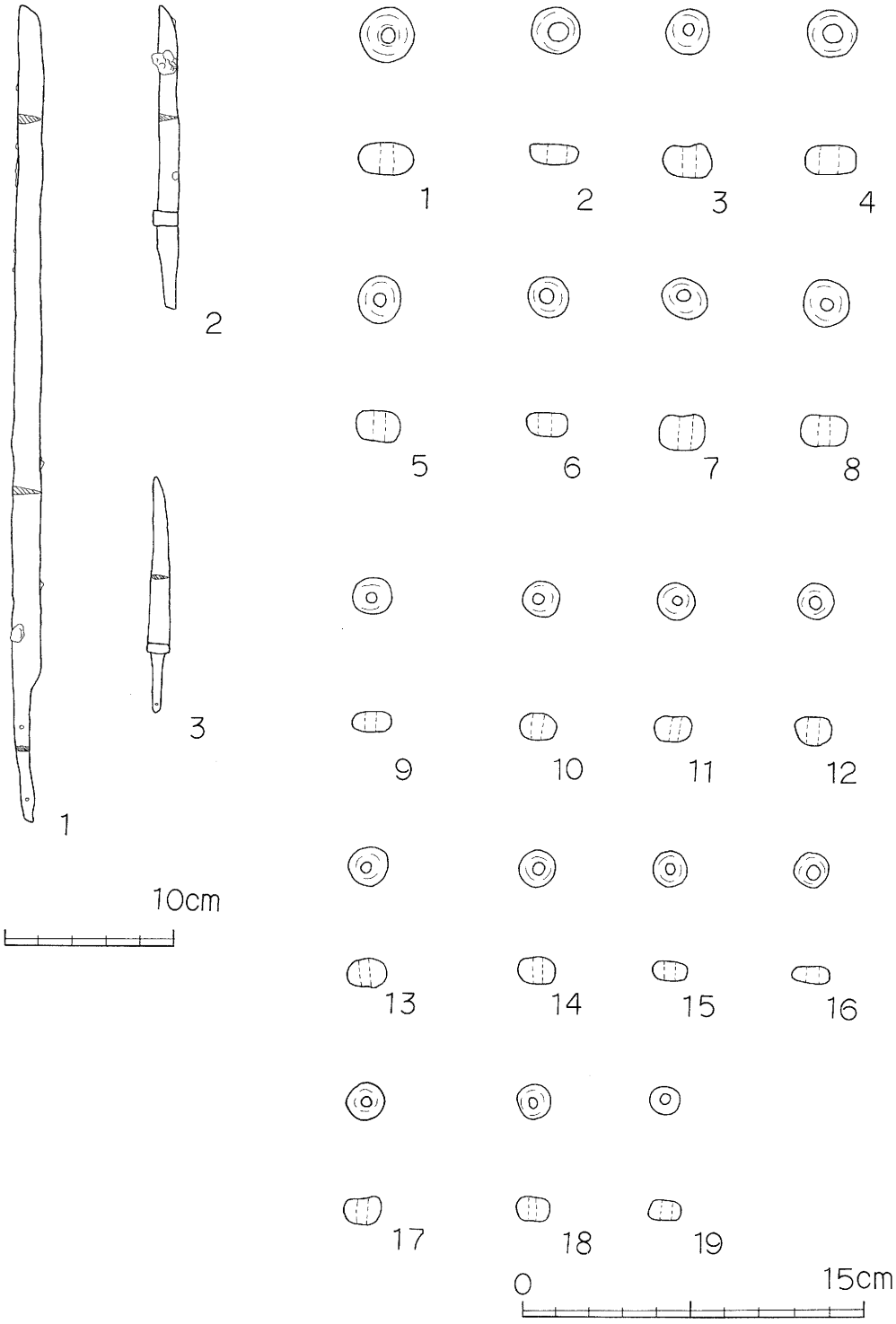
第１３７図　下郷第５号古墳出土遺物実測図（１）



第１３８図　下郷第５号古墳出土遺物実測図（２）



付図　1　　下郷第２号古墳石室内出土金環・切子玉実測図



付図　2　　下郷第２号古墳石室内出土直刀・ガラス小玉実測図

5　遺物観察表

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成　形　・　形　態	整　形　技　法　ほ　か
SMG-1 石室外 130- 1	坏 土師	— 4.6 6.4 底部~体部1/4	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)黒色	平底から内弯して立ち上がる	(外)底部篦削り、体部横撫で、体部下位篦削り (内)精緻な篦磨き　黒色処理
SMG-1 石室外 130- 2	坏 土師	— 1.6 3.6 底部 1/4	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/6橙色 (内)黒色	平底の底部	(外)底部回転糸切り (内)黒色処理
SMG-2 石室内 131- 1	甕 須恵	22.2 46.5 — 4/5	胎；0.3 ～0.8 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5Y5/3 灰オリーブ色 (内)7.5Y5/3 灰オリーブ色	丸底より内弯して立ち上がり胴部上位に最大径を持ち、頸部は緩やかに外反する	(外)胴部平行文の叩き、頸部波状文の叩き　口辺部～肩まで緑釉がかかる (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室内 131- 2	甕 須恵	33.2 68.0 — 2/3	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5Y5/2 灰オリーブ色 (内)5Y6/2 灰オリーブ色	胴部は丸みをおびて立ち上がり、頸部は緩やかに外反する	(外)頸部櫛状工具による波状文　胴部格子目の叩き (内)青海波文の叩き
SMG-2 石室外 132- 1	蓋 須恵	25.0 2.4 — 口縁 一部	焼；良好 色；(外)10YR3/1 黒褐灰色 (内)10YR4/1 褐灰色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 132- 2	蓋 須恵	17.2 1.9 — 口縁部 1/9	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5Y3/3 暗オリーブ褐色　(内)2.5Y3/3 暗オリーブ褐色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 132- 3	坏 土師	10.9 2.8 4.2 口縁部 一部欠	胎；金雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	轆轤による成形 平底より緩やかに開く	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 墨書
SMG-2 石室外 132- 4	坏 土師	16.0 4.7 6.9 口縁一部 底部完存	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/3にぶい赤褐色 (内)黒色	上げ底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 132- 5	坏 土師	9.6 2.4 4.6 1/3	胎；金雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4にぶい橙色 (内)7.5YR7/4にぶい橙色	上げ底の底部より内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 132- 6	坏 土師	10.7 3.4 5.0 口1/3 底部完存	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内弯して立ち上がり口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SMG- 2 石室外 132- 7	坏 土師	12.0 3.8 4.8 底部完存 口3/4	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後磨き

第46表　古墳出土遺物観察表（1）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-02 石室外 132- 8	坏 土師	10.4 2.4 4.4 完存	胎；0.3 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	上げ底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-02 石室外 132- 9	坏 土師	11.9 3.2 4.6 口1/4 底部完存	胎；0.3 の礫、金雲母、雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/3にぶい赤褐色 (内)黒色	上げ底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG- 2 石室外 132-10	坏 土師	11.1 3.8 4.3 完存	胎；0.3 ～0.7 の礫を多く、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/4にぶい橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	平底の底部より内弯しながら広がり、口縁に至る　底部が器厚	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SMG-2 石室外 132-11	坏 土師	11.3 3.4 4.0 底部完体 口1/2	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	平底の底部から体部は内弯しながら開き、口縁部で外反する	(外)轆轤による篦磨き (内)轆轤による篦磨き
SMG-2 石室外 132-12	坏 土師	10.1 3.0 4.6 口1/6 底1/3	胎；0.3 の礫を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部より内弯して立ち上がり口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 132-13	坏 土師	12.7 3.5 6.5 口1/7 底1/3	胎；0.4 の礫、金雲母、雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/3にぶい赤褐色 (内)5YR5/3にぶい赤褐色	上げ底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 132-14	坏 土師	— 3.1 8.6 体部 1/8	胎；石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/3にぶい褐色 (内)7.5YR5/2灰褐色	体部は僅かに内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で (内)体部丁寧な篦磨き
SMG-2 石室外 132-15	坏 土師	10.7 2.7 — 口縁 1/8	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/6橙色	体部で稜を有し口縁に至る	(外)轆轤による撫での後磨き (内)轆轤による撫での後精緻な磨き
SMG-2 石室外 132-16	坏 土師	10.9 4.4 — 口縁 1/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR3/3暗赤褐色 (内)5YR5/3にぶい赤褐色	口縁で緩やかに外反する	(外) 轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 132-17	坏 土師	— 3.9 8.0 高台部 のみ	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR6/4にぶい橙色 (内)2.5YR6/4にぶい橙色	付高台の底部から緩やかに立ち上がる	(外)高台・体部轆轤による撫で底部回転糸切り (内)撫で
SMG- 2 石室外 133-18	坏 土師	14.0 5.6 7.5 口1/9 高台完存	胎；0.4 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 ～6/6 橙色　(内)6/6 橙色	付高台の底部より広がりながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で

第47表　古墳出土遺物観察表（2）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-2 石室外 133-19	坏 土師	13.2 5.3 6.9 口1/5 高台完存	胎；0.4 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)5YR5/6明赤褐色	付高台の底部より内弯しながら開き、口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 133-20	坏 土師	14.9 5.5 6.7 口1/4 底部完存	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR6/4 にぶい黄橙色 (内)10YR6/4 にぶい黄橙色	付高台の底部より体部は緩く内弯し、外面に僅かな稜を有しながら開き、口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 133-21	坏 土師	— 3.5 7.0 体部一部 底部完存	胎；金雲母を多く、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	高台付きの底部から内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 133-22	坏 土師	— 高2.4 6.4 高台部 のみ	胎；金雲母、雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色	付高台	(外)横撫で (内)横撫で
SMG-2 石室外 133-23	坏 土師	— 脚1.8 7.4 脚部 のみ	胎；金雲母を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	付高台	(外)底部回転糸切りの後脚部を付ける (内)撫で
SMG-2 石室外 133-24	坏 土師	15.0 4.6 8.4 口縁~底部1/3	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/4明褐色 (内)黒色	上げ底の底部より内弯して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)黒色処理＋精緻な篦磨き
SMG-2 石室外 133-25	坏 土師	16.8 5.1 6.6 口3/4 底部完存	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)黒色	僅かに上げ底の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後丁寧な放射状磨き、口縁は横磨き 轆轤右回転　墨書
SMG-2 石室外 133-26	坏 土師	14.0 4.7 6.2 体1/5 底部完存	胎；石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/3にぶい褐色 (内)黒色	平底の底部から体部は内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)黒色処理＋精緻な篦磨き 轆轤右回転
SMG-2 石室外 133-27	坏 土師	12.8 3.8 5.6 口2/3 底部完存	胎；0.3 ～0.5 の礫、石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	上げ底気味の底部から体部は僅かに内弯して開く	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)黒色処理＋篦磨き 轆轤右回転　墨書土器
SMG-2 石室外 133-28	坏 土師	13.6 3.8 6.6 1/2	胎；0.3 ～0.7 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/4にぶい褐色 (内)黒色	平底の底部から、体部は内弯して立ち上がる	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)黒色処理＋篦磨き 轆轤右回転
SMG-2 石室外 133-29	坏 土師	13.8 3.7 6.0 口1/4 底1/2	胎；雲母、石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)10YR4/2 灰黄褐色 (内)黒色	平底の底部から、体部は内弯しながら開く	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)黒色処理＋縦位の篦磨き 轆轤右回転

第48表　古墳出土遺物観察表（3）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-2 石室外 133-30	坏 土師	13.4 3.4 5.6 口1/2 底3/4	胎；0.4 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/5明赤褐色 (内)黒色	上げ底の底部より内弯して立ち上がり口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫での後磨き
SMG-2 石室外 133-31	坏 土師	13.8 3.3 — 口1/5 体－部	胎；雲母、石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR5/3にぶい赤褐色 (内)黒色	体部は内弯しながら開き、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で (内)精緻な箆磨き　黒色処理
SMG-2 石室外 133-32	坏 土師	— — 5.8 底部 完存	胎；石英、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/4にぶい褐色 (内)黒色	僅かに上げ底の底部	(外)底部回転糸切り (内)箆磨き　黒色処理
SMG-2 石室外 134-33	坏 須恵	13.8 3.8 7.7 口縁部 一部欠	胎；0.3 ～0.9 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR4/1灰褐色 (内)5YR5/2灰オリーブ色	上げ底の底部より内弯しながら立ち上がり稜を有し、口縁で外反する	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転 火襷
SMG-2 石室外 134-34	坏 須恵	14.0 3.7 6.0 口縁部 一部欠	胎；0.3 ～0.5 の礫を多く、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR6/1黄灰色 (内)2.5YR5/2灰黄色	平底の底部より内弯しながら立ち上がり口縁に至る	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 134-35	坏 須恵	13.8 2.8 — 口縁部 1/8	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR7/1 灰白色 (内)10YR7/1 灰白色		(外)轆轤による磨き　灰釉 (内)轆轤による磨き　灰釉
SMG-2 石室外 134-36	坏 須恵	13.9 2.6 6.8 1/6	胎；細砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5GY7/1明オリーブ色　(内)2.5GY5/1オリーブ灰色	付高台 底部位より大きく広がる	(外)轆轤による磨き (内)轆轤による磨き
SMG-2 石室外 134-37	坏 須恵	— 2.1 8.9 高1/8 底1/4	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR5/1 褐灰色 (内)10YR5/1 褐灰色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で　布の撫で
SMG-2 石室外 134-38	坏 須恵	— 1.9 9.8 高台 1/6	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR4/1 褐灰色 (内)10YR4/1 褐灰色	付高台	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り　火襷 (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 134-39	坏 須恵	13.0 2.9 6.8 口縁部 1/4欠	胎；0.3 ～0.7 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR7/2灰黄色 (内)2.5YR7/2灰黄色	付高台 底部より内弯しながら広がり、内面に段を有し口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で　灰釉 (内)轆轤による撫で　灰釉
SMG-2 石室外 134-40	坏 須恵	18.9 7.0 — 口縁一部 体1/3	胎；0.3 ～0.6 の礫、金雲母粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/6明赤褐色 (内)黒色	接合部より広がり、口縁で外反する	(外)轆轤による撫での後磨き (内)轆轤による撫での後磨き

第49表　古墳出土遺物観察表（4）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-2 石室外 134-41	高坏 土師	19.6 5.0 — 坏部 1/4	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色～ 口縁一部黒色 (内)黒色	接合部より内弯して広がり、体部で屈曲して外反して、口縁部に至る	(外)口辺部轆轤による撫で、体部下位篦削り (内)轆轤による撫での後丁寧な篦磨き　黒色処理
SMG-2 石室外 134-42	高坏 土師	— 5.0 — 脚部 一部	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色		(外)縦位の篦磨き (内)篦削り
SMG-2 石室外 134-43	高坏 土師	— 5.0 14.5 脚部 裾部	胎；0.3 ～0.5 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	脚部裾部で大きく開く	(外)篦削りの後、縦位の篦磨き裾横位の篦磨き (内)裾轆轤による撫で、脚篦削り
SMG-2 石室外 134-44	皿 土師	13.4 3.1 6.3 口一部欠 高一部欠	胎；0.4 の礫、金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)黒色	付高台 底部より大きく広がり 口縁で僅かに外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫での後磨き
SMG-2 石室外 134-45	皿 土師	10.7 2.9 5.8 口1/8 高4/5	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/6橙色 (内)5YR6/6橙色	付高台 底部より大きく広がる	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 134-46	壺 須恵	— 7.7 — 体部 一部	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/2暗灰黄色 (内)5.5YR5/2暗灰黄色	肩に三角帯を有す	(外)轆轤による撫で、篦叩き (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 134-47	甕 土師	17.6 8.6 — 口縁部 1/3弱	胎；雲母、白色砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR6/4にぶい橙色	口辺部「コの字」状に外反する	(外)口縁部横撫で、胴部平行文の叩き (内)横撫で
SMG-2 石室外 134-48	甕 土師	19.8 4.3 — 口縁部 1/6	胎；雲母を多く、白色砂粒を僅かに含む 焼；良好 色；(外)5YR5/6明赤褐色 (内)7.5YR6/5明褐色	口辺部「コの字」状に外反する	(外)口縁部横撫で、頸部篦削りの後横撫で (内)横撫で
SMG-2 石室外 135-49	甕 土師	19.2 6.0 — 口縁 一部	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	口縁で「コの字」状に外反する	(外)口縁部横撫で、頸部篦状工具による横位の撫で、胴部叩きの後篦削り (内)胴部横位の篦撫で
SMG-2 石室外 135-50	甕 土師	11.9 3.3 — 口縁部 1/4	胎；0.3 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	口縁で「くの字」状に外反する	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 135-51	甕 須恵	— 15.0 14.5 体部一部 底2/5	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5YR5/1黄灰色～ 6/2 灰黄色 (内)2.5YR6/2灰黄色	平底の底部から体部は直線的に外傾する 粘土帯積み上げ	(外)平行文の叩き (内)刷毛、指の押圧、撫で

第50表　古墳出土遺物観察表（5）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-2 石室外 135-52	甕 須恵	16.7 3.6 — 口縁部 1/8	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10Y6/1灰色　灰釉 (内)10Y6/1灰色	口縁部で「くの字」状に外反し、稜を有す	(外)轆轤による磨き (内)轆轤による磨き
SMG-2 石室外 135-53	甕 須恵	— 2.0 — 頸部 一部？	胎；0.4 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR4/1 褐灰色 (内)10YR4/1 褐灰色		(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-2 石室外 135-54	羽釜 土師	24.0 13.0 — 口体 一部	胎；0.4 の礫、雲母、金雲母を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR4/3褐色 (内)7.5YR4/3褐色	羽釜	(外)口縁部横撫で、胴部叩きの後篦削り (内)刷毛状工具による横位の撫で
SMG-2 石室外 135-55	長頸瓶 須恵？	7.0 6.2 — 頸部	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR5/2 オリーブ灰色　(内)10YR5/2 オリーブ灰色～4/2 オリーブ灰色	口縁部で屈曲し、口唇部に至る	(外)緑釉 (内)緑釉
SMG-2 石室外 135-56	鉢 縄文	— 10.0 — —	胎；0.3 の礫、金雲母、石英を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR6/4にぶい橙色		(外)沈線に文様構成
SMG-3 石室外 136-1	坏？ 土師	— 2.0 10.4 底部 1/5	胎；石英を多く含む 焼；良好 色；(外)10YR6/4 にぶい黄橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	平底の底部に指で摘んだ形の足がついている	(外)撫で (内)撫で
SMG-3 石室外 136-2	坏 陶器	— 1.6 4.0 高2/3 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR5/2 灰黄褐色 (内)10YR6/2 灰黄褐色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-3 石室外 136-3	？ 縄文	— 7.0 — —	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR6/4 にぶい黄橙色　(内)10YR6/4 にぶい黄橙色	口縁の下に稜を有し、口唇部は面取り	(外)口縁部横撫で (内)横撫で
SMG-5 石室外 137-1	坏 土師	10.0 3.3 4.8 口7/8 底部完存	胎；0.3 の礫、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR5/4にぶい赤褐色 (内)5YR5/4にぶい赤褐色	僅かに上げ底気味の底部より内弯しながら立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で 轆轤右回転
SMG-5 石室外 137-2	坏 土師	10.4 3.2 4.8 口1/3 底部完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/3淡橙色 (内)5YR8/3淡橙色	体部は僅かに内弯して開く 粘土帯積み上げ	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 137-3	坏 土師	10.5 4.0 4.7 ほぼ 完存	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR6/4にぶい橙色 (内)5YR6/4にぶい橙色	体部は内弯しながら開き、口縁部でやや外反する 粘土帯積み上げ	(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で

第51表　古墳出土遺物観察表（6）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-5 石室外 137- 4	坏 土師	— 2.4 7.0 底部 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7YR7/3にぶい橙色 (内)5YR5/1褐灰色		(外)横撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 137- 5	坏 土師	13.2 3.6 5.4 口～底 1/3	胎；雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)黒色	平底より内弯して立ち上がり、口縁部で僅かに外反する	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り＋箆調整 (内)黒色処理
SMG-5 石室外 137- 6	坏 土師	10.4 3.2 2.2 口～底 1/4	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR8/3 浅黄橙色 (内)10YR8/3 浅黄橙色	丸底より内弯して立ち上がる	(外)横位の撫で (内)横位の撫で
SNG-5 石室外 137- 7	坏 土師	— 1.8 3.6 底部 1/4	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)7.5YR6/3にぶい褐色	平底の底部	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 137- 8	坏 土師	12.2 5.2 6.4 口縁部 1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/2灰褐色 (内)黒色	体部は内弯しながら開き、口縁部は僅かに外反する 粘土帯積み上げ	(外)体部横位の撫で、底部回転糸切り (内)黒色処理＋箆磨き
SMG-5 石室外 137- 9	坏 土師	14.3 6.5 8.4 3/4 高2/3	胎；0.3 ～0.5 の礫、雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR5/4にぶい褐色 (内)黒色	体部は内弯しながら開き、口縁部で外反する 粘土帯積み上げ	(外)体部は横位の撫で (内)黒色処理＋箆磨き
SMG-5 石室外 137-10	坏 土師	15.4 5.8 8.4 1/2 高台完存	胎；黒雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR3/4暗赤褐色 (内)5YR4/4にぶい赤褐色	体部は緩く外反しながら開く 粘土帯積み上げ	(外)体部轆轤による撫で、底部回転による箆切り (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 137-11	坏 土師	— 2.4 7.4 高台付底部1/2	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR7/6橙色 (内)10YR6/3 にぶい黄橙色	付高台	(外)底部回転糸切りの後撫で (内)横撫で
SMG-5 石室外 137-12	坏 土師	— 2.6 6.6 高台部 5/6	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)7.5YR6/4にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)轆轤による撫で (内)黒色処理
SMG-5 石室外 137-13	坏 土師	— 2.6 6.4 底部 1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR8/2 灰白色 (内)黒色	付高台	(外)底部箆切り (内)黒色処理
SMG-5 石室外 137-14	坏 土師	— 1.7 4.8 高2/3 底部完存	胎；金雲母、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR6/4 にぶい橙色 (内)黒色	付高台	(外)底部回転糸切りの後撫で (内)黒色処理

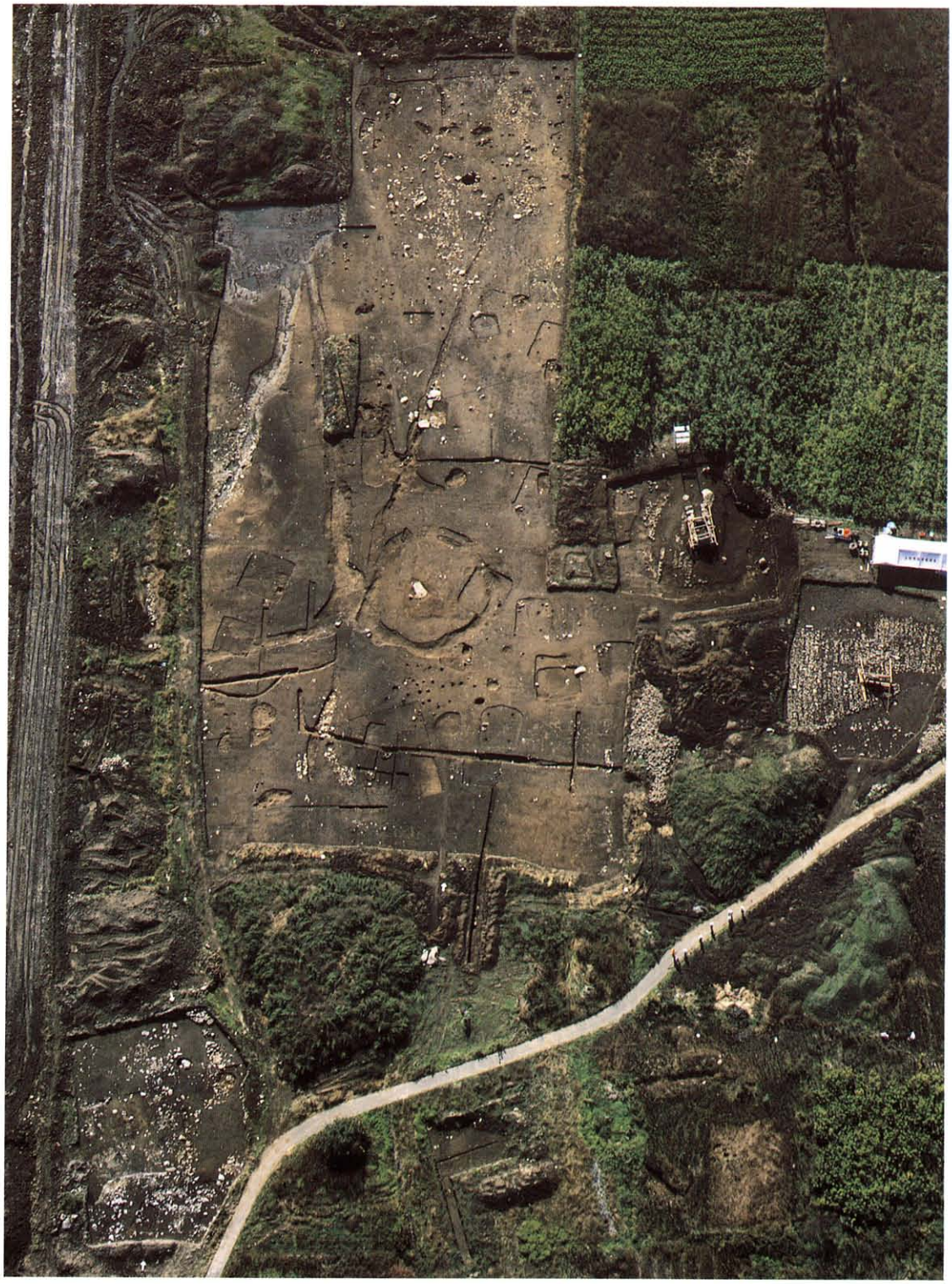
第52表　古墳出土遺物観察表（7）

遺構No 図版No	器種 種類	法量 残存	器　　質	成形・形態	整形技法ほか
SMG-5 石室外 137-15	坏 須恵	－ 4.2 8.4 底部体部 1/8	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5Y7/2 灰黄色 (内)2.5Y7/2 灰黄色	高台付の底部から内弯して立ち上がる	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 137-16	坏 須恵	－ 1.1 7.0 底部 1/4	胎；白色砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)2.5Y5/1 黄灰色 (内)2.5Y5/1 黄灰色	平底の底部	(外)体部轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 138-17	坏 須恵	－ 2.2 4.0 底部 完存	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR8/1灰白色 (内)5YR8/1灰白色		(外)轆轤による撫で、底部回転糸切り (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 138-18	坏 灰釉	13.5 4.0 7.2 口1/5 底1/2	胎；白色砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR7/1明褐灰色 (内)5YR7/1明褐灰色	体部は内弯して開き、口縁部で僅かに外反する 粘土帯積み上げ	(外)横位の撫で (内)横位の撫で
SMG-5 石室外 138-19	甕 土師	－ 2.7 9.6 底部 2/3	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)10YR6/4 にぶい黄橙色　(内)10YR6/4 にぶい黄橙色	平底の底部	(外)底に葉の模様あり
SMG-5 石室外 138-20	甑 土師	25.6 25.5 10.0 1/2	胎；0.3 の礫、粗砂粒を多く含む 焼；良好 色；(外)5YR7/6橙色 (内)5YR7/4にぶい橙色	孔部から胴部はやや内弯して口縁部は外反して開く 粘土帯積み上げ	(外)口縁～孔部箆削り後箆磨きをして、口縁もう一度横位の箆磨き (内)箆削り後胴部下位に刷毛目をし丁寧に横位の箆磨き
SMG-5 石室外 138-21	壺？ 須恵	－ 4.7 － －	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5Y6/2 灰黄色 (内)2.5Y7/2 灰黄色		(外)叩き目 (内)青海波文の叩き
SMG-5 138-22	長頸壺 須恵	13.6 9.7 － 口縁部 1/2	胎；粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5Y6/2 灰オリーブ色 (内)5Y7/1 灰白色	頸部より外反する口縁に至る	(外)轆轤による撫で、部分的に釉がかかる (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 138-23	長頸壺 須恵	20.6 5.5 － 口縁部 一部	胎；白色砂粒、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5Y2/1 黒色 (内)2.5Y5/2 暗灰黄色	外反した口縁	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 138-24	長頸壺 須恵	－ 6.6 － 口縁部 一部	胎；白色砂粒、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)2.5Y5/1 黄灰色 (内)2.5Y5/2 暗灰黄色	外反した口縁 粘土帯積み上げ	(外)轆轤による撫で (内)轆轤による撫で
SMG-5 石室外 138-25	深鉢 縄文	－ 10.5 － 口縁部 一部	胎；石英、粗砂粒を含む 焼；良好 色；(外)5YR4/2灰褐色 (内)7.5YR6/3にぶい褐色	胴部より僅かに外反し口縁に至る 粘土帯積み上げ	(外)胴部と口縁部に条線文ある磨き？ (内)横撫での後磨き

第53表　古墳出土遺物観察表（8）

写　真　図　版

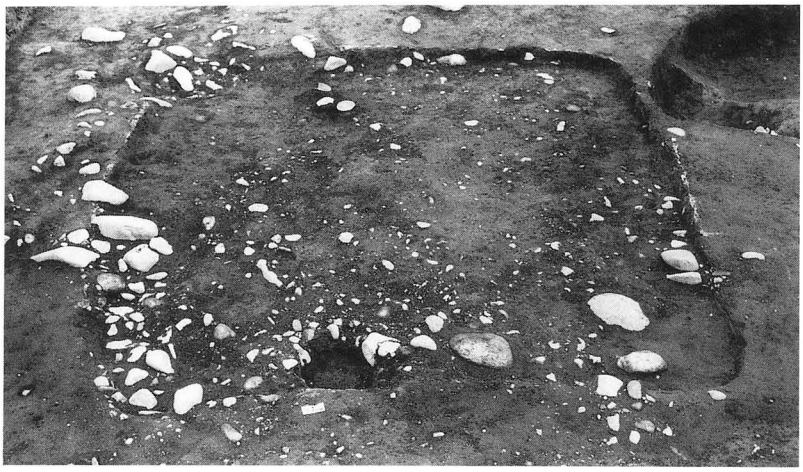
PL1　神林遺跡・下郷古墳群空撮



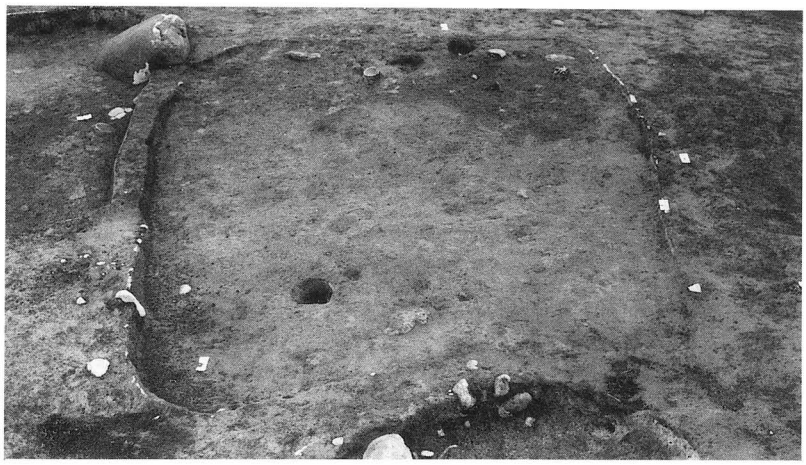
KNB
SB－01（E）

KNB
SB－01竈（E）

KNB
SB－03（W）



KNB
SB－08（S）



KNB
SB－09（W）

KNB
SB－10（W）

KNB
SB－10竈（W）

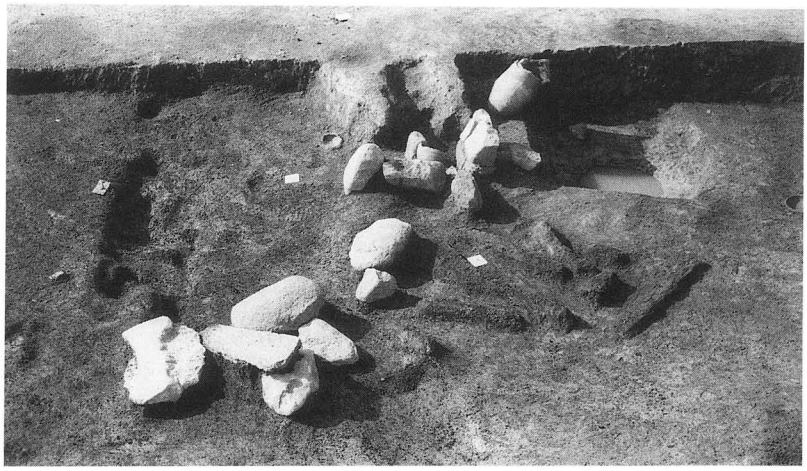
KNB
SB－11（E）

KNB
SB－13（E）

PL5 神林遺跡遺構写真（4）

KNB
SB－13竈（E）

KNB
SB－14（E）



KNB
SB－14竈（E）

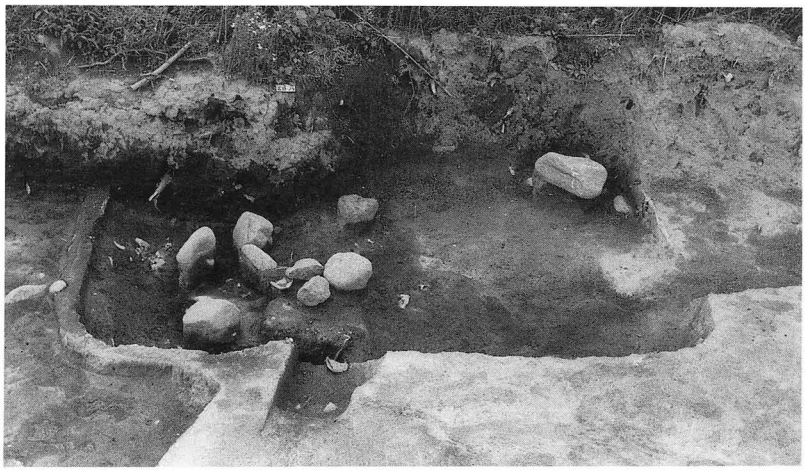
KNB
SB－19（N）
手前はSB－29
奥はSB－30

KNB
SB－21（E）

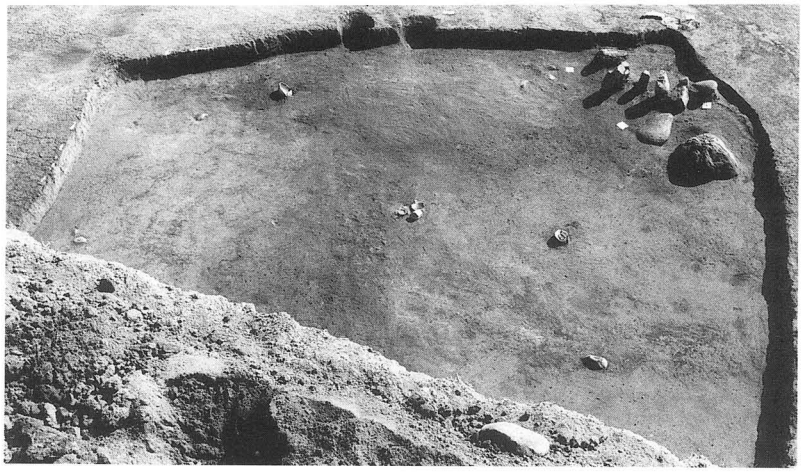
KNB
SB－22（E）

KNB
SB－23（W）

KNB
SB－23竈（W）

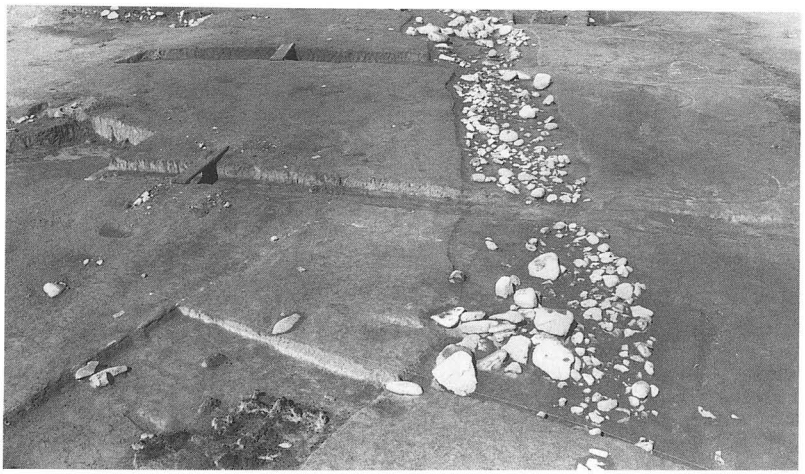


KNB
SB－24（E）



KNB
SB－28（W）

KNB
SB－30（手前・S）



KNB
SX－01（E）

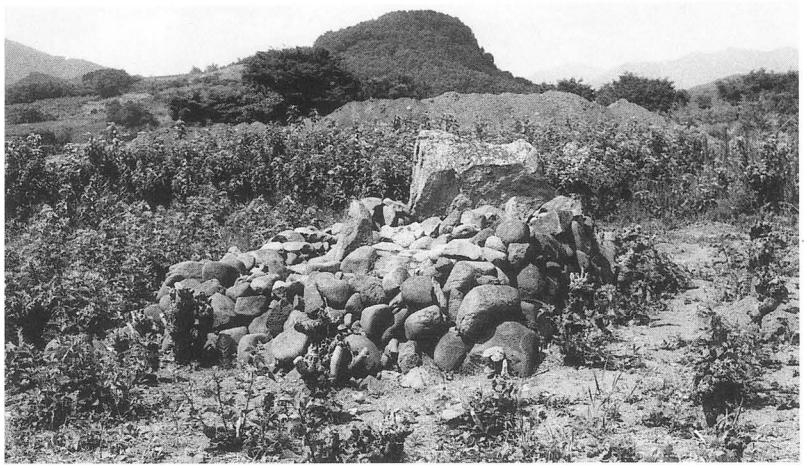
PL9　下郷第1号古墳写真

SMG－1（S）
調査前

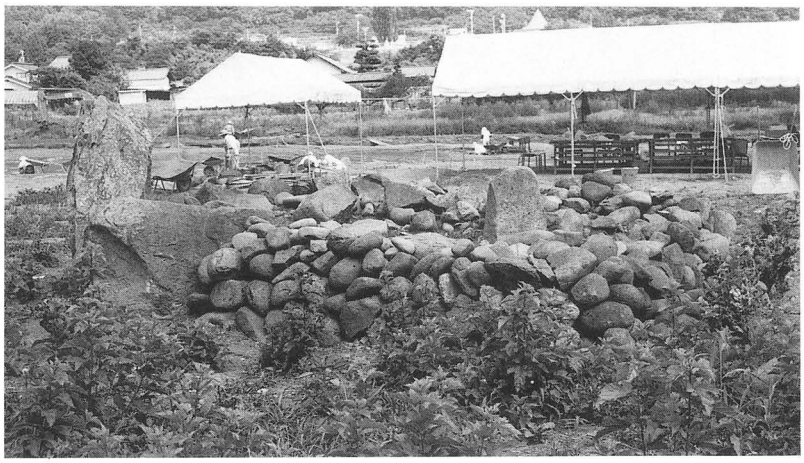
SMG－1奥壁（S）
銘文

SMG－1（S）
調査後

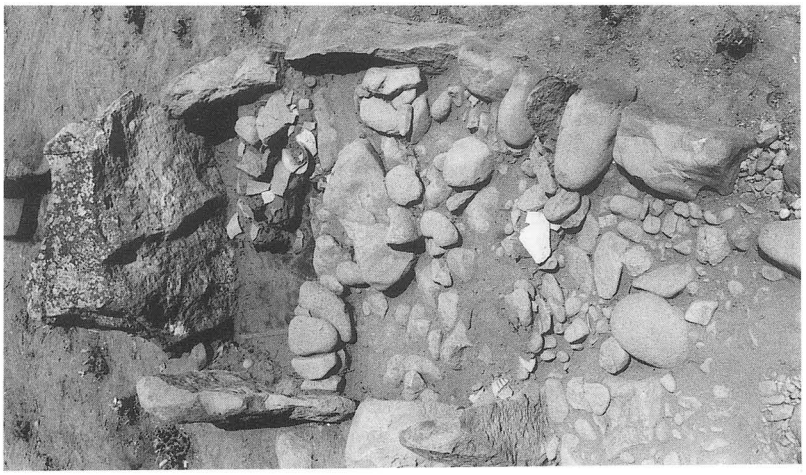
PL 10　下郷第2号古墳写真（1）



SMG－2（S）
調査前



SMG－2（W）
調査前



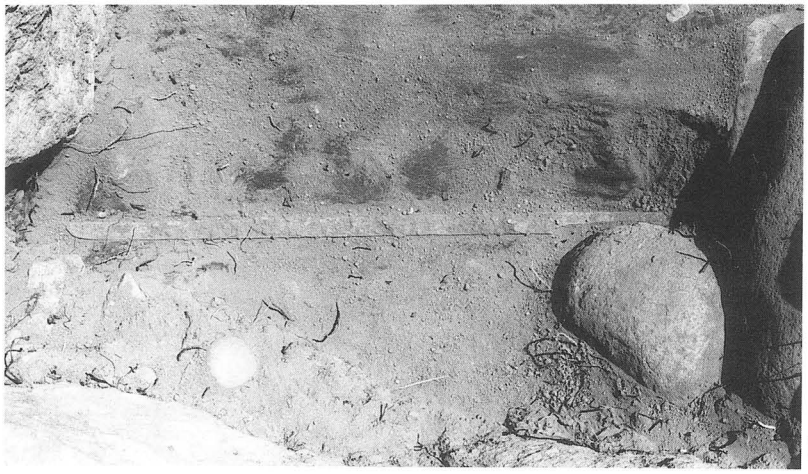
SMG－2（S）
石積除去後

PL11 下郷第2号古墳写真（2）

SMG－2（N）
石積除去後

SMG－2（S）
石室内石積

SMG－2（N）
石室内石積



SMG－2（W）
直刀出土状態

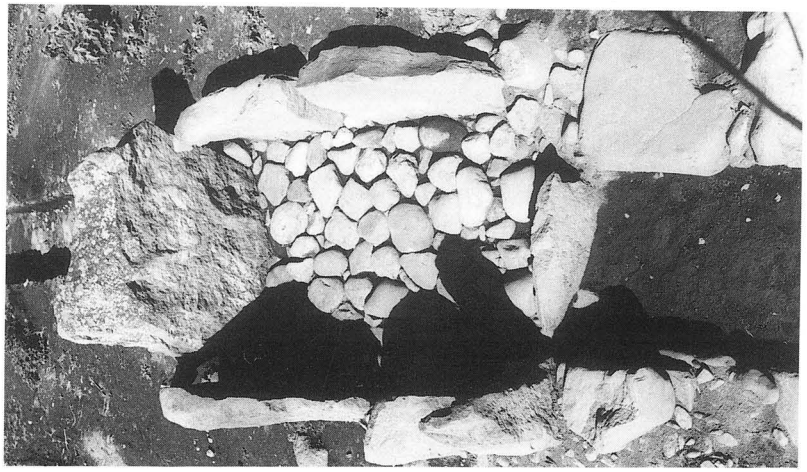
SMG－2（S）
閉塞石除去後

SMG－2（S）
人骨・金環出土状態

PL 13 下郷第2号古墳写真（4）

SMG－2（S）
石室内金環等出土

SMG－2（S）
覆土除去後



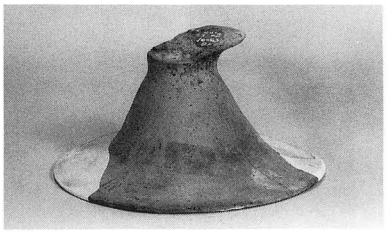
SMG－2（S）
石室内小礫除去後

SMG－3（S）
調査前

SMG－3（W）
調査前

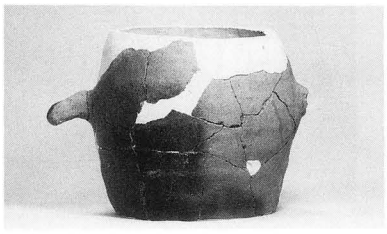
SMG－5（S）
調査前

KNB SB－01－01



KNB SB－01－07

KNB SB－01－02

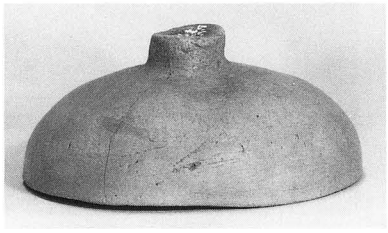


KNB SB－01－13

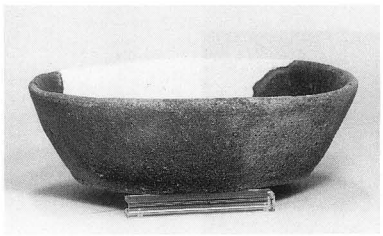
KNB SB－01－03

KNB SB－01－13

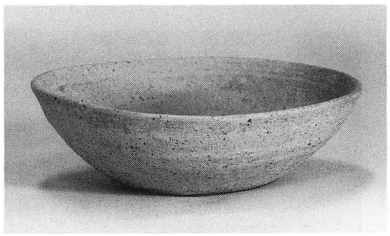
KNB SB－01－04



KNB SB－01-14, -15



KNB SB－01－05



KNB SB－03－01

KNB SB－01－06

KNB SB－03－03

KNB SB－03－05

KNB SB－03－06

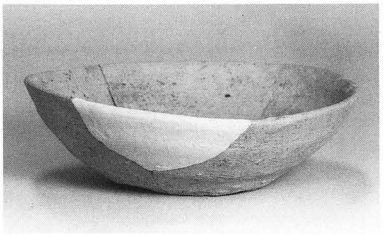
KNB SB－03－07

KNB SB－03－08

KNB SB－03－09

KNB SB－03－10

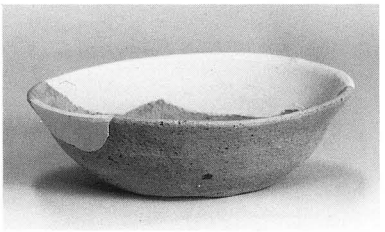
KNB SB－03－11



KNB SB－03－14

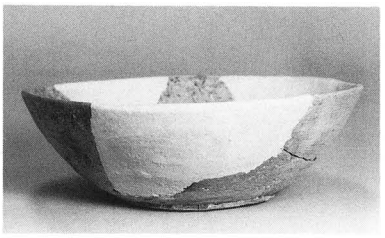
KNB SB－03－15

KNB SB－03－16



KNB SB－03－17

KNB SB－03－18



KNB SB－03－19

KNB SB－03－20

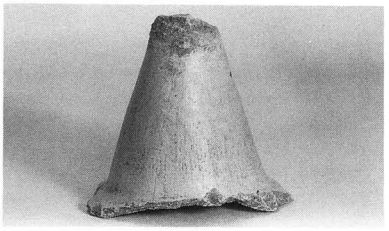
KNB SB－03－25

KNB SB－03－26

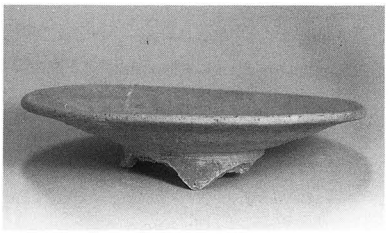
KNB SB－03－27

KNB SB－03－28

KNB SB－03－29

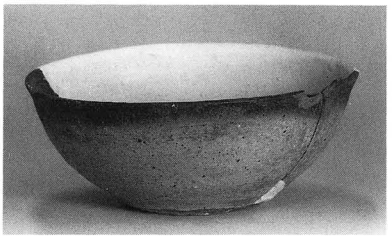


KNB SB－03－30



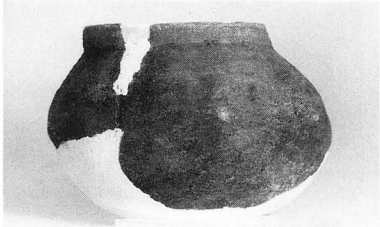
KNB SB－03－32

KNB SB－03－31

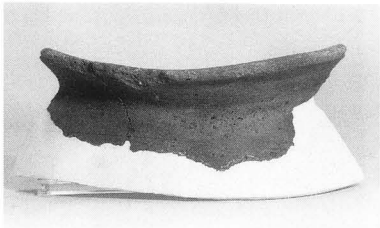


KNB SB－03－33

KNB SB－03－34



KNB SB－03－35



KNB SB－03－36

KNB SB－08－01

KNB SB－08－02

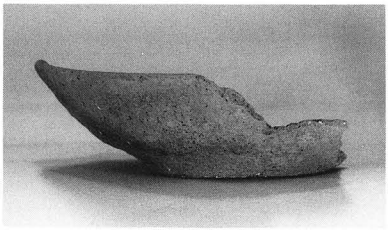
KNB SB－08－03

KNB SB－08－04

KNB SB－08－05

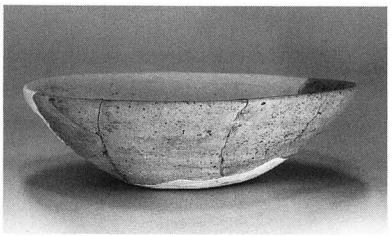
KNB SB－08－06

KNB SB－08－07



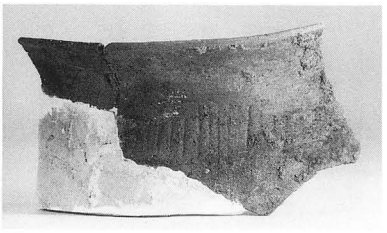
KNB SB－09－01

KNB SB－09－02



KNB SB－09－03

KNB SB－09－04

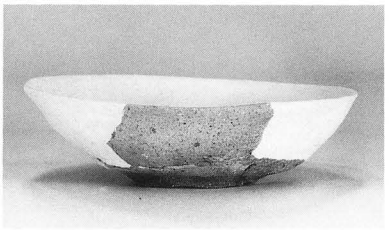


KNB SB－10－09

KNB SB－09－05

KNB SB－12－01

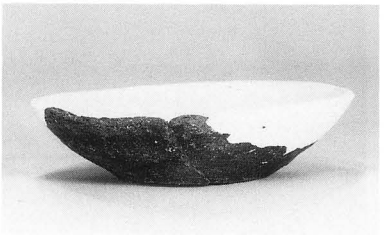
KNB SB－09－06



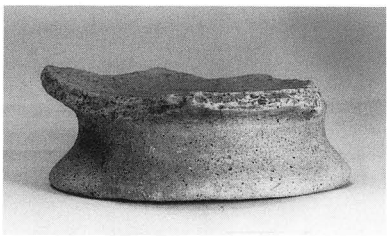
KNB SB－12－03

KNB SB－10－03

KNB SB－12－04

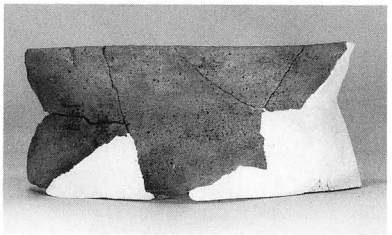


KNB SB－10－05



KNB SB－12－06

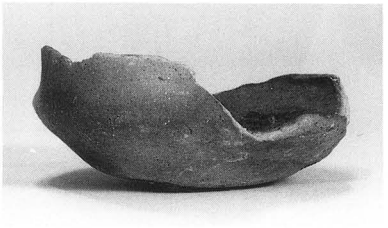
KNB SB－10－06



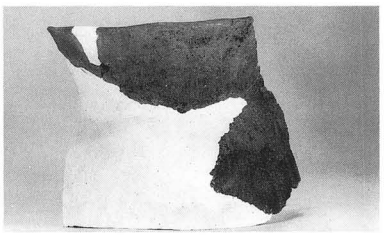
KNB SB－12－07

KNB SB－13－02

KNB SB－14－02



KNB SB－14－03

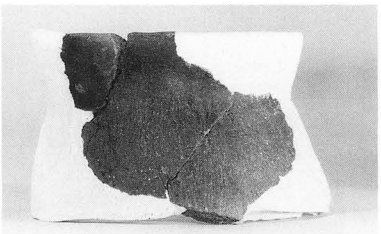


KNB SB－13－03

KNB SB－14－04

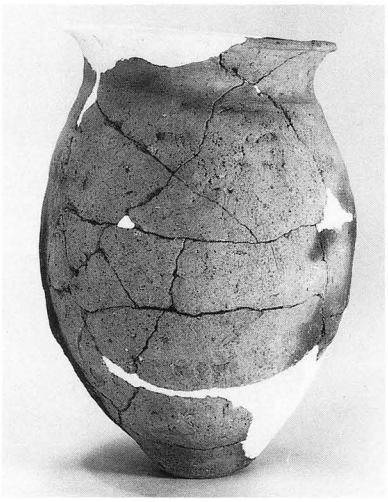
KNB SB－13－04

KNB SB－14－05



KNB SB－13－05

KNB SB－14－01



KNB SB－14－07

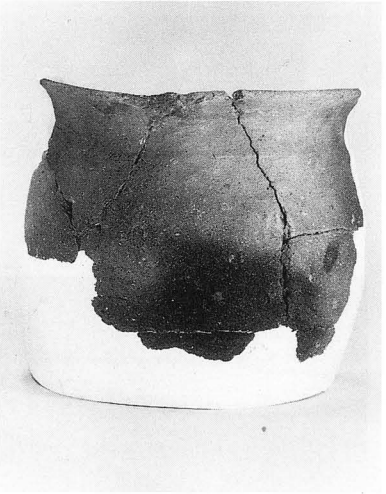
KNB SB－14－08

KNB SB－14－12

KNB SB－14－09

KNB SB－14－13

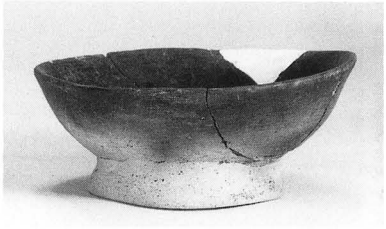
KNB SB－14－10



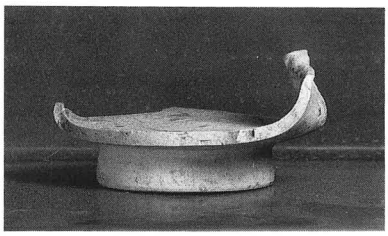
KNB SB－14－14

KNB SB－14－11

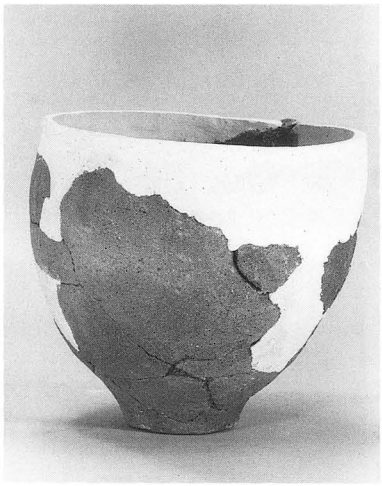
KNB SB－14－16



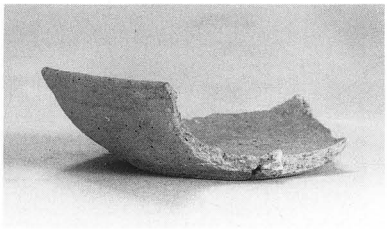
KNB SB－18－06



KNB SB－18－10

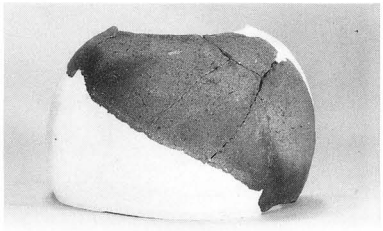


KNB SB－14－17



KNB SB－19－01

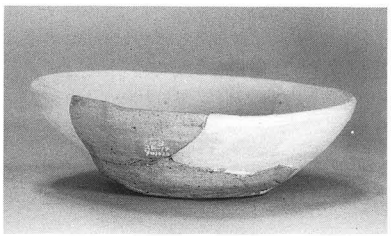
KNB SB－19－05



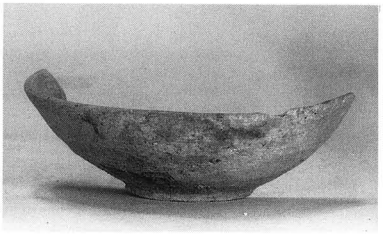
KNB SB－14－18

KNB SB－19－06

KNB SB－18－04

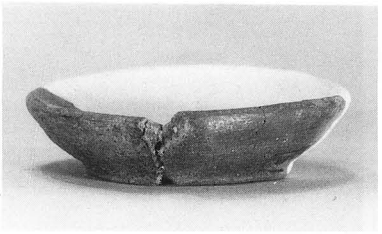


KNB SB－19－07

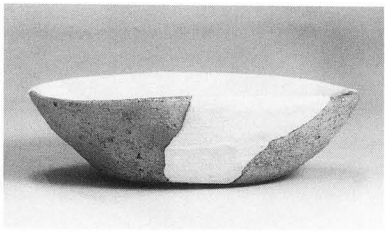


KNB SB－19－08

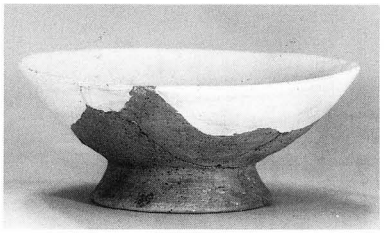
KNB SB－21－01



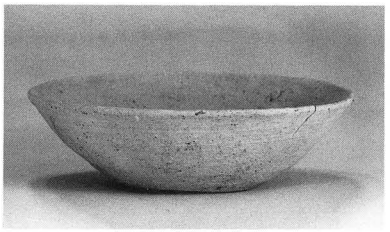
KNB SB－19－09



KNB SB－21－02



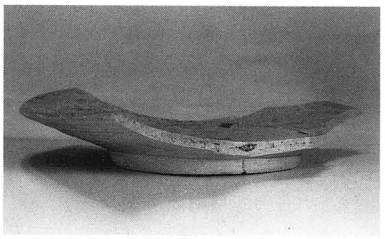
KNB SB－19－13



KNB SB－23－02

KNB SB－19－14

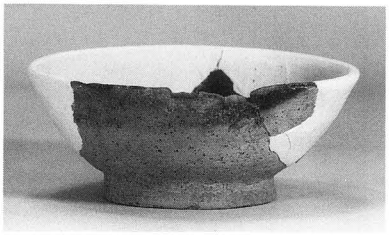
KNB SB－23－03



KNB SB－19－15

KNB SB－23－04

KNB SB－19－16

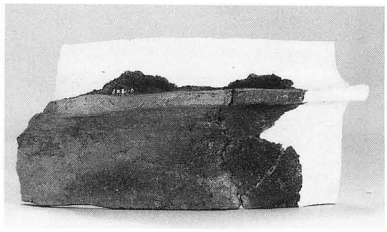


KNB SB－23－07

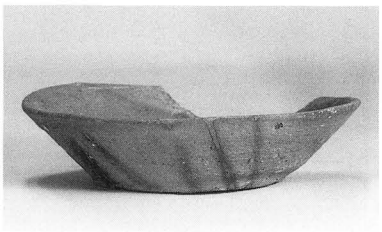
KNB SB－23－08

KNB SB－23－15

KNB SB－23－09



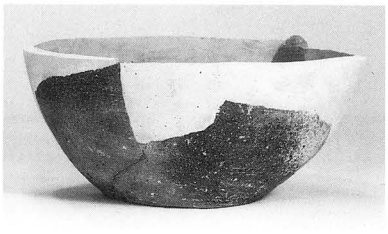
KNB SB－23－21



KNB SB－23－11

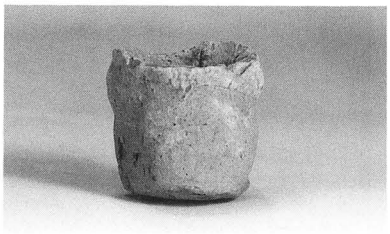
KNB SB－24－05

KNB SB－23－12



KNB SB－24－10

KNB SB－23－13



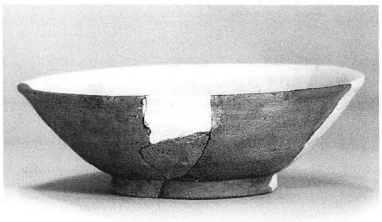
KNB SB－26－03

KNB SB－23－14

KNB SB－27－03

KNB SB－27－04

KNB SB－28－07



KNB SB－27－05

KNB SB－28－08

KNB SB－28－01

KNB SB－28－10

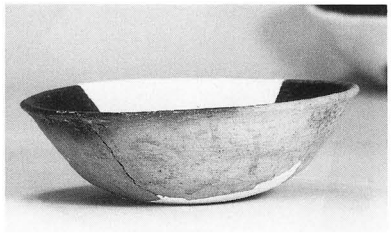
KNB SB－28－02

KNB SB－28－12

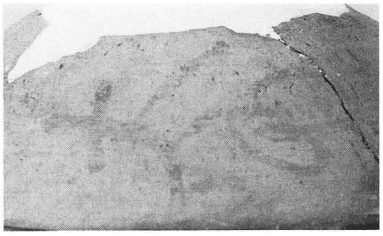
KNB SB－28－04

KNB SB－28－13

KNB SB－28－05



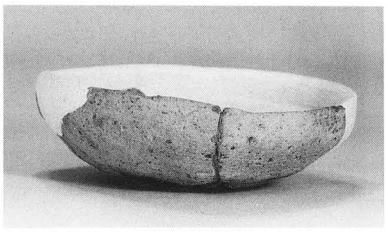
KNB SB－30－03



KNB SB－30 －03墨書

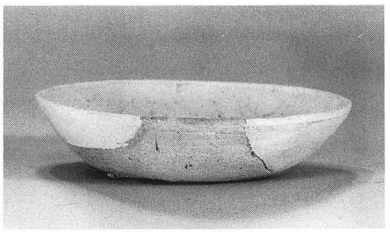
KNB SD－01 －01

KNB SB－30 －04



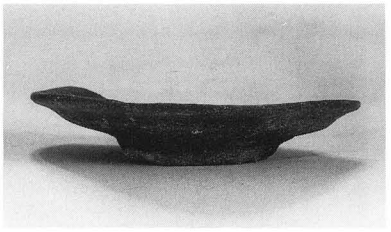
KNB SD－01 －02

KNB SB－30 －05



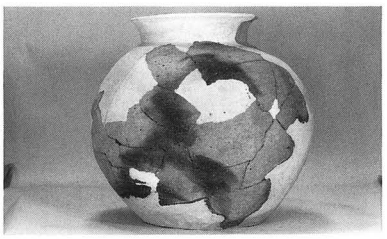
KNB SD－01 －03

KNB SB－30 －06



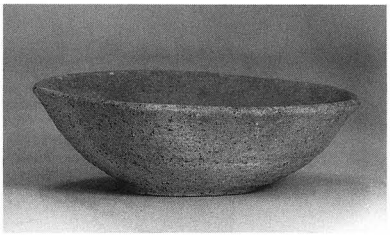
KNB SD－01 －05

KNB SB－30 －09



KNB SD－01 －06

KNB SB－30 －12



KNB SD－02 －03